

令和2年度西尾市多文化共生プラン策定支援業務
報告書

令和3年3月

西尾市

目次

I. アンケート調査結果	1
1. 外国人市民アンケート結果	1
2. 日本人市民アンケート結果	68
3. 企業アンケート結果	89
II. ヒアリング調査結果	107
1. 多文化共生に関わる各主体	107
(1) 各主体ヒアリング調査	107
(2) 介護事業者簡易アンケート	126
2. 外国人市民	130
(1) 外国人市民ヒアリング調査	130
(2) 日本語ひろば参加者簡易アンケート	151
III. 庁内ヒアリング結果	155
IV. 多文化共生協議会	163
V. 各調査のまとめ	164

I. アンケート調査結果

1. 外国人市民アンケート結果

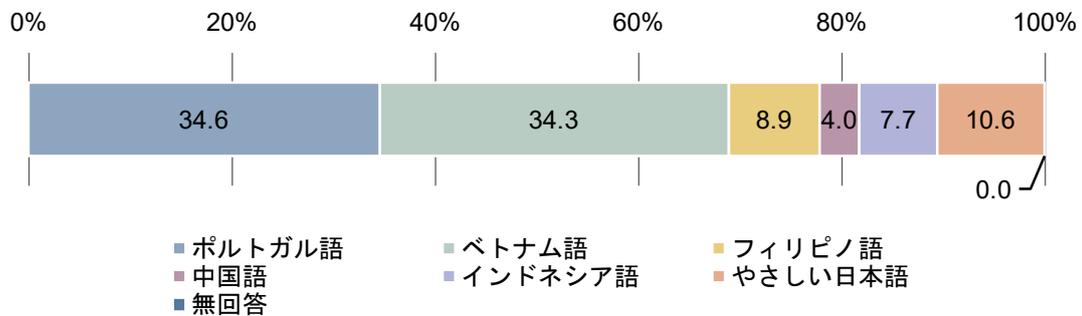
① 調査概要

調査対象	外国籍を有する西尾市市民
調査方法	● 郵送（無作為抽出 1,100 件） ● ウェブアンケート（回答ページの URL は、地域つながり課 Facebook ページ等にも掲載し、抽出者以外の外国人市民へ周知）
調査期間	2020 年 10 月 9 日（金）～2020 年 10 月 30 日（金）
回収状況	405 件

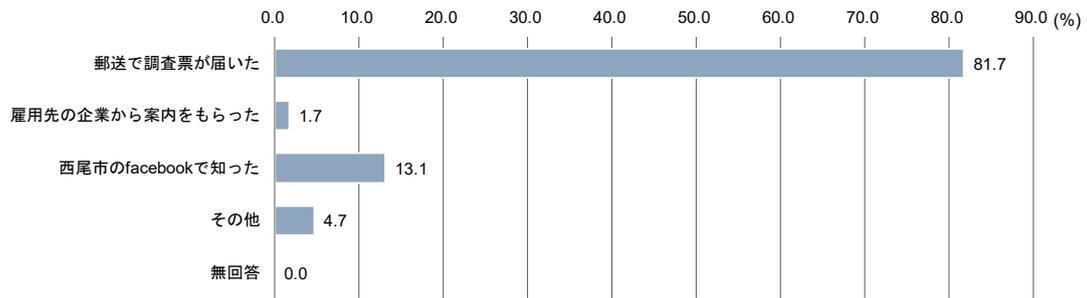
② 回答者について

（7）以外は、n=405）

1) 言語



2) 本調査を知ったきっかけ

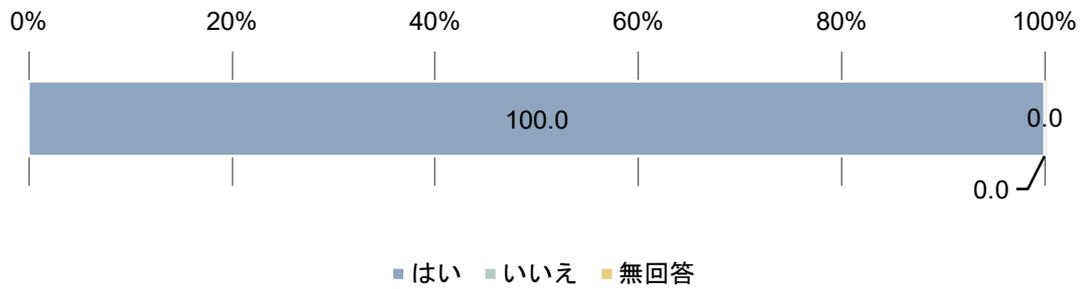


【その他】

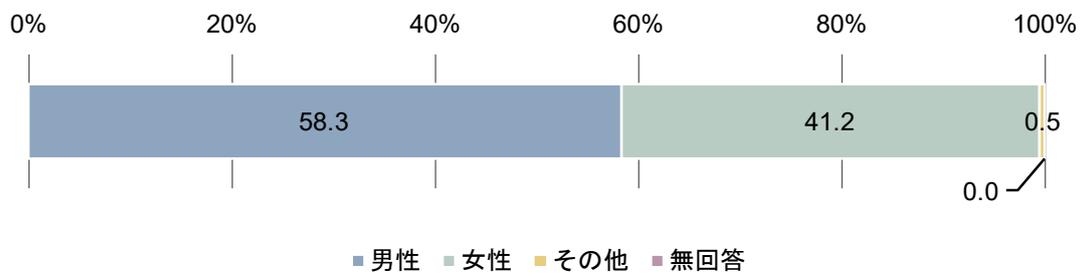
市役所から (3) / 学校・先生から (3) / 友人・知人から (2) / チラシ / LINE / 市のホームページ / 日本語ボランティア

		郵送で調査票が届いた (%)	案内先のものから	facebookで知った	西尾市の	その他	無回答	全体
全体		81.7	1.7	13.1		4.7	0.0	405
国籍	ブラジル	89.2	0.0	6.5		4.3	0.0	139
	ベトナム	71.5	4.2	25.0		2.1	0.0	144
	フィリピン	95.1	0.0	0.0		4.9	0.0	41
	中国	81.0	4.8	4.8		9.5	0.0	21
	インドネシア	83.9	0.0	16.1		0.0	0.0	31
	その他	75.9	0.0	6.9		20.7	0.0	29
	在留資格	永住者	86.7	0.0	6.2		7.1	0.0
定住者		82.4	1.1	12.1		5.5	0.0	91
技能実習		94.4	5.6	1.4		0.0	0.0	72
技術・人文知識・国際業務		68.1	1.4	29.0		2.9	0.0	69
日本人・永住者の配偶者、家族滞在		68.4	2.6	26.3		5.3	0.0	38
その他		73.7	0.0	21.1		10.5	0.0	19

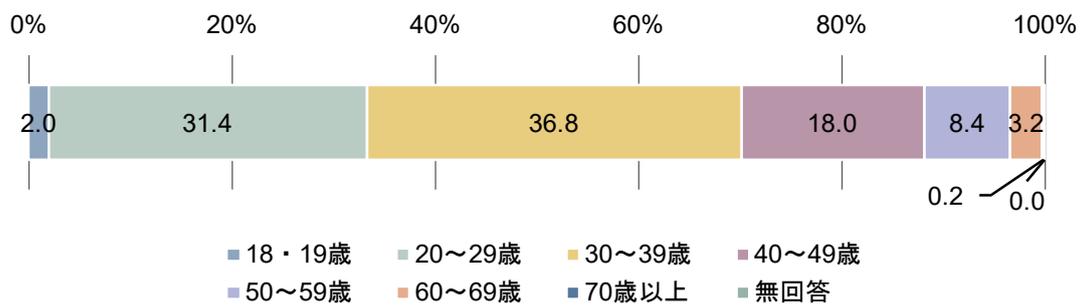
3) 西尾市在住か否か



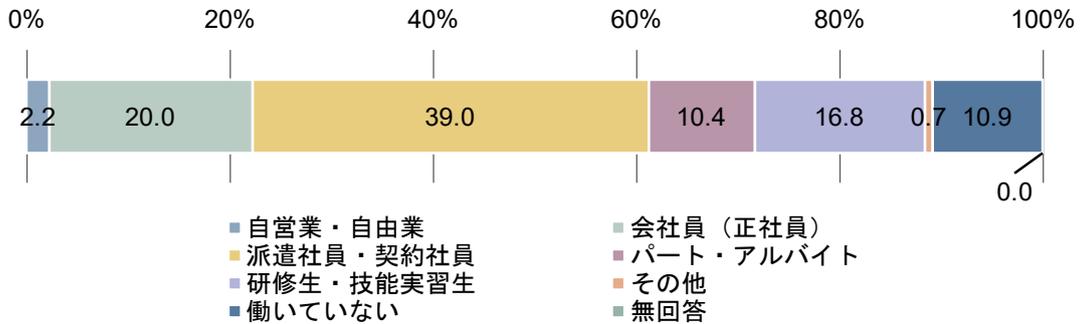
4) 性別



5) 年齢



6) 職業



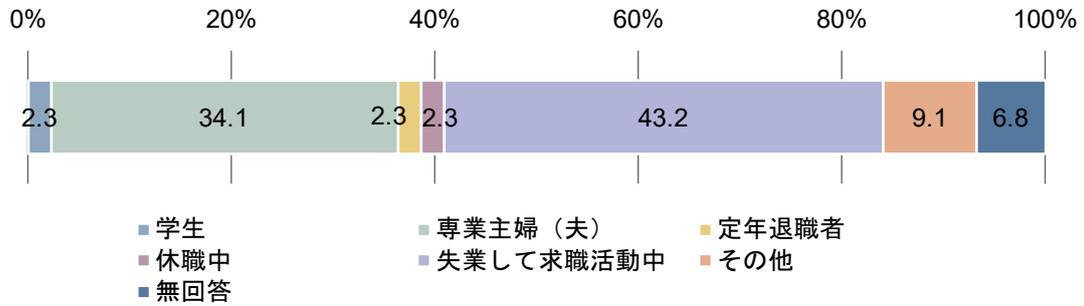
【その他】

会計任用職員／研修生／まんが家

		自営業・自由業	会社員(正社員)	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	研修生・技能実習生	その他	働いていない	無回答	全体
		(%)								
全体		2.2	20.0	39.0	10.4	16.8	0.7	10.9	0.0	405
国籍	ブラジル	1.4	15.8	61.2	5.8	0.0	0.7	15.1	0.0	139
	ベトナム	1.4	22.2	28.5	8.3	36.1	0.0	3.5	0.0	144
	フィリピン	2.4	17.1	22.0	26.8	17.1	0.0	14.6	0.0	41
	中国	4.8	42.9	4.8	19.0	14.3	0.0	14.3	0.0	21
	インドネシア	3.2	19.4	54.8	3.2	6.5	3.2	9.7	0.0	31
	その他	6.9	17.2	17.2	20.7	13.8	3.4	20.7	0.0	29
	在留資格	永住者	5.3	23.9	40.7	16.8	0.0	1.8	11.5	0.0
定住者		2.2	13.2	56.0	8.8	0.0	0.0	19.8	0.0	91
技能実習		0.0	0.0	16.7	0.0	81.9	0.0	1.4	0.0	72
技術・人文知識・国際業務		0.0	50.7	47.8	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	69
日本人・永住者の配偶者、家族滞在		2.6	10.5	26.3	36.8	0.0	0.0	23.7	0.0	38
その他		0.0	10.5	26.3	5.3	42.1	5.3	10.5	0.0	19
在住年数	6か月未満	6.7	33.3	33.3	6.7	0.0	0.0	20.0	0.0	15
	6か月以上1年未満	0.0	12.5	34.4	6.3	18.8	0.0	28.1	0.0	32
	1年以上2年未満	1.4	5.8	46.4	8.7	26.1	0.0	11.6	0.0	69
	2年以上3年未満	0.0	12.2	37.8	4.1	41.9	0.0	4.1	0.0	74
	3年以上5年未満	4.2	26.4	38.9	8.3	15.3	1.4	5.6	0.0	72
	5年以上10年未満	2.9	27.9	45.6	11.8	1.5	1.5	8.8	0.0	68
	10年以上	2.7	28.4	31.1	21.6	0.0	1.4	14.9	0.0	74

7) 前問で「働いていない」を選んだ方の現在の状況

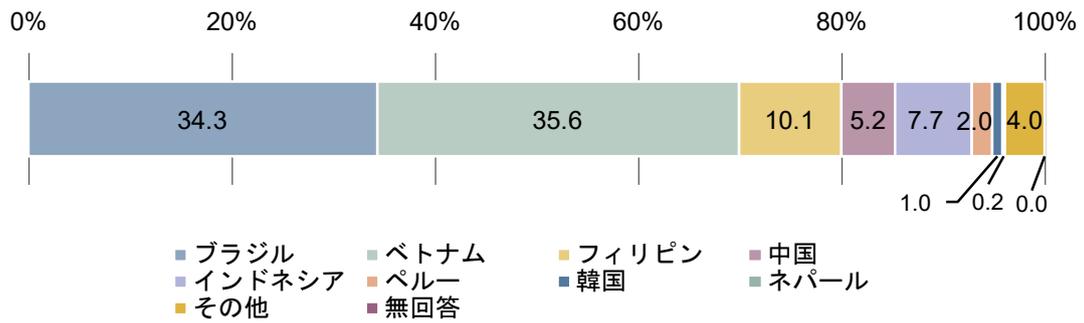
(職業について「働いていない」と回答した者 n=44)



【その他】

無職

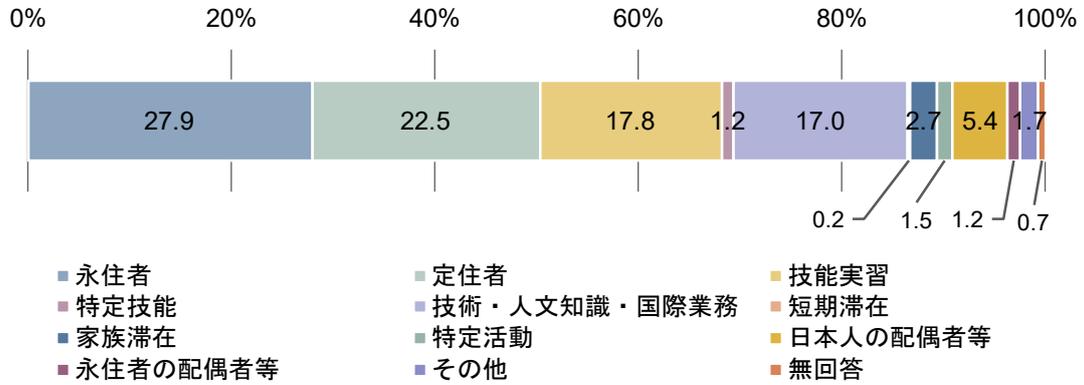
8) 国籍



【その他】

日本 (5) / タイ (3) / モンゴル (2) / 台湾 / 朝鮮 / ミャンマー / アメリカ / パラグアイ / ボリビア

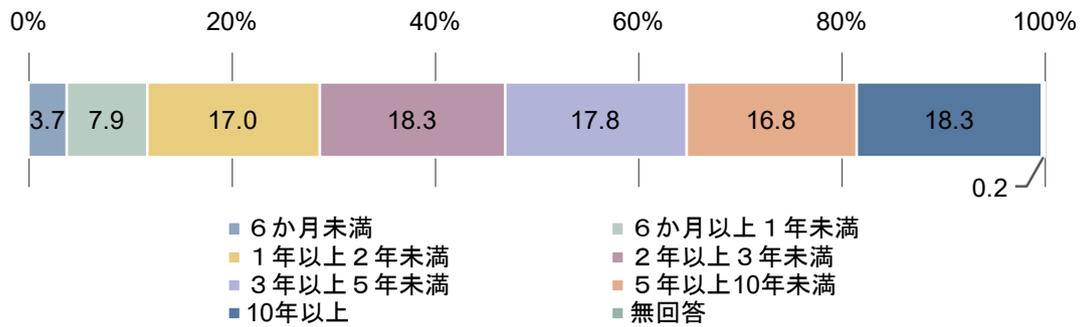
9) 在留資格



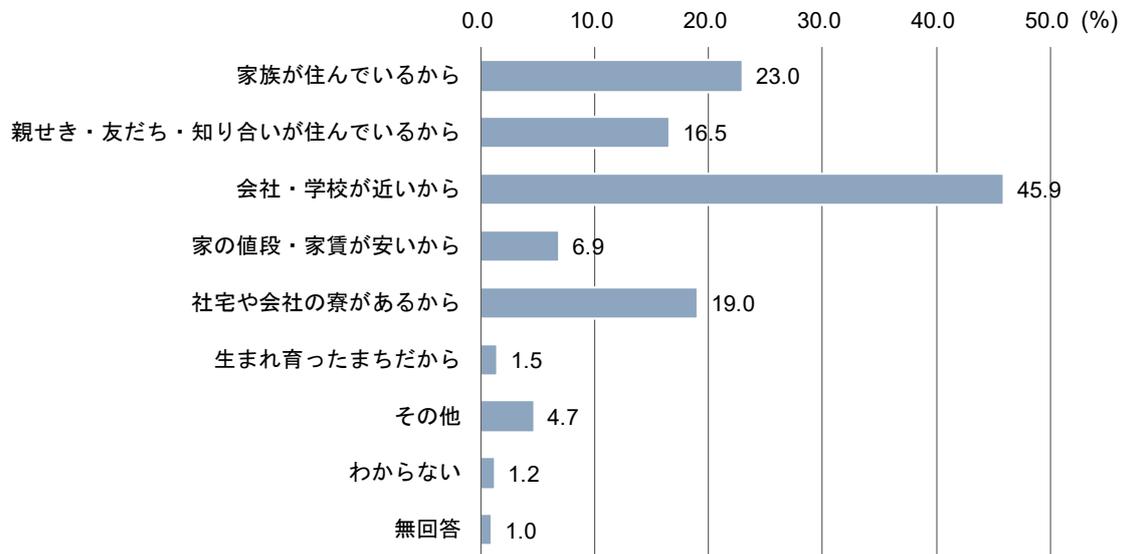
【その他】

特別永住者（2）／三世3年（原文ママ）

10) 居住年数



11) 西尾市の居住理由

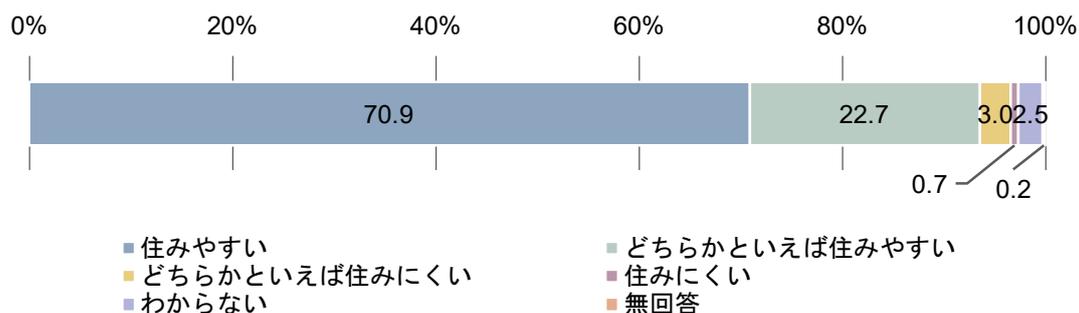


【その他】

土地・家を買ったから（4）／西尾市が好きだから（3）／仕事の関係で（2）／ペットが飼えて、自分の条件にあって、価格的にも合う賃貸物件が見つかったため／市役所の支援／より低価格な家／自分の家だけど土地だけは借りて払ってる／研修生（原文ママ）

	か家族が住んでいる	いるから	親せき・友だち・	会社・学校が近い	家の値段・家賃が	あるから	社宅や会社の寮が	だから	生まれ育ったまち	その他	わからない	無回答	全体
(%)													
全体	23.0	16.5	45.9	6.9	19.0	1.5	4.7	1.2	1.0	405			
国籍	ブラジル	22.3	16.5	51.1	7.2	10.8	0.7	7.2	0.7	139			
	ベトナム	13.2	24.3	52.8	2.8	27.8	0.0	1.4	2.8	144			
	フィリピン	41.5	4.9	34.1	12.2	7.3	0.0	9.8	0.0	41			
	中国	42.9	4.8	23.8	19.0	28.6	0.0	0.0	0.0	21			
	インドネシア	22.6	6.5	35.5	9.7	32.3	0.0	3.2	0.0	31			
	その他	34.5	13.8	31.0	6.9	10.3	17.2	6.9	0.0	29			
在留資格	永住者	35.4	15.9	41.6	11.5	6.2	3.5	8.0	0.9	113			
	定住者	25.3	16.5	46.2	6.6	9.9	1.1	5.5	0.0	91			
	技能実習	0.0	1.4	41.7	0.0	52.8	0.0	1.4	2.8	72			
	技術・人文知識・国際業務	13.0	31.9	66.7	5.8	15.9	0.0	1.4	2.9	69			
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	52.6	23.7	34.2	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	38			
	その他	5.3	5.3	26.3	0.0	52.6	5.3	5.3	0.0	19			
在住年数	6か月未満	26.7	6.7	33.3	13.3	33.3	0.0	0.0	0.0	15			
	6か月以上1年未満	18.8	18.8	40.6	15.6	15.6	0.0	3.1	0.0	32			
	1年以上2年未満	11.6	14.5	43.5	2.9	39.1	0.0	4.3	2.9	69			
	2年以上3年未満	12.2	18.9	47.3	1.4	27.0	0.0	2.7	2.7	74			
	3年以上5年未満	16.7	16.7	52.8	8.3	16.7	1.4	8.3	0.0	72			
	5年以上10年未満	33.8	22.1	51.5	5.9	7.4	0.0	1.5	0.0	68			
	10年以上	41.9	12.2	40.5	10.8	4.1	6.8	8.1	1.4	74			

12) 西尾市の住みやすさ

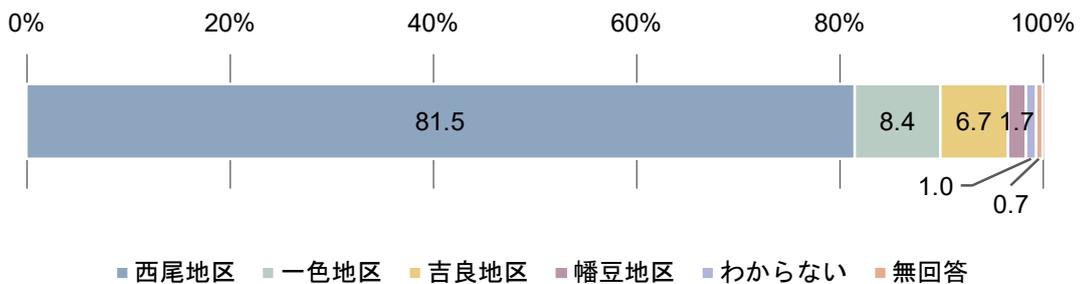


あなたが答えた回答の理由を書いてください

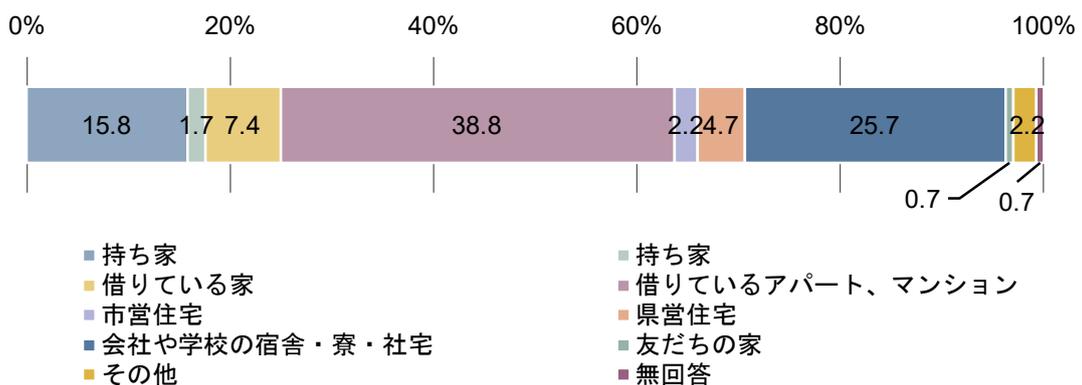
【カテゴリ名】 ※()内は意見の件数を表す。

治安、安全、安心に関すること (122) / 住みやすい・快適、便利、人が優しい (108)
 / 仕事、職場に関すること (56) / 外国人支援について (42) / スーパー、病院等の施設
 の利便性 (24) / 子育てに関すること (22) / 交通の利便性 (18) / 経済的・物価に
 に関すること (ずっと住んでいるから、慣れたから (8) / 学校・教育に関すること (7)
 / 西尾市についてもっと知りたい / マナーと責任

13) 居住地区



14) 居住する家

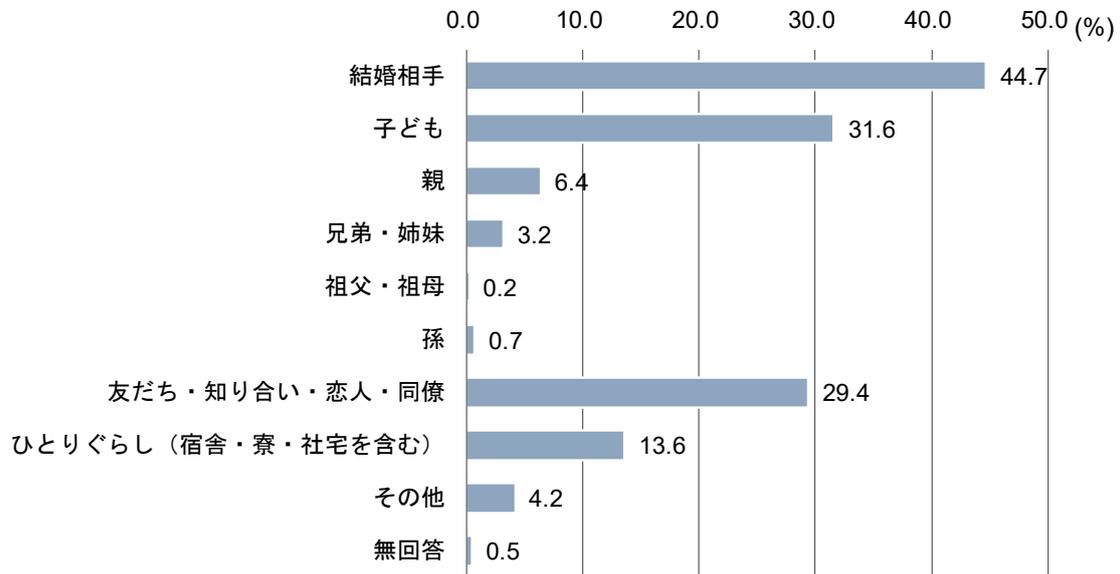


【その他】

ビレッジハウス / 親の家

		持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション)	借りている家 (一戸建て)	借りているアパート、 マンション	市営住宅	県営住宅	会社や学校の宿舎・寮・社 宅(会社が借りているア パートを含む)	友だちの家	その他	無回答	全体
	(%)											
	全体	15.8	1.7	7.4	38.8	2.2	4.7	25.7	0.7	2.2	0.7	405
国籍	ブラジル	19.4	2.2	2.9	45.3	2.2	5.8	18.0	1.4	2.9	0.0	139
	ベトナム	7.6	0.7	4.9	42.4	3.5	4.9	34.7	0.7	0.7	0.0	144
	フィリピン	19.5	2.4	22.0	29.3	0.0	2.4	14.6	0.0	4.9	4.9	41
	中国	42.9	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	38.1	0.0	0.0	4.8	21
	インドネシア	9.7	0.0	16.1	32.3	3.2	3.2	29.0	0.0	6.5	0.0	31
	その他	20.7	3.4	17.2	31.0	0.0	6.9	20.7	0.0	0.0	0.0	29
在留資格	永住者	42.5	4.4	6.2	27.4	0.9	2.7	10.6	0.9	4.4	0.0	113
	定住者	2.2	0.0	13.2	51.6	3.3	8.8	16.5	1.1	2.2	1.1	91
	技能実習	0.0	0.0	4.2	26.4	0.0	1.4	66.7	0.0	0.0	1.4	72
	技術・人文知識・国際業務	4.3	1.4	7.2	49.3	4.3	8.7	21.7	1.4	0.0	1.4	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	23.7	2.6	7.9	44.7	5.3	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	38
その他	5.3	0.0	0.0	36.8	0.0	5.3	52.6	0.0	0.0	0.0	19	
在住年数	6か月未満	13.3	0.0	6.7	40.0	6.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	15
	6か月以上1年未満	3.1	0.0	18.8	43.8	0.0	0.0	28.1	0.0	3.1	3.1	32
	1年以上2年未満	7.2	1.4	1.4	36.2	1.4	4.3	44.9	2.9	0.0	0.0	69
	2年以上3年未満	5.4	2.7	2.7	43.2	1.4	4.1	39.2	1.4	0.0	0.0	74
	3年以上5年未満	9.7	0.0	5.6	51.4	2.8	5.6	25.0	0.0	0.0	0.0	72
	5年以上10年未満	20.6	0.0	7.4	39.7	4.4	8.8	8.8	0.0	8.8	1.5	68
	10年以上	41.9	5.4	14.9	21.6	1.4	4.1	8.1	0.0	2.7	0.0	74

15) 同居者



【その他】

義理の親 (2) / 親せき (2)

	結婚相手	子ども	親	兄弟・姉妹	祖父・祖母	孫	友だち・恋人・知り合い・同僚	ひとりぐらし (宿舎・寮・社宅を含む)	その他	無回答	全体
(%)											
全体	44.7	31.6	6.4	3.2	0.2	0.7	29.4	13.6	4.2	0.5	405
国籍	ブラジル	55.4	40.3	7.9	2.2	0.0	7.9	19.4	7.9	0.0	139
	ベトナム	31.9	19.4	0.0	1.4	0.7	53.5	11.1	0.7	0.7	144
	フィリピン	53.7	46.3	14.6	9.8	0.0	22.0	7.3	2.4	2.4	41
	中国	52.4	33.3	14.3	0.0	0.0	23.8	14.3	4.8	0.0	21
	インドネシア	35.5	25.8	12.9	9.7	0.0	35.5	6.5	9.7	0.0	31
	その他	48.3	34.5	6.9	3.4	0.0	6.9	20.7	13.8	0.0	0.0
在留資格	永住者	55.8	47.8	13.3	2.7	0.9	7.1	16.8	8.0	0.0	113
	定住者	54.9	44.0	9.9	7.7	0.0	11.0	11.0	7.7	0.0	91
	技能実習	1.4	2.8	0.0	0.0	0.0	88.9	6.9	0.0	2.8	72
	技術・人文知識・国際業務	39.1	23.2	0.0	2.9	0.0	39.1	17.4	1.4	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	86.8	39.5	5.3	2.6	0.0	2.6	7.9	0.0	0.0	38
	その他	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	42.1	31.6	0.0	0.0	19
在住年数	6か月未満	20.0	6.7	0.0	13.3	0.0	26.7	33.3	6.7	0.0	15
	6か月以上1年未満	15.6	12.5	6.3	3.1	0.0	40.6	21.9	12.5	0.0	32
	1年以上2年未満	33.3	18.8	5.8	4.3	0.0	46.4	14.5	0.0	0.0	69
	2年以上3年未満	39.2	25.7	2.7	1.4	0.0	43.2	9.5	1.4	1.4	74
	3年以上5年未満	45.8	27.8	6.9	2.8	0.0	36.1	11.1	4.2	0.0	72
	5年以上10年未満	63.2	54.4	5.9	2.9	1.5	10.3	10.3	4.4	0.0	68
	10年以上	60.8	45.9	12.2	2.7	0.0	2.7	6.8	14.9	6.8	0.0

③ 回答結果について

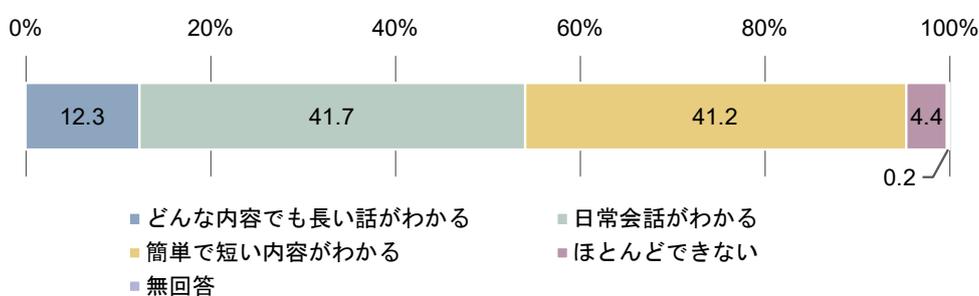
1) 言葉について

あなたの日本語レベルを教えてください。

n=405

○ 聞く

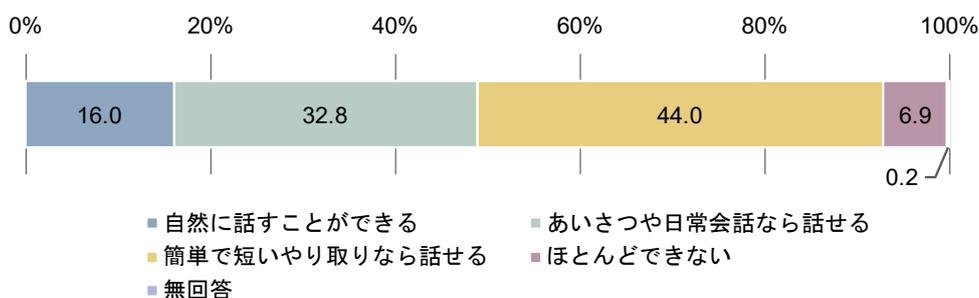
日本語レベル（「聞く」）について聞いたところ、「日常会話がわかる」が41.7%で最も多い。次いで「簡単で短い内容がわかる」（41.2%）、「どんな内容でも長い話がわかる」（12.3%）となっている。



		いどんな内容でも長い話がわかる (%)	日常会話がわかる	簡単で短い内容がわかる	ほとんどできない	無回答	全体
全体		12.3	41.7	41.2	4.4	0.2	405
国籍	ブラジル	12.9	49.6	33.8	3.6	0.0	139
	ベトナム	4.2	36.8	52.8	6.3	0.0	144
	フィリピン	22.0	34.1	34.1	7.3	2.4	41
	中国	23.8	38.1	33.3	4.8	0.0	21
	インドネシア	9.7	41.9	48.4	0.0	0.0	31
	その他	31.0	41.4	27.6	0.0	0.0	29
在留資格	永住者	28.3	43.4	25.7	2.7	0.0	113
	定住者	7.7	51.6	38.5	2.2	0.0	91
	技能実習	0.0	23.6	70.8	4.2	1.4	72
	技術・人文知識・国際業務	7.2	52.2	31.9	8.7	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	10.5	39.5	42.1	7.9	0.0	38
	その他	10.5	26.3	57.9	5.3	0.0	19

○ 話す

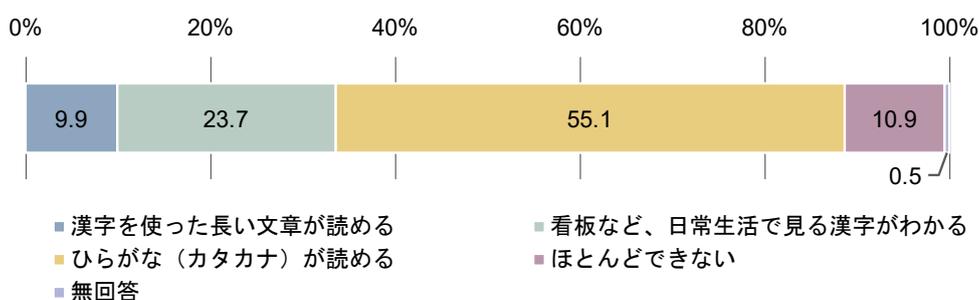
日本語レベル（「話す」）について聞いたところ、「簡単で短いやり取りなら話せる」が44.0%で最も多い。次いで「あいさつや日常会話なら話せる」（32.8%）、「自然に話すことができる」（16.0%）となっている。



		自然に話すことができる (%)	あいさつや日常会話なら話せる	簡単で短いやり取りなら話せる	ほとんどできない	無回答	全体
全体		16.0	32.8	44.0	6.9	0.2	405
国籍	ブラジル	14.4	30.9	41.0	13.7	0.0	139
	ベトナム	8.3	36.8	50.7	4.2	0.0	144
	フィリピン	24.4	41.5	29.3	2.4	2.4	41
	中国	38.1	19.0	33.3	9.5	0.0	21
	インドネシア	9.7	29.0	61.3	0.0	0.0	31
	その他	41.4	24.1	34.5	0.0	0.0	29
在留資格	永住者	33.6	23.9	35.4	7.1	0.0	113
	定住者	6.6	40.7	41.8	11.0	0.0	91
	技能実習	1.4	27.8	69.4	0.0	1.4	72
	技術・人文知識・国際業務	14.5	46.4	31.9	7.2	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	21.1	26.3	42.1	10.5	0.0	38
	その他	10.5	31.6	52.6	5.3	0.0	19

○ 読む

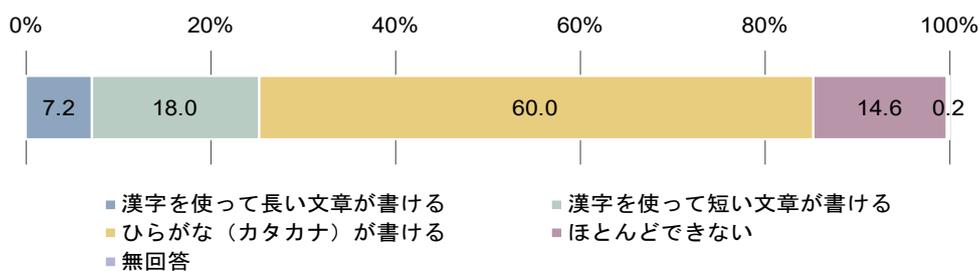
日本語レベル（「読む」）について聞いたところ、「ひらがな（カタカナ）が読める」が55.1%で最も多い。次いで「看板など、日常生活で見る漢字がわかる」（23.7%）、「ほとんどできない」（10.9%）となっている。



		文章が読める長い	漢字を使った長い	か活看ナひ	るで板らがら	るで見る漢字が日常生活	るが読める（カタカナ）	ほとんどできない	無回答	全体
		(%)								
全体		9.9	23.7	55.1	10.9	0.5	405			
国籍	ブラジル	8.6	15.8	56.8	18.7	0.0	139			
	ベトナム	4.2	32.6	59.0	4.2	0.0	144			
	フィリピン	4.9	9.8	61.0	19.5	4.9	41			
	中国	42.9	52.4	4.8	0.0	0.0	21			
	インドネシア	3.2	16.1	74.2	6.5	0.0	31			
	その他	34.5	24.1	34.5	6.9	0.0	29			
在留資格	永住者	23.0	20.4	46.0	10.6	0.0	113			
	定住者	3.3	14.3	59.3	23.1	0.0	91			
	技能実習	0.0	22.2	76.4	0.0	1.4	72			
	技術・人文知識・国際業務	10.1	43.5	40.6	5.8	0.0	69			
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	7.9	18.4	60.5	10.5	2.6	38			
	その他	5.3	26.3	52.6	15.8	0.0	19			

○ 書く

日本語レベル（「書く」）について聞いたところ、「ひらがな（カタカナ）が書ける」が60.0%で最も多い。次いで「漢字を使って短い文章が書ける」（18.0%）、「ほとんどできない」（14.6%）となっている。

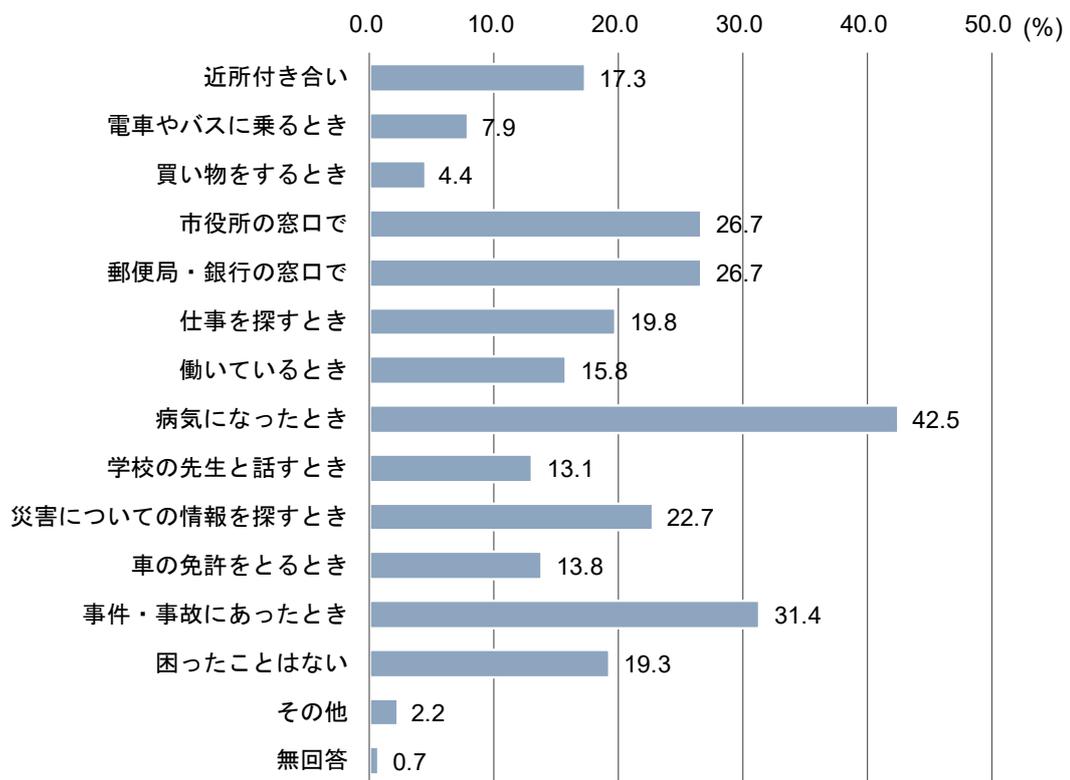


		文章が書ける長い	文章が書ける短い	ひらがな（カタカナ）が書ける	ほとんどできない	無回答	全体
		(%)					
全体		7.2	18.0	60.0	14.6	0.2	405
国籍	ブラジル	6.5	10.1	58.3	25.2	0.0	139
	ベトナム	2.8	22.9	70.1	4.2	0.0	144
	フィリピン	7.3	14.6	53.7	22.0	2.4	41
	中国	23.8	42.9	33.3	0.0	0.0	21
	インドネシア	3.2	9.7	71.0	16.1	0.0	31
	その他	24.1	27.6	34.5	13.8	0.0	29
在留資格	永住者	16.8	21.2	46.9	15.0	0.0	113
	定住者	3.3	7.7	58.2	30.8	0.0	91
	技能実習	0.0	15.3	80.6	2.8	1.4	72
	技術・人文知識・国際業務	7.2	33.3	55.1	4.3	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	2.6	13.2	68.4	15.8	0.0	38
	その他	5.3	5.3	73.7	15.8	0.0	19

あなたはどんな時に日本語で困りますか。あてはまる番号すべてに☑をしてください。

n=405

どんな時に日本語で困るか聞いたところ、「病気になったとき」が42.5%で最も多く、4割を占めている。次いで「事件・事故にあったとき」(31.4%)、「市役所の窓口で」(26.7%)、「郵便局・銀行の窓口で」(26.7%)となっている。



【その他】

日本語を読むとき(2) / 日本語だから電話に出る時はいつも緊張する。“合ってるのか”とか、まあ頑張るしかない / ニュースを聞くとき (言葉はもっと難しくなる) / 状況によって変わる

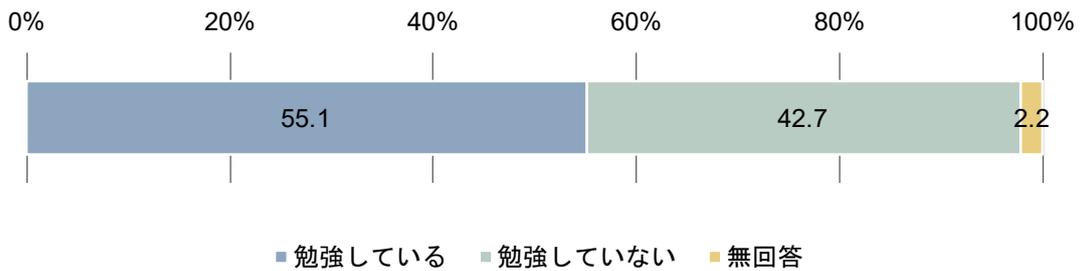
		近所付き合 い	電車 やバ スに 乗る とき	買 い物 をす ると き	市 役所 の窓 口で	口で 郵便 局・ 銀行 の窓	仕 事 を 探 す と き	働 い て い る と き	病 気 に な つ た と き	と き 学 校 の 先 生 と 話 す	災 害 に つ い て の 情 報 を 探 す と き	車 の 免 許 を と る と き
		(%)										
全体		17.3	7.9	4.4	26.7	26.7	19.8	15.8	42.5	13.1	22.7	13.8
国籍	ブラジル	25.2	8.6	3.6	14.4	34.5	24.5	18.0	42.4	15.1	22.3	10.1
	ベトナム	16.0	9.7	6.9	43.1	25.7	18.8	17.4	59.0	14.6	25.7	19.4
	フィリピン	12.2	9.8	4.9	29.3	26.8	17.1	9.8	19.5	12.2	29.3	7.3
	中国	9.5	4.8	0.0	14.3	19.0	14.3	14.3	28.6	4.8	4.8	23.8
	インドネシア	12.9	0.0	0.0	19.4	6.5	12.9	19.4	25.8	6.5	12.9	12.9
	その他	3.4	3.4	3.4	17.2	20.7	17.2	3.4	20.7	10.3	24.1	6.9
在留資格	永住者	22.1	4.4	3.5	15.9	22.1	18.6	15.0	25.7	15.9	22.1	8.0
	定住者	15.4	9.9	4.4	17.6	34.1	24.2	9.9	45.1	15.4	23.1	14.3
	技能実習	11.1	9.7	4.2	44.4	25.0	4.2	22.2	38.9	1.4	15.3	8.3
	技術・人文知識・国際業務	21.7	5.8	7.2	33.3	27.5	30.4	23.2	66.7	18.8	34.8	30.4
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	13.2	7.9	2.6	36.8	34.2	26.3	7.9	52.6	15.8	26.3	13.2
その他	15.8	21.1	5.3	15.8	10.5	15.8	15.8	31.6	5.3	5.3	10.5	
在住年数	6か月未満	20.0	6.7	6.7	26.7	20.0	26.7	26.7	20.0	20.0	13.3	40.0
	6か月以上1年未満	21.9	15.6	9.4	34.4	34.4	25.0	21.9	53.1	12.5	34.4	28.1
	1年以上2年未満	30.4	14.5	10.1	37.7	42.0	29.0	27.5	49.3	14.5	24.6	18.8
	2年以上3年未満	13.5	9.5	1.4	37.8	35.1	18.9	14.9	51.4	12.2	23.0	12.2
	3年以上5年未満	13.9	4.2	1.4	25.0	22.2	19.4	12.5	48.6	11.1	25.0	13.9
	5年以上10年未満	17.6	5.9	4.4	23.5	19.1	14.7	13.2	33.8	14.7	22.1	8.8
	10年以上	9.5	2.7	2.7	6.8	13.5	13.5	6.8	29.7	12.2	16.2	4.1

		と事 件・ 事 故 に あ つ た と き	困 つ た こ と は な い	そ の 他	無 回 答	全 体
		(%)				
全体		31.4	19.3	2.2	0.7	405
国籍	ブラジル	33.1	22.3	2.9	0.7	139
	ベトナム	38.2	9.0	1.4	0.0	144
	フィリピン	19.5	31.7	2.4	4.9	41
	中国	42.9	33.3	4.8	0.0	21
	インドネシア	12.9	16.1	0.0	0.0	31
	その他	17.2	31.0	3.4	0.0	29
在留資格	永住者	34.5	33.6	5.3	0.9	113
	定住者	25.3	19.8	1.1	0.0	91
	技能実習	11.1	9.7	0.0	1.4	72
	技術・人文知識・国際業務	55.1	7.2	1.4	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	36.8	15.8	2.6	2.6	38
その他	21.1	21.1	0.0	0.0	19	
在住年数	6か月未満	26.7	20.0	0.0	0.0	15
	6か月以上1年未満	40.6	6.3	0.0	0.0	32
	1年以上2年未満	33.3	11.6	2.9	1.4	69
	2年以上3年未満	31.1	8.1	0.0	0.0	74
	3年以上5年未満	27.8	19.4	0.0	0.0	72
	5年以上10年未満	35.3	27.9	4.4	0.0	68
	10年以上	27.0	35.1	5.4	1.4	74

あなたは日本語を勉強していますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

日本語の勉強について聞いたところ、「勉強している」が55.1%で、「勉強していない」が42.7%となっている。

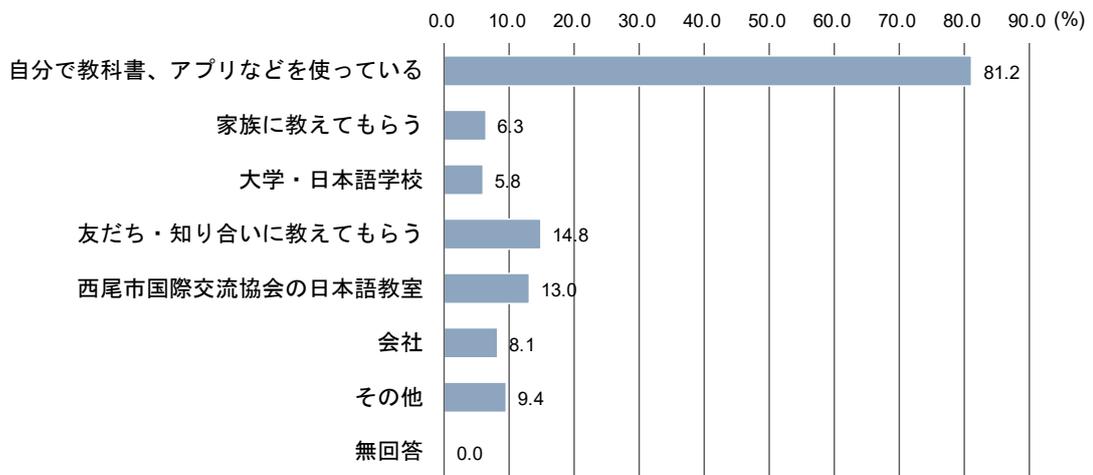


		勉強している (%)	勉強していない	無回答	全体
全体		55.1	42.7	2.2	405
国籍	ブラジル	35.3	64.7	0.0	139
	ベトナム	77.8	20.1	2.1	144
	フィリピン	39.0	51.2	9.8	41
	中国	38.1	57.1	4.8	21
	インドネシア	80.6	16.1	3.2	31
	その他	44.8	55.2	0.0	29
	在留資格	永住者	32.7	65.5	1.8
定住者		47.3	52.7	0.0	91
技能実習		84.7	9.7	5.6	72
技術・人文知識・国際業務		69.6	29.0	1.4	69
日本人・永住者の配偶者、家族滞在		52.6	44.7	2.6	38
その他		63.2	36.8	0.0	19
在住年数	6か月未満	93.3	6.7	0.0	15
	6か月以上1年未満	62.5	28.1	9.4	32
	1年以上2年未満	63.8	31.9	4.3	69
	2年以上3年未満	73.0	27.0	0.0	74
	3年以上5年未満	54.2	45.8	0.0	72
	5年以上10年未満	42.6	57.4	0.0	68
	10年以上	31.1	66.2	2.7	74

あなたはどのようにして日本語を勉強していますか。あてはまる番号すべてに☑をしてください。

日本語を「勉強している」と回答した者 n=223

日本語の勉強方法について聞いたところ、「自分で教科書、アプリなどを使っている」が81.2%で最も多く、8割を占めている。次いで「友だち・知り合いに教えてもらう」(14.8%)、「西尾市国際交流会の日本語教室」(13.0%)となっている。



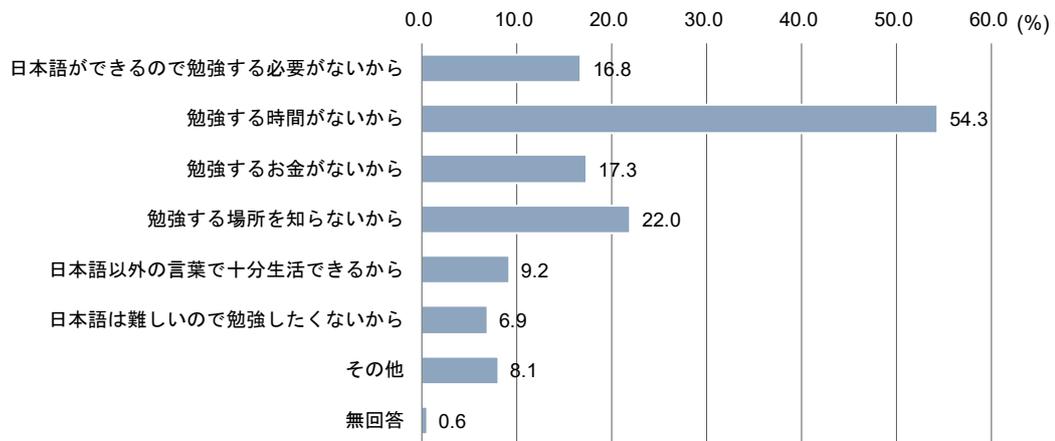
【その他】

塾、教室、家庭教師（7）／会社で（5）／保育園から高校まで／東京で1.3年間留学生でした（原文ママ）／コミュニケーション／日本人の主人と日本人の友達にいろいろ聞いたり話したりする

あなたはなぜ日本語を勉強していないのですか。あてはまる番号すべてに☑をしてください。

日本語を「勉強していない」と回答した者 n=173

日本語を勉強していない理由を聞いたところ、「勉強する時間がないから」が54.3%で最も多く、5割を占めている。次いで「勉強する場所を知らないから」(22.0%)、「勉強するお金がないから」(17.3%)となっている。



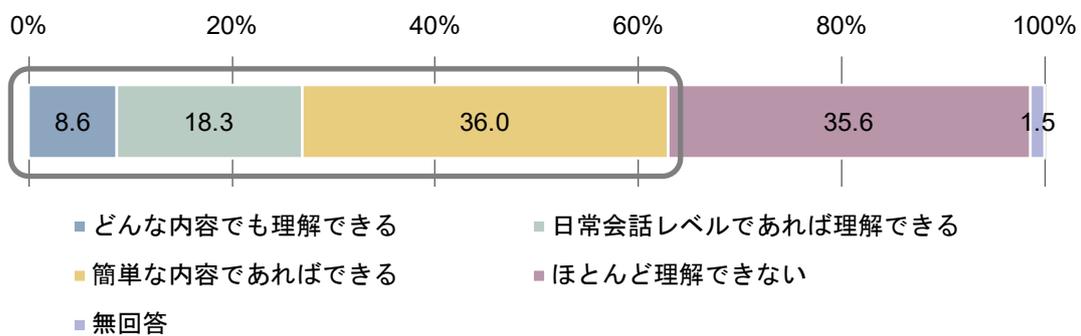
【その他】

日本語が難しいから (2) /モチベーションがないから (2) /日本には短期間滞在する予定 /漢字のみを学習予定の為 /知っている中で何とかなる

あなたは英語が理解できますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

英語の理解力については「簡単な内容であればできる」が36.0%で最も多い。次いで「ほとんど理解できない」(35.6%)、「日常会話レベルであれば理解できる」(18.3%)となっている。ある程度以上の英語が理解できるのは約6割となっている。



国籍別にみると、「どんな内容でも理解できる」との回答が、フィリピンは約4割となっている。

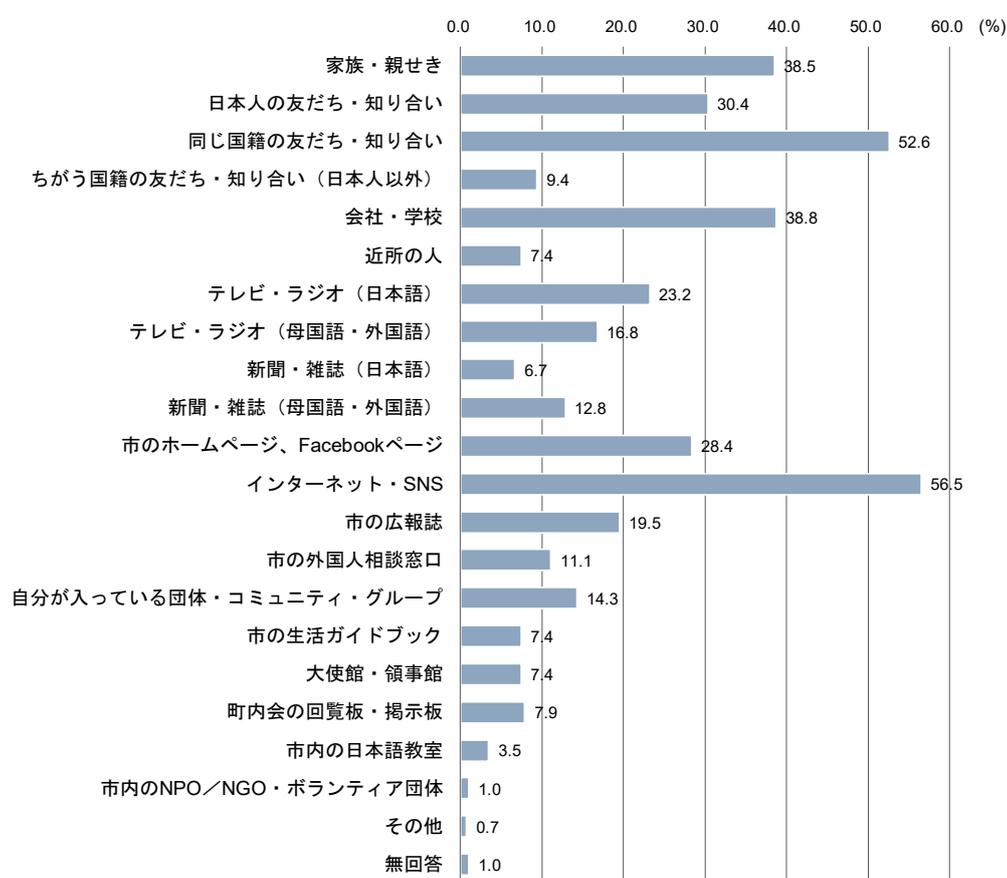
		どんな内容でも理解できる (%)	日常会話レベルであれば理解できる (%)	簡単な内容であればできる (%)	ほとんど理解できない (%)	無回答 (%)	全体 (人数)
全体		8.6	18.3	36.0	35.6	1.5	405
国籍	ブラジル	7.9	23.0	33.8	34.5	0.7	139
	ベトナム	0.7	14.6	34.0	50.0	0.7	144
	フィリピン	43.9	31.7	22.0	0.0	2.4	41
	中国	4.8	4.8	61.9	23.8	4.8	21
	インドネシア	3.2	9.7	54.8	29.0	3.2	31
	その他	10.3	13.8	37.9	34.5	3.4	29
在留資格	永住者	13.3	18.6	34.5	31.9	1.8	113
	定住者	9.9	27.5	37.4	25.3	0.0	91
	技能実習	2.8	6.9	43.1	43.1	4.2	72
	技術・人文知識・国際業務	4.3	17.4	42.0	34.8	1.4	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	13.2	18.4	23.7	44.7	0.0	38
	その他	5.3	21.1	21.1	52.6	0.0	19

2) 日常生活について

あなたは生活に必要な情報をどこから得ていますか。あてはまる番号すべてにをしてください。

n=405

生活に必要な情報の取得方法を聞いたところ、「インターネット・SNS」(56.5%)「同じ国籍の友だち・知り合い」(52.6%)が多く、次いで「会社・学校」(38.8%)、「家族・親せき」(38.5%)となっている。



【その他】

オンライン翻訳を使う／NHK ニュース、YouTube 等

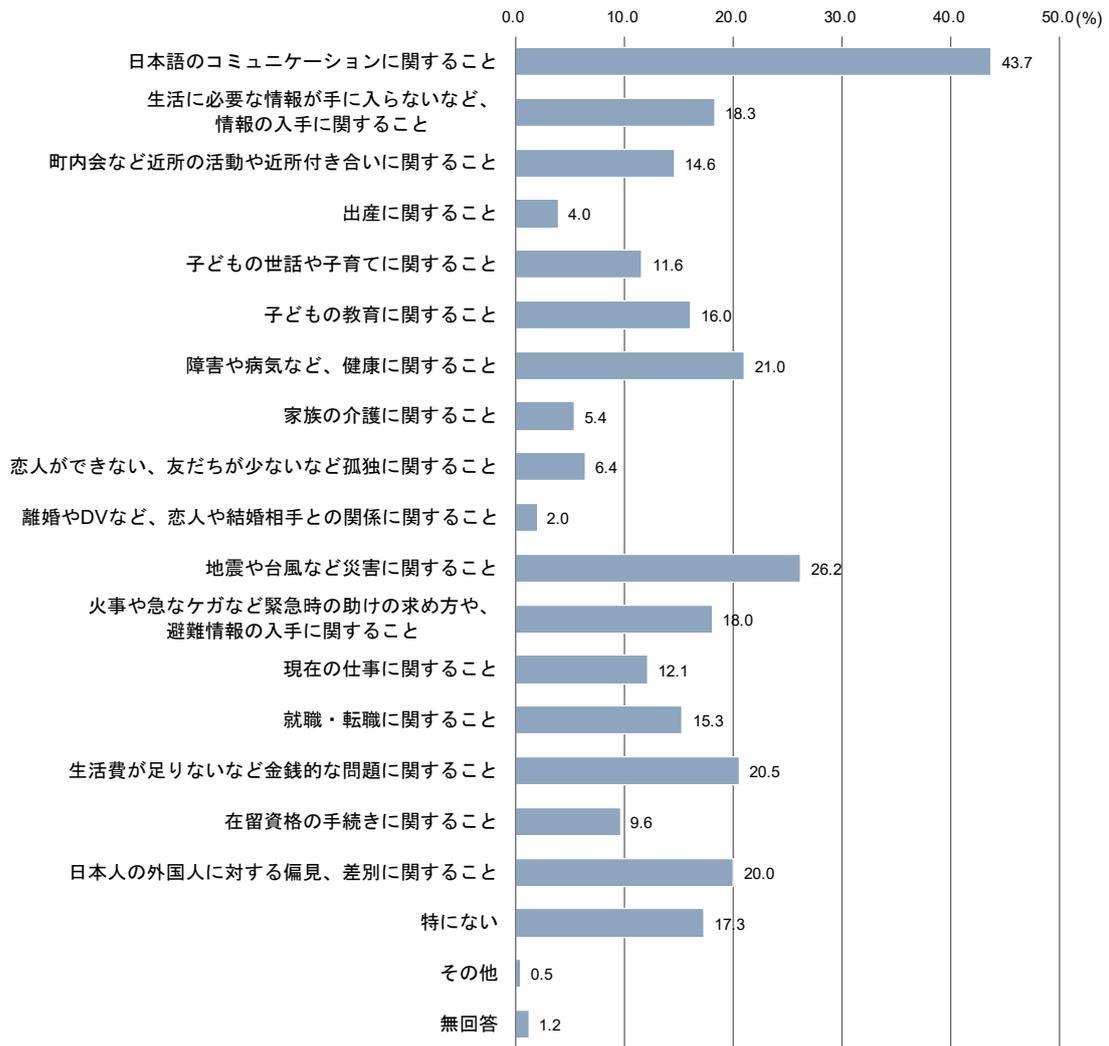
	家族・親せき	日本人の友だち・知り合い	同じ国籍の友だち・知り合い	人以外)	ちがう国籍の友だち・知り合い(日本)	会社・学校	近所の人	テレビ・ラジオ(日本語)	テレビ・ラジオ(母国語・外国語)	新聞・雑誌(日本語)	新聞・雑誌(母国語・外国語)	市のホームページ、Facebook
(%)												
全体	38.5	30.4	52.6	9.4	38.8	7.4	23.2	16.8	6.7	12.8	28.4	
国籍	ブラジル	49.6	25.9	56.8	8.6	41.7	5.0	22.3	15.8	0.7	19.4	27.3
	ベトナム	23.6	27.1	57.6	6.3	36.1	5.6	15.3	16.7	6.9	9.7	37.5
	フィリピン	58.5	56.1	53.7	26.8	36.6	12.2	34.1	29.3	7.3	12.2	17.1
	中国	47.6	52.4	57.1	0.0	38.1	23.8	61.9	19.0	33.3	4.8	23.8
	インドネシア	19.4	22.6	35.5	12.9	41.9	3.2	12.9	6.5	0.0	6.5	19.4
	その他	44.8	24.1	20.7	6.9	37.9	13.8	34.5	13.8	20.7	10.3	17.2
在留資格	永住者	48.7	31.9	42.5	12.4	38.1	8.8	40.7	22.1	9.7	18.6	28.3
	定住者	51.6	34.1	63.7	12.1	36.3	5.5	12.1	16.5	1.1	9.9	27.5
	技能実習	12.5	37.5	43.1	4.2	43.1	4.2	12.5	9.7	5.6	8.3	13.9
	技術・人文知識・国際業務	18.8	26.1	66.7	7.2	44.9	10.1	20.3	14.5	10.1	5.8	47.8
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	68.4	23.7	57.9	10.5	28.9	7.9	31.6	23.7	5.3	23.7	26.3
その他	21.1	10.5	26.3	0.0	36.8	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	21.1	
在住年数	6か月未満	26.7	26.7	46.7	0.0	40.0	6.7	20.0	6.7	0.0	0.0	26.7
	6か月以上1年未満	28.1	25.0	53.1	6.3	31.3	6.3	18.8	15.6	6.3	18.8	25.0
	1年以上2年未満	36.2	20.3	58.0	14.5	37.7	4.3	8.7	15.9	1.4	14.5	24.6
	2年以上3年未満	33.8	23.0	59.5	4.1	45.9	4.1	10.8	12.2	5.4	12.2	35.1
	3年以上5年未満	40.3	33.3	59.7	11.1	44.4	9.7	19.4	25.0	6.9	15.3	30.6
	5年以上10年未満	36.8	39.7	51.5	10.3	41.2	10.3	30.9	16.2	11.8	7.4	33.8
10年以上	52.7	39.2	36.5	10.8	28.4	9.5	48.6	17.6	9.5	14.9	20.3	

	S N S インターネット	市の広報誌	市の外国人相談窓口	グループ・コミュニティ	自分が入っている団体	市の生活ガイドブック	大使館・領事館	示板	町内会の回覧板・掲示板	市内の日本語教室	市内の日本語教室	市内の日本語教室	その他	無回答	全体
(%)															
全体	56.5	19.5	11.1	14.3	7.4	7.4	7.9	3.5	1.0	0.7	1.0	405			
国籍	ブラジル	66.2	30.2	23.0	12.9	5.8	5.8	5.0	1.4	0.7	0.0	139			
	ベトナム	54.9	12.5	6.3	20.1	9.0	6.9	9.0	5.6	0.7	0.0	144			
	フィリピン	51.2	19.5	2.4	4.9	9.8	7.3	4.9	4.9	4.9	2.4	41			
	中国	52.4	23.8	0.0	4.8	9.5	14.3	23.8	0.0	0.0	0.0	21			
	インドネシア	35.5	6.5	3.2	19.4	9.7	16.1	0.0	3.2	0.0	3.2	31			
	その他	51.7	13.8	6.9	6.9	0.0	3.4	17.2	3.4	0.0	0.0	29			
在留資格	永住者	60.2	32.7	15.0	8.0	4.4	9.7	15.0	1.8	1.8	0.0	113			
	定住者	58.2	20.9	17.6	8.8	6.6	5.5	3.3	4.4	1.1	3.3	91			
	技能実習	51.4	1.4	4.2	27.8	8.3	9.7	5.6	2.8	0.0	0.0	72			
	技術・人文知識・国際業務	58.0	14.5	4.3	10.1	10.1	5.8	8.7	5.8	0.0	0.0	69			
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	52.6	21.1	13.2	26.3	13.2	5.3	2.6	2.6	2.6	0.0	38			
その他	47.4	15.8	5.3	15.8	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	19				
在住年数	6か月未満	53.3	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	15			
	6か月以上1年未満	53.1	12.5	12.5	9.4	12.5	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	32			
	1年以上2年未満	50.7	15.9	7.2	18.8	10.1	4.3	2.9	2.9	0.0	2.9	69			
	2年以上3年未満	68.9	21.6	13.5	17.6	9.5	10.8	4.1	6.8	1.4	0.0	74			
	3年以上5年未満	65.3	13.9	16.7	23.6	5.6	8.3	5.6	2.8	0.0	0.0	72			
	5年以上10年未満	50.0	25.0	8.8	8.8	7.4	8.8	14.7	4.4	0.0	0.0	68			
10年以上	50.0	27.0	8.1	8.1	4.1	9.5	14.9	1.4	4.1	1.4	74				

あなたが現在不安に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに☑をしてください。

n=405

現在不安に感じていることについては、「日本語のコミュニケーションに関すること」が43.7%で最も多く、4割を占めている。次いで「地震や台風など災害に関すること」(26.2%)、「障害や病気など、健康に関すること」(21.0%)となっている。



【その他】

日本に長く住んでるのに未だにビザが一年しかもらえないから、毎年お金かかる／広報のアナウンスがわかりづらい。とくに男性がはっきりとしゃべらない

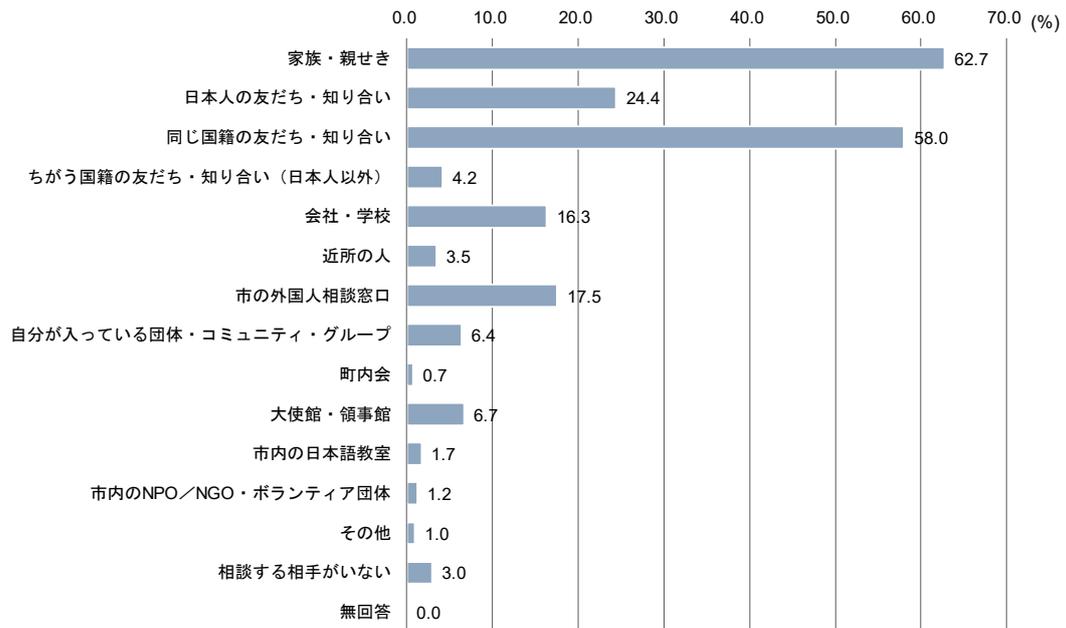
		日本語のコミュニケーションに関すること	生活に必要な情報が入らないなど、情報の入手に関すること	町内会など近所の活動や近所付き合いに関すること	出産に関すること	子どもの世話や子育てに関すること	子どもの教育に関すること	障害や病気など、健康に関すること	家族の介護に関すること	恋人ができない、友だちが少ないなど孤独に関すること	離婚やDVなど、恋人や結婚相手との関係に関すること	地震や台風など災害に関すること
全体		43.7	18.3	14.6	4.0	11.6	16.0	21.0	5.4	6.4	2.0	26.2
国籍	ブラジル	43.9	13.7	16.5	0.7	9.4	11.5	12.9	4.3	4.3	2.2	20.9
	ベトナム	54.2	22.9	13.9	6.9	11.8	18.8	36.8	7.6	6.9	2.1	31.3
	フィリピン	31.7	22.0	19.5	4.9	22.0	34.1	24.4	4.9	4.9	2.4	39.0
	中国	28.6	19.0	19.0	4.8	19.0	19.0	9.5	0.0	14.3	4.8	33.3
	インドネシア	45.2	19.4	9.7	3.2	9.7	6.5	0.0	3.2	9.7	0.0	9.7
	その他	17.2	10.3	3.4	3.4	3.4	6.9	6.9	6.9	6.9	0.0	20.7
在留資格	永住者	32.7	14.2	22.1	0.9	11.5	19.5	12.4	4.4	8.0	3.5	23.0
	定住者	41.8	16.5	9.9	2.2	12.1	18.7	13.2	3.3	4.4	0.0	20.9
	技能実習	52.8	8.3	9.7	1.4	1.4	2.8	26.4	1.4	4.2	1.4	20.8
	技術・人文知識・国際業務	55.1	37.7	17.4	8.7	18.8	18.8	36.2	10.1	7.2	0.0	37.7
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	50.0	21.1	10.5	10.5	18.4	21.1	28.9	10.5	5.3	5.3	28.9
その他	31.6	15.8	10.5	10.5	5.3	10.5	21.1	10.5	15.8	5.3	42.1	
在住年数	6か月未満	46.7	40.0	6.7	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	20.0	6.7	20.0
	6か月以上1年未満	53.1	34.4	15.6	3.1	9.4	9.4	31.3	9.4	12.5	3.1	25.0
	1年以上2年未満	63.8	13.0	14.5	7.2	10.1	8.7	21.7	4.3	8.7	1.4	24.6
	2年以上3年未満	50.0	17.6	17.6	6.8	12.2	14.9	32.4	12.2	6.8	1.4	31.1
	3年以上5年未満	54.2	23.6	13.9	4.2	6.9	13.9	15.3	1.4	4.2	0.0	23.6
	5年以上10年未満	26.5	14.7	10.3	2.9	23.5	33.8	16.2	2.9	4.4	1.5	25.0
10年以上	20.3	10.8	17.6	0.0	8.1	14.9	16.2	5.4	2.7	4.1	28.4	

		報の助けや急なケガなど緊急時の対応に関すること	現在の仕事に関すること	就職・転職に関すること	生活費が足りないなど金銭的な問題に関すること	在留資格の手続きに関すること	見、日本人の外国人に対する偏見、差別に関すること	特にな	その他	無回答	全体
全体		18.0	12.1	15.3	20.5	9.6	20.0	17.3	0.5	1.2	405
国籍	ブラジル	10.8	15.1	16.5	28.1	3.6	20.1	20.9	0.0	0.0	139
	ベトナム	20.1	15.3	18.8	11.8	14.6	20.8	11.1	0.0	1.4	144
	フィリピン	34.1	4.9	12.2	34.1	17.1	9.8	14.6	2.4	2.4	41
	中国	14.3	9.5	23.8	23.8	14.3	23.8	23.8	0.0	4.8	21
	インドネシア	25.8	0.0	3.2	12.9	9.7	32.3	12.9	0.0	3.2	31
	その他	13.8	6.9	3.4	13.8	0.0	13.8	34.5	3.4	0.0	29
在留資格	永住者	15.0	11.5	17.7	27.4	1.8	22.1	23.0	0.9	0.0	113
	定住者	16.5	11.0	8.8	30.8	7.7	17.6	15.4	0.0	0.0	91
	技能実習	12.5	6.9	2.8	5.6	5.6	16.7	16.7	0.0	4.2	72
	技術・人文知識・国際業務	27.5	20.3	31.9	18.8	23.2	30.4	10.1	0.0	1.4	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	26.3	10.5	18.4	10.5	18.4	13.2	23.7	2.6	0.0	38
その他	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	10.5	10.5	0.0	0.0	19	
在住年数	6か月未満	13.3	6.7	26.7	13.3	26.7	40.0	13.3	0.0	0.0	15
	6か月以上1年未満	15.6	18.8	18.8	28.1	15.6	15.6	12.5	0.0	9.4	32
	1年以上2年未満	21.7	18.8	18.8	17.4	8.7	29.0	14.5	0.0	0.0	69
	2年以上3年未満	17.6	12.2	17.6	13.5	10.8	12.2	13.5	0.0	0.0	74
	3年以上5年未満	15.3	13.9	13.9	18.1	6.9	16.7	12.5	0.0	0.0	72
	5年以上10年未満	14.7	5.9	13.2	25.9	11.8	22.1	22.1	0.0	0.0	68
10年以上	23.0	8.1	9.5	24.3	4.1	18.9	27.0	2.7	1.4	74	

あなたが困った時は、どこに・だれに相談しますか。あてはまる番号すべてに☑をしてください。

n=405

困った時の相談先を聞いたところ、「家族・親せき」(62.7%)、「同じ国籍の友だち・知り合い」(58.0%)が多く、次いで「日本人の友だち・知り合い」(24.4%)となっている。



【その他】

インターネット／派遣会社のスタッフ (担当者)

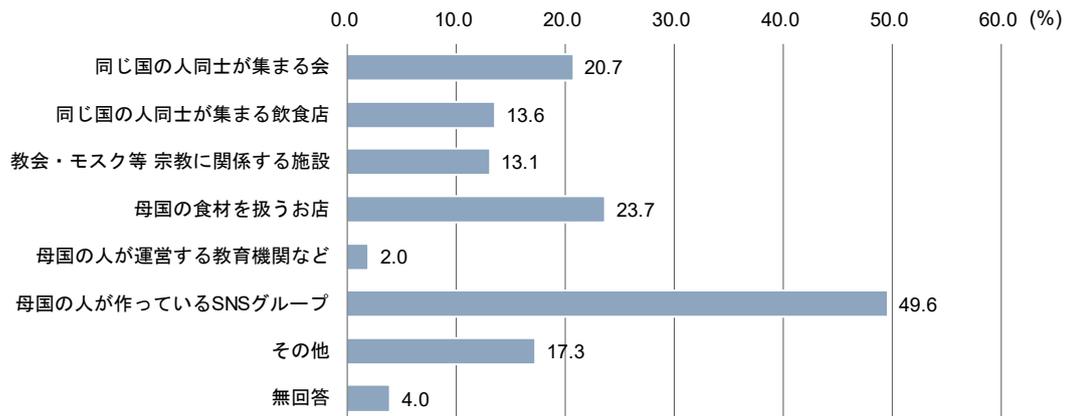
	家族・親せき	日本人の 知り合い の友だち・	同じ国籍の 知り合い の友だち	ちがう国籍 の知り合い (日本人以外)	ちがう国籍 の知り合い (日本人以外)	会社・学校	近所の人	市の外国人 相談窓口	団体・グル ープ・ユニ オンのコ ミュニティ	自分が入 っている 町内会	大使館・ 領事館	市内の 日本語 教室
全体	62.7	24.4	58.0	4.2	16.3	3.5	17.5	6.4	0.7	6.7	1.7	
国籍	ブラジル	62.6	23.7	60.4	2.9	19.4	2.9	31.7	2.9	0.7	7.2	2.2
	ベトナム	60.4	16.7	66.7	4.2	16.0	2.8	4.2	9.0	0.0	4.9	2.1
	フィリピン	78.0	39.0	53.7	9.8	7.3	2.4	22.0	9.8	0.0	2.4	0.0
	中国	71.4	57.1	57.1	4.8	28.6	14.3	14.3	4.8	4.8	19.0	0.0
	インドネシア	45.2	19.4	48.4	3.2	12.9	0.0	16.1	0.0	3.2	12.9	3.2
	その他	65.5	27.6	20.7	3.4	10.3	6.9	13.8	13.8	0.0	3.4	0.0
	在留資格	永住者	62.8	32.7	54.0	2.7	18.6	7.1	27.4	3.5	1.8	12.4
定住者		72.5	23.1	52.7	5.5	11.0	1.1	30.8	4.4	1.1	4.4	3.3
技能実習		51.4	19.4	56.9	4.2	13.9	1.4	1.4	6.9	0.0	5.6	0.0
技術・人文知識・国際業務		52.2	29.0	76.8	4.3	24.6	2.9	4.3	14.5	0.0	5.8	2.9
日本人・永住者の配偶者、家族滞在		89.5	18.4	52.6	5.3	13.2	2.6	18.4	7.9	0.0	2.6	0.0
その他		36.8	0.0	47.4	5.3	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
在住年数	6か月未満	60.0	33.3	53.3	0.0	13.3	0.0	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0
	6か月以上1年未満	65.6	31.3	65.6	9.4	18.8	9.4	15.6	0.0	0.0	3.1	3.1
	1年以上2年未満	53.6	15.9	62.3	5.8	8.7	0.0	17.4	7.2	0.0	2.9	2.9
	2年以上3年未満	66.2	10.8	60.8	1.4	16.2	1.4	14.9	5.4	0.0	8.1	2.7
	3年以上5年未満	58.3	29.2	69.4	5.6	22.2	4.2	19.4	11.1	0.0	4.2	1.4
	5年以上10年未満	58.8	23.5	52.9	2.9	23.5	2.9	29.4	5.9	0.0	10.3	1.5
	10年以上	74.3	37.8	41.9	2.7	10.8	6.8	9.5	5.4	4.1	9.5	0.0

	市内の NPO・ボ ランティア 団体	その他	相談する 相手がい ない	無回答	全体	
全体	1.2	1.0	3.0	0.0	405	
国籍	ブラジル	0.7	1.4	5.8	0.0	139
	ベトナム	0.7	0.7	0.7	0.0	144
	フィリピン	2.4	2.4	2.4	0.0	41
	中国	0.0	0.0	0.0	0.0	21
	インドネシア	6.5	0.0	0.0	0.0	31
	その他	0.0	0.0	6.9	0.0	29
在留資格	永住者	1.8	1.8	8.8	0.0	113
	定住者	2.2	0.0	0.0	0.0	91
	技能実習	0.0	0.0	0.0	0.0	72
	技術・人文知識・国際業務	0.0	0.0	1.4	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	2.6	2.6	2.6	0.0	38
	その他	0.0	5.3	0.0	0.0	19
在住年数	6か月未満	0.0	0.0	0.0	0.0	15
	6か月以上1年未満	3.1	0.0	0.0	0.0	32
	1年以上2年未満	0.0	0.0	1.4	0.0	69
	2年以上3年未満	0.0	0.0	1.4	0.0	74
	3年以上5年未満	1.4	1.4	1.4	0.0	72
	5年以上10年未満	1.5	0.0	4.4	0.0	68
	10年以上	2.7	4.1	8.1	0.0	74

あなたは同じ国籍の人とどのような場所で交流していますか。あてはまる番号すべてにをしてください。

n=405

同じ国籍の人との交流の場所を聞いたところ、「母国の人が作っている SNS グループ」が 49.6%で最も多く、5 割弱を占めている。次いで「母国の食材を扱うお店」(23.7%)、「同じ国の人同士が集まる会」(20.7%) となっている。



【その他】

会社・職場 (19) / 友だち、近所、同郷の人の家 (8) / 家族、親族の家 (5) / オンライン・SNS (5) / オンラインゲーム (PS4) / 自転車グループ / 交流していない (12)

【同じ国の人同士が集まる会の団体名や場所】

自宅、親せきの家 (11) / 同郷の人のコミュニティ (7) / 誕生日、パーティなどのイベント (6) / 友だち、近所、同郷の人の家 (4) / 公園 (4) / バー、レストラン (3) / ドン・キホーテ / フェイスブックのグループ。住所：毎回、適用な場所を決めて集まる / 様々な場所 / 西尾市内

【同じ国の人同士が集まる飲食店の名称や場所】

ダイドーベトナム市場 (4) / サイゼリヤ (3) / センベト (2) / カプリチオーザ (2) / フェイトス・コン・アモル (2) / ボロン / ココ / スターバックス / すき家 / アピタ・ヴェルサウォーク / ブロンコビリー / アウトバック / 大須観音のベトナムレストラン / 西尾ダイアン市場 / ダンハー / アルーアミン屋 / ジョイフル

【教会・モスク等宗教に関する施設の名称や場所】

愛知教会（安城市）（3）／カトリック刈谷教会（2）／西尾モスク（2）カトリック安城教会／岡崎キリスト教会／サグラダ・ファミリア・デ・ナザレ（西尾市）／アヴィヴァメント・ド・ジャポン（安城市）／コングレガソン・クリスタン・ド・ジャポン（場所：安城）／教会（岡崎）／主イエスキリストナショナル教会／長老派改革教会／碧南聖書教会／アヴィヴァメント（安城市）／日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団／JTG 教会（安城）／インドネシア教会（名古屋）／主イエス・キリストナショナル教会

【母国の食材を扱うお店の名称や場所】

ボロン（14）／ベトナム食材店（12）／デ・アミゴス（8）／サリラヤ（8）／ダイドーベトナム市場（4）／ココ碧南（3）／ブラジレイラ／フェイトス・コン・アモル／フィリピンのお店

【母国の人で運営する教育機関などの名称や場所】

西尾ベトナム文化（3）

【母国の人で作っている SNS グループの団体名】

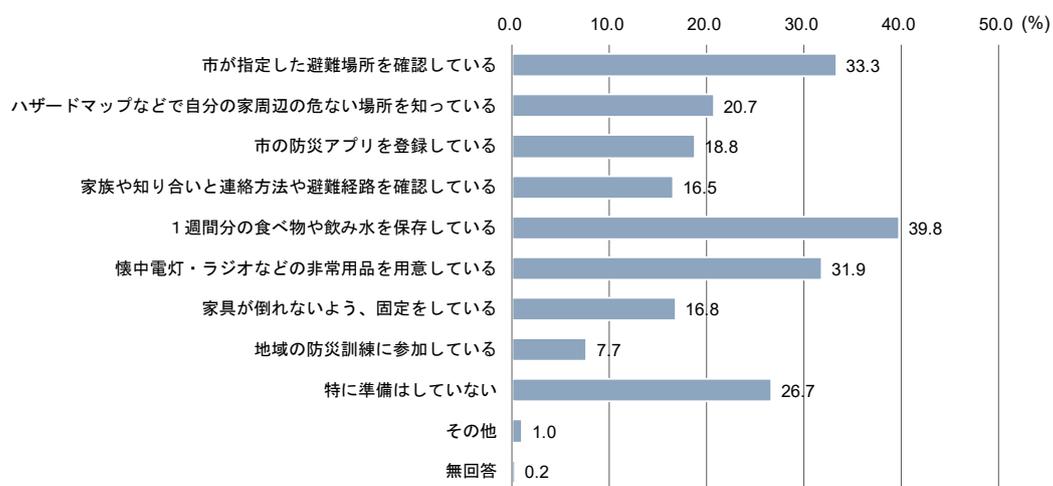
Facebook（42）／ベトナム人グループ、コミュニティ（15）／Nagoya baito、Tokyo baito、Nishio baito（13）／インスタグラム（10）／Love japan（6）／whatsapp（5）／SOS ママ（5）／Sugoi（4）／微信（ウエイチャット）（3）／Wechat のモーメンツ（2）／ブラジル人（2）／カトリック教会（2）／在日華人仕事グループ／インドネシアムスリムコミュニティ名古屋／留日生活万事屋

		が同じ国の人同士 が集まる会 (%)	が同じ国の飲食店同士 が集まるの	施設・モスク等 に・関係する	教会・モスク等 に・関係する	うお国の食材を扱 う	どする国の教育機関が 運営	ルている人が作 る	母国の人が作 る	その他	無回答	全体
全体		20.7	13.6	13.1	23.7	2.0	49.6	17.3	4.0	405		
国籍	ブラジル	23.0	17.3	15.1	25.2	0.0	46.8	15.1	4.3	139		
	ベトナム	15.3	11.8	6.3	27.1	4.2	68.1	14.6	3.5	144		
	フィリピン	39.0	14.6	17.1	12.2	0.0	29.3	22.0	7.3	41		
	中国	14.3	4.8	0.0	9.5	0.0	66.7	19.0	0.0	21		
	インドネシア	25.8	6.5	41.9	41.9	3.2	16.1	12.9	0.0	31		
	その他	10.3	17.2	10.3	6.9	3.4	24.1	37.9	6.9	29		
在留資格	永住者	18.6	14.2	15.9	27.4	2.7	45.1	18.6	5.3	113		
	定住者	30.8	13.2	20.9	15.4	1.1	37.4	19.8	1.1	91		
	技能実習	12.5	12.5	2.8	22.2	1.4	50.0	20.8	4.2	72		
	技術・人文知識・国際業務	14.5	11.6	10.1	26.1	2.9	73.9	11.6	1.4	69		
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	26.3	15.8	13.2	28.9	2.6	47.4	13.2	13.2	38		
	その他	31.6	21.1	10.5	26.3	0.0	42.1	15.8	0.0	19		
在任年数	6か月未満	20.0	26.7	20.0	26.7	0.0	66.7	6.7	0.0	15		
	6か月以上1年未満	15.6	15.6	9.4	21.9	3.1	56.3	15.6	0.0	32		
	1年以上2年未満	18.8	11.6	8.7	33.3	0.0	44.9	21.7	4.3	69		
	2年以上3年未満	18.9	9.5	6.8	20.3	2.7	56.8	18.9	4.1	74		
	3年以上5年未満	25.0	18.1	18.1	25.0	2.8	56.9	11.1	4.2	72		
	5年以上10年未満	29.4	7.4	17.6	22.1	4.4	50.0	8.8	5.9	68		
	10年以上	14.9	16.2	14.9	17.6	0.0	32.4	28.4	4.1	74		

あなたは災害(地震、台風、津波など)に対する準備をしていますか。あてはまる番号すべてに☑
をしてください。

n=405

災害(地震、台風、津波など)に対する準備について聞いたところ、「1週間分の食べ物や飲み水を保存している」が39.8%で最も多い。次いで「市が指定した避難場所を確認している」(33.3%)、「懐中電灯・ラジオなどの非常用品を用意している」(31.9%)となっている。



【その他】

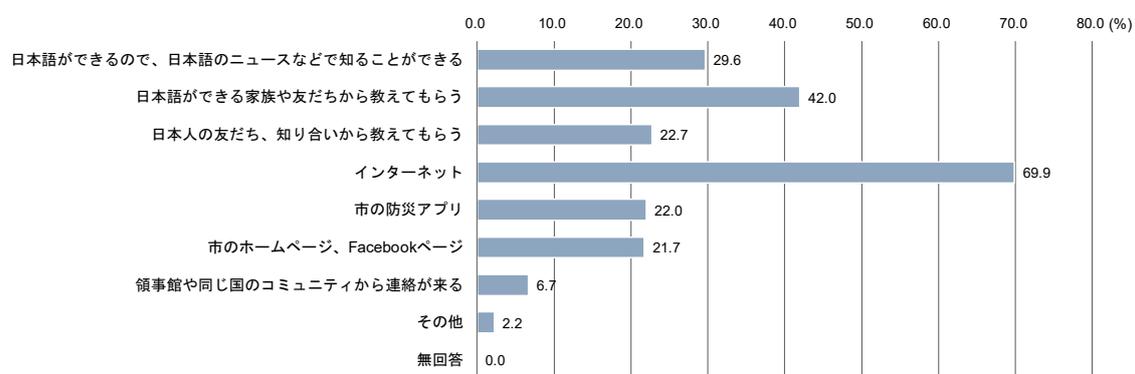
会社の寮に住んでいます／パスポートと書類は常に手元に

	確 市 認 が 指 定 し て い る 避 難 場 所 を	分 の 家 周 辺 の 危 な い 場 所 を	ハ ザ ー ド マ ツ プ な ど で 自	市 の 防 災 ア プ リ を 登 録 し	法 や 避 難 経 路 を 確 認 し て い る	家 族 や 知 り 合 い と 連 絡 方	1 週 間 分 の 食 べ 物 や 飲 み	非 常 中 電 灯 ・ ラ ジ オ な ど の	定 家 具 が 倒 れ な い よ う 、 固	地 域 の 防 災 訓 練 に 参 加 し	特 に 準 備 は し て い な い	そ の 他	無 回 答	全 体
	(%)													
	全体	33.3	20.7	18.8	16.5	39.8	31.9	16.8	7.7	26.7	1.0	0.2	405	
国籍	ブラジル	31.7	22.3	24.5	8.6	28.1	20.9	9.4	3.6	48.2	0.7	0.0	139	
	ベトナム	34.0	15.3	17.4	20.1	55.6	41.0	21.5	8.3	11.1	0.7	0.0	144	
	フィリピン	51.2	41.5	14.6	26.8	56.1	48.8	31.7	0.0	9.8	0.0	0.0	41	
	中国	33.3	28.6	14.3	9.5	23.8	42.9	42.9	23.8	23.8	4.8	0.0	21	
	インドネシア	16.1	12.9	9.7	19.4	25.8	9.7	0.0	12.9	25.8	0.0	0.0	31	
	その他	31.0	13.8	17.2	24.1	20.7	31.0	6.9	17.2	27.6	3.4	3.4	29	
在留資格	永住者	33.6	25.7	18.6	16.8	26.5	31.0	19.5	10.6	38.9	2.7	0.0	113	
	定住者	38.5	23.1	24.2	11.0	38.5	25.3	9.9	4.4	30.8	0.0	0.0	91	
	技能実習	25.0	13.9	12.5	13.9	56.9	33.3	12.5	9.7	11.1	0.0	0.0	72	
	技術・人文知識・国際業務	37.7	17.4	23.2	24.6	50.7	43.5	29.0	5.8	17.4	0.0	0.0	69	
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	39.5	26.3	18.4	26.3	31.6	31.6	18.4	2.6	26.3	0.0	0.0	38	
その他	15.8	10.5	5.3	0.0	31.6	10.5	5.3	15.8	31.6	5.3	5.3	19		
在住年数	6か月未満	26.7	20.0	20.0	13.3	26.7	20.0	6.7	13.3	40.0	0.0	0.0	15	
	6か月以上1年未満	31.3	9.4	9.4	6.3	37.5	21.9	12.5	0.0	31.3	0.0	3.1	32	
	1年以上2年未満	42.0	23.2	20.3	8.7	49.3	23.2	13.0	2.9	17.4	0.0	0.0	69	
	2年以上3年未満	28.4	20.3	21.6	16.2	51.4	31.1	12.2	5.4	23.0	1.4	0.0	74	
	3年以上5年未満	26.4	19.4	20.8	23.6	41.7	34.7	16.7	12.5	23.6	1.4	0.0	72	
	5年以上10年未満	30.9	23.5	20.6	17.6	36.8	48.5	23.5	8.8	22.1	1.5	0.0	68	
	10年以上	41.9	23.0	14.9	21.6	23.0	28.4	21.6	10.8	41.9	1.4	0.0	74	

あなたは災害(地震、台風、津波など)が起きた時、どうやって情報を得ますか。あてはまる番号すべてにをしてください。

n=405

災害(地震、台風、津波など)が起きた時の情報収集について聞いたところ、「インターネット」が69.9%で最も多く、7割弱を占めている。次いで「日本語ができる家族や友だちから教えてもらう」(42.0%)、「日本語ができるので、日本語のニュースなどで知ることができる」(29.6%)となっている。



【その他】

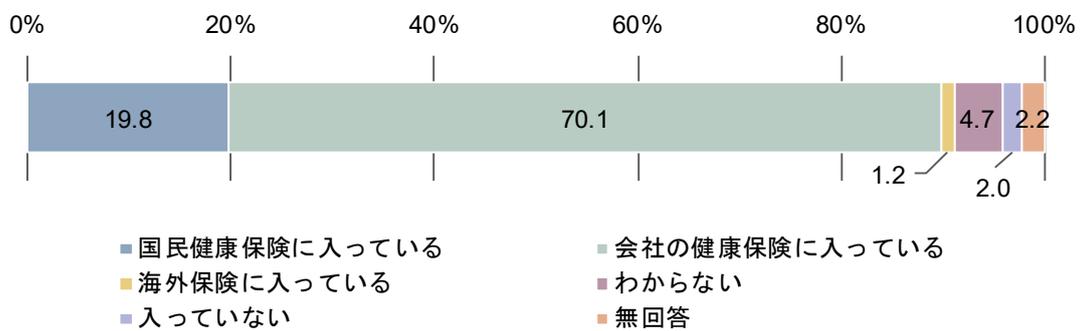
携帯電話から (3) / テレビ、ラジオ、新聞などのメディア (2) / 日本人の主人に聞いたりする / 会社で

	(%)	で 日 本 語 の ニ ュ ー ス な ど	日 本 語 が で き る の で 、 う だ ち か ら 教 え て も ら う	日 本 語 が で き る 家 族 や 友 だ ち か ら 教 え て も ら う	合 い か ら 教 え て も ら う	日 本 人 の 友 だ ち 、 知 り あ い あ い の 交 往	イ ン タ ー ネ ッ ト	市 の 防 災 ア プ リ	ジ F a c e b o o k ペ ー ジ	市 の ホ ー ム ペ ー ジ 、 来 る ミ ュ ニ テ ィ か ら 連 絡 が 取 れ る	領 事 館 や 同 じ 国 の コ ン ス ル テ ィ ナ ー ト	そ の 他	無 回 答	全 体
全体	29.6	42.0	22.7	69.9	22.0	21.7	6.7	2.2	0.0	405				
国籍	ブラジル	25.2	38.8	15.1	82.7	25.9	18.7	4.3	2.9	139				
	ベトナム	19.4	44.4	23.6	68.1	22.9	29.9	6.9	0.7	144				
	フィリピン	46.3	63.4	51.2	68.3	17.1	17.1	4.9	2.4	41				
	中国	61.9	38.1	28.6	76.2	14.3	28.6	19.0	0.0	21				
	インドネシア	25.8	32.3	9.7	41.9	12.9	9.7	12.9	9.7	31				
	その他	58.6	27.6	24.1	44.8	20.7	10.3	3.4	0.0	29				
在留資格	永住者	51.3	44.2	22.1	71.7	23.0	20.4	7.1	1.8	113				
	定住者	19.8	39.6	22.0	74.7	26.4	20.9	5.5	3.3	91				
	技能実習	9.7	33.3	29.2	65.3	23.6	11.1	6.9	1.4	72				
	技術・人文知識・国際業務	33.3	50.7	23.2	69.6	17.4	42.0	7.2	1.4	69				
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	28.9	50.0	21.1	65.8	21.1	21.1	10.5	2.6	38				
その他	15.8	26.3	5.3	63.2	10.5	0.0	0.0	5.3	19					
在住年数	6か月未満	40.0	33.3	13.3	73.3	20.0	20.0	20.0	0.0	15				
	6か月以上1年未満	18.8	37.5	21.9	71.9	21.9	18.8	6.3	0.0	32				
	1年以上2年未満	10.1	46.4	18.8	65.2	20.3	18.8	8.7	2.9	69				
	2年以上3年未満	16.2	39.2	17.6	78.4	29.7	23.0	4.1	1.4	74				
	3年以上5年未満	22.2	44.4	27.8	76.4	19.4	25.0	8.3	1.4	72				
	5年以上10年未満	44.1	44.1	23.5	75.0	23.5	29.4	4.4	2.9	68				
	10年以上	58.1	39.2	27.0	52.7	17.6	13.5	5.4	4.1	74				

あなたは健康保険に入っていますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

健康保険への加入について聞いたところ、「会社の健康保険に入っている」が70.1%で最も多く、「国民健康保険に入っている」(19.8%)と合わせると9割になっている。「わからない」は4.7%となっている。



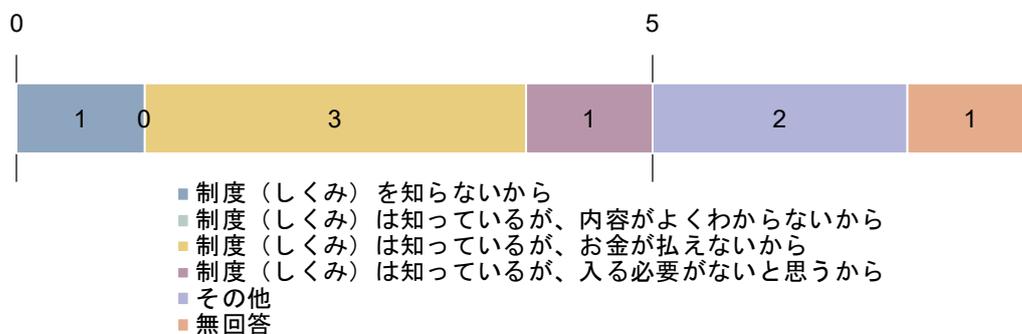
		国民健康保険に入っている (%)	会社の健康保険に入っている (%)	海外保険に入っている (%)	わからない (%)	入っていない (%)	無回答 (%)	全体 (人数)
全体		19.8	70.1	1.2	4.7	2.0	2.2	405
国籍	ブラジル	12.2	79.9	0.7	3.6	3.6	0.0	139
	ベトナム	17.4	70.8	2.8	6.9	0.0	2.1	144
	フィリピン	41.5	39.0	0.0	4.9	4.9	9.8	41
	中国	47.6	47.6	0.0	4.8	0.0	0.0	21
	インドネシア	12.9	80.6	0.0	3.2	0.0	3.2	31
	その他	24.1	69.0	0.0	0.0	3.4	3.4	29
	在留資格	永住者	17.7	73.5	0.9	2.7	2.7	2.7
定住者	23.1	63.7	0.0	5.5	4.4	3.3	91	
技能実習	13.9	72.2	5.6	8.3	0.0	0.0	72	
技術・人文知識・国際業務	17.4	78.3	0.0	1.4	0.0	2.9	69	
日本人・永住者の配偶者、家族滞在	26.3	60.5	0.0	10.5	2.6	0.0	38	
その他	36.8	63.2	0.0	0.0	0.0	0.0	19	

	入国 つて 国民 健康 保険 に	に会 入社 つて 健康 保険	て海 外保 険に 入っ	わか らな い	入っ てい ない	無 回 答	全 体
(%)							
全体	19.8	70.1	1.2	4.7	2.0	2.2	405
仕事	自営業・自由業	33.3	44.4	0.0	11.1	11.1	9
	会社員（正社員）	16.0	79.0	0.0	0.0	1.2	81
	派遣社員・契約社員	10.8	84.8	0.6	1.9	0.0	158
	パート・アルバイト	38.1	42.9	0.0	7.1	7.1	42
	研修生・技能実習生	16.2	70.6	4.4	8.8	0.0	68
	その他	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	3
	働いていない	43.2	31.8	2.3	13.6	6.8	2.3

あなたはなぜ健康保険に入っていないのですか。あてはまる番号1つにをしてください。

「入っていない」と回答した者 n=8

健康保険に加入していない理由については、「制度（しくみ）は知っているが、お金が払えないから」が3件で最も多い。



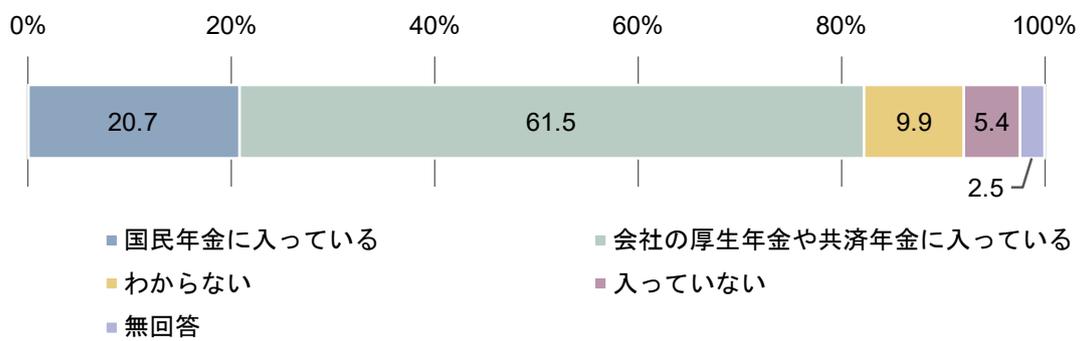
【その他】

雇用契約が満期になった／傷害保険

あなたは年金に入っていますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

年金への加入について聞いたところ、「会社の厚生年金や共済年金に入っている」が61.5%で最も多く、「国民年金に入っている」(20.7%)と合わせると8割となっている。「わからない」が9.9%となっている。



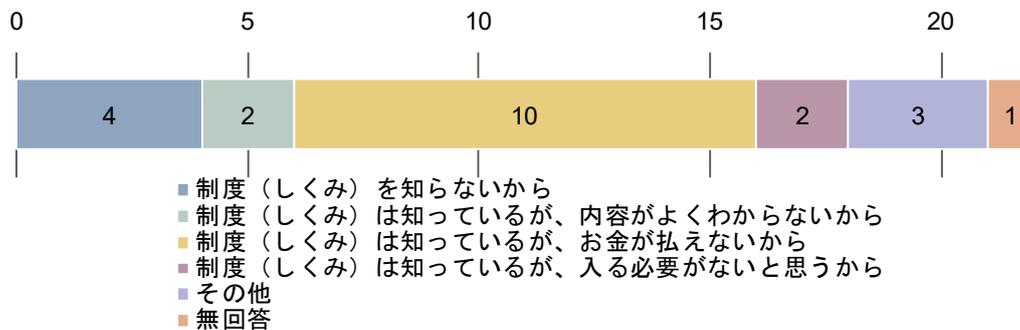
		国民年金に入っている (%)	会社の厚生年金や共済年金に入っている (%)	わからない (%)	入っていない (%)	無回答 (%)	全体 (人数)
全体		20.7	61.5	9.9	5.4	2.5	405
国籍	ブラジル	11.5	71.2	10.1	5.8	1.4	139
	ベトナム	23.6	62.5	10.4	2.1	1.4	144
	フィリピン	39.0	24.4	12.2	14.6	9.8	41
	中国	38.1	57.1	4.8	0.0	0.0	21
	インドネシア	19.4	64.5	6.5	6.5	3.2	31
	その他	13.8	62.1	10.3	10.3	3.4	29
在留資格	永住者	17.7	64.6	8.8	8.0	0.9	113
	定住者	18.7	58.2	12.1	6.6	4.4	91
	技能実習	26.4	61.1	9.7	0.0	2.8	72
	技術・人文知識・国際業務	17.4	75.4	2.9	2.9	1.4	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	26.3	44.7	15.8	7.9	5.3	38
	その他	31.6	42.1	15.8	10.5	0.0	19

		(%)	て国民年金に入っている	入や会社済の年金に入っている	わからない	入っていない	無回答	全体
全体			20.7	61.5	9.9	5.4	2.5	405
仕事	自営業・自由業		11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	9
	会社員（正社員）		14.8	79.0	1.2	3.7	1.2	81
	派遣社員・契約社員		15.2	74.1	5.7	2.5	2.5	158
	パート・アルバイト		40.5	31.0	14.3	14.3	0.0	42
	研修生・技能実習生		26.5	58.8	13.2	0.0	1.5	68
	その他		33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	3
	働いていない		25.0	20.5	29.5	18.2	6.8	44

あなたはなぜ年金に入っていないのですか。あてはまる番号1つにをしてください。

「入っていない」と回答した者 n=22

年金に加入していない理由については「制度（しくみ）は知っているが、お金が払えないから」が10件で最も多く、次いで「制度（しくみ）を知らないから」4件となっている。



【その他】

契約が満期になり、社会保険を切られたから

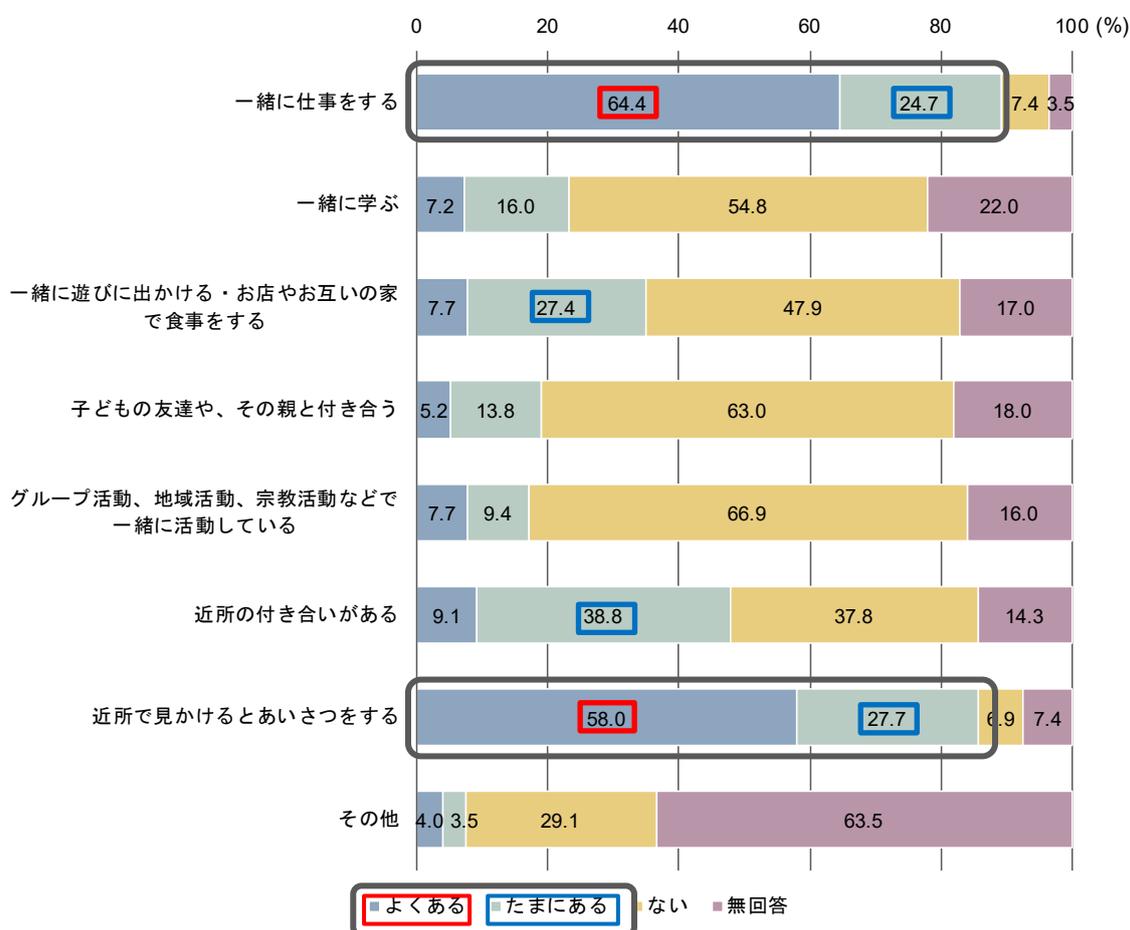
3) 日本人とのかかわりについて

あなたは日本人との付き合いはどのくらいありますか。それぞれ、あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

日本人との付き合いはどのくらいあるか聞いたところ、『よくある』の回答が、「一緒に仕事をする」(64.4%)、「近所で見かけるとあいさつをする」(58.0%)で多くなっている。『たまにある』の回答は、「近所付き合いがある」(38.8%)、「一緒に遊びに出かける・お店やお互いの家で食事をする」(27.4%)で多くなっている。

関わりが多い場面としては、「一緒に仕事をする」、「近所で見かけるとあいさつをする」が8割を超えている。



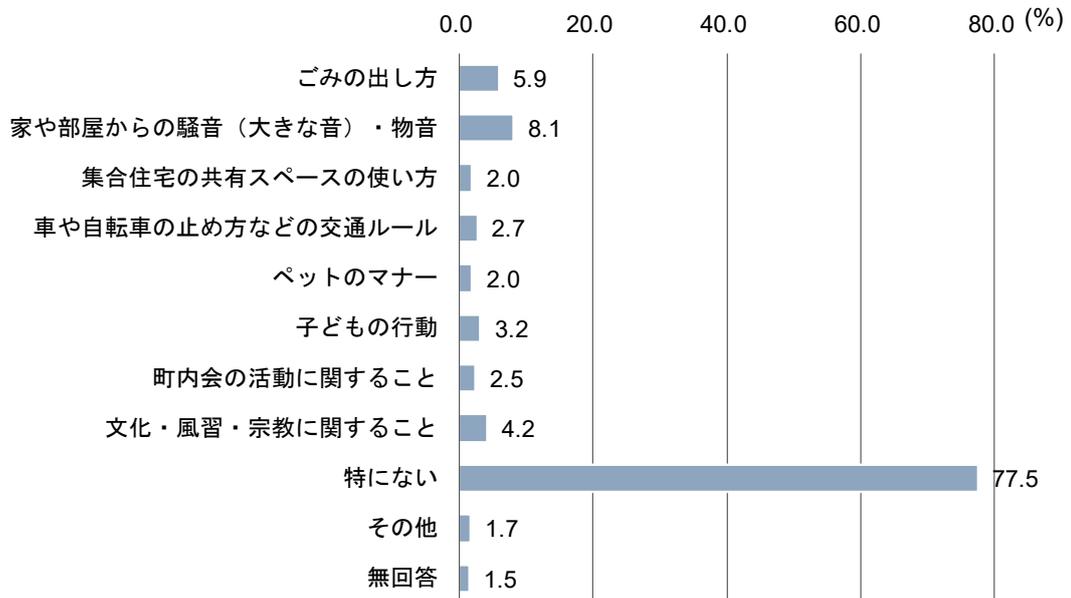
【その他】

話をする (5) / 挨拶をする (2) / 彼らが好き (原文ママ) / 畑で、野菜を作っている際 (原文ママ)

あなたは住んでいるまちの日本人との間で困った経験はありますか。あてはまる番号すべてに☑
をしてください。

n=405

住んでいるまちの日本人との間で困った経験はあるか聞いたところ、「特にない」が77.5%で最も多くなった。「家や部屋からの騒音（大きな音）・物音」が8.1%、「ごみの出し方」が5.9%となっている。



【その他】

集合住宅のルールを日本人が守らなくても注意されない

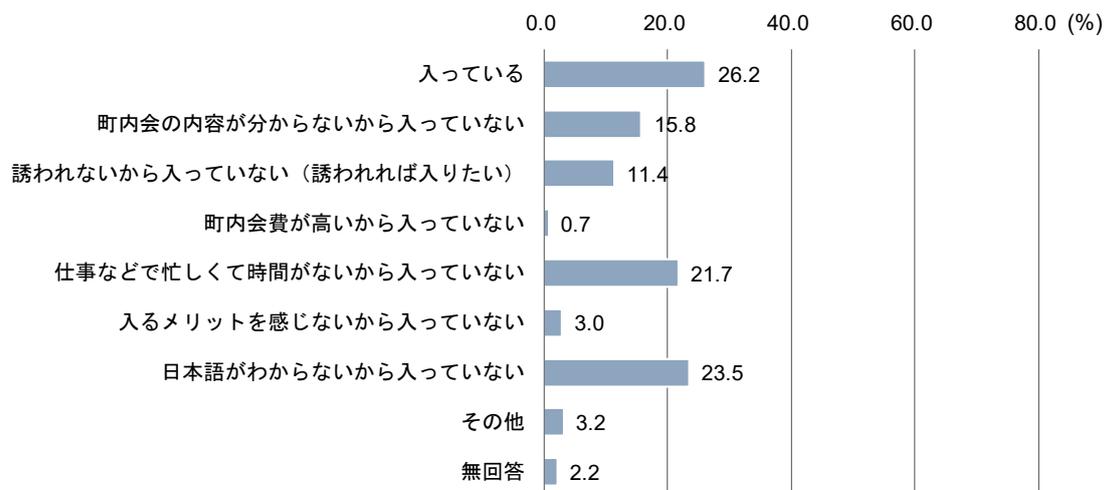
	ごみの出し方	物音(大きな音)・騒音	家や部屋からの騒音	集合住宅の共有スペースの使い方	ル方などの交通ルール	車や自転車の止め	ペットのマナー	子どもの行動	町内会の活動に関すること	文化・風習・宗教に関すること	特にな	その他	無回答	全体
(%)														
全体	5.9	8.1	2.0	2.7	2.0	3.2	2.5	4.2	77.5	1.7	1.5	405		
国籍	ブラジル	2.9	5.0	2.2	1.4	1.4	0.7	1.4	0.7	87.8	0.7	0.7	139	
	ベトナム	7.6	9.0	2.1	3.5	2.8	4.2	2.8	4.2	75.0	2.8	1.4	144	
	フィリピン	4.9	17.1	0.0	2.4	0.0	7.3	0.0	7.3	65.9	4.9	4.9	41	
	中国	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	14.3	61.9	0.0	0.0	21	
	インドネシア	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	9.7	80.6	0.0	3.2	31	
	その他	17.2	10.3	3.4	6.9	3.4	3.4	3.4	3.4	65.5	0.0	0.0	29	
在留資格	永住者	6.2	8.0	3.5	3.5	1.8	3.5	4.4	3.5	78.8	0.0	0.9	113	
	定住者	3.3	8.8	1.1	1.1	2.2	4.4	1.1	4.4	78.0	2.2	2.2	91	
	技能実習	9.7	5.6	1.4	0.0	0.0	2.8	1.4	0.0	80.6	4.2	0.0	72	
	技術・人文知識・国際業務	2.9	13.0	2.9	4.3	2.9	2.9	10.1	73.9	0.0	0.0	69		
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	13.2	2.6	0.0	5.3	5.3	2.6	2.6	5.3	73.7	5.3	2.6	38	
	その他	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	84.2	0.0	0.0	19	

あなたは町内会に入っていますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

町内会への加入について聞いたところ、「入っている」が26.2%となった。

「日本語がわからないから入っていない」が23.5%、「仕事などで忙しくて時間がないから入っていない」が21.7%となっている。



※本設問は単数回答であるが、調査票において複数回答が多く見られたため、複数回答形式で集計を行った。

【その他】

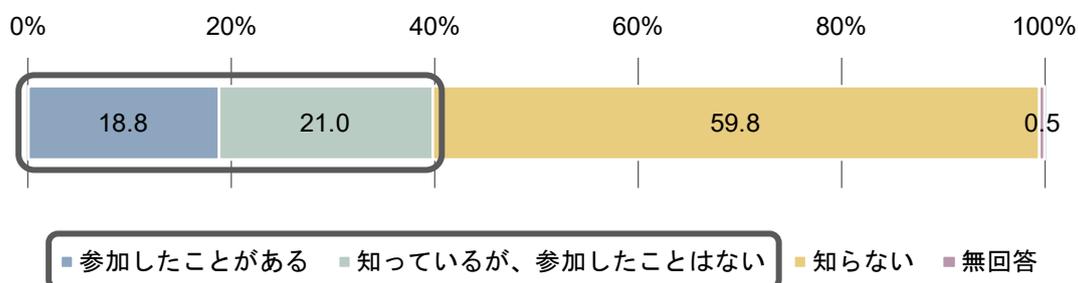
参加していない (2) / 関係ない / 知らない

4) 多文化共生への取組について

あなたは西尾市国際交流協会を知っていますか。その活動(日本語教室、イベントなど)に参加したことはありますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

西尾市国際交流協会を知っているか、また、活動(日本語教室、イベントなど)に参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことがある」が18.8%で2割弱であった。「知っているが、参加したことがない」(21.0%)と合わせて4割弱が認知している。



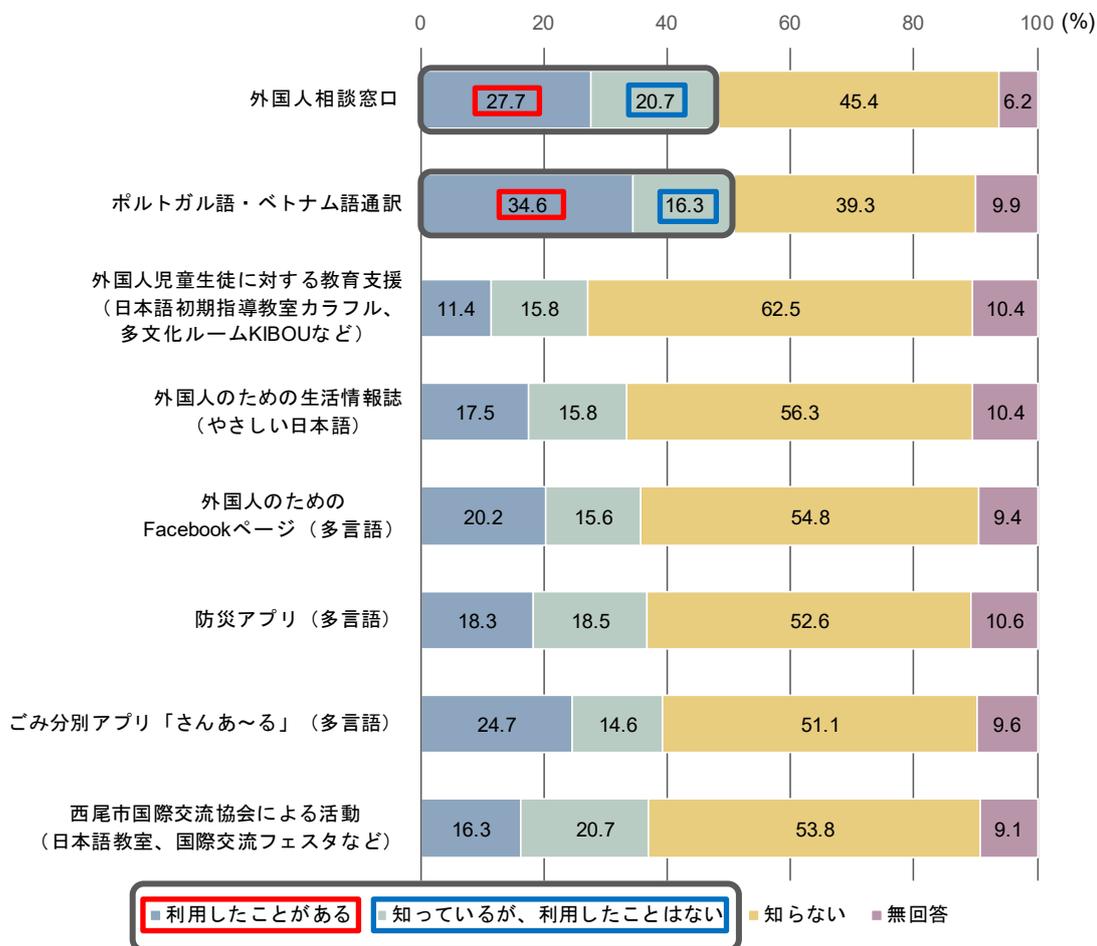
		が参加したこと (%)	こが知はつと、は参てな加いした	知らない	無回答	全体
全体		18.8	21.0	59.8	0.5	405
国籍	ブラジル	14.4	20.1	65.5	0.0	139
	ベトナム	19.4	24.3	54.9	1.4	144
	フィリピン	9.8	29.3	61.0	0.0	41
	中国	33.3	23.8	42.9	0.0	21
	インドネシア	25.8	6.5	67.7	0.0	31
	その他	31.0	10.3	58.6	0.0	29
在留資格	永住者	23.0	22.1	54.9	0.0	113
	定住者	17.6	17.6	64.8	0.0	91
	技能実習	16.7	18.1	62.5	2.8	72
	技術・人文知識・国際業務	17.4	30.4	52.2	0.0	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	21.1	15.8	63.2	0.0	38
	その他	5.3	21.1	73.7	0.0	19
在住年数	6か月未満	0.0	26.7	73.3	0.0	15
	6か月以上1年未満	6.3	34.4	59.4	0.0	32
	1年以上2年未満	14.5	15.9	69.6	0.0	69
	2年以上3年未満	20.3	20.3	58.1	1.4	74
	3年以上5年未満	18.1	15.3	65.3	1.4	72
	5年以上10年未満	23.5	26.5	50.0	0.0	68
	10年以上	27.0	20.3	52.7	0.0	74

あなたは西尾市、西尾市国際交流協会で行っている外国人向けのサービスを知っていますか。また、あなたは外国人向けのサービスを利用したことはありますか。それぞれ、あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

西尾市、西尾市国際交流協会の外国人向けのサービスについて『利用したことがある』は、「ポルトガル語・ベトナム語通訳」(34.6%)、「外国人相談窓口」(27.7%)、「ごみ分別アプリ「さんあ〜る」(多言語)」(24.7%)で多くなっている。

『利用したことがある』と『知っているが、利用したことはない』を合わせた認知度としては「ポルトガル語・ベトナム語通訳」「外国人相談窓口」が多く、5割程度となっている。



【外国人相談窓口】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と は、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		27.7	20.7	45.4	6.2	405
国籍	ブラジル	59.0	15.1	23.0	2.9	139
	ベトナム	13.2	23.6	61.1	2.1	144
	フィリピン	7.3	19.5	56.1	17.1	41
	中国	9.5	33.3	47.6	9.5	21
	インドネシア	9.7	19.4	51.6	19.4	31
	その他	10.3	27.6	51.7	10.3	29
在留資格	永住者	36.3	23.9	35.4	4.4	113
	定住者	54.9	14.3	27.5	3.3	91
	技能実習	5.6	19.4	65.3	9.7	72
	技術・人文知識・国際業務	13.0	26.1	58.0	2.9	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	18.4	23.7	44.7	13.2	38
	その他	5.3	5.3	73.7	15.8	19
在住年数	6か月未満	20.0	13.3	60.0	6.7	15
	6か月以上1年未満	25.0	18.8	53.1	3.1	32
	1年以上2年未満	23.2	14.5	49.3	13.0	69
	2年以上3年未満	32.4	14.9	50.0	2.7	74
	3年以上5年未満	30.6	30.6	33.3	5.6	72
	5年以上10年未満	27.9	22.1	48.5	1.5	68
	10年以上	27.0	24.3	39.2	9.5	74

【ポルトガル語・ベトナム語通訳】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と は、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		34.6	16.3	39.3	9.9	405
国籍	ブラジル	74.8	10.1	10.1	5.0	139
	ベトナム	20.8	24.3	52.1	2.8	144
	フィリピン	0.0	12.2	56.1	31.7	41
	中国	0.0	28.6	61.9	9.5	21
	インドネシア	0.0	12.9	54.8	32.3	31
	その他	20.7	6.9	58.6	13.8	29
在留資格	永住者	46.9	18.6	24.8	9.7	113
	定住者	58.2	6.6	26.4	8.8	91
	技能実習	11.1	12.5	68.1	8.3	72
	技術・人文知識・国際業務	20.3	26.1	47.8	5.8	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	26.3	23.7	31.6	18.4	38
	その他	10.5	10.5	63.2	15.8	19

【外国人児童生徒に対する教育支援】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と は、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		11.4	15.8	62.5	10.4	405
国籍	ブラジル	13.7	15.8	62.6	7.9	139
	ベトナム	12.5	13.9	69.4	4.2	144
	フィリピン	9.8	24.4	41.5	24.4	41
	中国	4.8	19.0	66.7	9.5	21
	インドネシア	9.7	9.7	48.4	32.3	31
	その他	3.4	17.2	69.0	10.3	29
在留資格	永住者	10.6	23.9	57.5	8.0	113
	定住者	19.8	14.3	53.8	12.1	91
	技能実習	11.1	6.9	70.8	11.1	72
	技術・人文知識・国際業務	7.2	15.9	72.5	4.3	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	7.9	21.1	52.6	18.4	38
	その他	0.0	0.0	84.2	15.8	19
在住年数	6か月未満	6.7	6.7	80.0	6.7	15
	6か月以上1年未満	3.1	12.5	78.1	6.3	32
	1年以上2年未満	13.0	13.0	59.4	14.5	69
	2年以上3年未満	10.8	9.5	74.3	5.4	74
	3年以上5年未満	18.1	12.5	59.7	9.7	72
	5年以上10年未満	13.2	23.5	52.9	10.3	68
	10年以上	6.8	24.3	54.1	14.9	74

【外国人のための生活情報誌】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と は、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		17.5	15.8	56.3	10.4	405
国籍	ブラジル	23.7	16.5	51.8	7.9	139
	ベトナム	18.8	13.9	63.2	4.2	144
	フィリピン	7.3	22.0	46.3	24.4	41
	中国	4.8	28.6	57.1	9.5	21
	インドネシア	12.9	9.7	45.2	32.3	31
	その他	10.3	10.3	69.0	10.3	29
在留資格	永住者	22.1	19.5	49.6	8.8	113
	定住者	19.8	18.7	50.5	11.0	91
	技能実習	6.9	13.9	68.1	11.1	72
	技術・人文知識・国際業務	24.6	13.0	58.0	4.3	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	15.8	13.2	52.6	18.4	38
	その他	0.0	5.3	78.9	15.8	19

【外国人のための Facebook】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と が は、	知 つ て い る こ と が、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		20.2	15.6	54.8	9.4		405
国籍	ブラジル	18.0	15.8	58.3	7.9		139
	ベトナム	28.5	16.0	52.1	3.5		144
	フィリピン	9.8	22.0	46.3	22.0		41
	中国	4.8	23.8	61.9	9.5		21
	インドネシア	12.9	6.5	48.4	32.3		31
	その他	24.1	6.9	65.5	3.4		29
在留資格	永住者	16.8	16.8	58.4	8.0		113
	定住者	19.8	14.3	53.8	12.1		91
	技能実習	19.4	15.3	54.2	11.1		72
	技術・人文知識・国際業務	33.3	17.4	46.4	2.9		69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	15.8	15.8	55.3	13.2		38
	その他	10.5	0.0	78.9	10.5		19
在住年数	6か月未満	33.3	13.3	46.7	6.7		15
	6か月以上1年未満	18.8	31.3	46.9	3.1		32
	1年以上2年未満	20.3	17.4	50.7	11.6		69
	2年以上3年未満	28.4	13.5	54.1	4.1		74
	3年以上5年未満	20.8	16.7	52.8	9.7		72
	5年以上10年未満	19.1	14.7	55.9	10.3		68
	10年以上	10.8	9.5	64.9	14.9		74

【防災アプリ】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と が は、	知 つ て い る こ と が、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		18.3	18.5	52.6	10.6		405
国籍	ブラジル	19.4	23.0	50.4	7.2		139
	ベトナム	23.6	16.7	54.9	4.9		144
	フィリピン	7.3	14.6	51.2	26.8		41
	中国	4.8	33.3	52.4	9.5		21
	インドネシア	12.9	12.9	41.9	32.3		31
	その他	17.2	6.9	65.5	10.3		29
在留資格	永住者	16.8	24.8	50.4	8.0		113
	定住者	19.8	19.8	48.4	12.1		91
	技能実習	19.4	20.8	48.6	11.1		72
	技術・人文知識・国際業務	21.7	10.1	62.3	5.8		69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	15.8	13.2	52.6	18.4		38
	その他	10.5	5.3	68.4	15.8		19
在住年数	6か月未満	13.3	20.0	60.0	6.7		15
	6か月以上1年未満	9.4	15.6	68.8	6.3		32
	1年以上2年未満	17.4	17.4	50.7	14.5		69
	2年以上3年未満	27.0	21.6	45.9	5.4		74
	3年以上5年未満	19.4	20.8	50.0	9.7		72
	5年以上10年未満	22.1	14.7	51.5	11.8		68
	10年以上	10.8	18.9	55.4	14.9		74

【ごみ分別アプリ「さんあ〜る」】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と が は、	知 つ て い る こ と が、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		24.7	14.6	51.1	9.6		405
国籍	ブラジル	28.8	13.7	51.1	6.5		139
	ベトナム	22.2	15.3	58.3	4.2		144
	フィリピン	36.6	14.6	26.8	22.0		41
	中国	14.3	23.8	52.4	9.5		21
	インドネシア	16.1	12.9	38.7	32.3		31
	その他	17.2	10.3	62.1	10.3		29
在留資格	永住者	24.8	15.9	53.1	6.2		113
	定住者	34.1	14.3	40.7	11.0		91
	技能実習	20.8	12.5	55.6	11.1		72
	技術・人文知識・国際業務	27.5	14.5	53.6	4.3		69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	13.2	23.7	44.7	18.4		38
	その他	10.5	0.0	73.7	15.8		19
在住年数	6か月未満	20.0	6.7	66.7	6.7		15
	6か月以上1年未満	34.4	6.3	53.1	6.3		32
	1年以上2年未満	21.7	17.4	44.9	15.9		69
	2年以上3年未満	27.0	16.2	52.7	4.1		74
	3年以上5年未満	20.8	18.1	51.4	9.7		72
	5年以上10年未満	35.3	11.8	45.6	7.4		68
	10年以上	16.2	14.9	55.4	13.5		74

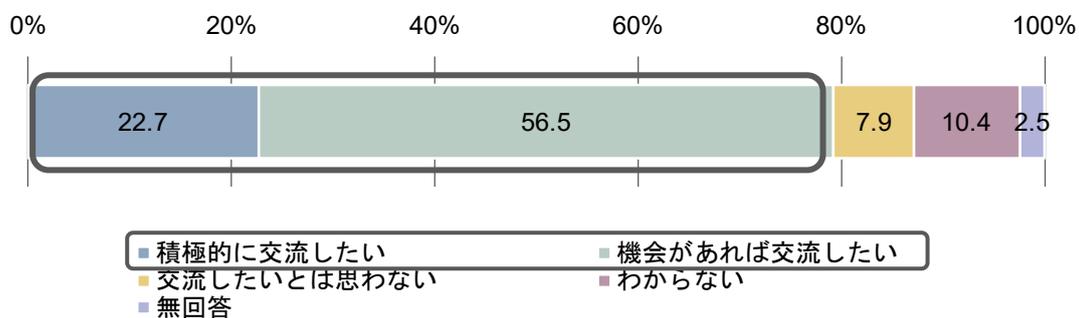
【西尾市国際交流協会による活動】

		あ 利 用 し た こ と が (%)	な 利 用 し た こ と が は、	知 つ て い る こ と が、	知 ら な い	無 回 答	全 体
全体		16.3	20.7	53.8	9.1		405
国籍	ブラジル	10.1	22.3	60.4	7.2		139
	ベトナム	22.2	21.5	52.8	3.5		144
	フィリピン	12.2	22.0	46.3	19.5		41
	中国	23.8	19.0	52.4	4.8		21
	インドネシア	16.1	12.9	38.7	32.3		31
	その他	17.2	17.2	55.2	10.3		29
在留資格	永住者	17.7	21.2	54.9	6.2		113
	定住者	11.0	23.1	53.8	12.1		91
	技能実習	15.3	16.7	58.3	9.7		72
	技術・人文知識・国際業務	26.1	20.3	49.3	4.3		69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	15.8	23.7	44.7	15.8		38
	その他	5.3	10.5	73.7	10.5		19
在住年数	6か月未満	6.7	0.0	86.7	6.7		15
	6か月以上1年未満	3.1	25.0	65.6	6.3		32
	1年以上2年未満	20.3	10.1	55.1	14.5		69
	2年以上3年未満	12.2	25.7	59.5	2.7		74
	3年以上5年未満	16.7	25.0	48.6	9.7		72
	5年以上10年未満	23.5	20.6	45.6	10.3		68
	10年以上	17.6	24.3	47.3	10.8		74

あなたはこれから、日本人ともっと交流したいですか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

n=405

今後の日本人との交流意向を聞いたところ、交流意向がある回答（「機会があれば交流したい」（56.5%）と「積極的に交流したい」（22.7%））が全体の8割弱を占めている。「交流したいとは思わない」が7.9%、「わからない」が10.4%となっている。

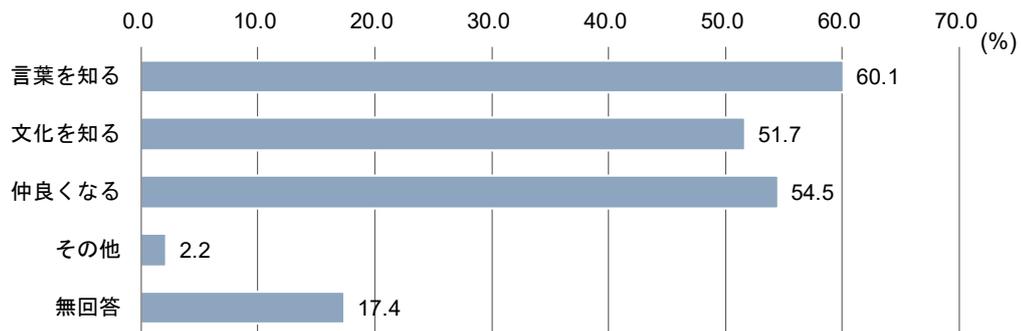


		た積 い極 的に 交 流 し た い 思 わ な い と は	流機 し会 たが いあ れば 交	思交 わ流 なし たい とは	わ か ら な い	無 回 答	全 体
		(%)					
全体		22.7	56.5	7.9	10.4	2.5	405
国籍	ブラジル	17.3	48.9	14.4	18.7	0.7	139
	ベトナム	28.5	64.6	2.8	0.7	3.5	144
	フィリピン	29.3	46.3	4.9	12.2	7.3	41
	中国	23.8	61.9	9.5	4.8	0.0	21
	インドネシア	19.4	74.2	0.0	3.2	3.2	31
	その他	13.8	44.8	13.8	27.6	0.0	29
在留資格	永住者	16.8	49.6	15.0	16.8	1.8	113
	定住者	23.1	54.9	7.7	13.2	1.1	91
	技能実習	31.9	55.6	4.2	4.2	4.2	72
	技術・人文知識・国際業務	27.5	65.2	1.4	1.4	4.3	69
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	13.2	65.8	7.9	13.2	0.0	38
	その他	26.3	63.2	5.3	5.3	0.0	19
在住年数	6か月未満	40.0	53.3	0.0	6.7	0.0	15
	6か月以上1年未満	21.9	62.5	3.1	6.3	6.3	32
	1年以上2年未満	20.3	63.8	5.8	7.2	2.9	69
	2年以上3年未満	28.4	60.8	6.8	2.7	1.4	74
	3年以上5年未満	26.4	55.6	5.6	9.7	2.8	72
	5年以上10年未満	13.2	64.7	7.4	13.2	1.5	68
	10年以上	21.6	36.5	17.6	21.6	2.7	74

日本人と交流したい内容

日本人との交流「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」と回答した者 n=321

日本人と交流したい内容について聞いたところ、「言葉を知る」が60.1%で最も多い。次いで「仲良くなる」(54.5%)、「文化を知る」(51.7%)となっている。



【その他】

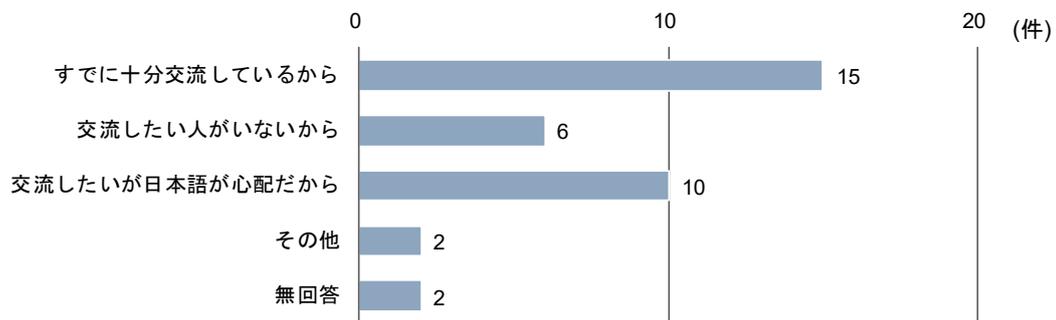
子育て（教育、進学）のこと（2）／出会いを作りたい

		言葉を知る	文化を知る	仲良くなる	その他	無回答	全体
		(%)					
全体		60.1	51.7	54.5	2.2	17.4	321
国籍	ブラジル	63.0	59.8	66.3	1.1	17.4	92
	ベトナム	68.7	56.0	47.0	1.5	11.9	134
	フィリピン	35.5	29.0	41.9	3.2	41.9	31
	中国	61.1	55.6	72.2	11.1	22.2	18
	インドネシア	44.8	34.5	51.7	3.4	17.2	29
	その他	47.1	41.2	58.8	0.0	11.8	17
在留資格	永住者	56.0	53.3	66.7	4.0	13.3	75
	定住者	60.6	59.2	64.8	1.4	19.7	71
	技能実習	49.2	39.7	33.3	0.0	22.2	63
	技術・人文知識・国際業務	76.6	59.4	62.5	3.1	9.4	64
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	60.0	50.0	36.7	0.0	26.7	30
その他	52.9	35.3	41.2	5.9	23.5	17	
在住年数	6か月未満	78.6	64.3	71.4	7.1	0.0	14
	6か月以上1年未満	63.0	44.4	40.7	3.7	25.9	27
	1年以上2年未満	69.0	51.7	56.9	0.0	10.3	58
	2年以上3年未満	62.1	60.6	45.5	3.0	18.2	66
	3年以上5年未満	64.4	59.3	54.2	0.0	20.3	59
	5年以上10年未満	54.7	47.2	58.5	1.9	20.8	53
	10年以上	39.5	34.9	65.1	4.7	16.3	43

日本人と交流したくない理由

日本人との交流「交流したいとは思わない」と回答した者 n=32

日本人と交流したくない理由については「すでに十分交流しているから」が15件で最も多い。次いで「交流したいが日本語が心配だから」が10件、「交流したい人がいないから」が6件となっている。



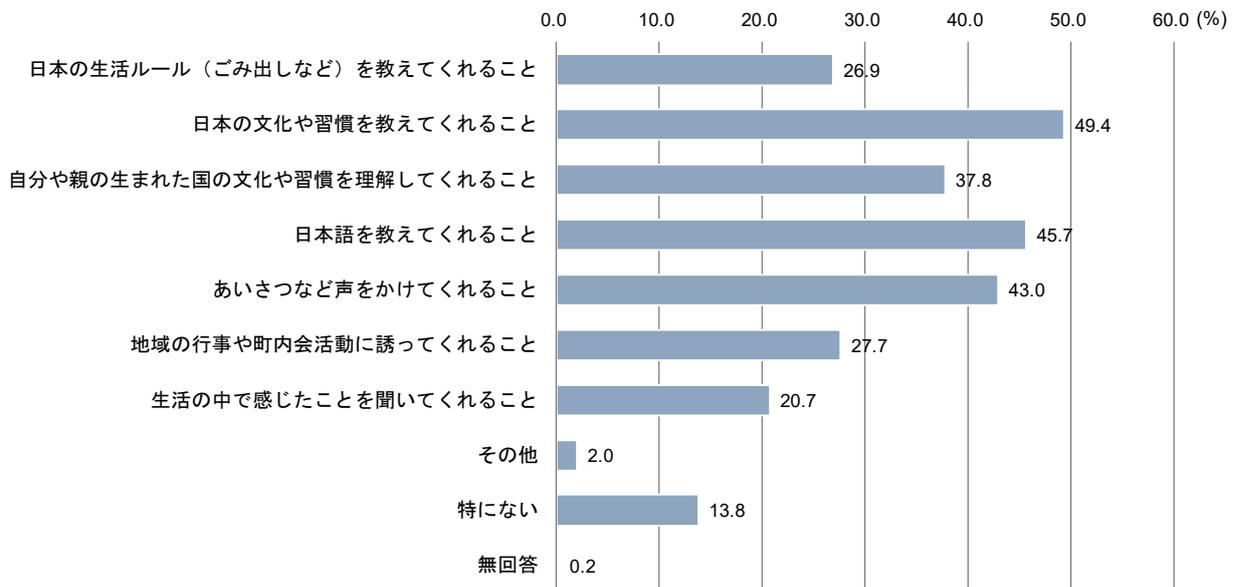
【その他】

社会的生活のための自由時間がない／日本人と結婚しています。日本人とは一日中生活しています（家族、仕事、近所）

あなたは外国人と日本人が交流・共生をしていくために日本人に期待することは何ですか。
 あてはまる番号すべてにあてはまる番号すべてにをしてください。

n=405

外国人と日本人が交流し、地域で一緒に生活するために、日本人に期待することを聞いたところ、「日本の文化や習慣を教えてくれること」が49.4%で最も多い。次いで「日本語を教えてくれること」(45.7%)、「あいさつなど声をかけてくれること」(43.0%)となっている。



【その他】

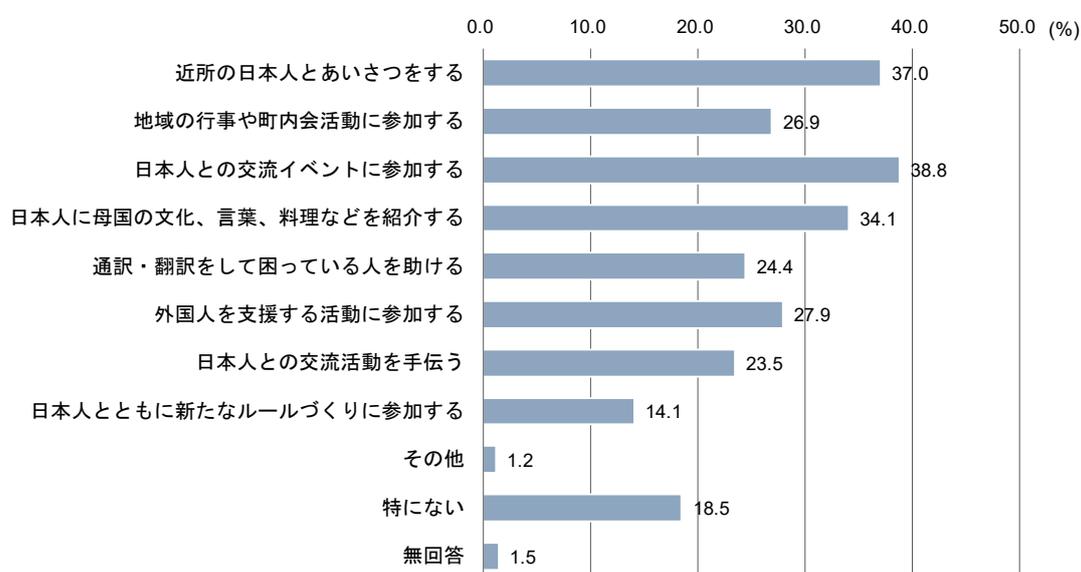
愛情、心に愛情があればすべてが簡単になる／言葉（日本語）の問題を理解して助けてくれること／外国人に対して、リスペクト。フレンドリー、偏見をしないこと

	くみ出されること	日本の生活ルール（ごみ出しなど）を教えること	日本の文化や習慣を教えること	日本の文化や習慣を教えること	自分や親の生まれた国の文化や習慣を理解し、てくれること	日本語を教えること	あいさつなど声をかけてくれること	地域の行事や町内会活動に誘ってくれること	生活の中で感じたことを聞いてくれること	その他	特にない	無回答	全体
(%)													
全体	26.9	49.4	37.8	45.7	43.0	27.7	20.7	2.0	13.8	0.2	405		
国籍	ブラジル	23.0	44.6	33.1	36.0	49.6	20.9	12.9	2.9	20.9	0.0	139	
	ベトナム	32.6	61.8	36.8	66.0	45.8	34.7	30.6	0.7	1.4	0.7	144	
	フィリピン	34.1	39.0	53.7	29.3	51.2	24.4	29.3	2.4	19.5	0.0	41	
	中国	19.0	47.6	47.6	52.4	14.3	42.9	14.3	0.0	19.0	0.0	21	
	インドネシア	16.1	41.9	48.4	29.0	29.0	25.8	3.2	6.5	0.0	0.0	31	
	その他	24.1	34.5	24.1	27.6	20.7	20.7	20.7	0.0	44.8	0.0	29	
在留資格	永住者	23.9	42.5	35.4	33.6	44.2	24.8	19.5	2.7	25.7	0.0	113	
	定住者	34.1	54.9	44.0	41.8	52.7	31.9	18.7	4.4	4.4	0.0	91	
	技能実習	25.0	47.2	34.7	51.4	37.5	26.4	22.2	0.0	6.9	0.0	72	
	技術・人文知識・国際業務	39.1	68.1	42.0	75.4	42.0	39.1	31.9	1.4	2.9	0.0	69	
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	13.2	36.8	36.8	28.9	39.5	13.2	7.9	0.0	28.9	0.0	38	
	その他	5.3	36.8	26.3	42.1	21.1	21.1	21.1	0.0	21.1	0.0	19	
在任年数	6か月未満	20.0	60.0	26.7	66.7	40.0	46.7	26.7	0.0	6.7	0.0	15	
	6か月以上1年未満	37.5	53.1	21.9	40.6	40.6	15.6	9.4	3.1	15.6	0.0	32	
	1年以上2年未満	31.9	53.6	52.2	53.6	39.1	26.1	17.4	2.9	8.7	0.0	69	
	2年以上3年未満	28.4	55.4	35.1	54.1	50.0	31.1	28.4	1.4	6.8	0.0	74	
	3年以上5年未満	31.9	54.2	41.7	58.3	52.8	34.7	26.4	0.0	6.9	0.0	72	
	5年以上10年未満	23.5	45.6	36.8	36.8	38.2	27.9	19.1	2.9	13.2	0.0	68	
	10年以上	16.2	35.1	33.8	24.3	36.5	20.3	16.2	2.7	32.4	1.4	74	

あなたがこれからやってみたいことについて、教えてください。あてはまる番号すべてにをしてください。

n=405

今後、やってみたいことについて聞いたところ、「日本人との交流イベントに参加する」(38.8%)、「近所の日本人とあいさつをする」(37.0%)が多くなっている。次いで、「日本人に母国の文化、言葉、料理などを紹介する」(34.1%)となっている。



【その他】

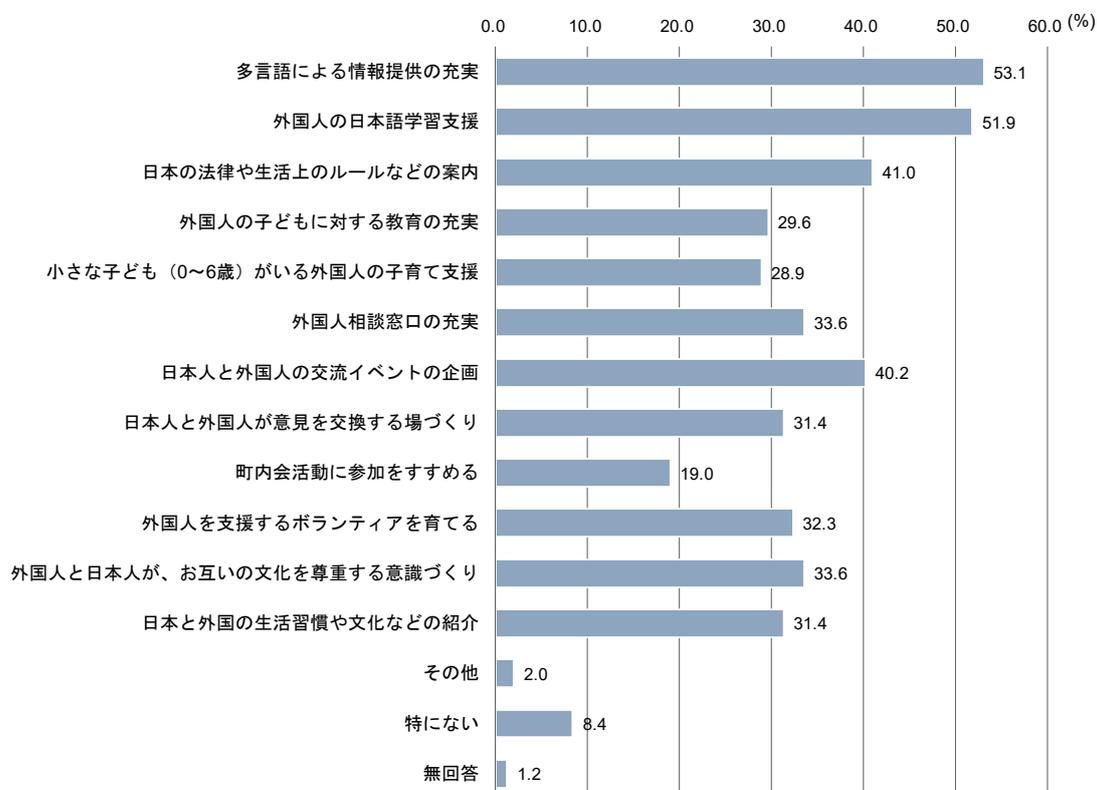
文化の違いを理解すること。お互いをリスペクト。フレンドリー。偏見をしないこと

	(%)	近所の日本人とあ	地域の行事や町内会活動に参加する	日本人との交流イベントに参加する	を紹介する	日本人に母国の文化、言葉、料理などを紹介する	困っている人を助ける	通訳・翻訳をして	外国人を支援する活動に参加する	日本人との交流活動を手伝う	日本人とともに新たなルールづくりに参加する	その他	特にな	無回答	全体
全体	37.0	26.9	38.8	34.1	24.4	27.9	23.5	14.1	1.2	18.5	1.5	405			
国籍	ブラジル	33.1	20.9	33.8	23.0	16.5	18.7	15.8	15.1	1.4	28.8	1.4	139		
	ベトナム	33.3	33.3	46.5	46.5	27.1	35.4	26.4	13.9	0.7	9.0	2.1	144		
	フィリピン	43.9	31.7	34.1	31.7	22.0	34.1	29.3	12.2	2.4	22.0	0.0	41		
	中国	42.9	42.9	57.1	42.9	42.9	33.3	33.3	28.6	0.0	19.0	4.8	21		
	インドネシア	61.3	16.1	35.5	32.3	22.6	29.0	29.0	3.2	3.2	0.0	0.0	31		
	その他	34.5	17.2	20.7	24.1	41.4	20.7	24.1	13.8	0.0	31.0	0.0	29		
在留資格	永住者	32.7	23.9	30.1	23.9	27.4	30.1	23.9	22.1	2.7	29.2	1.8	113		
	定住者	41.8	25.3	40.7	36.3	20.9	26.4	23.1	9.9	1.1	16.5	1.1	91		
	技能実習	44.4	27.8	43.1	43.1	16.7	22.2	22.2	9.7	0.0	12.5	0.0	72		
	技術・人文知識・国際業務	33.3	37.7	53.6	47.8	36.2	46.4	27.5	15.9	1.4	7.2	0.0	69		
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	36.8	26.3	31.6	28.9	18.4	10.5	18.4	7.9	0.0	26.3	2.6	38		
その他	26.3	15.8	31.6	15.8	21.1	15.8	26.3	10.5	0.0	10.5	5.3	19			
在住年数	6か月未満	33.3	53.3	73.3	26.7	60.0	40.0	33.3	26.7	0.0	0.0	0.0	15		
	6か月以上1年未満	40.6	25.0	21.9	43.8	25.0	28.1	15.6	9.4	3.1	12.5	0.0	32		
	1年以上2年未満	39.1	24.6	44.9	31.9	15.9	27.5	21.7	8.7	1.4	21.7	0.0	69		
	2年以上3年未満	41.9	25.7	45.9	41.9	24.3	24.3	24.3	10.8	1.4	9.5	1.4	74		
	3年以上5年未満	36.1	31.9	43.1	38.9	25.0	33.3	25.0	15.3	2.8	15.3	0.0	72		
	5年以上10年未満	38.2	27.9	35.3	41.2	26.5	30.9	29.4	22.1	0.0	20.6	2.9	68		
	10年以上	29.7	18.9	25.7	14.9	23.0	21.6	18.9	13.5	0.0	32.4	4.1	74		

あなたは外国人と日本人が交流し、地域で一緒に生活するために、市はどんなことに取り組む必要があると思いますか。あてはまる番号すべてにをしてください。

n=405

外国人と日本人が交流し、地域で一緒に生活するために、市が取り組むべきことについては「多言語による情報提供の充実」(53.1%)、「外国人の日本語学習支援」(51.9%)で多くなっている。次いで、「日本の法律や生活上のルールなどの案内」(41.0%)、「日本人と外国人の交流イベントの企画」(40.2%)となっている。



【その他】

この国で生活できるように馴染ませてくれること。全て市役所に依存しないように／市役所でインドネシア通訳の対応があれば助かります／日本語学校の学費がもっと安くなるといいです／外国人にも選挙権を／外国人が日本語と日本の仕組みを勉強するべき

西尾市の多文化共生に関して、特に感じている課題や問題点、行政(西尾市)への要望などがありましたら、お聞かせください。

n=135

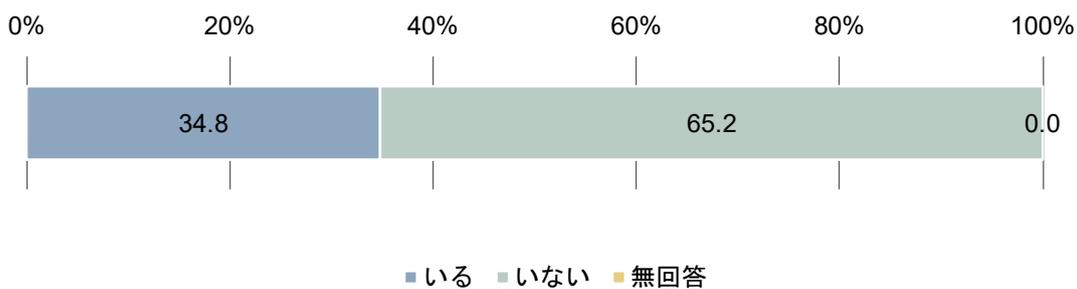
意見については、別冊資料編の資料1-1に整理している。

5) 子どもについて

あなたには子どもがいますか。

n=405

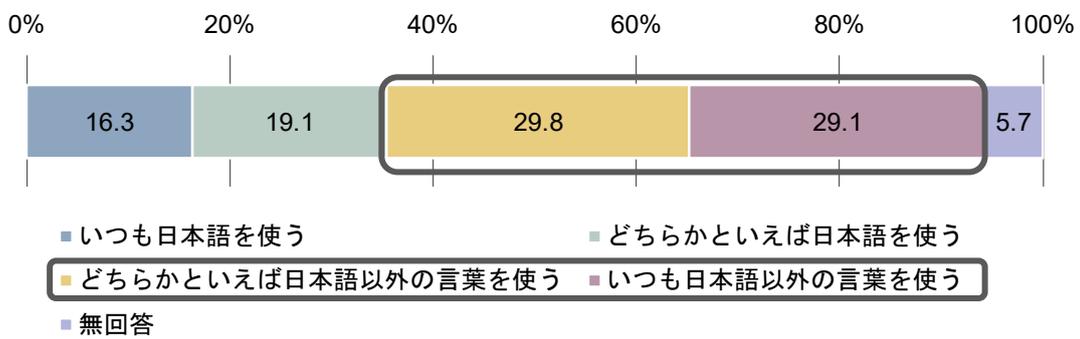
子どもが「いる」は34.8%、「いない」が65.2%であった。



あなたは子どもと何語で話しますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

「子どもがいる」と回答した者 n=141

子どもと話す言語について聞いたところ、「どちらかといえば日本語以外の言葉を使う」が29.8%で最も多い。次いで「いつも日本語以外の言葉を使う」(29.1%)、「どちらかといえば日本語を使う」(19.1%)となっている。「いつも日本語を使う」は16.3%となった。母国語等の日本語以外の言葉で、子どもと話す親が全体の6割弱となっている。

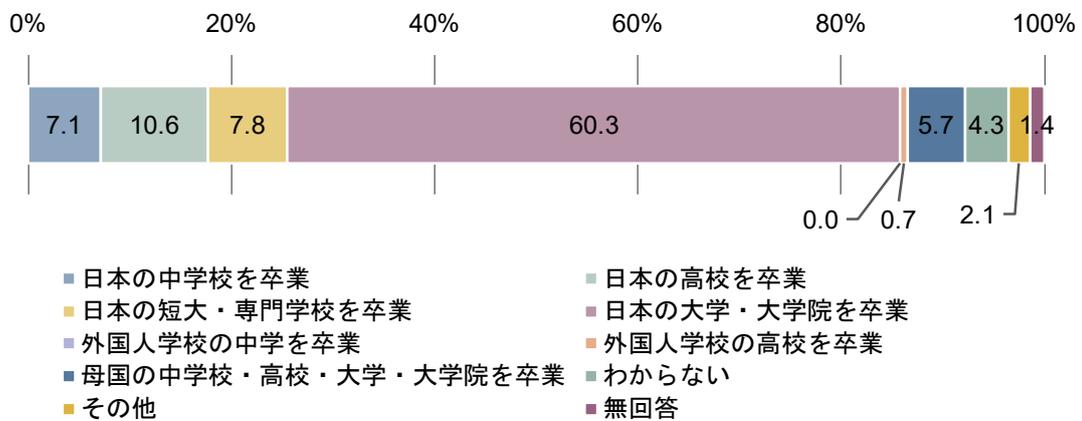


	いつも日本語を使う (%)	どちらかといえば日本語を使う (%)	どちらかといえば日本語以外の言葉を使う (%)	いつも日本語以外の言葉を使う (%)	無回答 (%)	全体 (人数)	
全体	16.3	19.1	29.8	29.1	5.7	141	
国籍	ブラジル	9.1	20.0	30.9	30.9	9.1	55
	ベトナム	8.1	16.2	27.0	40.5	8.1	37
	フィリピン	47.6	14.3	19.0	19.0	0.0	21
	中国	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	6
	インドネシア	9.1	18.2	45.5	27.3	0.0	11
	その他	18.2	27.3	36.4	18.2	0.0	11
在留資格	永住者	27.3	29.1	21.8	16.4	5.5	55
	定住者	9.5	11.9	38.1	35.7	4.8	42
	技能実習	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	3
	技術・人文知識・国際業務	0.0	21.1	26.3	47.4	5.3	19
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	11.8	11.8	29.4	41.2	5.9	17
	その他	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	3
在住年数	6か月未満	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	3
	6か月以上1年未満	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	7
	1年以上2年未満	7.1	7.1	50.0	35.7	0.0	14
	2年以上3年未満	10.5	10.5	26.3	47.4	5.3	19
	3年以上5年未満	3.8	19.2	34.6	38.5	3.8	26
	5年以上10年未満	10.5	18.4	31.6	28.9	10.5	38
	10年以上	38.2	29.4	14.7	11.8	5.9	34

あなたは子どもにどこまで進学してほしいですか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

「子どもがいる」と回答した者 n=141

子どもの進学先について聞いたところ、「日本の大学・大学院を卒業」が60.3%で最も多く、6割を占めている。次いで「日本の高校を卒業」(10.6%)、「日本の短大・専門学校を卒業」(7.8%)、「日本の中学校を卒業」(7.1%)となっている。



【その他】

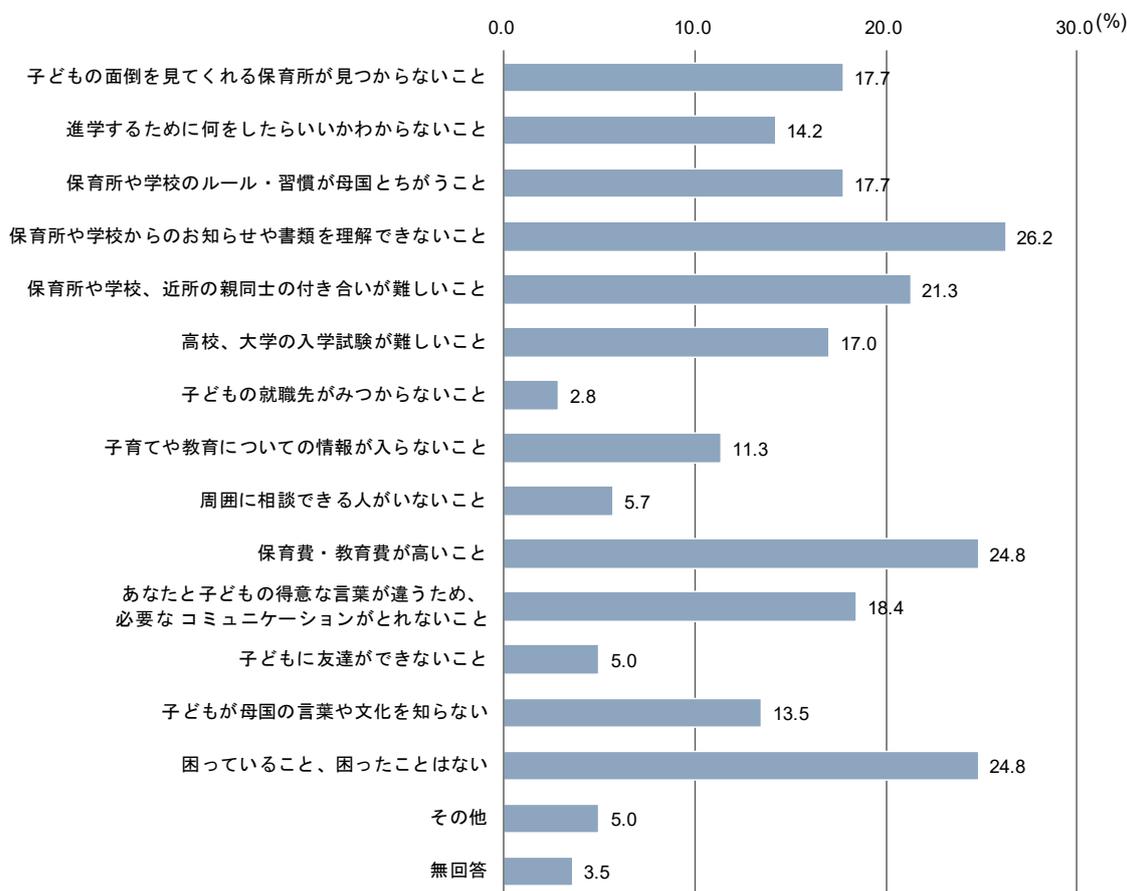
未就学児 (3)

		日本の中学校を卒業	日本の高校を卒業	日本の短大・専門学校を卒業	日本の大学・大学院を卒業	外国人学校の中学を卒業	外国人学校の高校を卒業	母国の中学校・大学・大学院を卒業	わからない	その他	無回答	全体
(%)												
全体		7.1	10.6	7.8	60.3	0.0	0.7	5.7	4.3	2.1	1.4	141
国籍	ブラジル	9.1	20.0	9.1	43.6	0.0	1.8	5.5	3.6	5.5	1.8	55
	ベトナム	5.4	0.0	2.7	75.7	0.0	0.0	8.1	5.4	0.0	2.7	37
	フィリピン	0.0	14.3	0.0	76.2	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	21
	中国	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6
	インドネシア	18.2	0.0	27.3	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	11
	その他	9.1	9.1	18.2	54.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	11
在留資格	永住者	1.8	12.7	7.3	69.1	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6	55
	定住者	11.9	11.9	9.5	50.0	0.0	2.4	7.1	2.4	4.8	0.0	42
	技能実習	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	3
	技術・人文知識・国際業務	10.5	0.0	5.3	84.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	5.9	17.6	5.9	47.1	0.0	0.0	11.8	11.8	0.0	0.0	17
その他	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	3	
在任年数	6か月未満	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	6か月以上1年未満	0.0	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	7
	1年以上2年未満	21.4	21.4	7.1	35.7	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	14
	2年以上3年未満	0.0	21.1	5.3	63.2	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	19
	3年以上5年未満	15.4	7.7	3.8	50.0	0.0	0.0	3.8	3.8	11.5	3.8	26
	5年以上10年未満	2.6	5.3	10.5	68.4	0.0	2.6	2.6	7.9	0.0	0.0	38
	10年以上	5.9	8.8	8.8	67.6	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	2.9	34

あなたが子育てや教育で困っていること、困った経験をしたことは何ですか。あてはまる番号すべてにをしてください。

「子どもがいる」と回答した者 n=141

子育てや教育で困っていること、困った経験をしたことについて聞いたところ、「保育所や学校からのお知らせや書類を理解できないこと」(26.2%)、「保育費・教育費が高いこと」(24.8%)が多く、次いで「保育所や学校、近所の親同士の付き合いが難しいこと」(21.3%)となっている。一方、「困っていること、困ったことはない」は24.8%であった。



【その他】

一日中学校にいます。親と過ごす時間が少ない／近隣市と比べて、お母さんが仕事をしに行くのに未満児を保育園で受け入れてもらえない

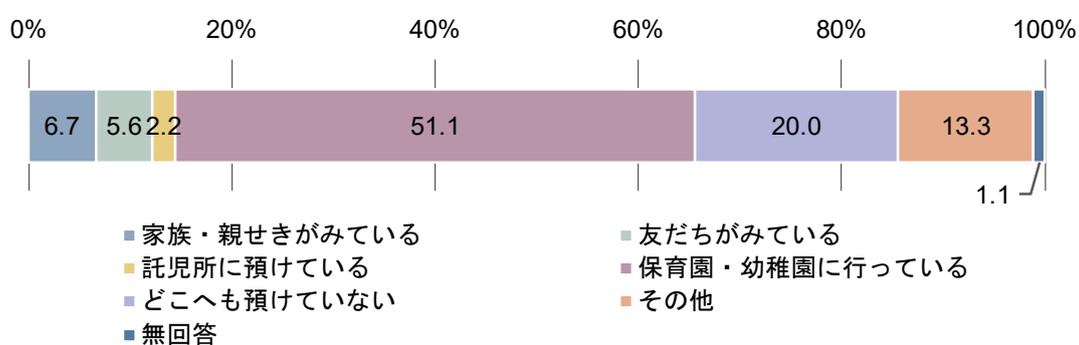
	子どもが面倒を見つけてくれないこと	進学するための何をしたらいいかわからないこと	母国とちがうこと	保育所や学校のルール・習慣が書類を理解できないこと	保育所や学校からのお知らせや付き合いが難しいこと	高校、大学の入学試験が難しいこと	子どもの就職先がみつからないこと	子育てや教育についての情報が入らないこと	周囲に相談できる人がいないこと	保育費・教育費が高いこと	あなたと子どもの得意な言葉が違うため、必要なコミュニケーションがとれないこと	子どもに友達ができないこと	
(%)	17.7	14.2	17.7	26.2	21.3	17.0	2.8	11.3	5.7	24.8	18.4	5.0	
全体	17.7	14.2	17.7	26.2	21.3	17.0	2.8	11.3	5.7	24.8	18.4	5.0	
国籍	ブラジル	18.2	16.4	18.2	25.5	27.3	23.6	5.5	9.1	5.5	29.1	20.0	7.3
	ベトナム	32.4	10.8	24.3	35.1	27.0	18.9	0.0	21.6	5.4	27.0	13.5	2.7
	フィリピン	0.0	4.8	4.8	14.3	4.8	9.5	0.0	4.8	4.8	14.3	0.0	4.8
	中国	0.0	33.3	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0
	インドネシア	18.2	27.3	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	36.4	45.5	0.0
	その他	9.1	9.1	0.0	36.4	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	9.1
在留資格	永住者	12.7	10.9	16.4	27.3	23.6	14.5	5.5	10.9	7.3	23.6	20.0	3.6
	定住者	19.0	19.0	9.5	16.7	14.3	21.4	2.4	4.8	4.8	31.0	21.4	7.1
	技能実習	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	26.3	15.8	31.6	42.1	26.3	15.8	0.0	26.3	0.0	26.3	15.8	0.0
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	23.5	17.6	29.4	29.4	29.4	23.5	0.0	17.6	11.8	17.6	11.8	5.9
	その他	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
在任年数	6か月未満	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0
	6か月以上1年未満	14.3	14.3	14.3	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	
	1年以上2年未満	7.1	21.4	14.3	21.4	21.4	28.6	7.1	7.1	0.0	28.6	21.4	0.0
	2年以上3年未満	31.6	5.3	26.3	42.1	26.3	21.1	0.0	15.8	10.5	26.3	15.8	0.0
	3年以上5年未満	26.9	15.4	19.2	38.5	30.8	30.8	3.8	11.5	3.8	19.2	23.1	19.2
	5年以上10年未満	18.4	15.8	18.4	15.8	15.8	7.9	0.0	15.8	7.9	23.7	23.7	2.6
	10年以上	8.8	11.8	11.8	23.5	11.8	11.8	5.9	2.9	2.9	23.5	14.7	2.9
(%)	13.5	24.8	5.0	3.5	141								
全体	13.5	24.8	5.0	3.5	141								
国籍	ブラジル	12.7	25.5	5.5	3.6	55							
	ベトナム	10.8	13.5	8.1	5.4	37							
	フィリピン	4.8	52.4	4.8	0.0	21							
	中国	0.0	16.7	0.0	0.0	6							
	インドネシア	45.5	18.2	0.0	0.0	11							
	その他	18.2	18.2	0.0	9.1	11							
在留資格	永住者	23.6	32.7	3.6	5.5	55							
	定住者	9.5	21.4	4.8	0.0	42							
	技能実習	0.0	33.3	0.0	0.0	3							
	技術・人文知識・国際業務	5.3	10.5	10.5	0.0	19							
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	5.9	29.4	5.9	0.0	17							
	その他	0.0	0.0	0.0	33.3	3							
在任年数	6か月未満	0.0	0.0	0.0	0.0	3							
	6か月以上1年未満	0.0	14.3	0.0	14.3	7							
	1年以上2年未満	7.1	28.6	7.1	0.0	14							
	2年以上3年未満	5.3	26.3	0.0	0.0	19							
	3年以上5年未満	11.5	15.4	3.8	0.0	26							
	5年以上10年未満	21.1	15.8	7.9	2.6	38							
	10年以上	17.6	44.1	5.9	8.8	34							

○ 日本に0歳から6歳（小学校に入学する前までの年齢）の子どもがいる人に聞きます。

あなたはお子さんを、昼の時間に、どこへ預けていますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

「0～6歳の子どもがいる」と回答した者 n=90

昼の時間の子どもの預け先について聞いたところ、「保育園・幼稚園に行っている」が51.1%で最も多く、5割を占めている。次いで「どこへも預けていない」（20.0%）となっている。



【その他】

自分でみている（5）／有料のベビーシッター／仕事しに行くのにまだ子どもを保育園に入れられない。

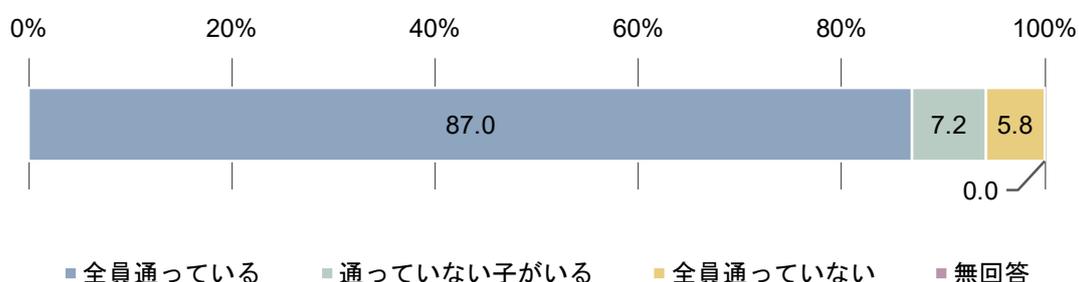
		が家族 みて・親 るせき	い友だ ちが みて	て託児 所に 預け	る園保 に行園 つ・て 幼稚	てど いこ へも 預け	そ の 他	無 回 答	全 体
		(%)							
全体		6.7	5.6	2.2	51.1	20.0	13.3	1.1	90
国籍	ブラジル	0.0	3.1	0.0	53.1	25.0	15.6	3.1	32
	ベトナム	3.4	10.3	3.4	55.2	17.2	10.3	0.0	29
	フィリピン	27.3	0.0	9.1	36.4	0.0	27.3	0.0	11
	中国	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	5
	インドネシア	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	6
	その他	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	7
在留資格	永住者	0.0	0.0	3.4	65.5	20.7	10.3	0.0	29
	定住者	4.2	8.3	0.0	45.8	25.0	12.5	4.2	24
	技能実習	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	技術・人文知識・国際業務	11.1	0.0	5.6	55.6	16.7	11.1	0.0	18
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	8.3	16.7	0.0	33.3	16.7	25.0	0.0	12
	その他	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	3
在住年数	6か月未満	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2
	6か月以上1年未満	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	6
	1年以上2年未満	18.2	9.1	9.1	45.5	0.0	18.2	0.0	11
	2年以上3年未満	0.0	27.3	0.0	36.4	18.2	18.2	0.0	11
	3年以上5年未満	0.0	0.0	0.0	47.1	47.1	0.0	5.9	17
	5年以上10年未満	7.7	0.0	3.8	65.4	7.7	15.4	0.0	26
	10年以上	5.9	0.0	0.0	52.9	23.5	17.6	0.0	17

- 日本に6歳から15歳（日本の小学校・中学校に通う年齢）の子どもがいる人に聞きます。

あなたのお子さんは学校に通っていますか。あてはまる番号1つに☑をしてください。

「6～15歳の子どもがいる」と回答した者 n=69

子どもの通学状況については、「全員通っている」が87.0%で最も多く9割弱を占めている。一方で「通っていない子がいる」が7.2%、「全員通っていない」が5.8%となっている。

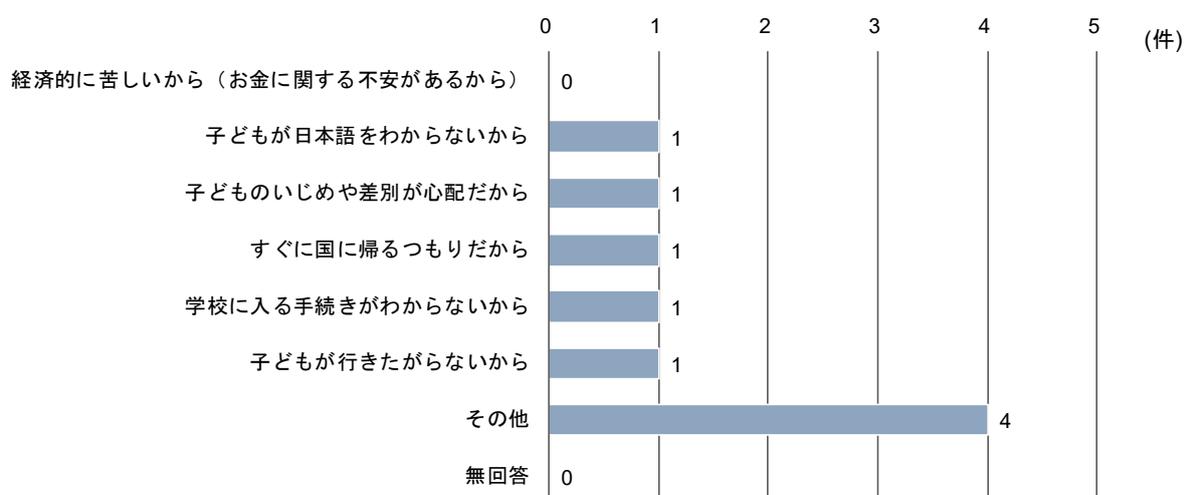


		全員通っている (%)	通っていない子がいる	全員通っていない	無回答	全体
全体		87.0	7.2	5.8	0.0	69
国籍	ブラジル	83.3	10.0	6.7	0.0	30
	ベトナム	100.0	0.0	0.0	0.0	12
	フィリピン	91.7	8.3	0.0	0.0	12
	中国	100.0	0.0	0.0	0.0	2
	インドネシア	75.0	12.5	12.5	0.0	8
	その他	80.0	0.0	20.0	0.0	5
在留資格	永住者	93.9	3.0	3.0	0.0	33
	定住者	79.2	16.7	4.2	0.0	24
	技能実習	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	技術・人文知識・国際業務	75.0	0.0	25.0	0.0	4
	日本人・永住者の配偶者、家族滞在	83.3	0.0	16.7	0.0	6
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	1	
在住年数	6か月未満	0.0	100.0	0.0	0.0	1
	6か月以上1年未満	50.0	50.0	0.0	0.0	2
	1年以上2年未満	85.7	0.0	14.3	0.0	7
	2年以上3年未満	88.9	0.0	11.1	0.0	9
	3年以上5年未満	92.3	7.7	0.0	0.0	13
	5年以上10年未満	82.4	5.9	11.8	0.0	17
10年以上	95.0	5.0	0.0	0.0	20	

あなたのお子さんが学校に通っていない理由はなんですか。あてはまる番号すべてにをしてください。

「学校に通っていない子がいる」と回答した者 n=9

学校に通っていない理由について聞いたところ、「子どもが日本語をわからないから」「子どものいじめや差別が心配だから」「すぐに国に帰るつもりだから」「学校に入る手続きがわからないから」「子どもが行きたがらないから」となっている。



【その他】

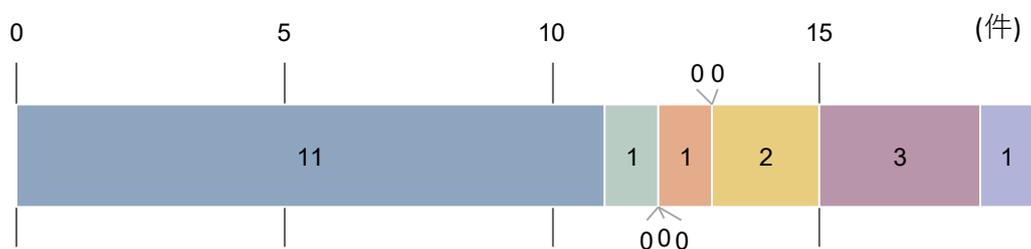
年齢が達していない／終わった／日本で暮らしていない

○ 日本に15歳から18歳（日本の中学校を卒業した年齢）の子どもがいる人に聞きます。

あなたのお子さんは学校に通っていますか。それぞれあてはまる番号1つに☑をしてください。

「15～18歳の子どもがいる」と回答した者 n=19

中学校卒業後の進路について「日本の全日制高校に通っている」が11件で最も多い。一方で「特に何もしていない」が3件となっている。



- 日本の全日制高校に通っている
- 日本の定時制高校に通っている
- 日本の通信制高校に通っている
- 日本の専修学校（職業など専門的な勉強をする学校）に通っている
- 外国人学校に通っている
- 働いている
- 仕事を探している
- 主婦・子育て・家事手伝いなど
- 特に何もしていない
- その他
- 無回答

【その他】

夜間の高校に通っている／日本で暮らしていない

2. 日本人市民アンケート結果

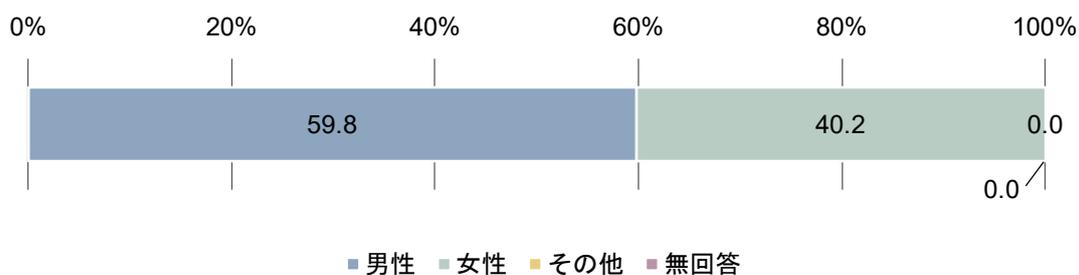
① 調査概要

調査対象	西尾市市民 2,000 名（住民基本台帳より無作為抽出）
調査方法	郵送とウェブアンケート
調査期間	2020 年 10 月 9 日（金）～2020 年 10 月 30 日（金）
回収状況	1,051 件

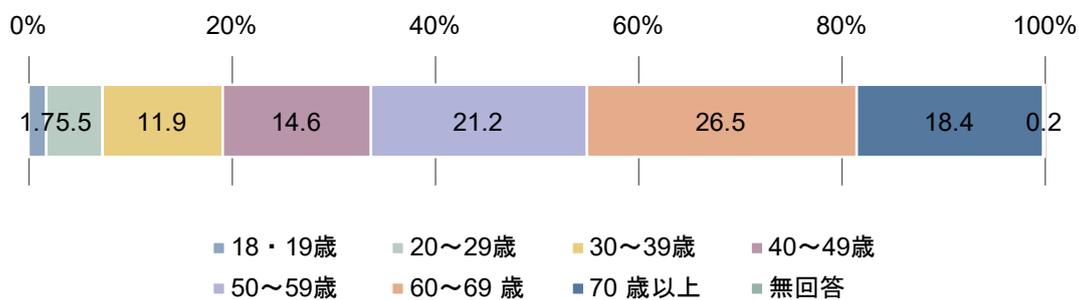
② 回答者について

（4）以外は、n=1,051）

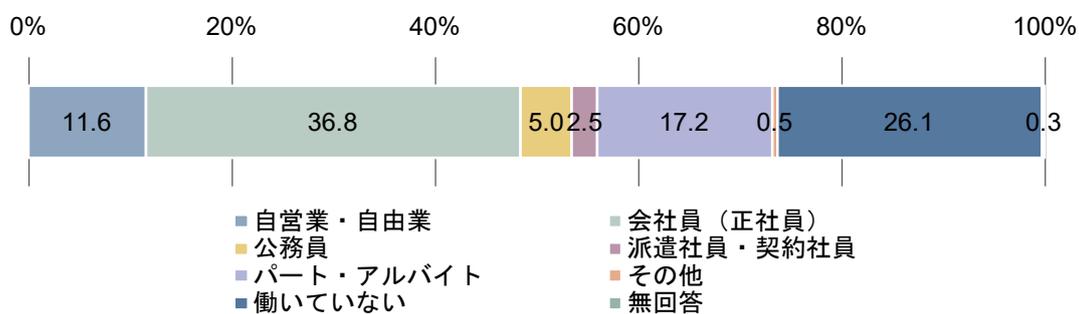
1) 性別



2) 年齢



3) 職業

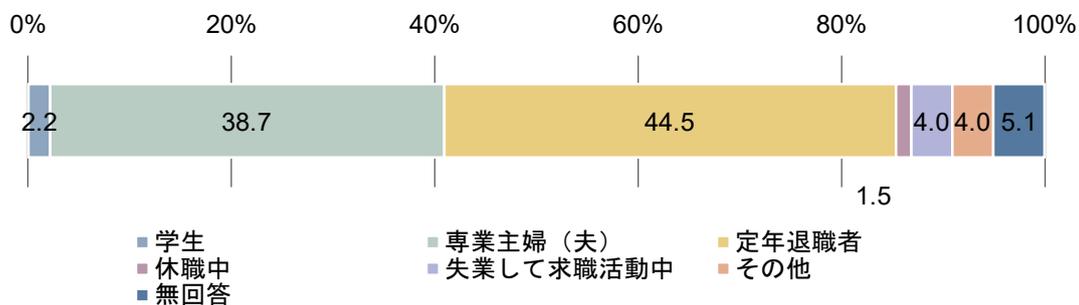


【その他】

専従者／専門職

4) 前問で「働いていない」を選んだ方の現在の状況

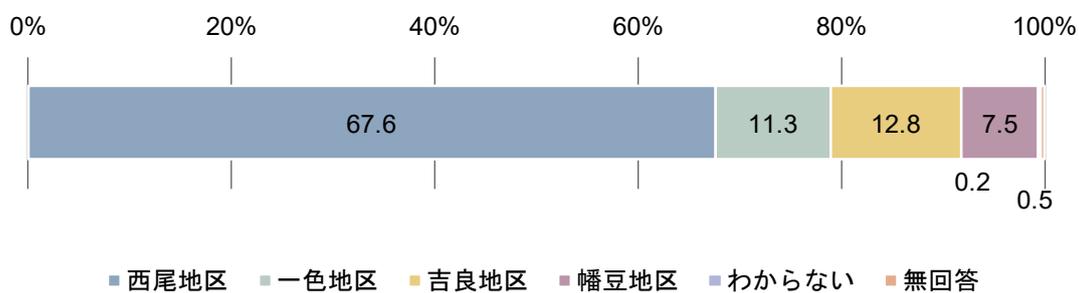
(職業について「働いていない」と回答した者 n=274)



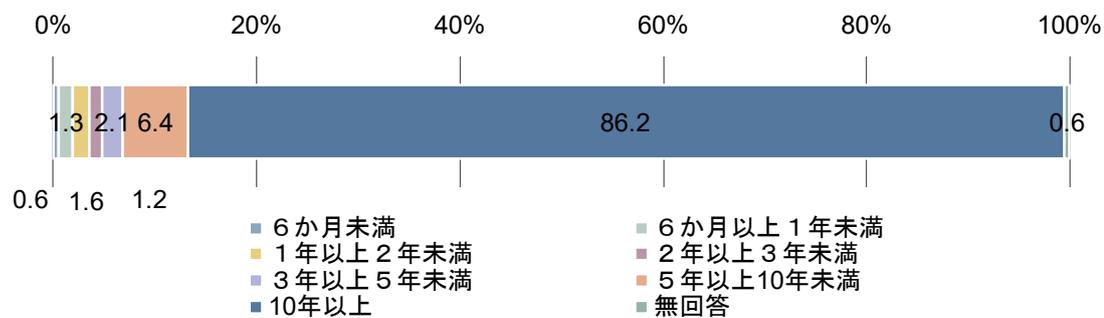
【その他】

障がい・持病（5）／家事手伝い／特養入所中／廃業

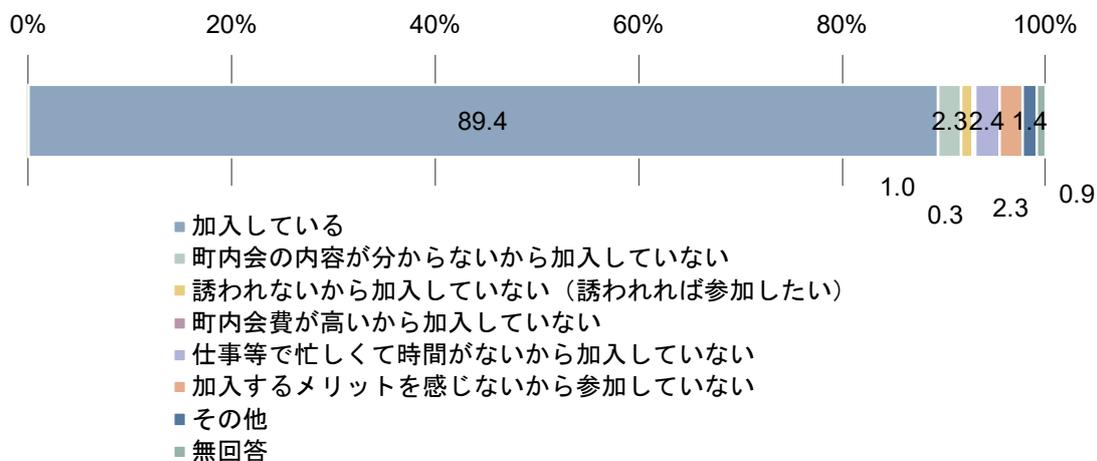
5) 居住地区



6) 居住年数



7) 町内会加入の有無

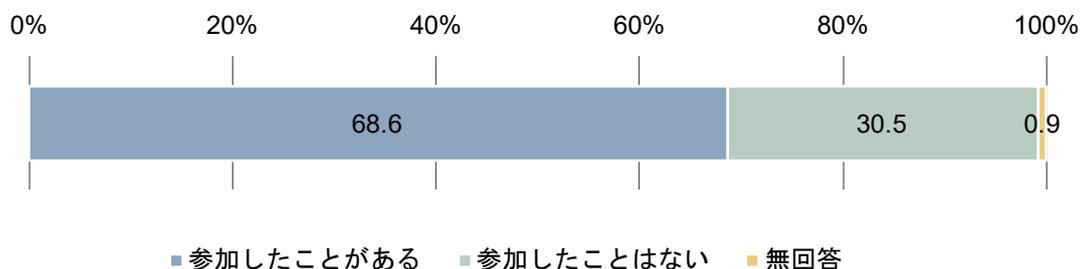


【その他】

親・家族が加入している (2) / 特養入所中の為 / 祭礼の行事 / シルバー元気教室に加入していた / 加入していない / 町内会が存続していない / わからない (6)

	加入している (%)	町内会から加入が分かっていない	町内会に参加したい (誘われたい)	町内会費が高いから	仕事等で忙しくて時間がないから加入していない	加入するメリットを感じないから参加していない	その他	無回答	全体	
全体	89.4	2.3	1.0	0.3	2.4	2.3	1.4	0.9	1051	
年齢	30歳未満	48.7	13.2	1.3	0.0	19.7	11.8	5.3	0.0	76
	30～39歳	84.8	4.0	4.0	0.0	1.6	3.2	2.4	0.0	125
	40～49歳	90.2	1.3	1.3	1.3	1.3	3.3	1.3	0.0	153
	50～59歳	93.7	2.2	0.4	0.0	1.8	1.3	0.4	0.0	223
	60～69歳	95.3	0.4	0.7	0.4	0.7	1.1	0.4	1.1	279
	70歳以上	94.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.1	193
職業	自営業・自由業	92.6	1.6	0.8	0.8	0.8	3.3	0.0	0.0	122
	会社員 (正社員)	86.6	2.6	1.8	0.0	4.9	2.8	1.3	0.0	387
	公務員	98.1	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53
	派遣社員・契約社員	92.3	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26
	パート・アルバイト	87.8	3.3	0.6	0.6	2.2	1.7	1.7	2.2	181
	その他	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
	働いていない	91.6	1.5	0.0	0.4	0.0	2.2	2.6	1.8	274
居住地区	西尾地区	88.7	2.7	1.1	0.3	2.4	2.4	1.5	0.8	711
	一色地区	91.6	1.7	0.0	0.0	1.7	2.5	2.5	0.0	119
	吉良地区	94.1	1.5	0.0	0.0	1.5	2.2	0.0	0.7	135
	幡豆地区	87.3	1.3	2.5	1.3	3.8	1.3	1.3	1.3	79
	わからない	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2

8) 地域の防災訓練への参加経験



		が参加したことがある (%)	は参加したことはない	無回答	全体
全体		68.6	30.5	0.9	1051
年齢	30歳未満	17.1	82.9	0.0	76
	30～39歳	47.2	52.8	0.0	125
	40～49歳	56.9	43.1	0.0	153
	50～59歳	76.2	22.9	0.9	223
	60～69歳	82.8	16.1	1.1	279
	70歳以上	82.4	15.5	2.1	193
職業	自営業・自由業	75.4	23.8	0.8	122
	会社員（正社員）	59.4	40.1	0.5	387
	公務員	79.2	20.8	0.0	53
	派遣社員・契約社員	65.4	34.6	0.0	26
	パート・アルバイト	66.9	30.9	2.2	181
	その他	100.0	0.0	0.0	5
	働いていない	77.4	21.9	0.7	274
居住地区	西尾地区	67.2	31.8	1.0	711
	一色地区	65.5	33.6	0.8	119
	吉良地区	74.1	25.9	0.0	135
	幡豆地区	75.9	22.8	1.3	79
	わからない	0.0	100.0	0.0	2

③ 回答結果について

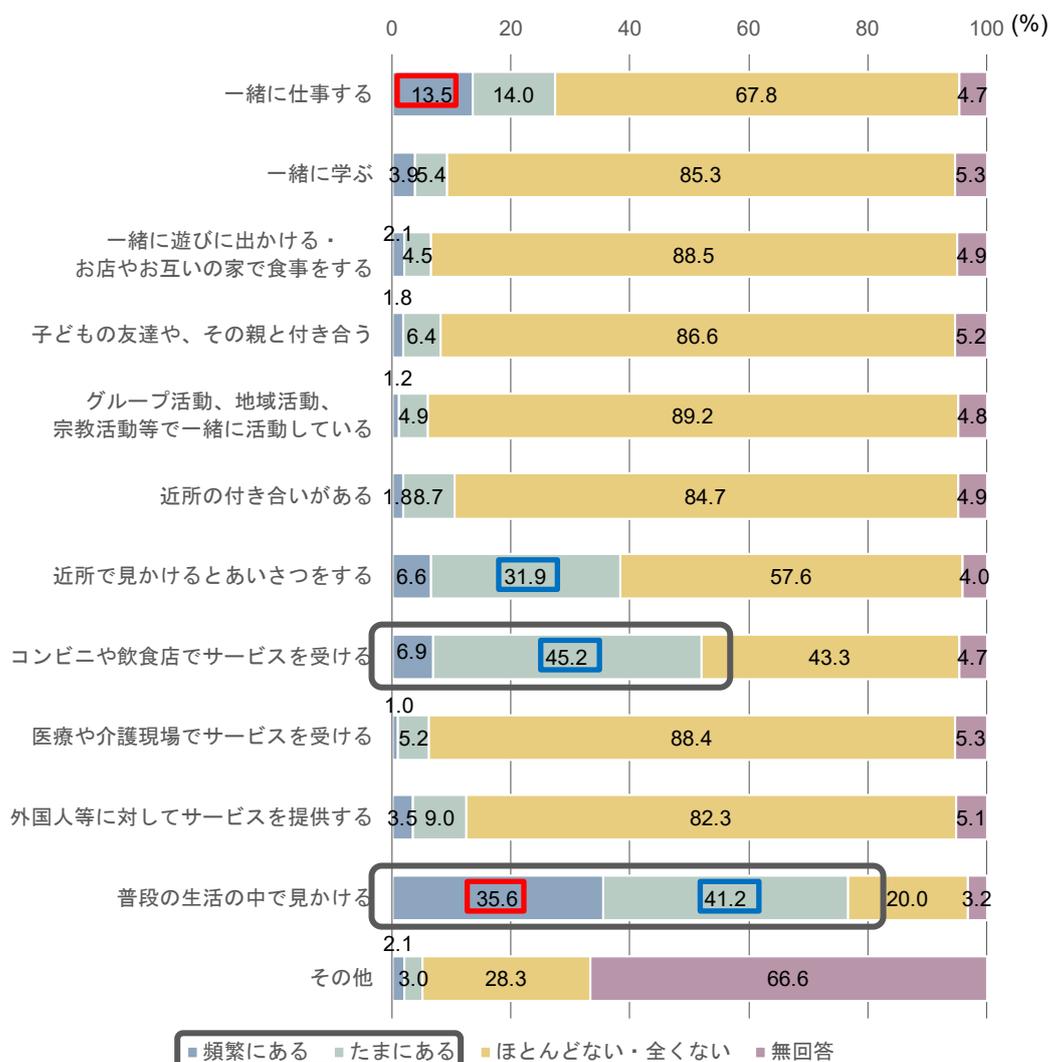
4) 外国人等とのかかわりについて

現在、あなたが地域内で生活するなかで、外国人等と関わる場面の有無についてお聞きします。
それぞれ、該当する番号1つに○を付けてください。

n=1,051

地域内で生活するなかで、外国人等との関わりについて聞いたところ、『頻繁にある』の回答は、「普段の生活の中で見かける」(35.6%)、「一緒に仕事をする」(13.5%)で多くなっている。『たまにある』の回答は、「コンビニや飲食店でサービスを受ける」(45.2%)、「普段の生活の中で見かける」(41.2%)、「近所で見かけるとあいさつする」(31.9%)が多くなっている。

関わりが多い場面としては、「普段の生活の中で見かける」が8割弱、「コンビニや飲食店でサービスを受ける」が約5割となっている。



【その他】会社・職場で(10) / 近所で(駅、公園、スーパー、コンビニ、お店など)(7) / 友人、知人、家族(配偶者、親などが外国籍)(6) / アパートなどの住まいで(5) / 学校、保育園で(4) / 市役所、図書館など公共施設で / 分からない事があれば教えてあげる / 近隣に外国人はいない

【一緒に仕事する】

		頻繁にある	たまにある	全ほとくない・ない	無回答	全体
		(%)				
全体		13.5	14.0	67.8	4.7	1051
年齢	30歳未満	22.4	28.9	48.7	0.0	76
	30～39歳	20.8	22.4	56.8	0.0	125
	40～49歳	13.7	24.2	59.5	2.6	153
	50～59歳	21.1	15.2	61.9	1.8	223
	60～69歳	8.6	7.9	78.1	5.4	279
	70歳以上	3.6	2.1	80.8	13.5	193
	職業	自営業・自由業	11.5	8.2	73.0	7.4
会社員(正社員)		21.7	20.4	56.6	1.3	387
公務員		11.3	26.4	62.3	0.0	53
派遣社員・契約社員		15.4	23.1	61.5	0.0	26
パート・アルバイト		15.5	13.3	68.0	3.3	181
その他		0.0	0.0	100.0	0.0	5
働いていない		2.2	5.1	82.5	10.2	274
居住地区	西尾地区	15.0	14.3	66.8	3.8	711
	一色地区	9.2	13.4	73.9	3.4	119
	吉良地区	8.1	14.1	69.6	8.1	135
	幡豆地区	13.9	12.7	67.1	6.3	79
	わからない	50.0	0.0	50.0	0.0	2

【近所で見かけるとあいさつをする】

		頻繁にある	たまにある	全ほとくない・ない	無回答	全体
		(%)				
全体		6.6	31.9	57.6	4.0	1051
年齢	30歳未満	5.3	26.3	68.4	0.0	76
	30～39歳	8.8	33.6	57.6	0.0	125
	40～49歳	9.2	30.1	58.8	2.0	153
	50～59歳	8.1	28.3	61.9	1.8	223
	60～69歳	4.7	34.1	56.3	5.0	279
	70歳以上	4.7	35.8	48.7	10.9	193
	職業	自営業・自由業	6.6	32.8	54.1	6.6
会社員(正社員)		6.2	27.1	65.6	1.0	387
公務員		5.7	28.3	66.0	0.0	53
派遣社員・契約社員		0.0	38.5	57.7	3.8	26
パート・アルバイト		8.8	37.6	49.7	3.9	181
その他		0.0	80.0	20.0	0.0	5
働いていない		6.6	33.9	51.5	8.0	274
居住地区	西尾地区	6.6	32.6	57.4	3.4	711
	一色地区	5.9	30.3	61.3	2.5	119
	吉良地区	8.1	30.4	55.6	5.9	135
	幡豆地区	5.1	29.1	58.2	7.6	79
	わからない	0.0	50.0	50.0	0.0	2

【コンビニや飲食店でサービスを受ける】

		頻繁にある	たまにある	全ほとくない・ない	無回答	全体
		(%)				
全体		6.9	45.2	43.3	4.7	1051
年齢	30歳未満	15.8	55.3	28.9	0.0	76
	30～39歳	12.8	60.8	25.6	0.8	125
	40～49歳	11.1	58.2	30.1	0.7	153
	50～59歳	6.3	51.6	40.8	1.3	223
	60～69歳	3.2	37.6	53.0	6.1	279
	70歳以上	2.1	24.9	59.1	14.0	193
	職業	自営業・自由業	3.3	45.1	45.1	6.6
会社員(正社員)		9.3	49.9	39.8	1.0	387
公務員		11.3	60.4	28.3	0.0	53
派遣社員・契約社員		19.2	38.5	34.6	7.7	26
パート・アルバイト		4.4	50.8	42.0	2.8	181
その他		0.0	20.0	80.0	0.0	5
働いていない		4.7	33.6	50.7	10.9	274
居住地区	西尾地区	7.2	45.6	43.5	3.8	711
	一色地区	5.0	42.0	48.7	4.2	119
	吉良地区	8.1	46.7	37.0	8.1	135
	幡豆地区	5.1	44.3	44.3	6.3	79
	わからない	0.0	0.0	100.0	0.0	2

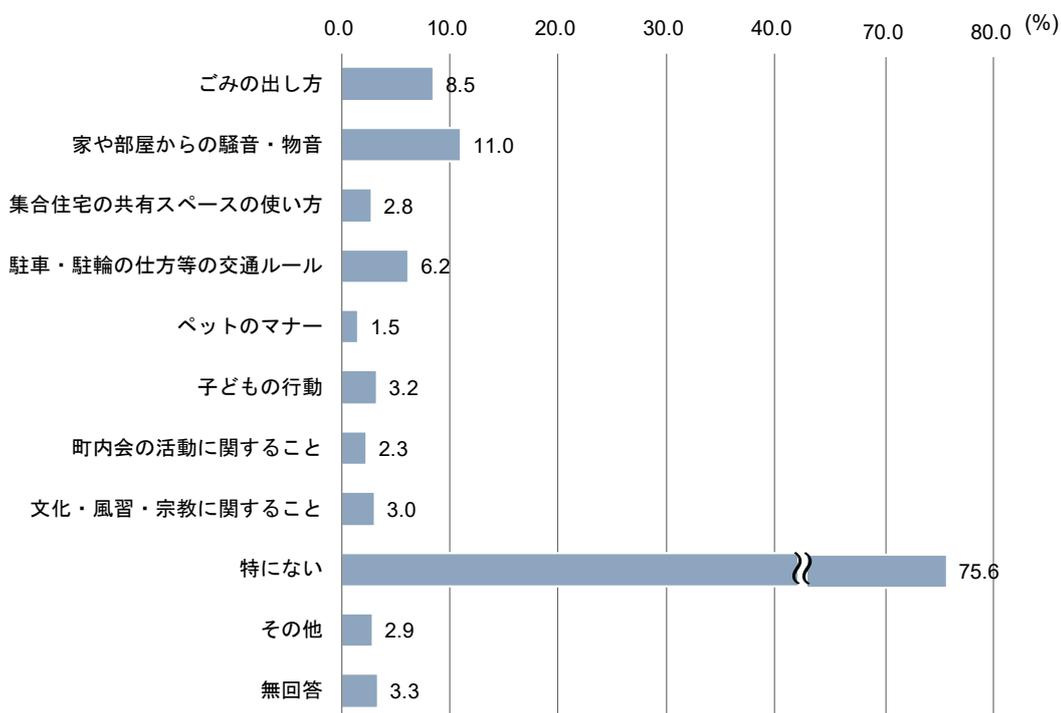
【普段の生活の中で見かける】

		頻繁にある	たまにある	全ほとくない・ない	無回答	全体
		(%)				
全体		35.6	41.2	20.0	3.2	1051
年齢	30歳未満	51.3	36.8	11.8	0.0	76
	30～39歳	63.2	28.8	8.0	0.0	125
	40～49歳	45.1	35.3	18.3	1.3	153
	50～59歳	33.6	47.1	18.4	0.9	223
	60～69歳	26.9	44.1	24.4	4.7	279
	70歳以上	19.2	45.1	26.9	8.8	193
	職業	自営業・自由業	27.9	50.8	15.6	5.7
会社員(正社員)		44.4	36.7	18.1	0.8	387
公務員		47.2	34.0	18.9	0.0	53
派遣社員・契約社員		38.5	42.3	15.4	3.8	26
パート・アルバイト		33.1	45.3	18.2	3.3	181
その他		60.0	20.0	20.0	0.0	5
働いていない		25.5	42.3	25.9	6.2	274
居住地区	西尾地区	39.4	38.3	19.5	2.8	711
	一色地区	27.7	48.7	21.0	2.5	119
	吉良地区	27.4	48.9	20.0	3.7	135
	幡豆地区	27.8	43.0	22.8	6.3	79
	わからない	50.0	50.0	0.0	0.0	2

地域で外国人等との間にトラブルがあったことはありますか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=1,051

地域で外国人等との間のトラブルの有無について聞いたところ、「特にない」が75.6%で最も多く、8割弱を占めている。次いで「家や部屋からの騒音・物音」(11.0%)、「ごみの出し方」(8.5%)となっている。



【その他】

騒音（夜に騒ぐ、バーベキューをする、大声で話すなど）（5）／ごみ捨てのマナー（分別できない、ポイ捨て、吸い殻を捨てるなど）（5）／私有地への侵入（不審な行動など）（4）／匂い（香水、体臭）（2）／金銭感覚（2）／運転マナー（自転車、自動車）（2）／交通マナー（信号無視など）（2）／挨拶や日常的なマナー（2）など

		ごみの出し方	音家や物音屋からの騒	ペ集合住宅の共有スペースの使い方	等駐車の交通ルール	ペットのマナー	子どもの行動	町内会の活動に関すること	文化・風習・宗教に関すること	特にな
		(%)								
全体		8.5	11.0	2.8	6.2	1.5	3.2	2.3	3.0	75.6
年齢	30歳未満	3.9	15.8	7.9	9.2	2.6	7.9	2.6	2.6	72.4
	30～39歳	6.4	16.0	1.6	7.2	0.8	7.2	0.8	2.4	71.2
	40～49歳	9.2	17.0	4.6	10.5	2.6	5.9	2.6	3.3	70.6
	50～59歳	11.2	12.1	2.2	6.7	1.3	2.7	2.7	4.9	74.0
	60～69歳	8.6	8.2	1.8	4.3	1.4	1.4	2.5	2.9	80.3
	70歳以上	7.8	4.1	2.1	3.1	1.0	0.0	2.1	1.6	78.8
職業	自営業・自由業	13.1	11.5	3.3	6.6	1.6	2.5	1.6	5.7	72.1
	会社員（正社員）	6.2	14.5	2.6	6.7	1.3	3.6	1.6	2.1	76.2
	公務員	13.2	3.8	1.9	3.8	0.0	3.8	5.7	3.8	75.5
	派遣社員・契約社員	7.7	23.1	3.8	19.2	3.8	0.0	3.8	7.7	57.7
	パート・アルバイト	9.4	14.4	3.9	6.6	2.8	6.1	2.8	3.3	73.5
	その他	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	働いていない	8.0	4.0	2.2	4.4	1.1	1.5	2.6	2.6	80.3
居住地区	西尾地区	9.1	13.1	3.1	6.5	2.0	3.8	2.4	3.0	73.6
	一色地区	7.6	5.9	1.7	5.0	0.8	1.7	0.0	2.5	80.7
	吉良地区	5.9	6.7	2.2	5.9	0.7	1.5	3.7	1.5	81.5
	幡豆地区	8.9	6.3	2.5	5.1	0.0	3.8	1.3	7.6	77.2
	わからない	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

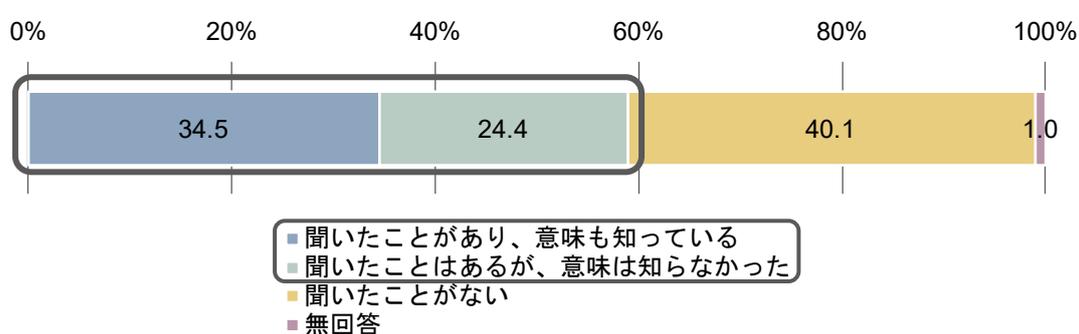
		その他	無回答	全体
		(%)		
全体		2.9	3.3	1051
年齢	30歳未満	2.6	0.0	76
	30～39歳	4.0	0.8	125
	40～49歳	3.3	2.0	153
	50～59歳	4.0	3.1	223
	60～69歳	1.8	3.2	279
	70歳以上	2.1	7.8	193
職業	自営業・自由業	0.8	4.9	122
	会社員（正社員）	3.4	1.8	387
	公務員	1.9	1.9	53
	派遣社員・契約社員	0.0	0.0	26
	パート・アルバイト	2.8	5.5	181
	その他	0.0	0.0	5
	働いていない	2.9	4.0	274
居住地区	西尾地区	3.4	3.0	711
	一色地区	2.5	3.4	119
	吉良地区	0.7	3.0	135
	幡豆地区	1.3	7.6	79
	わからない	0.0	0.0	2

5) 多文化共生への取組みについて

「多文化共生」という言葉を知っていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

n=1,051

『多文化共生』の認知度については、「聞いたことがあります、意味も知っている」が34.5%、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が24.4%であった。『多文化共生』の言葉の認知度は合わせて6割弱となっている。

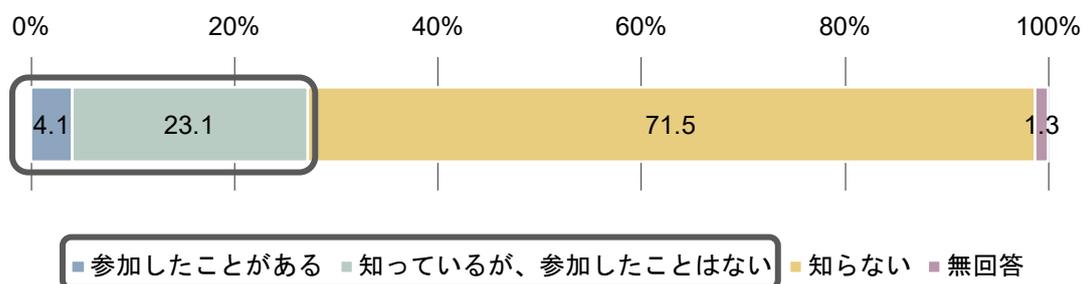


		聞いたことがある、意味も知っている (%)	聞いたことはあるが、意味は知らなかった (%)	聞いたことがない (%)	無回答 (%)	全体 (人数)
全体		34.5	24.4	40.1	1.0	1051
年齢	30歳未満	47.4	30.3	22.4	0.0	76
	30～39歳	34.4	24.8	40.8	0.0	125
	40～49歳	34.0	26.1	39.9	0.0	153
	50～59歳	35.0	26.5	38.6	0.0	223
	60～69歳	36.2	22.6	40.1	1.1	279
	70歳以上	27.5	20.7	47.7	4.1	193
職業	自営業・自由業	32.0	25.4	41.8	0.8	122
	会社員（正社員）	34.4	24.8	40.6	0.3	387
	公務員	71.7	20.8	7.5	0.0	53
	派遣社員・契約社員	46.2	34.6	19.2	0.0	26
	パート・アルバイト	33.7	27.1	37.0	2.2	181
	その他	20.0	20.0	60.0	0.0	5
	働いていない	28.5	21.5	48.2	1.8	274
居住地区	西尾地区	36.1	24.2	38.7	1.0	711
	一色地区	31.9	24.4	43.7	0.0	119
	吉良地区	37.0	28.1	34.1	0.7	135
	幡豆地区	20.3	21.5	55.7	2.5	79
	わからない	100.0	0.0	0.0	0.0	2

あなたは西尾市国際交流協会を知っていますか。その活動(語学教室、イベント等)に参加したことはありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

n=1,051

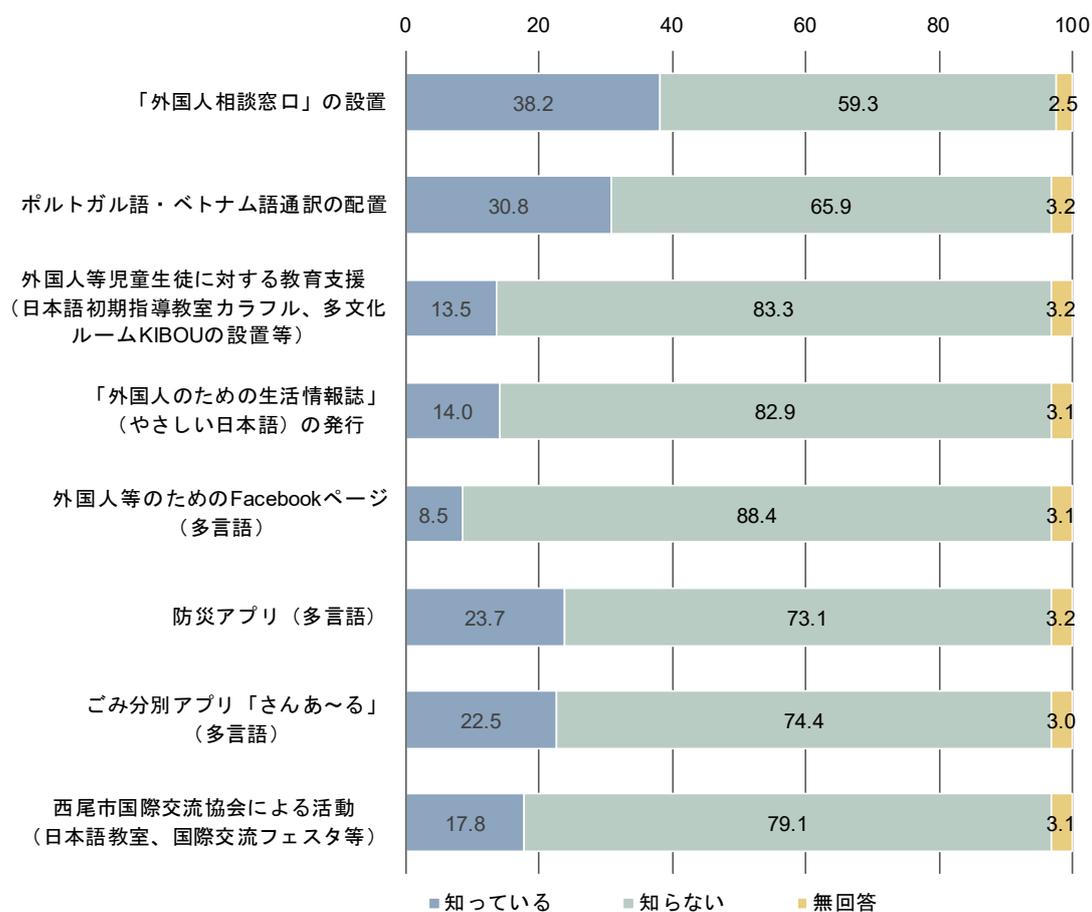
西尾市国際交流協会を知っているか、また、活動(語学教室、イベント等)への参加について聞いたところ、「参加したことがある」が4.1%、「知っているが、参加したことはない」が23.1%となり、西尾市国際交流協会の認知度は3割弱であった。



西尾市と西尾市国際交流協会が行う外国人等支援や交流の活動についてお聞きます。それぞれ、該当する番号1つに○を付けてください。

n=1,051

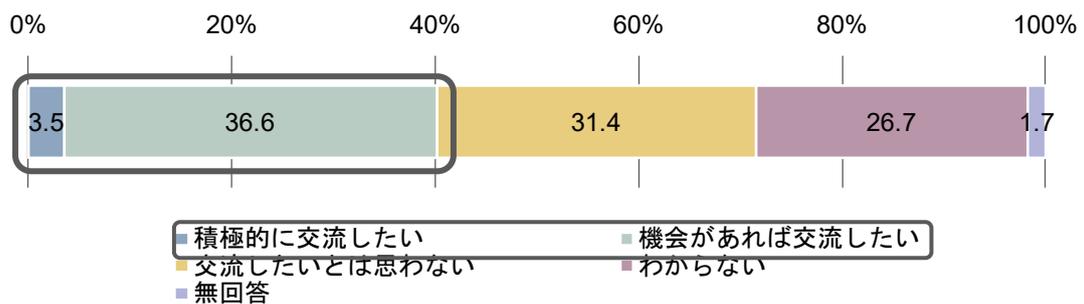
西尾市と西尾市国際交流協会が行う外国人等支援や交流の活動について聞いたところ、『知っている』の回答が「外国人相談窓口の設置」(38.2%)、「ポルトガル語・ベトナム語通訳の配置」(30.8%)、「防災アプリ(多言語)」(23.7%)の順で多くなっている。



今後、外国人等ともっと交流したいですか。該当する番号1つに○を付けてください。

n=1,051

今後の外国人等との交流について聞いたところ、「積極的に交流したい」が3.5%、「機会があれば交流したい」が36.6%となり、合わせて4割の人が交流したいと思っている。一方で、「交流したいとは思わない」が31.4%、「わからない」が26.7%となっている。



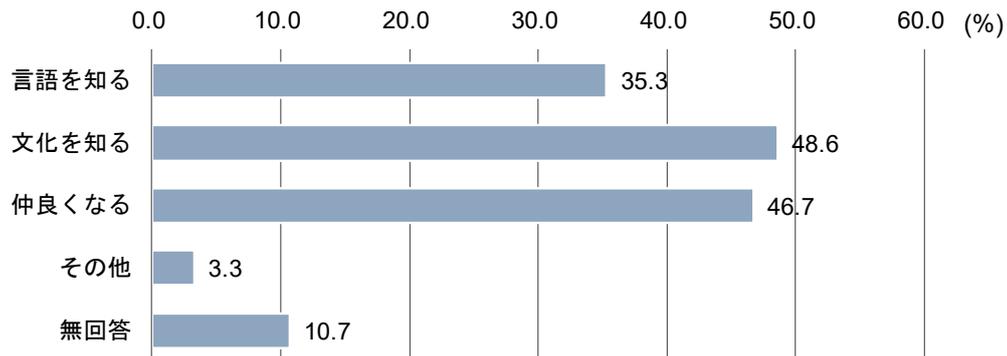
年代別にみると、「30歳未満」と「30～39歳」の交流意向がいずれも約6割となっている。

	た積 流機 し会 たが いあ れば 交	思交 わ流 なし たい とは	わ か ら な い	無 回 答	全 体	
全体	3.5	36.6	31.4	26.7	1051	
年 齢	30歳未満	9.2	51.3	19.7	19.7	76
	30～39歳	8.8	49.6	20.8	20.8	125
	40～49歳	5.9	41.8	28.8	21.6	153
	50～59歳	1.3	37.2	33.6	24.7	223
	60～69歳	2.2	31.5	35.1	29.7	279
	70歳以上	0.5	25.4	37.3	34.7	193
職 業	自営業・自由業	5.7	32.8	29.5	30.3	122
	会社員（正社員）	4.1	41.9	31.0	22.2	387
	公務員	3.8	58.5	22.6	13.2	53
	派遣社員・契約社員	0.0	26.9	38.5	34.6	26
	パート・アルバイト	5.0	35.4	28.7	28.2	181
	その他	0.0	20.0	40.0	40.0	5
	働いていない	1.1	29.2	35.4	31.8	274
居 住 地 区	西尾地区	3.9	38.1	30.9	25.2	711
	一色地区	3.4	25.2	31.9	36.1	119
	吉良地区	1.5	41.5	31.9	25.2	135
	幡豆地区	2.5	32.9	35.4	27.8	79
	わからない	0.0	50.0	0.0	50.0	2

外国人と交流したい内容

外国人との交流「積極的に交流したい」「機会があれば交流したい」と回答した者 n=422

外国人と交流したい内容については、「文化を知る」が48.6%で最も多く、次いで「仲良くなる」(46.7%)、「言語を知る」(35.3%)となっている。



【その他】

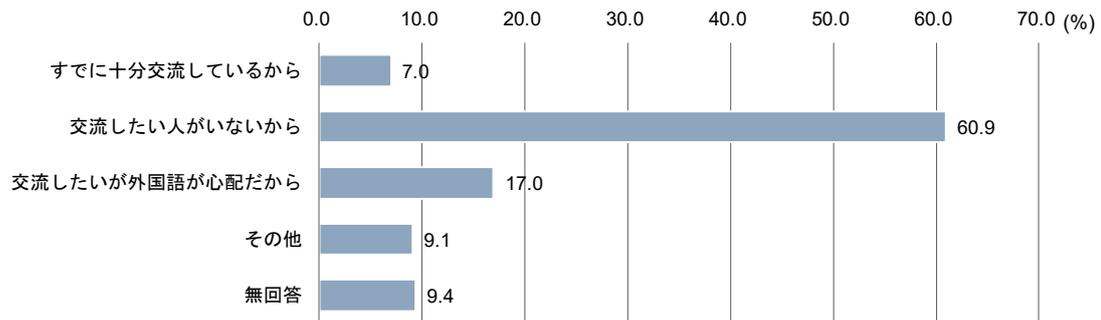
友達になりたい／助け合いたい／社会生活で協力していきたい／外国人大好き！自分の知らないことを教えてくれる／外国の歴史を知りたい／外国人の方が住みやすい地域、国にしたい／一緒に市民として／フランクにあいさつ／日本での日常生活を理解してもらおう為、仲良くなりたいたい／事務作業補助や開業援助等をしてみたい／日本国の発展に貢献する意思があるなら／仕事をする／子供に良い影響がありそう

		言語を知る	文化を知る	仲良くなる	無回答	全体
		(%)				
全体		35.3	48.6	46.7	10.7	422
年齢	30歳未満	45.7	47.8	67.4	0.0	46
	30～39歳	54.8	61.6	57.5	2.7	73
	40～49歳	43.8	53.4	45.2	9.6	73
	50～59歳	40.7	47.7	44.2	10.5	86
	60～69歳	16.0	43.6	36.2	17.0	94
	70歳以上	12.0	34.0	38.0	22.0	50
職業	自営業・自由業	21.3	40.4	36.2	21.3	47
	会社員（正社員）	44.4	52.8	50.0	6.2	178
	公務員	48.5	66.7	45.5	6.1	33
	派遣社員・契約社員	0.0	71.4	28.6	0.0	7
	パート・アルバイト	30.1	39.7	50.7	15.1	73
	その他	100.0	100.0	100.0	0.0	1
	働いていない	25.3	42.2	43.4	13.3	83
居住地区	西尾地区	35.8	47.2	45.5	11.0	299
	一色地区	38.2	47.1	61.8	5.9	34
	吉良地区	34.5	53.4	39.7	15.5	58
	幡豆地区	32.1	53.6	60.7	0.0	28
	わからない	0.0	100.0	0.0	0.0	1

外国人と交流したくない理由

外国人との交流「交流したいとは思わない」と回答した者 n=330

外国人と交流したくない理由について聞いたところ、「交流したい人がいないから」が60.9%で最も多く、6割を占めている。



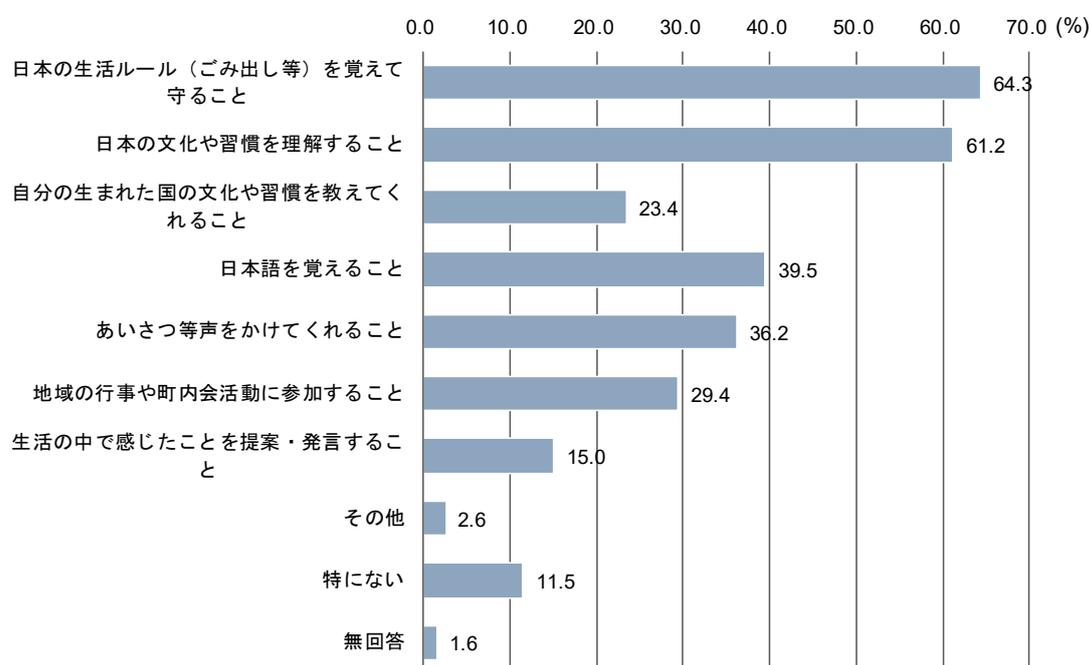
【その他】

不安・心配（言葉の面、文化の面）（5）／マナー・ルールに関する意識の違い（5）／面倒（2）／時間がない／病気でできない／交流機会、目的、関心がない（11）

「多文化共生」を進めるために、外国人等に期待することは何ですか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=1,051

「多文化共生」を進めるために、外国人等に期待することについて聞いたところ、「日本の生活ルール（ごみ出し等）を覚えること」（64.3%）、「日本の文化や習慣を理解すること」（61.2%）が多く、次いで「日本語を覚えること」（39.5%）、「あいさつ等声をかけてくれること」（36.2%）となっている。



【その他】

生活ルールやマナー（騒音、バーベキュー、ゴミ分別、マスク着用など）に気をつける（7）／日本の文化や習慣になじむ（4）／法律や規則を守る（3）／運転マナー、交通マナーに気をつける（3）／挨拶などのコミュニケーション／匂い（香水、体臭）に気をつける／外国の行政でいいところを日本が取り入れるべき／外国人の方にはていねいに説明し強制しないこと共に考えましょう／私も外国で生活したことあるから苦労や大変さを知っている／孫ともっと交流したい／障害のある人に当てられてもわかりません／特にない（3）

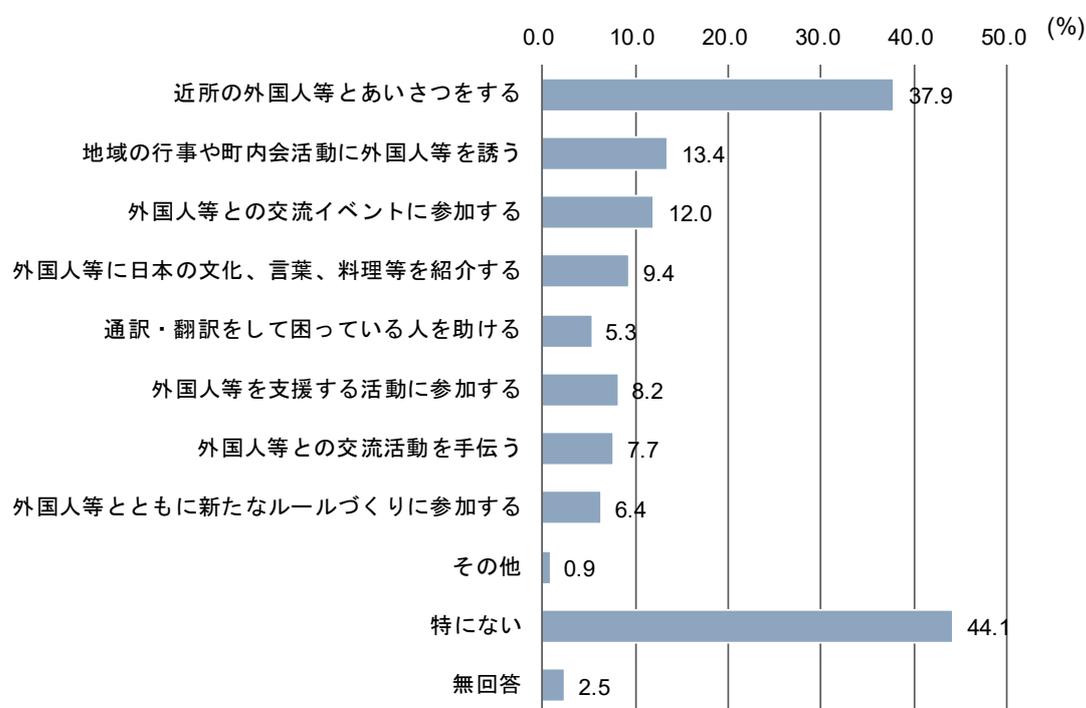
		え(ごみ出し等)を覚	理日本の文化や習慣を	く文化や習慣を教えた国	自の生れた国の	日本語を覚えること	てあいさつ等声をかけ	活動の参加や町内会	地域の行事や町内会	生活を感じたこ	ことを提案・発言する	その他	特にな	無回	全	
		(%)														
全体		64.3	61.2	23.4	39.5	36.2	29.4	15.0	2.6	11.5	1.6	1051				
年齢	30歳未満	51.3	53.9	28.9	32.9	31.6	14.5	17.1	6.6	17.1	0.0	76				
	30～39歳	68.0	59.2	34.4	42.4	42.4	21.6	17.6	1.6	8.0	0.8	125				
	40～49歳	66.7	64.1	27.5	34.0	28.1	17.6	12.4	2.0	9.8	0.0	153				
	50～59歳	69.5	69.5	24.7	41.7	34.5	32.7	15.2	2.7	5.8	1.3	223				
	60～69歳	63.1	63.1	19.0	42.3	36.6	36.6	14.3	2.2	12.5	1.4	279				
	70歳以上	61.7	51.3	16.1	38.3	42.0	35.8	15.5	2.6	17.1	4.7	193				
職業	自営業・自由業	63.9	65.6	22.1	39.3	39.3	36.9	24.6	0.8	12.3	1.6	122				
	会社員（正社員）	63.6	64.6	25.1	40.1	31.5	22.7	13.2	3.6	9.0	0.8	387				
	公務員	71.7	69.8	26.4	52.8	43.4	41.5	15.1	0.0	3.8	0.0	53				
	派遣社員・契約社員	76.9	65.4	30.8	34.6	42.3	34.6	23.1	0.0	0.0	3.8	26				
	パート・アルバイト	64.6	59.1	24.9	37.0	38.7	27.1	13.3	2.2	12.2	0.6	181				
	その他 働いていない	60.0 62.8	40.0 54.4	20.0 19.3	20.0 38.3	20.0 38.0	0.0 34.7	0.0 13.9	0.0 2.9	20.0 16.8	0.0 3.6	5 274				
居住地区	西尾地区	65.7	62.3	24.2	40.6	34.3	28.3	14.8	2.1	10.7	1.7	711				
	一色地区	60.5	58.8	16.0	36.1	40.3	28.6	12.6	3.4	16.8	1.7	119				
	吉良地区	60.0	63.0	28.1	38.5	41.5	37.0	18.5	3.0	9.6	1.5	135				
	幡豆地区	65.8	53.2	21.5	36.7	39.2	30.4	16.5	3.8	13.9	1.3	79				
	わからない	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2				

「多文化共生」を進めるために、あなたが今後やってみたいことは何ですか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=1,051

「多文化共生」を進めるために今後やってみたいことについて聞いたところ、「近所の外国人等とあいさつをする」(37.9%)が最も多く、次いで「地域の行事や町内会活動に外国人等を誘う」(13.4%)、「外国人等との交流イベントに参加する」(12.0%)となっている。

一方で、「特にない」が44.1%となった。



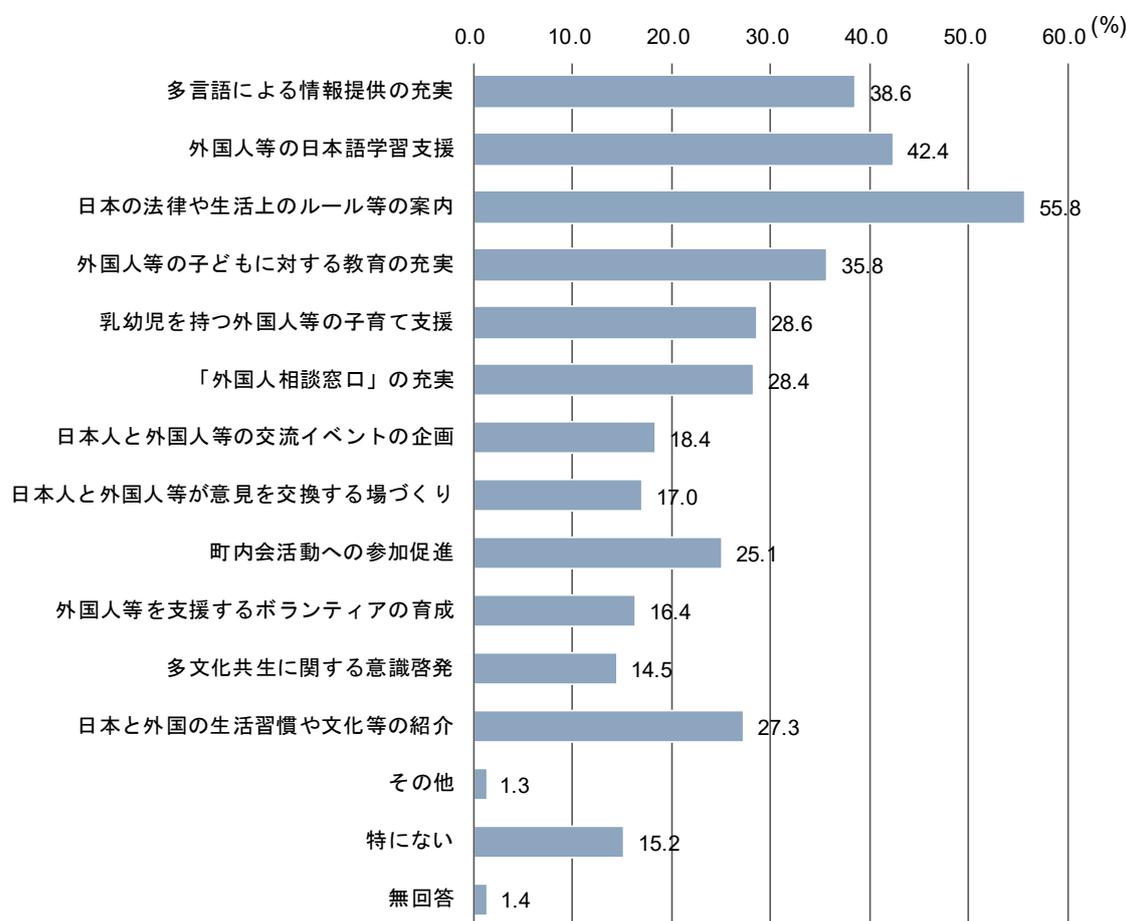
【その他】

日本語教室のボランティア／仕事で接する時、丁寧にする／長期の「生活」の為、導入のみ多言語で、その後は共用言語の日本語で仲良くなりたい／外国人は、日本の文化で何故このような生活をしているのかを理解していません。なぜ、このルールが日本にとって必要なかを少しでも理解してくれていれば、生活もしやすいのではと思っています／外国のいいところをもっと取り入れていければ、日本はもっと良い国になると思う／関心がない (2)

西尾市が「多文化共生」を進めるために、どのような取り組みをする必要があると思いますか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=1,051

西尾市が「多文化共生」を進めるために必要な取り組みについて聞いたところ、「日本の法律や生活上のルール等の案内」が55.8%で最も多い。次いで「外国人等の日本語学習支援」(42.4%)、「多言語による情報提供の充実」(38.6%)、「外国人等の子どもに対する教育の充実」(35.8%)となっている。



【その他】

現状を理解、把握する (2) / 相互理解を深める (2) / イベント開催 / 基本的な支援 / 多言語化 / 何かをするべきか分からない (2) 等

		多 言 語 に よ る 情 報 提 供 の 充 実 率 (%)	外 国 人 等 の 日 本 語 学 習 支 援	日 本 の 法 律 や 生 活 上 の 案 内	外 国 人 等 の 子 ど も に 対 す る 教 育 の 充 実	乳 幼 児 を 持 つ 外 国 人 等 の 子 育 て 支 援	「外 国 人 相 談 窓 口」 の 充 実	日 本 人 と 外 国 人 等 の 交 流 イ ベ ン ト の 企 画	日 本 人 と 外 国 人 等 が 交 換 す る 場 づ く	町 内 会 活 動 へ の 参 加 促 進
全体		38.6	42.4	55.8	35.8	28.6	28.4	18.4	17.0	25.1
年 齢	30歳未満	43.4	32.9	40.8	28.9	18.4	18.4	17.1	18.4	10.5
	30～39歳	36.8	48.8	62.4	44.0	39.2	18.4	23.2	17.6	17.6
	40～49歳	41.8	43.8	57.5	42.5	31.4	32.0	22.2	18.3	17.0
	50～59歳	46.6	47.5	58.3	38.1	33.6	31.8	22.4	19.3	26.0
	60～69歳	39.4	42.7	59.1	35.1	26.2	34.8	14.3	16.1	28.7
	70歳以上	25.4	35.2	48.7	26.4	21.8	22.8	14.0	14.0	36.3
職 業	自営業・自由業	29.5	41.8	54.1	41.0	31.1	27.9	18.9	20.5	27.0
	会社員（正社員）	42.9	46.5	58.1	36.7	28.9	26.4	21.4	19.6	22.2
	公務員	47.2	50.9	58.5	45.3	39.6	28.3	26.4	17.0	11.3
	派遣社員・契約社員	34.6	30.8	69.2	23.1	23.1	34.6	15.4	11.5	15.4
	パート・アルバイト	40.9	40.3	58.0	33.1	27.1	29.3	15.5	13.8	26.5
	その他	20.0	0.0	80.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	働いていない	34.3	38.7	49.6	33.6	26.6	30.3	14.2	14.6	31.4
居 住 地 区	西尾地区	38.4	42.5	56.1	36.8	30.0	28.8	18.6	17.0	25.2
	一色地区	37.8	42.0	57.1	32.8	26.9	31.1	15.1	15.1	21.0
	吉良地区	43.0	48.1	56.3	34.1	25.2	27.4	23.7	18.5	25.2
	幡豆地区	38.0	35.4	51.9	32.9	26.6	22.8	13.9	19.0	32.9
	わからない	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		外 国 人 等 の 支 援 に 関 す る 充 実 率 (%)	多 文 化 共 生 に 関 す る 啓 発	日 本 と 外 国 の 生 活 文 化 の 交 換	そ の 他	特 に な い	無 回 答	全 体
全体		16.4	14.5	27.3	1.3	15.2	1.4	1051
年 齢	30歳未満	15.8	14.5	26.3	1.3	23.7	0.0	76
	30～39歳	16.8	20.0	21.6	2.4	11.2	0.0	125
	40～49歳	22.2	14.4	32.7	2.0	10.5	0.0	153
	50～59歳	16.1	14.8	29.1	1.8	12.6	0.9	223
	60～69歳	15.4	13.6	25.8	0.7	12.9	2.5	279
	70歳以上	13.5	11.9	27.5	0.5	23.8	3.1	193
職 業	自営業・自由業	13.9	13.1	28.7	0.0	18.9	2.5	122
	会社員（正社員）	16.5	16.0	26.1	2.3	11.9	0.5	387
	公務員	18.9	22.6	26.4	0.0	7.5	0.0	53
	派遣社員・契約社員	19.2	19.2	34.6	0.0	15.4	3.8	26
	パート・アルバイト	16.6	15.5	28.7	1.7	13.8	0.6	181
	その他	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	5
	働いていない	16.1	10.2	27.4	0.7	20.1	2.9	274
居 住 地 区	西尾地区	16.3	14.8	26.4	1.5	14.8	1.3	711
	一色地区	13.4	14.3	24.4	0.8	19.3	1.7	119
	吉良地区	18.5	13.3	34.8	0.7	11.1	1.5	135
	幡豆地区	17.7	12.7	27.8	1.3	19.0	1.3	79
	わからない	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2

西尾市の多文化共生に関して、特に感じている課題や問題点、行政への要望などがありましたら、お聞かせください。

n=252

意見については、別冊資料編の資料1－2に整理している。

3. 企業アンケート結果

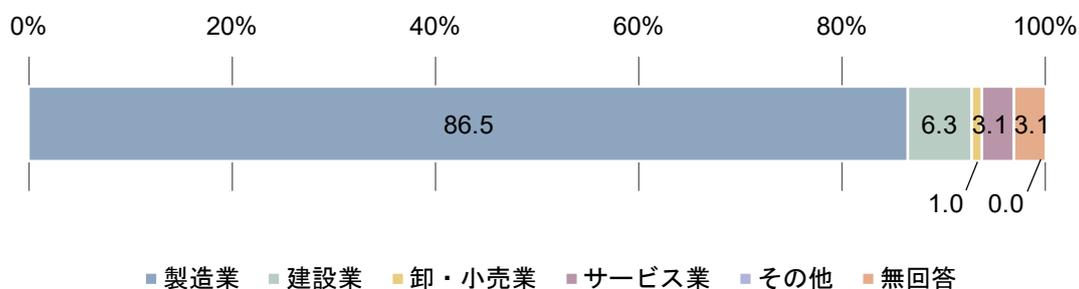
① 調査概要

調査対象	173社（西尾商工会議所、一色町商工会及び西尾みなみ商工会会員で、外国人従業員の雇用が見込まれる製造業、建設業、卸・小売業、サービス業等より抽出） ※全抽出数 178 社のうち、5 社が未着返送されたため、母数より除外。
調査方法	郵送
調査期間	2020年10月12日（月）～2020年10月30日（金）
回収状況	96件

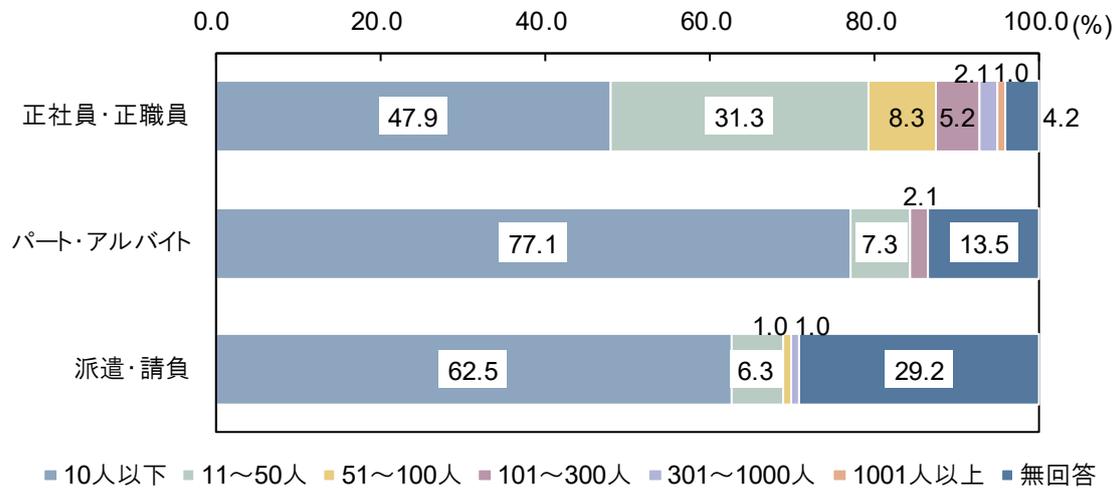
② 回答企業について

貴社・貴事業所の業種について、カテゴリに1つに○印を付け、業種名を記入ください。

n=96



貴社の日本人の従業員数を教えてください。



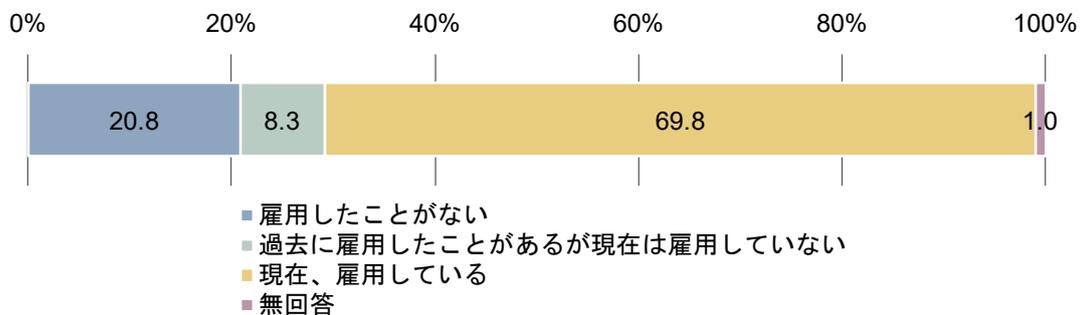
③ 回答結果について

1) 外国人従業員の雇用状況について

貴社において、外国人を雇用したことがありますか。該当する番号1つに○を付けてください。

n=96

外国人を雇用したことがあるか聞いたところ、「現在、雇用している」が 69.8%、「過去に雇用したことがあるが現在は雇用していない」が 8.3%、「雇用したことがない」が 20.8%となっている。

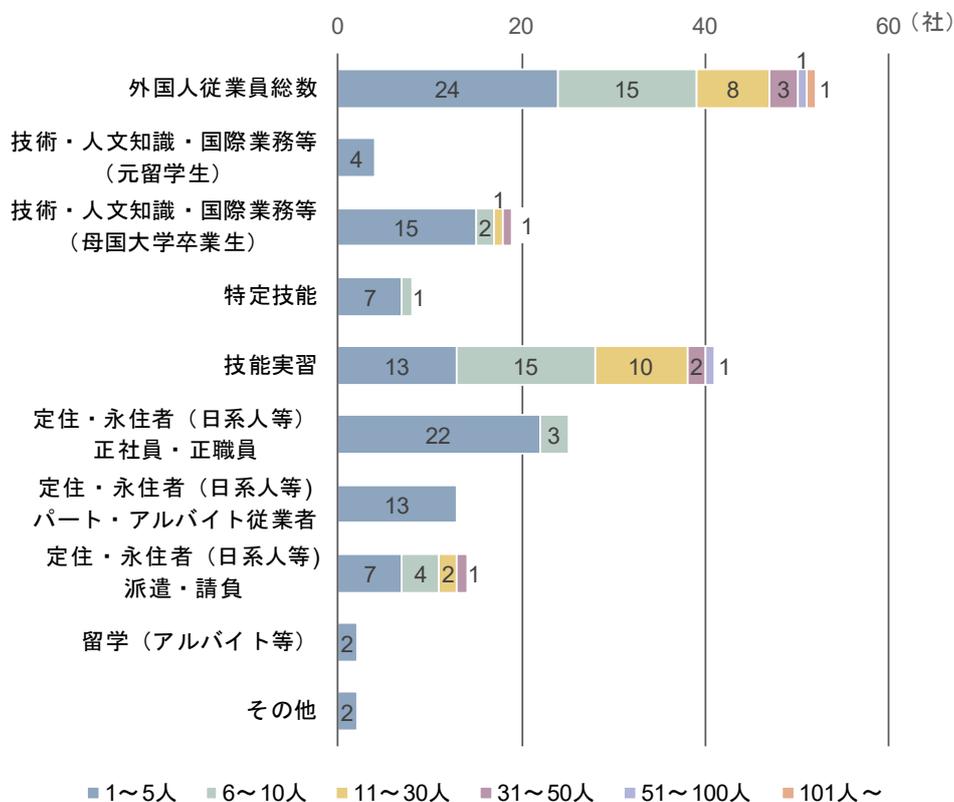


雇用している外国人従業員について、在留資格及び雇用形態別に、従業員数、受入れ開始年、国籍についてお答えください。(2020年10月1日現在)

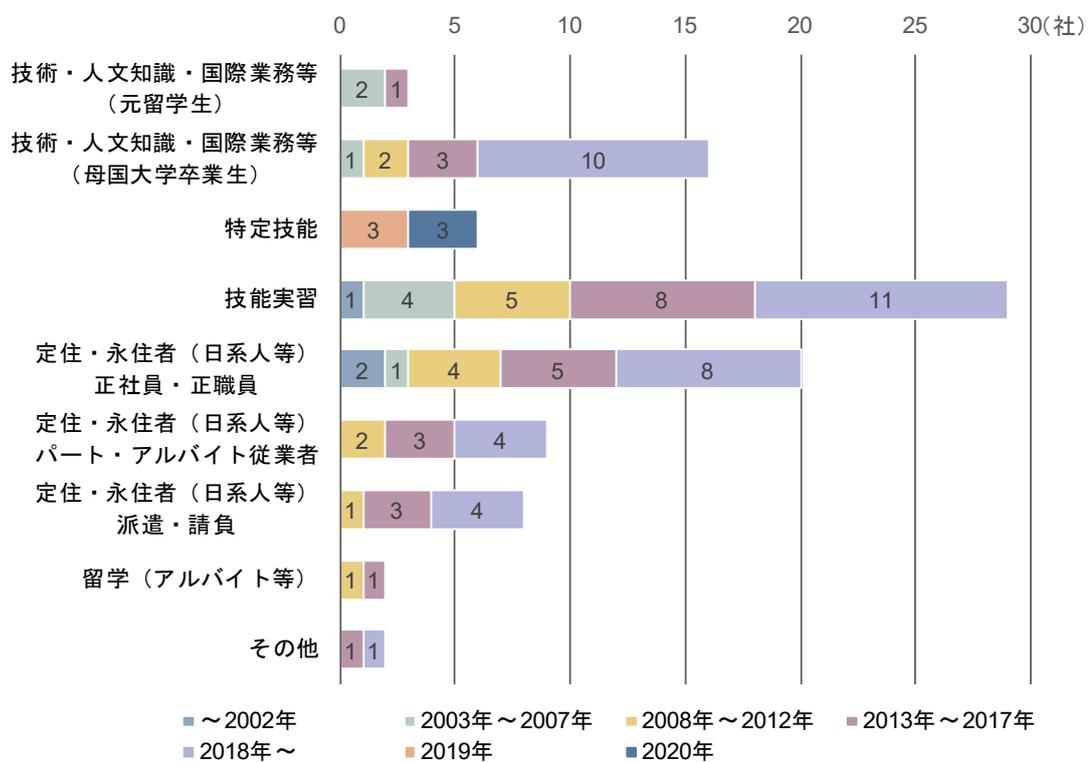
「現在、雇用している」と回答した者 n=67

【従業員数】

在留資格及び雇用形態		雇用企業数	従業員数 合計	1企業あたりの 従業員数
技術・人文知識・国際業務等（元留学生）		6社	7人	1.2人
技術・人文知識・国際業務等（母国大学卒業生）		20社	102人	5.1人
特定技能		10社	22人	2.2人
技能実習		42社	499人	11.9人
者 (日 系 人 等) 定 住 ・ 永 住	正社員・正職員	26社	67人	2.58人
	パート・アルバイト従業員	15社	30人	2.0人
	派遣・請負	15社	116人	7.7人
留学（アルバイト等）		2社	3人	1.5人
その他（ ）		2社	2人	1人
合計		52社	674人	13.0人

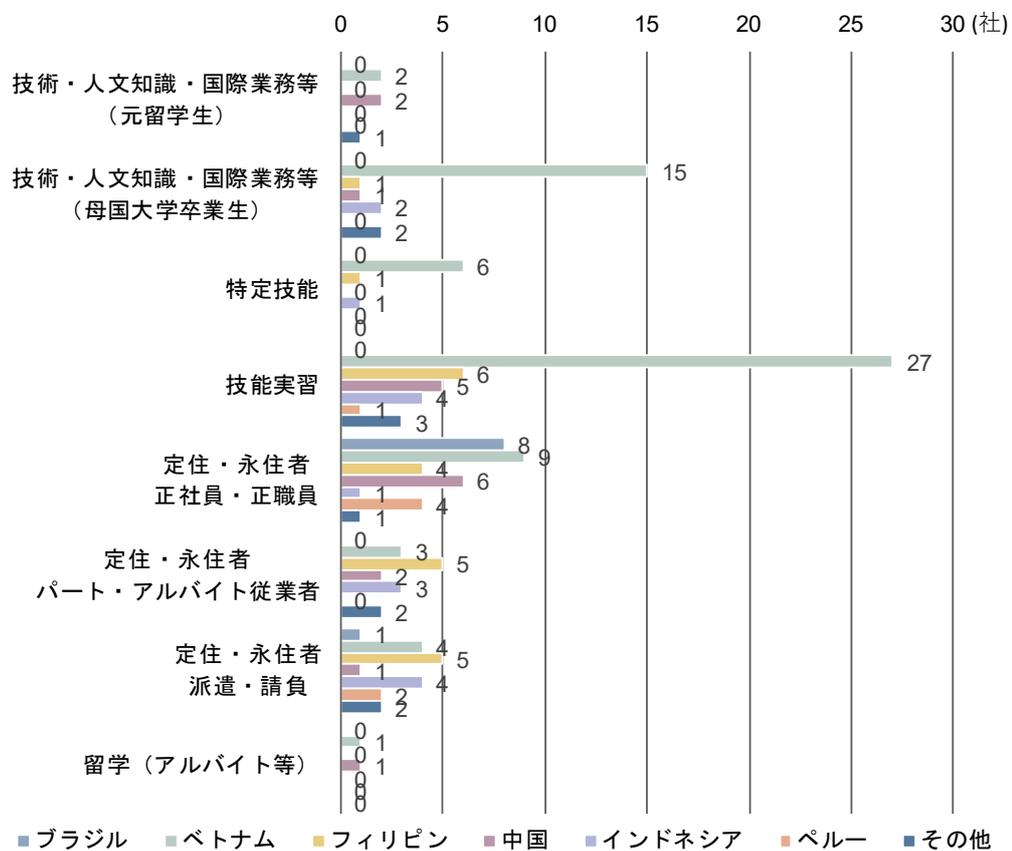


【受入れ開始年】



【出身国・地域】

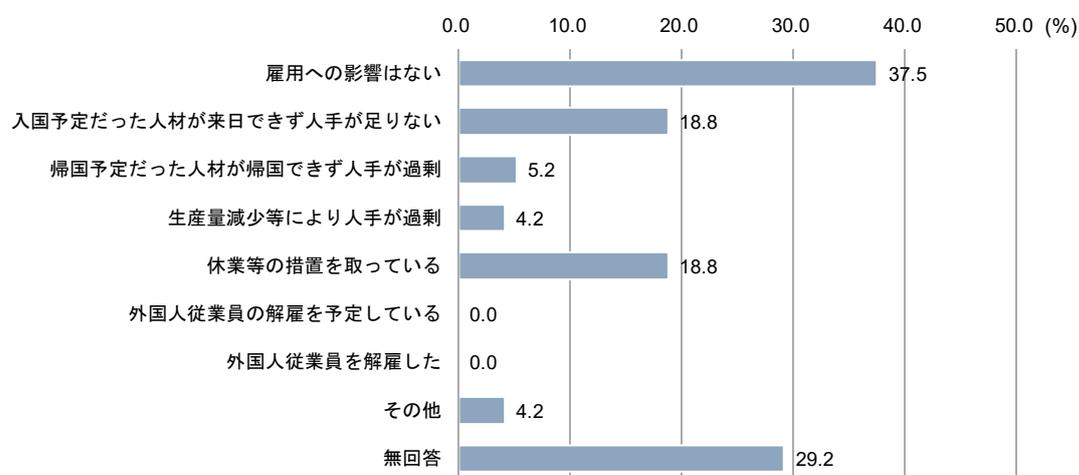
※回答企業数



新型コロナウイルス感染症による経済停滞等により、外国人の雇用面への影響は出ていますか。
該当する番号全てに○を付けてください。

n=96

新型コロナウイルス感染症による経済停滞等の外国人の雇用面への影響について聞いたところ、「雇用への影響はない」が37.5%で最も多い。次いで「入国予定だった人材が来日できず人手が足りない」、「休業等の措置を取っている」（ともに18.8%）、「帰国予定だった人材が帰国できず人手が過剰」（5.2%）となっている。

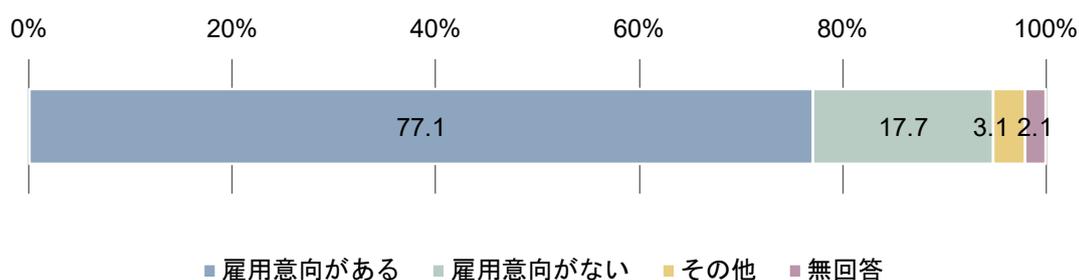


2) 外国人の雇用意向について

今後の外国人の雇用について、どのように考えていますか。該当する番号1つに○を付けてください。

n=96

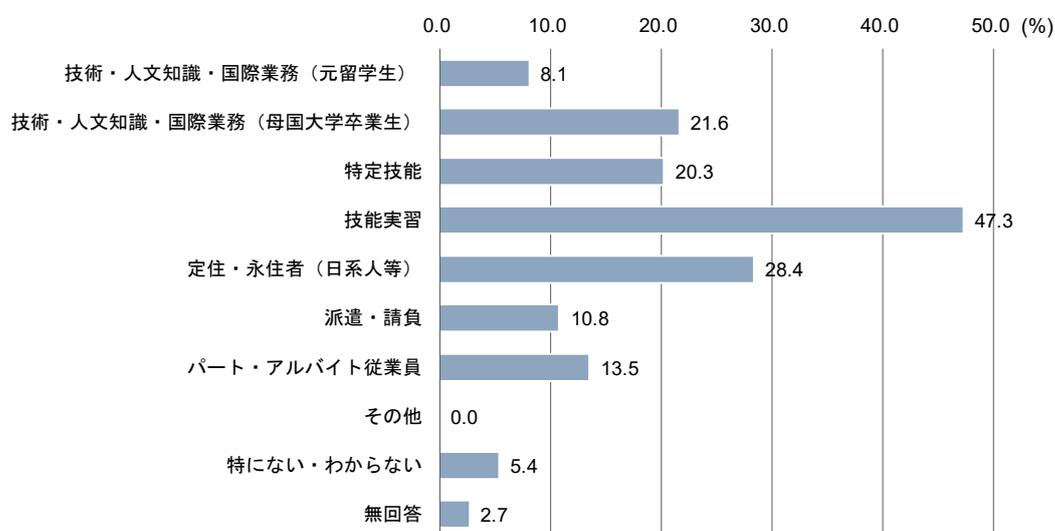
今後の外国人の雇用について聞いたところ、「雇用意向がある」が77.1%で最も多い。一方で「雇用意向がない」は17.7%となっている。



どのような在留資格・雇用形態を希望していますか。該当する番号全てに○を付けてください。

「雇用意向がある」と回答した者 n=74

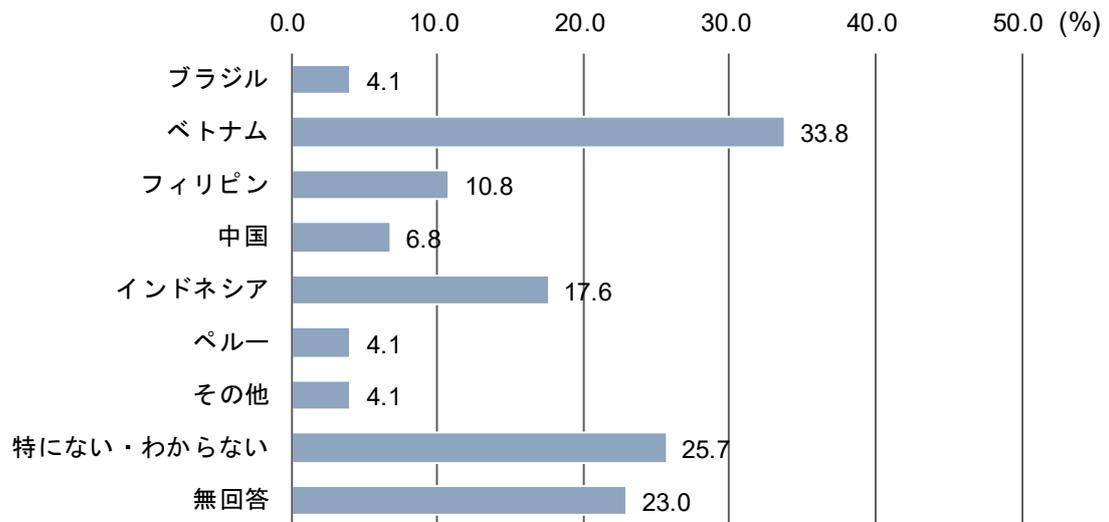
希望する在留資格・雇用形態を聞いたところ、「技能実習」が47.3%で最も多い。次いで「定住・永住者（日系人等）」(28.4%)、「技術・人文知識・国際業務（母国大学卒業生）」(21.6%)となっている。



出身国・地域の希望はありますか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=96

出身国・地域の希望について聞いたところ、「ベトナム」が33.8%で最も多い。次いで「インドネシア」(17.6%)、「フィリピン」(10.8%)となっている。「特にない・わからない」は25.7%であった。



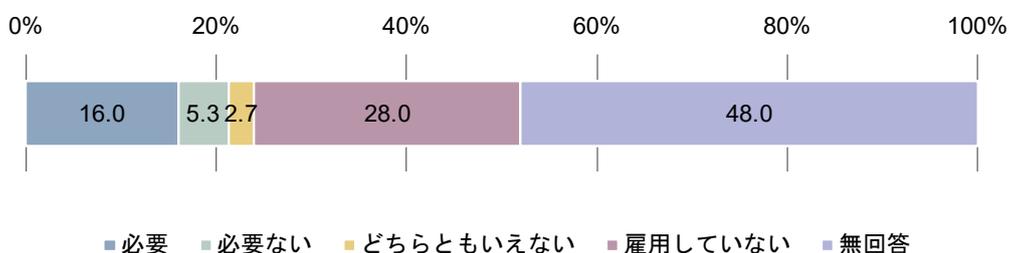
3) 外国人従業員への支援について <外国人従業員がいる・いた方 対象>

外国人従業員に対して日本語教育が必要だと思いますか。在留資格別でお答えください。

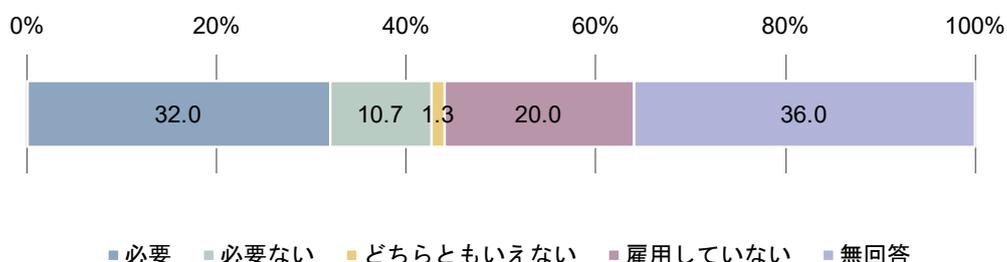
「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

外国人従業員に対して日本語教育が必要か聞いたところ、『必要』が「技術・人文知識・国際業務(元留学生)」が 16.0%、「技術・人文知識・国際業務(母国大学卒業生)」が 32.0%、「技能実習生」が 64.0%、「定住者・永住者(日系人等)」が 30.7%となっている。

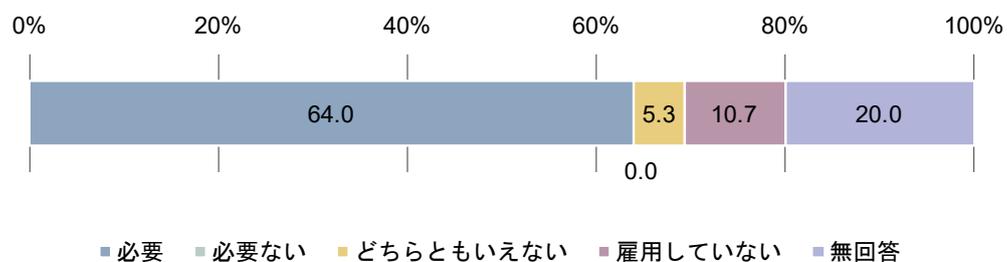
○ 技術・人文知識・国際業務(元留学生)



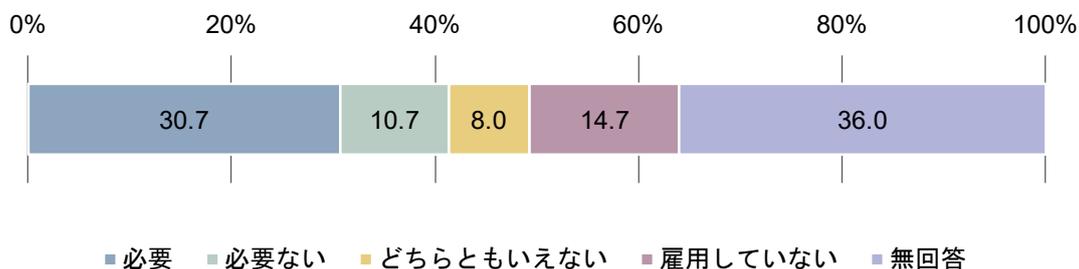
○ 技術・人文知識・国際業務(母国大学卒業生)



○ 技能実習生



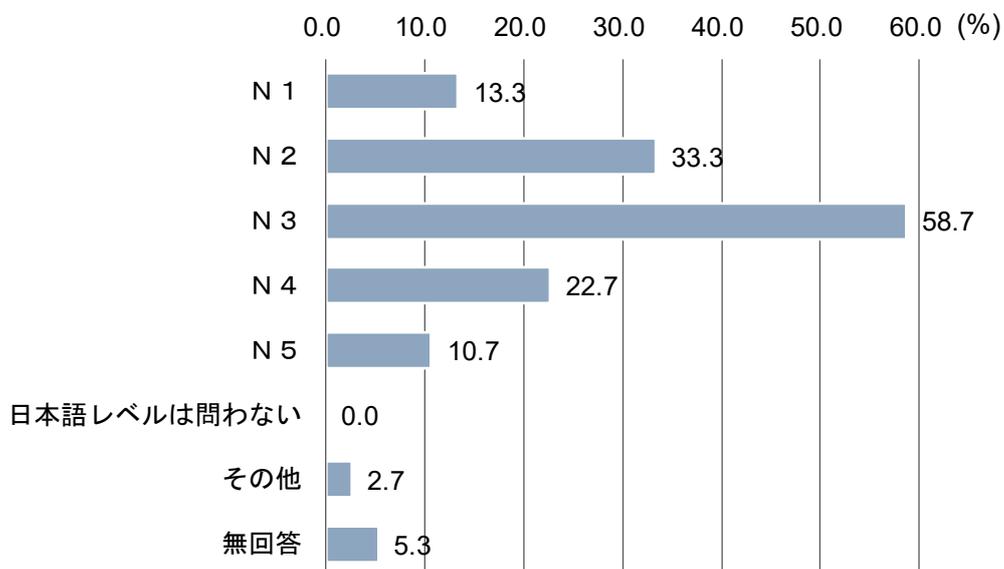
○ 定住者・永住者（日系人等）



外国人従業員に求める日本語レベルについて教えてください。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

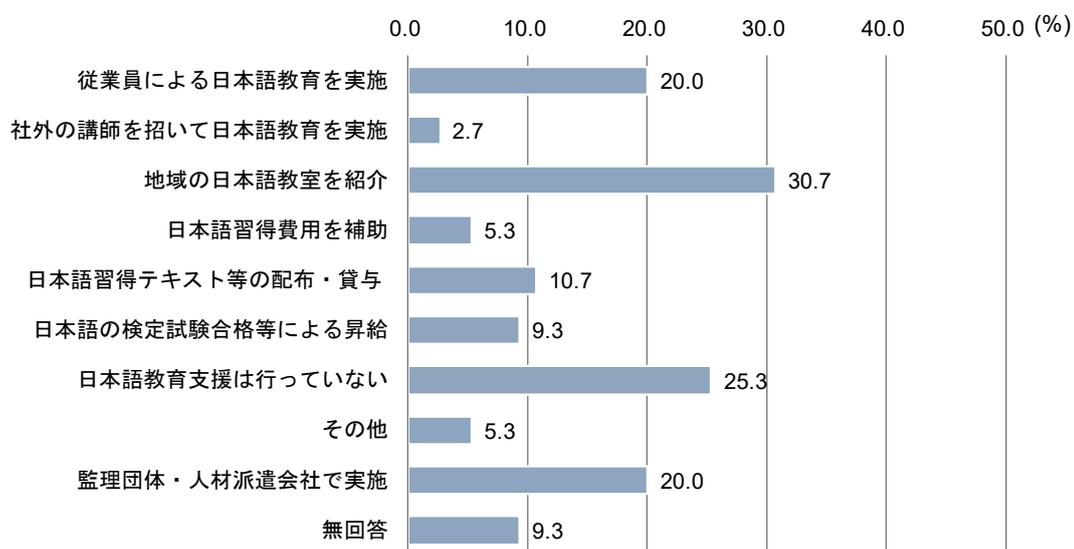
外国人従業員に求める日本語レベルは「N3」が58.7%で最も多く、6割弱を占めている。次いで「N2」(33.3%)、「N4」(22.7%)となっている。



外国人従業員に対する日本語教育の支援を教えてください。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

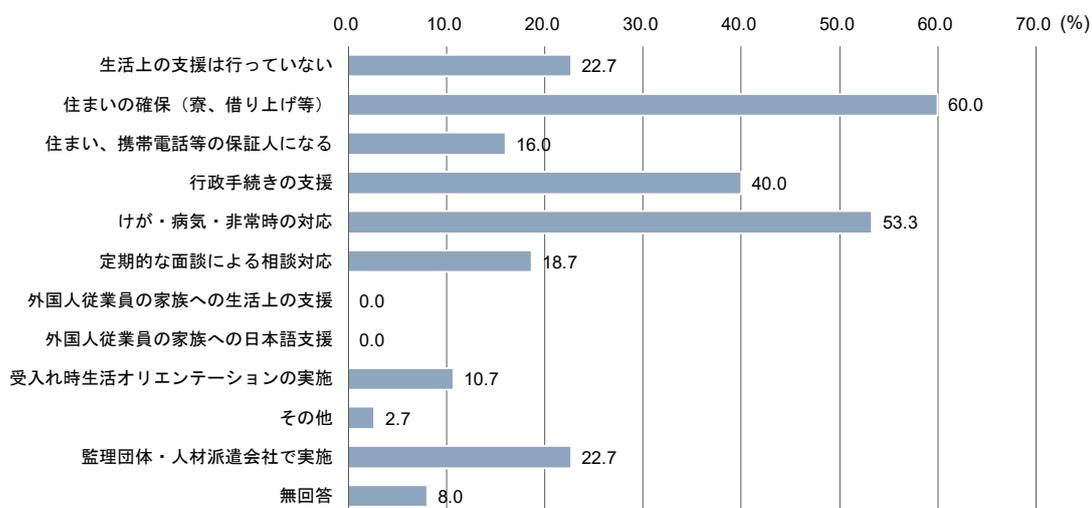
外国人従業員に対する日本語教育の支援について聞いたところ、「地域の日本語教室を紹介」が30.7%で最も多く、3割を占めている。次いで「従業員による日本語教育を実施」(20.0%)、「監理団体・人材派遣会社で実施」(20.0%)となっている。一方で「日本語教育支援は行っていない」は25.3%であった。



外国人従業員に対する生活上の支援を教えてください。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

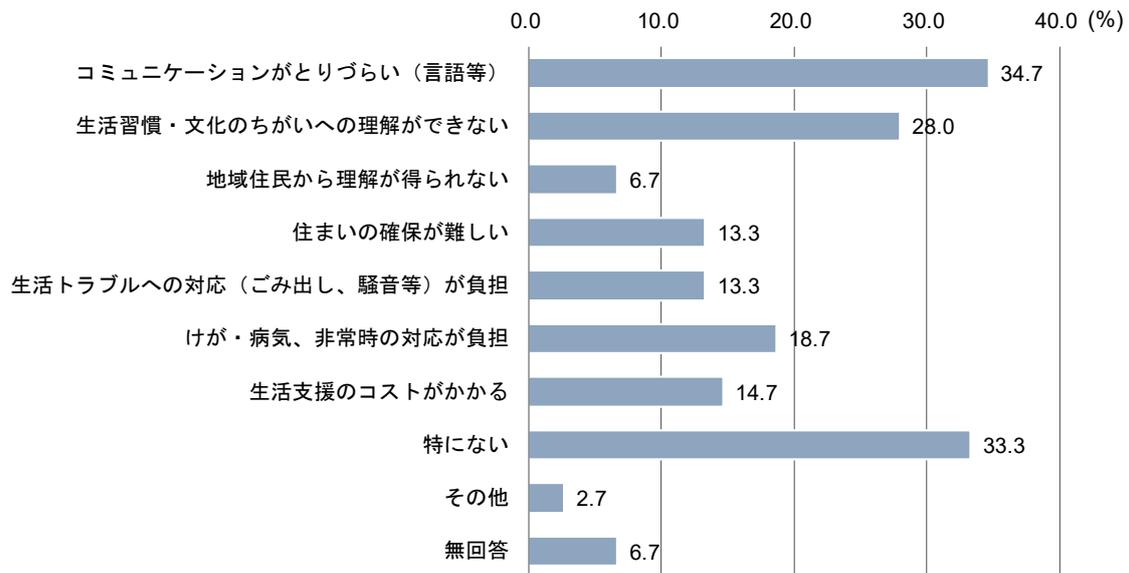
外国人従業員に対する生活上の支援について聞いたところ、「住まいの確保（寮、借り上げ等）」(60.0%)、「けが・病気・非常時の対応」(53.3%)、「行政手続きの支援」(40.0%)が多くなっている。



生活支援における課題を教えてください。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

生活支援における課題について聞いたところ、「コミュニケーションがとりづらい（言語等）」（34.7%）、「生活習慣・文化のちがいの理解ができない」（28.0%）が多くなっている。一方で、「特になし」が33.3%となっている。

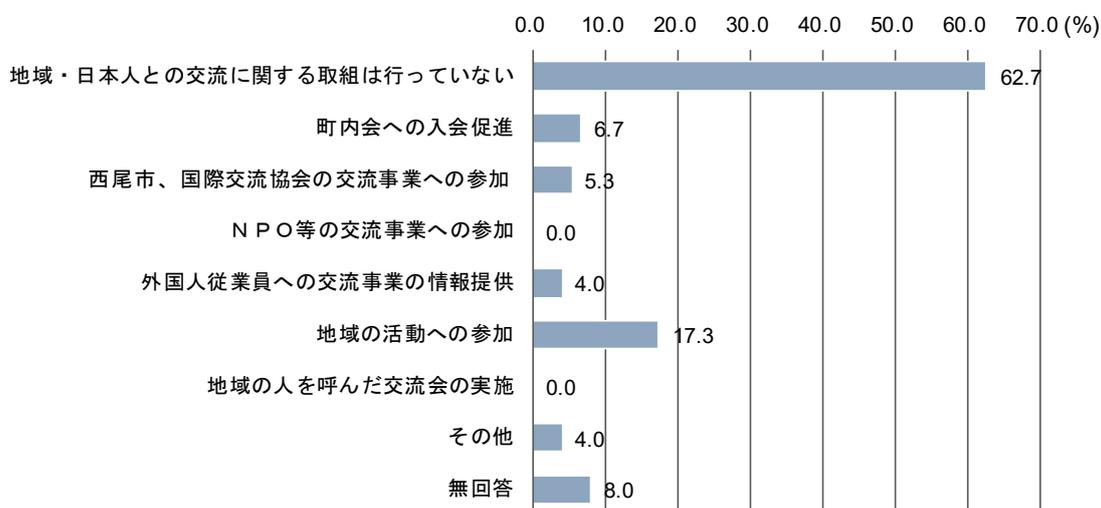


4) 外国人従業員と地域・日本人との交流について<外国人従業員がいる・いた方対象>

外国人従業員と地域・日本人との交流促進に関する取組を教えてください。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

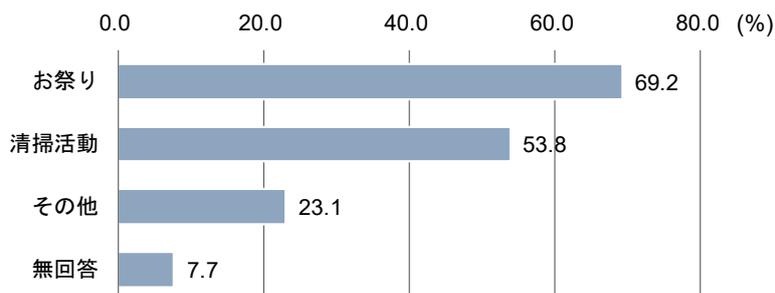
外国人従業員と地域・日本人との交流促進に関する取組について聞いたところ、「地域の活動への参加」が17.3%、「町内会への入会促進」が6.7%。「西尾市、国際交流協会の交流事業への参加」が5.3%となっている。一方で「地域・日本人との交流に関する取組は行っていない」が62.7%と6割を占めている。



具体的な地域活動の内容

「地域の活動への参加」と答えた者 n=20

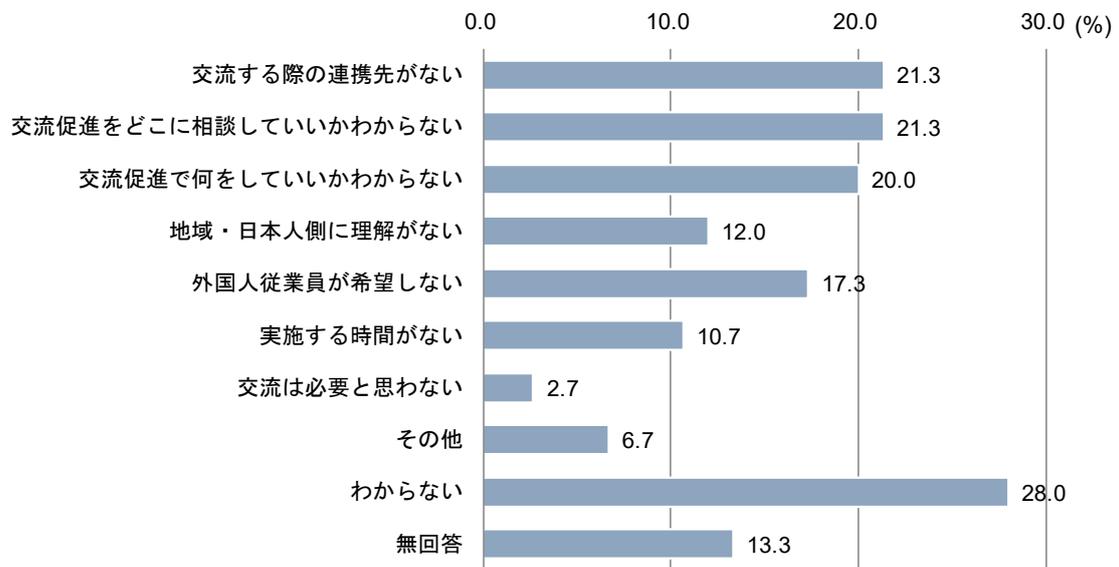
具体的な地域活動の内容について聞いたところ、「お祭り」が69.2%（9件）で最も多く、次いで「清掃活動」53.8%（7件）となっている。



地域・日本人との交流促進における課題は何ですか。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

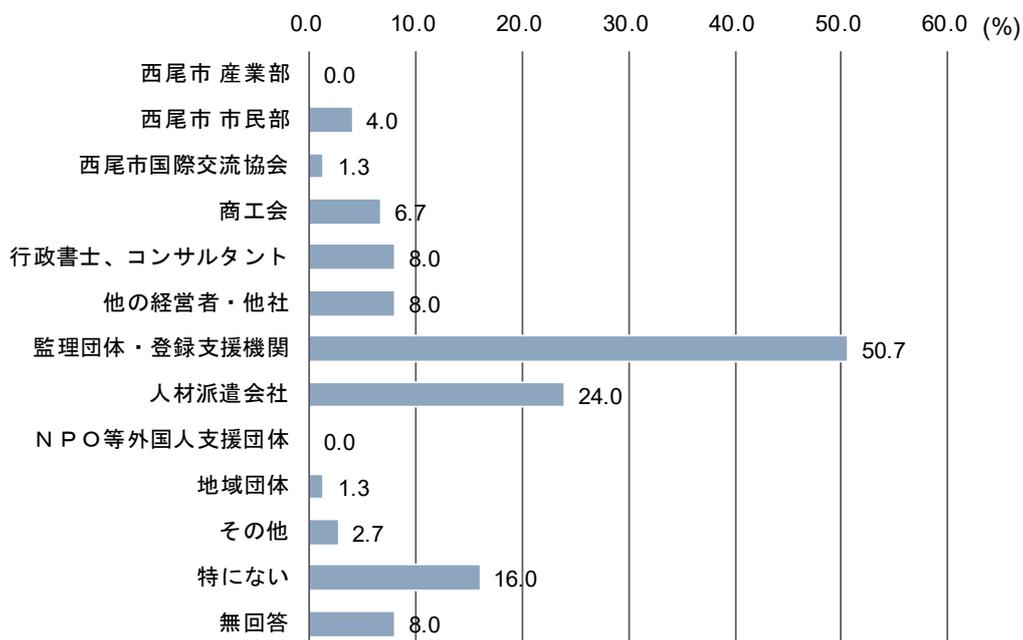
地域・日本人との交流促進における課題は「交流する際の連携先がない」、「交流促進をどこに相談していいかわからない」（共に 21.3%）、「交流促進で何をしたいかわからない」（20.0%）が多くなっている。



外国人従業員の支援等に当たっての相談・連携先は、どこですか。該当する番号全てに○を付けてください。

「外国人を雇用している」「過去に雇用したことがある」と答えた者 n=75

外国人従業員の支援等に当たっての相談・連携先について聞いたところ、「監理団体・登録支援機関」が50.7%で最も多く、5割を占めている。次いで「人材派遣会社」(24.0%)となっている。「特にない」は16.0%となった。

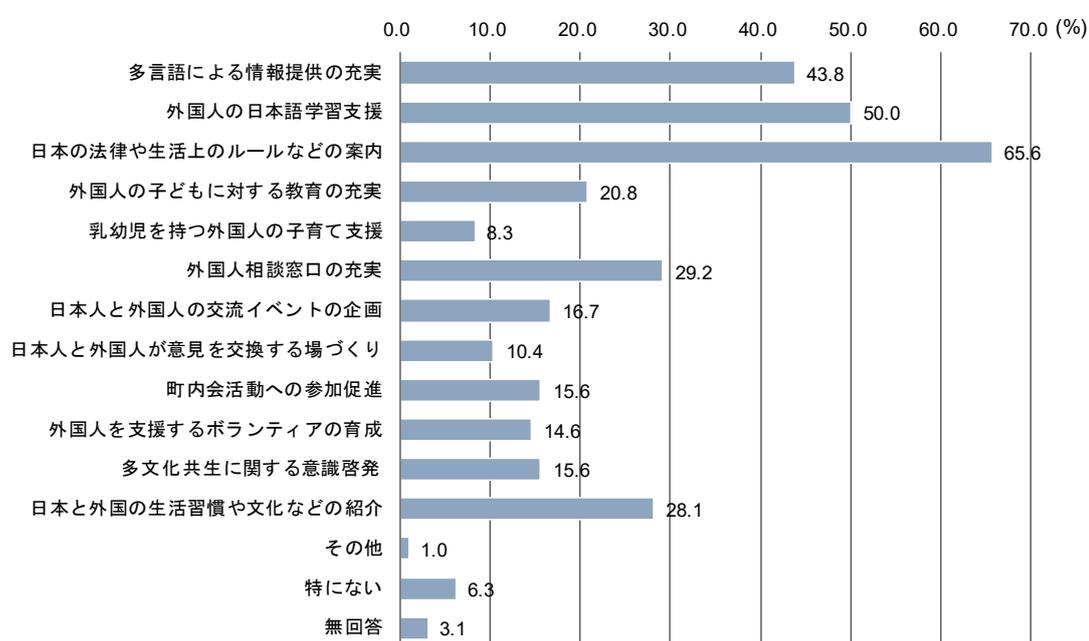


5) 多文化共生への取組について

西尾市が「多文化共生」を進めるために、どんなことに取り組む必要があると思いますか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=96

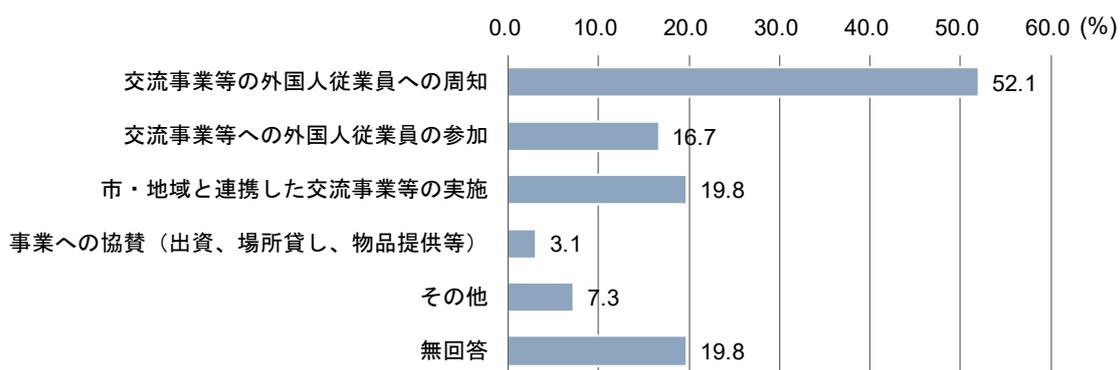
西尾市が「多文化共生」を進めるために、必要な取組について聞いたところ、「日本の法律や生活上のルールなどの案内」(65.6%)、「外国人の日本語学習支援」(50.0%)、「多言語による情報提供の充実」(43.8%)が多くなっている。



多文化共生関連事業について、どのような内容なら参加・連携が可能ですか。該当する番号全てに○を付けてください。

n=96

多文化共生関連事業について、参加・連携が可能な内容を聞いたところ、「交流事業等の外国人従業員への周知」が52.1%で最も多く、5割を占めている。次いで「市・地域と連携した交流事業等の実施」(19.8%)、「交流事業等への外国人従業員の参加」(16.7%)となっている。



外国人従業員の生活支援や地域との交流について、特に感じている課題や問題点、行政への要望等がありましたら、お聞かせください

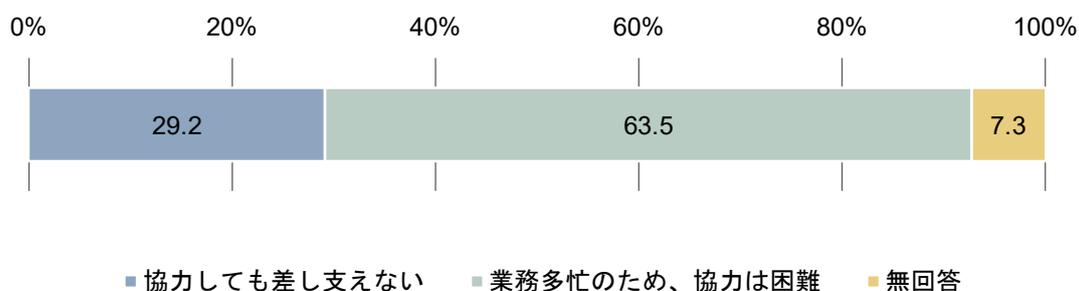
n=14

意見については、別冊資料編の資料1-3に整理している。

(参考)

今後、ヒアリング調査を実施する予定です。ヒアリング調査へのご協力をお願いしますでしょうか。

n=96



Ⅱ. ヒアリング調査結果

1. 多文化共生に関わる各主体

(1) 各主体ヒアリング調査

①各主体の困りごと・課題

日本語学習や母語維持の支援に関係する団体・一色高等学校等では、支援員やボランティア等の人材確保が課題になっている。町内会・自治会・共生の会等では、活動の後継者がいない点が大きな課題になっている。

企業・町内会・学校では、生活やコミュニケーションにおいて、日本人と外国人の価値観や文化の違いについて理解を深める必要がある。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム人は、日本語と英語もわからない。 コミュニケーションがとりにくい。 	安藤木型(株)
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> 今年から支援員が10名になったが、まだ不足している。 個人に合わせて、日本語能力を伸ばせていない。どのような指導が必要か現在、模索している。 カラフルから小学校に行く、もしくは、再び戻ると、その子どもの日本語能力が伸び悩むことがある。カラフルでおおよそひらがなが書けていた子に対し、小学校で再びひらがなを1から教えてしまうことがある。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> 若い外国人の場合、契約が切れたり、解雇されたりして転職を考えるタイミングで、2～3年程日本にいてのもの、簡単なあいさつ程度の日本語しか出来ないことに気づき、多文化ルーム KIBOU に来る人がいる。しかし、教育課の管轄のため、就職目的の方は受け入れられない。ハローワークを案内する。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの確保、学習者の継続、情報や研修の機会の不足 継続して参加してくれる学習者が少なく、ボランティアの役割と教室活動の有効性に疑問を感じることもある。生活者としての外国人の皆さんの支援ができているかと思うと自信がない。せめて、国際交流ができればと思っていたが、イベントの中止で交流もあまりできなかった。 	日本語教室(木曜クラス)
母語	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍生徒の日本語能力の向上 外国語支援員は、各校が独自に見つけ出している。外国語支援員の資質能力もさまざまである。現状では、必要な言語の支援員を探すことで精一杯である。 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> 母語教室をしているが、教える側が有償ボランティアで、他の仕事もあるため限界がある。善意で行っていて、母 	多文化ルーム KIBOU

	<p>国での関連した資格や職歴があるわけではない。現在の体制で、母語教室に多く来られても困ってしまう。</p>	
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣、文化の違いへの理解が難しいこともある。 地域住民からの理解を得るのが難しい。ごみ出し問題について、クレームが多く来る程ではないが、時々発生する。 住まいの確保が難しい。雇用主がしっかり確保するしかなく、外国人本人がひとりで借りるのが難しい。 	安藤木型(株)
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ごみの不法投棄について自治会長から連絡がある。また、外からの持ち込みもある。 子どもたちに関する苦情がある。野球をしたり、消火器を使って遊ぶ子がいるという苦情もある。 国籍間でのいざこざもあった。警察にはあまり対応してもらえない。 軽自動車の駐車 車の任意保険に入っていない人が多く、事故の際のトラブルになる。 	愛知県住宅供給公社
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> 県営住宅の自治会長を務めていた時、市に意見を伝えようとすると、県の方へ伝えるように言われた。県営住宅の建物は県の管轄だが、住民は市民であり、西尾市の行政サービス下にある。このような行政の縦割りが解決されないと、いけないのではないかと課題意識を持っている。 活動の後継者がいない。 県営住宅連合会がなくなれば、共生の会もなくなるかもしれない。 西尾市内で、共生の会に入っている県営住宅の自治会が3つある。しかし、1年ごとに自治会長が変わってしまう。 校区ごとに、町内会と自治会の会長の会がある。県営住宅の自治会長が、外国人に関することを町内会で提案しても、なかなか議題にしてもらえない。共生の会として、生活上の課題、困難を伝えている。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> 新しい取組に着手する場合は、ワタナベ氏と2人である程度決めたことを班長に示し、意見を求める形をとっている。何かを変える取組を始める際に一番大変だったのは、古くからいる日本人の気持ちを動かすことだった。 自分たちの後を継ぐ人がいない。日本人に遠慮してしまう傾向がある。フルタイムで働いているため、町内会活動にもっと関わって動きたいと思っているが、実際は3交代で働いているワタナベ氏に負担がかかっている状況。ナカツ氏自身も今後住宅からの引っ越しを考えている。 団地のお金のやりくりが大変だが、今年は駐車場の見直しを行ったことによる5万円の会費が浮いてきた。 	新渡場住宅町内会

	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が自治会の役を担わざるを得ない状況である。 	愛知県住宅供給公社
教育・学校	<ul style="list-style-type: none"> 各学校に多文化共生担当の先生がいるが、これまであまり連携できておらず、学校教育課の勉強会で最近改善された。 上記勉強会において、カラフルで勉強した子どもの様子は毎回伝えていたが、DLA に関しては、まだ直接実施しているところを見に来てもらったことはない。 先生たちに多文化共生の視点があまりない。日本のルールに従うように言ってしまい、言う通りに行動してもらえないことにストレスを感じてしまっている。 道徳の教材で海外の子どものテーマを扱う時に、クラスの子と関わり、相互理解を深める等の工夫を行えばよいと思う。 	日本語初期指導教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> 日本人生徒と外国籍生徒との共生意識向上 外国籍生徒の就職、進学（外国籍生徒を含む卒業生の話を聞く機会、企業開拓） 	一色高等学校（定時制）
防災	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の担当者は現会計（前の自治会長）である日本人。しかし、訓練の計画をお願いしたが、取り掛かかれていない状況。防災訓練はしなくてはならないと認識している。 	新渡場住宅町内会
新型コロナウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の参加が減っている。不要不急かと言われると、自粛せざるを得ない状況にあると思う。 各イベントがほとんど中止になって、交流の場がなくなっている。緊急事態宣言が解除されたら、できることはないかを考え、感染予防を徹底して開催できると良いと思う。 	日本語教室（木曜クラス）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 手厚くサポートやフォローをしても、それでも1年に3名くらい逃げてしまう実習生が出る。 受入れ企業は、もっと受入れに苦労すると思う。 	東海人材支援事業協同組合

②各主体独自の取組

1) 市民団体・地域団体・学校等の取組

多文化共生に関わる各主体は、SNS やオンラインを活用し、情報発信に取り組んだり、活動の幅を広げたりしている。

町内会・愛知県住宅供給公社・一色高等学校等は、多言語対応、生活ルール等の説明、イベントの開催等に取り組んでいる。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市福祉センター等で昨年7月から月1回（日曜日）程度開催するほか、日頃はチャットで相談等に応じている。 	インドネシア人相談

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班長4人はブラジル人、ベトナム人各1人、日本人2人。ベトナム人班長を通じて住宅内のベトナム人への情報伝達等をしている。 ・ ネパール人、中国人は日本語を理解するため翻訳がいない。 	新渡場住宅町内会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスターとHPによる地域への情報発信 ・ 地域からの情報収集、連携 	一色高等学校 (定時制)
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5～18歳の外国にルーツがある子どもに対して、就学支援(日本語教室、母語教室、週末のプレスクール等)につながる取組を行う。 ・ 15歳から20歳くらいまで(過年齢)の外国にルーツがある子どもに対して、日本語を勉強して学校へ行きたい子どもも支援している。 ・ 5つのクラスがある(不就園クラス、不就学クラス、過年齢クラス、小学生クラス、中学生クラス) ・ 現在、大人の日本語クラスも一時的に復活させている。コロナの影響で、家庭訪問した際に、平日昼間に家族全員がいることを知り、日本語を勉強してみないかと呼び掛けた。 ・ 基本的に、多文化ルーム KIBOU は子どもに関する支援しかできないので、ここに通う子どもの親向けに少し日本語講座をしている状況である。今月はすべてオンラインで開催している。 ・ 愛知淑徳大学と連携し、休校中にオンライン日本語支援「あいうえお240」を行っていた。 ・ 「あいうえお240」開催にあたり、ボランティアを募った際に、愛知淑徳大学の関係者が企業に声を掛けてくれた。それにより、遠くに住むテレワーク中の会社員の方も参加してくれた。 ・ 休校中は毎日行っていた。現在も、毎週土曜日・日曜日のみの開催という形で、継続している。今月(12月)末で、一旦区切りをつける。 ・ 12月末で終わった後の目途はたっていない。冬から春にかけては、プレスクールをやらねばならず、手一杯である。対応が中途半端になってしまうことを懸念している。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語能力をはかるDLA(Dialogic Language Assessment)を年3回実施 ・ 日本語能力試験(年2回) ・ 日本語多読ライブラリー 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教室に通っている。理由・目的は、「日本で生活していくために必要だから」、「仕事に必要だから」、「日本語の試験を受けるため」、「日本人と交流がしたいから」である。 	日本語学習者 (木曜クラス)
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ モスクを建設した時、清掃や草刈りなどして美化に努めていた。インドネシア人は相互扶助の精神があり、何かイベントをした後などごみを持ち帰る。地域でも、外国 	インドネシア人 相談

	<p>人だからやれないと思われたくないと考えている人が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間違ったごみ出しを発見した場合、写真、画像で示して日本語、ベトナム語、ポルトガル語の文書により集会所等に掲示している。なお、ごみや駐車場の問題が起こるたびに全員に周知している。 ・ 大きな困りごとではないが、ちょっと聞いてみたい、という困りごとを聞いている。毎週水曜に開催していたが、コロナ禍で、不定期で実施している。 	<p>新渡場住宅町内会</p> <p>多文化共生サポートアダジオ</p>
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人入居者に対するルールの理解促進のため、次のことを実施 ・ 年3回の募集にあたり、入居者のすべての言語（希少言語であっても）で説明会を実施 ・ 入居者のしおりの多言語翻訳（英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ベトナム語、ネパール語） ・ 県営住宅ニュースの発行 ・ 通訳の派遣 	愛知県住宅供給公社
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の保護者と子どもの交流イベントは、多文化共生が実現しやすい。実際に、地域の保護者が外国ルーツにある子どもに折り紙を教えるイベントがあった。 ・ 自治会のイベントとして、以前はバーベキューや花火をしていたことがあったが、数年前にトラブルがあって止めた。現在、月1回の集金時に皆で共有スペースのごみ拾いをしている。ナカツ氏と自治会会長であるワタナベ氏の取組により、班ごとに清掃パートを分けて分担。時間短縮を図った。来なかった人は、500円を支払う仕組みにした。 ・ 取組として、月初めだった共益費の集金日を、20日の給料日（トヨタ系の会社に勤める人が多いため）に近い日に設定した。これにより、集金率がアップした。 ・ 近年、近隣とのトラブルがあったため、集会所を使えない状況であったが、ナカツ氏らが警察署に出向き、自分たちが適切に使用することを保証するなど伝えたことで使用を認められ、誕生日会に使ったり、ベトナム人が日本語を勉強するために使ったりできるようになった。ただし、現在はコロナの影響により使用していない。 ・ プロジェクトのままで終わってしまったが、子どもたちが掃除を手伝ったらみんなで映画を観られるようなイベントを考えていた。 ・ 他に実行した取組には、住宅内の配線の交換を行った。住宅内の電気を全部替えることを計画したが取り組めなかった。新しい取組をするのは、トップにいる人の気持ち次第。 	<p>日本語初期指導教室カラフル</p> <p>新渡場住宅町内会</p>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子教室も実施している。来ている人の知り合いが困っている等で、幅広い人を対象に相談に乗ったりしている。 ・ 子どもの学習支援教室から始まっているので、対象者はそ 	多文化共生サポートアダジオ

	の時に知り合ったお母さんの支援が中心である。	
教育・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学時に「外国籍生徒個票」を作成（来日歴、日本語学習経験、保護者の日本語能力など） ・ 入学生徒実態アンケート、各種アンケートの多言語翻訳 ・ 教員（非常勤講師含む）に対して、外国籍生徒状況を周知（4月） ・ 「やさしい日本語」、板書・プリント・考査問題へのルビ振り ・ 外国人生徒教育支援員の授業への入り込み支援（ポルトガル語、タガログ語・英語、中国語、ベトナム語、スペイン語） ・ 県派遣の外国語支援員は、週当たり26時間分、5か国語の支援員の派遣をしてもらっている。支援の内容は、授業中の寄り添い指導、配布文書の翻訳、保護者会における通訳、日常生活上の相談事項に関わるものである。 ・ 音声翻訳機 ポケトーク（今年度より愛知県教育委員会から支給） ・ HR活動（文化、習慣、言葉のちがいについて） ・ 多文化理解のための授業を1年次から開講している。その内容は、外国語支援員や外国ルーツOBからの講話である。 ・ 日本語授業（1、2年外国籍対象者） ・ 生徒会活動（今年度スローガン「愛と平和」多言語で表示）、校内漢字コンクール ・ 文化祭（各国の食文化紹介） ・ 「グローバル語り部」（外部講師招聘：外国籍生徒の経験と西尾市の外国人支援についてなど） ・ 給食メニュー（保健給食部と連携、食文化紹介） ・ やさしい日本語による文書配布、配布文書の多言語翻訳（PTA懇談会あいさつなど） ・ 保護者会、面談での通訳者補助 ・ 「外国籍生徒のための学校説明会」（11月、中学生と保護者対象） 	一色高等学校 （定時制）
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親にも鶴城小学校での防災訓練のことを伝えるように、子ども達に言っている。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、防災イベントを開催している。 ・ 愛知工業大学に防災研究センターができた。障害者、高齢者、日本語が分からない人（外国人）ごとの対応が必要である。 ・ 2006年当時、「東海地震に備えて」という防災ビデオのポルトガル語版を作成し、県の多文化共生室、愛知国際交流協会等に渡した。現在は、新しい災害資料作成のため、県警に参考資料として貸している。全編ポルトガル語で、字幕が日本語になっている。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年1度防災訓練を実施している。 	一色高等学校

		(定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾市とともに多言語支援センターのマニュアル作成をした。マニュアルに沿った訓練をしていこうとしている。 ・ 台風等の際には、個人的にメッセージ等で連絡をもらってアドバイスをしている。 ・ 体験してもらうことが一番なので、防災活動で最もやりたいのは、非常食を食べてもらうこと。昨年実施できたため、それを続けていきたい。 ・ インドネシア人のハラール対応として、今、売っているものの中で、彼らが食べられるものは何かが重要のため、ネットで売っているハラール対応の紹介等もしたりしている。一般食でもハラール対応しているお店も、教えている。 ・ 今後やりたいのは、防災グッズを多言語で説明しながら、その場で買えるようなこと。日本のカーマ等に、外国の人が行って買えるようなことを考えている。 	多文化共生サポートアダジオ
新型コロナウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度はじめの一斉休校期間中に、兄弟や親せきが少ない家庭のお子さんを中心に家庭訪問をした。玄関は開けてくれるものの、かなり厳密にソーシャルディスタンスを保つての面会となった。アパートから一歩も出ていないという人もいた。 ・ 一斉休校の後半に、あいうえお 240 の活動を開始した。オンラインで、気になる家庭に声をかけることができた。 ・ 夏にも、不就学・不就園の家庭を対象に家庭訪問を実施した。。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ発生の状況をきっかけに、LINE と Facebook での情報発信を開始した。 ・ 次回投稿予定動画として、きずなネットの周知用動画を作成している。 	日本語初期指導教室カラフル
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助け合い、共生ができています。日本語がわからない生徒をわかる生徒が助けている。 ・ 国籍による括りでなく、個人として捉えている。LGBT も含め、いろんなカラーを持っていることは素敵だという意識がある。 ・ ムスリム生徒の配慮として、給食メニュー表の豚肉使用・不使用の絵を用いた表記、生徒会室内に礼拝スペースの設置がある。 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 任意団体だった際に、職員研修として、やさしい日本語の講座を実施した。 ・ 最近、翻訳機で活用できるやさしい日本語、窓口でのやさしい日本語等も実施している。 	多文化共生サポートアダジオ

2) 外国人従業員の受入れ企業・仲介斡旋事業者の取組

外国人従業員や技能実習生の受入れ・仲介斡旋事業者においては、日本語学習支援・住宅確保・手続きの同行・日本人従業員との交流機会の設定等、各種生活支援・交流促進を行っている。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> 職場においては、日本語がないと仕事ができないので、日本語でのコミュニケーションをとるようにしている。 西尾市国際交流協会にて交流している。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 周知が必要な情報については、通訳に指示して実習生に展開している。 西尾市の日本語教室の情報を教えている。 コロナに関する情報や注意喚起も行った。 当組合の Facebook にも情報を載せている。 	東海人材支援事業協同組合
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> 別会社として、日本語学校も設立している。 日本語を勉強した方がよいとアドバイスしている。日本語が出来ると、よりよい会社に行くことができ、雇用が安定する。派遣より正社員がよいとも伝えている。 企業側も、よい方は社員登用する。契約満了で終わらない傾向になってきた。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の紹介については、西尾市国際交流協会を紹介している。ひらがなが書けるようになったが、話すことはまだ上達していない。 日本人従業員が、ベトナム人に日本語を教えている。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 半年間日本語を習得。寮で日本語のテレビを見て勉強。1年で3級を取得している。N2合格(3年目程度)で5,000~1万円の支給あり。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 監理団体が支援。 	村井鉄工(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 日本語習得に関する支援として、N3取得者に1万円、N2は2万円、N1は4万円の報奨金を用意している。 今年度、N1に合格した人が3名いる。 	東海人材支援事業協同組合
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル人については、初めて日本に来たという人は少なく、すでに日本の生活に慣れており、情報も持っている。 家族がいる方に対しては、お子さんの保育園・病院関係・行政手続きの手伝いをしている。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続き支援、病気・けがの対応、保証人等も行う。 国籍関係なく、手当を付け、子育て等支援している。 家族用にクリスマスケーキを配布した。 忘年会を行う時もある。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導は監理会社が実施 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 一軒家の区域の町内会に会社が入会。実習生は各行事、清掃活動の出席は免除されている。総会には会社の社員が出席する。 	村井鉄工(株)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生、派遣社員（日本語が話せることを条件にして求人）ともに日本語が話せるため、職場での言語対応や支援はしていない。ただし、窓口での日本語のやりとりは難しいため、通帳を作る時や歯医者に行く時などは社員が同行する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事に関すること以外（病院への付き添い等）は、当組合で引き受けている。 ・ 監理にあたり、通訳が月1回各企業に訪問してケアしている。 ・ 東海研修センターにおいて、歓迎会を行う。 ・ 技能実習生としての責任・義務についても説明している。 ・ センターでは、実習生の導入研修の一部として、日本での仕事・生活の仕方、防災や警察に関係すること等を教えている。消防署に連れていったり、ごみの分別練習をしたりしている。 ・ 毎月、実習生の誕生会を開催している。 ・ 各国の正月に合わせた食べ物を巡回して渡しに行っている。 	東海人材支援事業協同組合
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社の寮を所有している。 ・ 公営住宅の申し込み支援をしている。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパートを借りている。今後は、商工会の方で古い戸建てを改装し、寮にしようと考えている。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社が自転車を貸与。会社から20分の所に寮を確保し、1部屋に2人が住む。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社近くの町内に会社名義で一軒家を購入し、6人の実習生が居住。トイレが1つだったところを3つに増やすなど配慮。 	村井鉄工(株)
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斡旋先の企業によっては、バーベキューをする。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の寮がある熊味町内会には、2万円の寮費から5部屋分（1部屋2名）の町内会費の支払いをしている。 ・ 会社行事としてボウリング大会、歓迎会、忘年会の実施。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内行事として、バーベキューや、市内イベント（ロゲイニング）及び機械工業会主催のボウリングへの参加などがある。ただし、実習生は受け入れてまだ2年目を迎えるところで、新型コロナウイルスの影響もあり各イベント等が開催できず、未参加となっている。 ・ 実習生とプライベートで交流のある社員もいると聞いている。 ・ 実習生は、社外のベトナム人との交流があり、休みの日に皆で白川郷に遊びに行ったようだ。 	村井鉄工(株)
労働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同国籍の先輩が、後輩に教えられるように配慮している。 ・ 職場においては、日本語ができないと仕事ができないので、日本語でコミュニケーションをとるようにしている。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国語・韓国語が話せる通訳者が必要に応じて対応 ・ 専門用語を中国語にしている。 ・ 監理会社の監査は3月に1度。入国後1年間は毎月フォ 	朝日理化(株)

	ローしている。	
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の通訳が、市の防災ボランティアに参加する予定である。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝礼で、三河湾で大地震があったことを話した。本人の危機意識は高くないが、日本は地震の多い国であることは認識している。一方で、日本は安全な国と思い込んでいる節もある。 ・ 防災アプリについて、話は聞いているが、利用はしたことがない。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何かあったら避難場所は八ツ面小学校だと伝えている。中国人の間では WeChat を通じて情報のやりとりをしている。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に備えて備蓄している。何かがあったら会社に来るように指導している。 	村井鉄工(株)
新型コロナウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰国できない場合、特定活動にしている。 ・ 雇用継続できない企業の実習生（満期）は、当監理団体において、光熱費のみ自己負担してもらい受け入れている。帰国便が出るまで対応する。 ・ 自己都合による途中帰国希望の実習生については、家賃や食費等も自己負担してもらい、受け入れている。月1回の食事会のみ無料にしている。 ・ 技能実習満期修了者で、帰国便に乗る者に対しては、受入れ企業から5万円支払われるとともに、当組合から最大4万円の補助をしている。 ・ 特定技能に切り替えたい人の手続きや、雇用先が見つからない実習生の失業保険の手続きも進めている。 ・ 特例措置による技能実習生の転職も行っている。 ・ コロナ禍では、技能実習生にマスクと消毒液を送っている。 	東海人材支援事業協同組合
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会が2年前に監理団体の申請をし、監理団体の資格を取った。中国・ベトナムの送出し機関と関係があり、市役所で調印式も行った。 ・ 商工会が監理団体になったことに伴い、技能実習生の受入れを開始する予定である。これまでは、技能実習生の受入れ経験はない。 ・ 商工会会員のうち、6～8社程、関心を持っている。コロナによって、多少減るかもしれない。 ・ 監理団体で、春から技能実習生の派遣を始めようとしていたが、コロナでできていない。 ・ 特定技能も、今後可能性がある。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監理費は4万5千円と相場より高めの設定となっているが、その分手厚くフォロー・サポートをしている。 ・ 実習生・組合・企業がフェアであるという前提に立っている。 ・ リピーター企業の監理費は安く設定している。 ・ 3年前から、企業の技能実習生受入れ姿勢・意識の見直 	東海人材支援事業協同組合

	し・啓発を行う活動を開始している。技能実習生の最低賃金での雇用や、劣悪な就労環境の是正を念頭に置いている。	
--	---	--

③西尾市の多文化共生の取組

1) 西尾市の取組で活用しているもの支援・補助・ツール

企業や仲介事業者において西尾市の取組で活用しているものは少なく、国際交流協会の事業の活用、ごみカレンダー・アプリの案内程度であった。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の通訳が、何かあれば、市の通訳や窓口につないでいるようである。 ・ ごみカレンダーとアプリを案内している。通訳が指導している。 	(株)ホーエー
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教室の紹介については、西尾市国際交流協会を紹介している。ひらがなが書けるようになったが、話すことはまだ上達していない。 	安藤木型(株)
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾市国際交流協会にて、日本人と交流している。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流協会に所属する部会として、補助金をいただいている。社会福祉センターを無料で利用できる。 	日本語教室(木曜クラス)
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本に来たばかりの子どもは、鶴城小学校の避難訓練に参加している。 ・ 親にも防災訓練のことを伝えるように、子ども達に伝えている。 	日本語初期指導教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災アプリについて、話は聞いているが、利用はしたことがない。 	安藤木型(株)

2) 西尾市の取組についての評価

西尾市の取組について、多言語での情報発信や、市役所等での通訳配置、図書館での多言語への対応等について評価されている一方で、支援を必要とされている人への情報の伝達、税金や社会保障等に対する理解の促進など、必要な情報が必要な時に適切な形で外国人市民に伝わるような工夫を求める意見が多かった。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校も他言語で毎日のように発信している。きずなネットを活用して、ポルトガル語とやさしい日本語での情報発信がなされている。多文化ルーム KIBOU 開設時の 2008 年頃に比べると、多言語情報提供はしっかりしている。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の情報は、役所用語をそのまま翻訳するからわかりにくい。置き換えて説明する工夫や、文化面の説明も含めた伝わりやすい翻訳が大切である。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> ・ やさしい日本語も、日本人に都合のよい言葉になってい 	

	ないのではないかと。上から目線になっている。	
	<ul style="list-style-type: none"> 外国人相談窓口は利用していないが、評価は出来る。 色々と市が取り組んでいるが、支援を必要としている人に支援メニューが伝わっていない。浸透していない。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 市民課での転入転出の届出の多言語化 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 納税についての理解がないまま滞納している場合がある。そこに至るまでに何らかの手立てが必要。 最も大事な手続きである税や保険について、転入時にレクチャーを行うか、例えば日曜日に説明会があるとよい。 個人的には、何かを伝えたいときは、一人ひとりとのやりとり、個別のメッセージが一番効果を感じる。行政は、人、媒体等、一種類だけではなく、チャンネルをたくさん増やすことが必要。 	インドネシア人相談
通訳	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市は、通訳が多い等、他の自治体に比べて、手厚いと思う。 他の市では日本語の資料がまだ多い状況であり、西尾市は進んでいる。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> 市の通訳のサポートがある。 	新渡場住宅町内会
母語	<ul style="list-style-type: none"> 図書館には、すでに多言語の本を入れてもらっている。本の読み聞かせは、母語維持に有効である。図書館が、母語や文化の継承の場になればよい。 	日本語初期指導教室カラフル
防災	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織があるが、地域の防災組織に加入する人が少ないのが実態ではないか。 多言語防災センターも、機能する仕組みが組み込まれていることが必要で、中身の部分を市民に周知してほしい。 周知にあたって、広報やFacebook ページのみならず、SNS を使っていない市民のために、新聞に記事が掲載されるようになるとよい。 	緑町住宅
多文化共生の意識・体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生について、広報にも取り上げてくれているが、一般市民は、どう感じているのかわからない。もっと、率直な市民の声を聞く姿勢が必要だと感じている。 	日本語教室(木曜クラス)
	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生室か、課を立ち上げてほしい。専門部署があった方がよい。 	緑町住宅

④多文化共生プラン策定に向けての連携・推進体制

1) 市との連携・連携意向

現在の連携状況について、教育分野においては、市と日本語初期指導教室カラフル、多文化ルーム KIBOU、一色高等学校（定時制）のそれぞれで連携体制が構築されている。

教育関係で具体的に連携したい内容として、母語支援、就学前の子どもの支援、海外にルーツがある子ども・高校生等の活躍、在留資格についての説明、子育て中の母親の心の問題への対応等が挙げられている。

市との連携・協力が可能な内容としては、市と連携した情報発信である。企業、監理団体、商工会等を通じて、生活に関する情報の発信について、協力可能であるとの意見が出ている。

また、愛知県住宅供給公社が、岡崎市で行われているような「市、自治会、コミュニティ通訳員、公営住宅担当者が出席するコミュニティ通訳員会議」が西尾市でもあれば、参加したいとの意向を示している。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	・ 市と商工会との情報連携ができるとよい。	安藤木型(株)
	・ イベントの情報を市の方で集約していただければ、社内の外国人に発信できる。	朝日理化(株)
	・ キーパーソンとして、社内の通訳者を推薦できる。	東海人材研修事業協同組合
日本語学習	・ 刈谷市の国際交流協会から、西尾みなみ商工会に日本語学習に関するリクエストが来ている。	安藤木型(株)
	・ 「あいうえお240」の活動を、国際交流協会に引き継いでもらいたい。	多文化ルーム KIBOU
	・ 現在、カラフルの活動について、高校生の子に手伝ってもらっている。市と連携して、高校生の子が活躍できるようにしたい。海外ルーツにある子が活躍できる場があるとよい。	日本語初期指導教室カラフル
母語・母国の文化	・ 母語支援と就学前の子どもに関する事で、連携したい。	多文化ルーム KIBOU
子育て	・ 不就園児や予防接種歴確認等の調査に関わっている。どこまでやれるかわからないが、悉皆調査は続けていく方がよい。	多文化ルーム KIBOU
教育・学校	・ 西尾市立鶴城小学校内 西尾市早期適応教室（外国籍児童生徒の日本語初期指導教室） ・ 社会福祉法人せんねん村 多文化ルーム KIBOU（日本語初期指導教室）	一色高等学校（定時制）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在留資格についての説明会の開催 ・ お母さんの心の問題窓口（多言語による）開設 	
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業として、交流促進に協力可能である。 	安藤木型(株)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡崎市では、市、自治会、コミュニティ通訳員、公営住宅担当者が出席するコミュニティ通訳員会議を実施している。西尾市でも同様の会議があれば参加意向がある。 ・ 公営住宅は、元々自力で住宅を持ってない人のステップとして存在していたが、現在、老人ホームの代わりとして、民間の老人ホームに入れないからここに来たという人が多い。自治体の福祉課との連携も必要。 	愛知県住宅供給公社

2) 各主体（市民団体、地域団体、企業、学校等）同士の連携・連携意向

西尾市の多文化共生に関わる各主体（市民団体・町内会・学校等）と企業との連携ニーズがある。連携ニーズの内容としては、日本語学習、外国ルーツのある生徒の就職活動のサポート等が挙げられている。

また、現在の町内会・企業・人材斡旋団体・商工会・学校間における横のつながりは弱いものの、今後の連携強化を希望する意見も聞かれた。

カテゴリー	内容	回答主体
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの方とは連絡が取れるので、何かあればすぐ協力を求められる。 ・ 企業とCSR的に連携できるとよい。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設初年くらいに、デンソーグループはあとふる基金を活用し、本を購入した。開設後2～3年くらいは、イベントにも出た。 ・ 小島先生（愛知淑徳大学）、桜井先生（広島大学）にアドバイスを頂いた。教務の先生の担当者会議で、桜井先生からお話を聞く機会があった。このままこういった取組が続くとよいと思った。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業で、日本語を学ぶ時間と場所を設定してほしい。単独でなく数社が協力してもらえると良い。 	日本語教室(木曜 クラス)
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成10年頃に、マルサンの寮が緑町住宅の横にでき、マルサンと覚書を交わした。 ・ 覚書の内容は、マルサンがゴミ出しの周知を行うこと、近隣に迷惑をかけた場合、マルサンが雇用主として責任を取る事等である。 	緑町住宅
教育・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業とのマッチング ・ 言語支援が必要な生徒を抱える学校同士の、校種を越えた情報交換の場の設定。校種を越えた情報交換の場が設定できれば、一層継続的な支援が可能になる。 	一色高等学校(定 時制)

防災・安全	・ 町内会とともに桜町地域のお祭り、防災活動等を行っている。	緑町住宅
	・ 警察が時々、交通ルールを教えに来ていた。	日本語初期指導教室カラフル
地域活動・交流・連携体制	・ 他の町内会との交流・連携は大事だと考える。	新渡場住宅町内会
	・ 町内会と企業の連携もあり得る。しかし、他の町内会がやらないと連携を進めないという町内会が出てきそうである。 ・ 市内には大小さまざまな斡旋事業者がある状況だが、業界団体や横のつながりは今のところない。顔見知りという場合はある。	(株)ホーエー
	・ 商工会自身がキーパーソンになりうる。商工会が軸になっていく必要があると思っている。 ・ 一色商工会とは、現段階では連携していないが、共通の議題・意識は持っている。	安藤木型(株)

⑤多文化共生プラン策定に向けての意見・提案

多文化共生プラン策定に向けた意見・提案としては、地域活動・交流、外国人市民の活躍、多文化共生の体制・意識づくりに関する意見が多く挙がっている。具体的には、外国人が参加したいと思う内容や日時での交流機会づくり、市役所等での正規職員としての外国人市民の登用、外国語支援者の人材登録、日本人における外国人市民の母国文化背景等への理解等の意見が聞かれた。また、外国人をコミュニティリーダーとすることにおける懸念点を指摘する意見もあった。

新たな課題への対応ニーズとしては、母語に関すること、文化や宗教への配慮・尊重が挙げられている。

すでに西尾市が取り組んでいる多言語対応、日本語学習、教育、子育て、防災等の分野についても、現行の取組・体制の充実・強化に関する意見が挙がっている。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	・ 市役所の外国人市民向けサービス・制度を知らない会社に対して、案内・周知をしてほしい。市が企業を集めて、会社内で外国人従業員に伝えてもらうようにするのはどうか。どの家庭にも、必ず労働者がいるはずである。	(株)ホーエー
	・ 仕事、入管、労働基準監督署等の手続きは複雑。市役所で、ワンストップで済むと良い。	インドネシア人相談
日本語学習	・ 外国ルーツの生徒への日本語能力試験（JLPT）取得奨励のための受験料の補助制度の創設、資格取得者の取り扱い（資格の内容の企業側への周知など）に関する支援	一色高等学校（定時制）
	・ 日本語を勉強することに対して目に見えるインセンティブがあると良い。	インドネシア人相談

母語	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジル系の子たちは、母語維持の概念がなく、ただ日本語を叩き込んできた。そのため、母語が話せなくなっている。 ・ 現在、カラフルで母語支援は直接していないが、大事であると言うようにしている。数ヶ月で忘れてしまうため、家で使うようにと呼び掛けている。自助努力に頼るのではなく、母語維持の重要性について世の中が認めてくれるようになってほしい。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母語支援に取り組んでほしい。日本人が英会話スクールに行くと、言語を学ぶというものはレベル感や必要性が異なる。母語は人間の血肉ともいえる大切なものであり、母語が使えないことで、生活や家族関係が破綻してしまう可能性がある。 	多文化ルーム KIBOU
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日にイベントがあればいい。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用している外国人本人は、日本人との交流を希望しているが、機会がない。場所も知らない。行政から、こんなところがあるよと教えてもらえると有難い。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生が参加したいと思える交流イベント、楽しいイベントも必要だと感じた。 ・ ただし、イベント実施時に、西尾市の実習生だけを集める訳にもいかない。かといって、すべての実習生に参加してもらおうとすると、交通費準備等検討すべき事項が増える。 	東海人材研修事業 協同組合
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国にルーツのある子どもは、市をまたいで引越が多い人もおり、そうした子どもの予防接種歴等の把握が難しいと思っている。 ・ 予防接種歴の確認は5歳からだが、本当はその前からやれるとよい。妊婦の頃から、子どもの予防接種案内を若いお母さんに届くようにするとよい。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過年齢の子たちへのケアを考えてほしい。 ・ 子育て支援センターの利用が出来ているか懸念している。 ・ 障がいのある子もいる、DLAとは違う測定が必要になる。教育委員会で、理解しているのは浜田先生くらいではないか。 ・ 発達検査は、日本語でしかできない。 ・ 臨床心理士も、母語で対応出来る必要がある。 	日本語初期指導 教室カラフル
教育・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国にルーツのある子どもの全日制高校への進学については、日本語の読む力がないと難しいと認識している。まだ全日制に進学する子どもが少なく、仮に入学したとしても、継続して学び続けられる、育ててくれる環境でなければならない。 ・ ラッキーで全日制に入れた子が、ドロップアウトしやすい。その点、定時制高校の子の方が、ドロップアウトしづらい。定時制の方が、ひとりひとりが学べる環境を作り、多文化共生が体现されている。 	日本語初期指導 教室カラフル

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全日制の多文化共生も進める必要がある。 ・ 職業体験ができるとよい。親御さんの工場以外の仕事もわかるような講座、キャリア教育の機会があるとよい。 	
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練やごみゼロ運動など、コミュニケーションの場を広げていってほしい。 ・ 各地域で、防災訓練をし、外国人市民にも参加してもらえたらよいと思う。 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業には消防法の義務があり、防災訓練しないとイケないはずである。派遣社員の外国人であっても参加すべきと考える。 	緑町住宅
文化や宗教への配慮・尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業におけるムスリムへの配慮として、断食月の時に断食ができるように、礼拝の時間が確保できるように配慮されると良い。さらに、断食月後に1週間ほどの休みが欲しいという声がある。 	インドネシア人相談
外国人市民の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人市民の子が、正規の職員として市役所で働けるようになってほしい。学校の先生となる人は少し出てくるようになった。鶴城小学校にもひとり、ブラジルにルーツがある女性教員（安城市出身）が働き始めている。 ・ エンジニアの親にも期待できる。母国で大学教員等をしていた方がいるため、日本の学校等でも働いてほしい。瀬戸市では朝の採点ボランティアを行っていて、そのようなところから参加して、関わってってもらえるとよい。 	日本語初期指導教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域レベルでの外国語支援員の人材登録バンク（仮称）の創設。人材登録バンクに登録できる人は、一定の研修受講した人に限定すれば、支援員の資質能力の向上にもつながる。 ・ 高い言語能力をもつ在校生の力を教育活動に生かすことができないか。現段階では、次の言語支援が可能な生徒が在籍している。（タガログ語・日本語が5人<4年生3、3年生1、1年生1>、ポルトガル語・日本語が6人（3年生2、2年生3、1年生1>、英語・日本語が2人<4年生1、3年生1>、スペイン語・日本語3人<2年生2、1年生1>、ベトナム語・日本語1人<4年生1>） ・ 将来的には、語学力のある高校生が小中学校に行って学習支援をするということも考えられる（現行の大学生チューター制度のようなイメージ）。 	一色高等学校（定時制）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政主導でインドネシア人のコミュニティリーダーをつくることについて、次のような3つの懸念があり、得策ではないと考える。 ・ 1つ目に、リーダー役の人に負担がかかる例を多く見ている。場合によっては、支援を求める人をサポートすることで法に触れることもある。そのような状況になった時、行政がそのリーダーを必ずしも守れる立場にない。 ・ 2つ目に、長く日本にいるリーダーが間違っただバイ 	インドネシア人相談

	<p>スをする場合がある。10～15年前の知識がアップデートされず、例えば社会保険に入らなくてもいいと伝えるなど、自分の経験で物事を判断し、自分が正しいと主張してしまう場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つ目に、インドネシア人コミュニティは、市内にたった660人しかいない狭いものであり、また、民族ごとに多くのグループがある。こうした状況に加え、インドネシア人は一般的に困りごとを周りに相談することを好まない。噂がすぐに流布してしまう傾向があり、それを懸念する人がある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で暮らす外国人が社会の一員として、活動できる場がほしい。 	日本語教室（木曜クラス）
多文化共生の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人と関わる団体と役割を明確にし、市全体で外国人の生活や学びを支援することが大切だと思う。 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 永住していく中で、地域・町内会とうまくやることが必要である。地域の方と連携、共生できるような仕組みがあってほしい。 ・ キリスト教の方はお祈りに行くので、教会がキーとなる場所かもしれない。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の担当が変わると、やり方が変わる。次の人になるとできなくなる、という負の連鎖にならない仕組みをつくって欲しい。 	多文化共生サポートアτζヂオ
多文化共生の意識づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の先生だけでなく、一般の市民も、あまり外国ルーツ・文化に関心がなかったり、日本の文化を押し付けたりしてしまう部分がある。 ・ 外国人の方を受け入れる雰囲気は少なく、日本へ溶け込みにくくなっている。 	日本語初期指導教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流から共生が大切である。まずは隣に外国人がいることを理解することから始まる。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人ができないことへの背景に目を向けてほしい。できないのにはパニック障害を起こしていたり、識字の問題があったりなど本人のやる気だけではない理由もある。 ・ 今回、確定申告を自力でオンライン申告するようレクチャーしたが、お手伝いしていただいた市の福祉部長から「日本人でも難しくできない手続きで、入力を手伝っている」という言葉を受けてはとした。外国人だから自立しないといけないと、つつい自分でやるように求めてしまうが、日本人ができず、サポートをしてもらってやっていることは外国人も同様に支援すべきである。 	インドネシア人相談
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人の住宅への入居を断られる場合があるため、町内会レベルでの意識啓発も大事ではないか。大家さんが入居を許可しても、町内会が断るというケースもある。 ・ まだ外国人に抵抗がある住民もいる。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室では、親しく接することができるので、楽しいのだが、住んでいる地域に戻ると、声もかけられず距離を置 	日本語教室（木曜クラス）

	<p>いてしまう。もっと、生活の中で関われる機会ができる とよいと思う。</p>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で大変だと思うが、緩急をつけて進めてほしい。県下には様々な取り組みをしている市（豊田、刈谷、一宮、蒲郡等）がある。それらの施策も参考にいただき、西尾市のプランができることを期待する。 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県営住宅の建物は県の管轄だが、住民は市民であり、西尾市の行政サービス下にある。このような行政の縦割りが解決されないと、いけないのではないかと課題意識を持っている。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば県営住宅の保見の集会所は、子ども食堂、保育園など違う用途で使用している。10年後を見据えて、ビジョンを現実的なものに変えないといけない。 ・ 今、公営住宅の転換期だと捉える。お願いすることだけでなく、明るい内容で人を集めたい。 	愛知県住宅供給公社

(2) 介護事業者簡易アンケート

①実施概要

西尾市内の介護事業者 6 社に簡易アンケートを配布し、4 社からアンケート票を回収するとともに、2 社から口頭での回答を得た（2021 年 3 月実施）。

②回答結果

1) 外国人介護人材の雇用状況について

■国籍、在留資格

- ・ 外国人介護人材を雇用しているのは 3 社で、国籍と在留資格は以下のとおりである。
- ・ インドネシアからの EPA 介護福祉士、インドネシアとベトナムからの EPA 介護福祉士候補者、ベトナムからの技能実習、フィリピン、ブラジル、ペルー、アルゼンチンの定住者・永住者等、インドネシアの家族滞在。
- ・ ベトナムからの EPA 介護福祉士候補者と、フィリピンとブラジルの定住者・永住者等。
- ・ フィリピンからの EPA 介護福祉士候補者のみ。
- ・ ブラジルからの定住者を雇用。日本人従業員もなかなか集まらず、外国人が必要。4 月から追加で外国人 2 名が外部の研修制度を利用してもらう予定。一定の日本語などの能力があれば、外国人でも問題ないと考えている。
- ・ ベトナムからの技能実習生を 4 名雇用している。人数的にはちょうどいいので増やす予定はないが、3 年で帰国することになれば補充が必要と考えている。

■受入れ開始年

- ・ EPA 介護福祉士候補の受入れ開始として、最も早い事業者が「2014 年」。他は「2019 年」からの取組みである。

■雇用の動向

- ・ 外国人の雇用の動向として、「外国人従業員が増加している」が 1 社、「外国人従業員は横ばい」が 2 社。

■今後の雇用の動向

- ・ 「現在の人数より多く雇用したい」が 2 社、「現在の人数を維持していきたい」は 2 社であった。

■今後雇用を希望する在留資格、国籍

- ・ 希望する在留資格は「介護」が 2 社、国籍は「ミャンマー」が 1 社、「こだわらない、特にない」が 2 社である。

■新型コロナウイルス感染症による外国人の雇用面での影響

「入国予定だった人材が来日できず人手が足りない」が1社、一方で「雇用への影響はない」が2社であった。

2) 外国人介護人材への支援について

■外国人従業員に対する日本語教育の必要性について

- ・ 在留資格別に外国人従業員への日本語教育の必要性について聞いたところ、雇用している介護人材について、雇用している在留資格において全て「必要」と回答されている。

■外国人従業員に対する日本語教育の支援

- ・ 「従業員による日本語教育を実施」と「社外の講師を招いて日本語教育を実施」が2社、「日本語習得テキスト等の配布・貸与」が1社である。

■外国人従業員に対する生活上の支援

- ・ 「住まいの確保（寮、借り上げ等）」と「けが・病気・非常時の対応」が3社、「住まい、携帯電話等の保証人になる」と「行政手続きの支援」「受入れ時生活オリエンテーションの実施」が2社、「定期的な面談による相談対応」が1社である。一方、「監理団体・人材派遣会社で実施」が1社であった。
- ・ 「受入れ時生活オリエンテーションの実施」の内容は、生活全般である。
- ・ 施設が用意した寮で生活している。私生活までのサポートはしていないが、何か困ったことがある場合は、現場の責任者に相談することになっている。今までトラブルはない。

■日本語教育支援、生活支援における課題

- ・ 「コミュニケーションがとりづらい（言語等）」が2社、「住まいの確保が難しい」と「その他」が1社であった。

（その他記述）

- ・ クレジットカードの審査が通らない。

3) 外国人従業員と地域・日本人との交流について

■外国人従業員と地域・日本人との交流促進に関する取組

- ・ 「町内会への入会促進」が2社、「地域の活動への参加」と「その他」がそれぞれ1社であった。
- ・ 「地域の活動への参加」としては「清掃活動」に参加しているとの回答があった。

(その他記述)

- ・ コロナで全て停滞している。

■外国人従業員と地域・日本人との交流促進に関する課題

- ・ 「外国人従業員が希望しない」「実施する時間がない」「わからない」がそれぞれ1社であった。「その他」は2社であった。

(その他記述)

- ・ 限られた休日をこちらの都合で消化させて良いものか悩む。
- ・ コロナ禍により実施できない。

4) 外国人要介護者・事業所利用者の実態、今後のニーズについて

■外国人利用者の有無

- ・ 「利用者なし」が3社、「無回答」が1社であった。

■今後の外国人利用者・要介護者について

- ・ ブラジル系のご利用者は今後増えると考えている。中国系も少々。
- ・ 日本で暮らし、日本で働き年を重ねていく人たちが増えれば当然、ご利用者も増えていくのは自然なことと思います。今現在、利用されている方はみえませんが日本人と同じように支えていく中で、外国人スタッフの関わりの経験を活かしていけたらと思う。
- ・ 必要であれば受け入れを検討したい。ただし事業所として準備は必要と感じる。

5) 多文化共生への取組について

■活用している西尾市の取組

- ・ 知ってはいるが利用はしていない。
- ・ 知りませんでした。今後、必要に応じて活用させていただきたいと思う。
- ・ 個々で確認していると聞いている。

■外国人従業員の生活支援等で、連携している市民団体、地域団体（町内会・自治会等）、企業等の有無

- ・ 多文化ルーム KIBOU
- ・ 系列施設（せんねん村）による KIBOU と連携して、介護従業員の間口を広げたり、なんらか出来たらいいと話に出ることがある。
- ・ できれば、こちらが教えてほしい。
- ・ 特になし（2）

■今後、西尾市が検討した方がよいこと、市と連携して取り組みたいこと

- ・ 遠方の名所など観光させてあげたいが費用がかかる。バスツアーなど計画して頂けると、休みの調整をして日本を知る機会の提供になる。仕事をしていると職場とアパートとスーパーの往復になってしまい気の毒に思う。
- ・ 生活習慣の行き違いがある。職場ではなかなか相談できないとき、コミュニティを持っている人はいいが、そうじゃない人も繋がりが持てる場所があったらいい。
- ・ 特にいま課題になるようなことはない。手続きなど仲介業者がやってくれる。

■その他、多文化共生プラン策定にあたっての意見

- ・ 一番はじめに認定調査につなげる窓口（包括支援センター）を外国人にわかり易くすべき。また、包括支援センターが必要だと思う際には通訳の派遣をお願いしたい。
- ・ 他と比べて外国人に関する取り組みは遅れているかもしれない。介護の需要は必ずなくならなくて、外国人も含めて広がるはずだから、外国人も働くことができる仕組みは大切である。

2. 外国人市民

(1) 外国人市民ヒアリング調査

①外国人市民の状況

1) 子ども～若者の状況

西尾市における外国にルーツのある子どもおよび若者の状況として、近年、フィリピン・ベトナムが増加しており、従来多かったブラジルに匹敵する程になっている。保護者の在留資格についても、従来多かった定住者・永住者に加え、技術・人文知識・国際業務（エンジニア）が増え、小学校の年齢の子どもを母国から呼び寄せるケースが増えている。

一色高等学校の定時制においては、全生徒のうち 56%が外国ルーツの生徒となっている。

カテゴリー	内容	回答主体
人数の動向	<ul style="list-style-type: none"> 日々、変動がある。年々利用者が増えている。 コロナ禍での人数について、昨年度とあまり変わらない。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> 前身である早期適応教室の開始当時の 2009 年頃は、中学生が少なかったが、現在では増えている。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> 本校定時制（在籍）生徒総数 114 名のうち、日本人が 50 名、外国ルーツが 64 名であり、56%が外国ルーツである。 	一色高等学校 （定時制）
国籍の動向	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル出身者が、開所当初から多い。 最近、フィリピン・ベトナム人が、ブラジルに匹敵するくらい増えている。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> コロナ前はベトナム、中国、ブラジル、フィリピン、インドネシアなど。 現在はベトナム、中国（減）、ブラジル（減）、フィリピン、インドネシアなど 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> 前身である早期適応教室の開設時は、ブラジル人が多かった。 日系フィリピン人や、ベトナム人が増えている。 日本人と結婚し、国に残っていた小学校の年齢の子どもを呼び寄せるパターンが増えている。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> 外国ルーツ 64 名のうち、フィリピン 28 名とブラジル 22 名であり、残りがペルー・ベトナム・ネパール・インドネシアの順に多くなっている。 	一色高等学校 （定時制）
在留資格の動向	<ul style="list-style-type: none"> 定住者・永住者が多い。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> 親がエンジニアの子どもが増えている。 	日本語初期指導 教室カラフル
コロナ禍の動向	<ul style="list-style-type: none"> 多文化ルーム KIBOU で関わる子どもは帰国・出国等はない。2008 年の冬、多文化共生事業を委託した頃は、 	多文化ルーム KIBOU

	リーマンショックの影響を大きく受けた。当時、多文化ルーム KIBOU は保育園で行っていたが、園児が半分程いなくなった。	
その他	・ 市内中心部にあるマクドナルドでアルバイトをする生徒が多い。日本語の習得状況に合わせて、厨房→ドライブスルー→カウンターと進む。	一色高等学校 (定時制)

2) 市民団体・地域団体等と関わりのある外国人の状況

約3～4年前から、愛知県の動向と同様に、西尾市においてもベトナム・フィリピン・インドネシアが増加している。ベトナム人については、技能実習生が増えたことにより、特に若者が増えている。一方で、定住者・永住者の日系ブラジル人が多く住む公営住宅では、外国人市民の高齢化にも直面している。

カテゴリー	内容	回答主体
国籍の動向	・ コロナ前は定住者、永住者、技能実習生 ・ 現在は、技能実習生のみ減少している。	日本語教室（木曜クラス）
	・ 3～4年前くらいから、ベトナム・フィリピン・インドネシアが、愛知県全体で増えてきた。西尾市も同様の傾向であると認識している。 ・ 緑町住宅には、インドネシア人はいない。 ・ フィリピン人入居者は、日本人と結婚した方が多い。 ・ ベトナム人世帯は1世帯のみである。	緑町住宅
	・ 西尾に住んで15年位経つが、ベトナム人はすごく増えている。若い人がすごく増えている。 ・ お店に来る人は、ベトナム人がほとんどであるが、インドネシア人、カンボジア人、フィリピン人も来る。	VIETFOOD NISHIO
	・ ブラジル、ペルー、中国、ネパール、ベトナム ・ ブラジル人が多い。4年前からベトナム人が増えた。	新渡場住宅町内会
	・ 国際交流協会に日本語を覚えるために来ている人が、この10年間は、ベトナムが多くなっている。小さい子を連れてくるのは、ベトナムが多い。	多文化共生サポートアダジオ
	・ 日本人の妻 ・ 家族滞在（夫：エンジニア）	ベトナム人の子育て中の母親
	・ 永住者、定住者、技人国、日本人の配偶者、特定活動など	インドネシア人相談
在留資格の動向	・ 家族滞在 ・ 定住者	日本語学習者（木曜クラス）
	・ ベトナム人の技能実習が多い。 ・ エンジニアの人も多い。 ・ エンジニアは、「ベトナムの大学を卒業した人」、「ベトナムの大学を卒業して、日本語学校に2年間通った人」、「ベトナムの高校を卒業して、日本の大学に入学・卒業した人」のパターンがある。	VIETFOOD NISHIO

コロナ禍の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの為、現在は行かず自宅で学習 ・ 学習者の参加が減っている。 ・ 各イベントがほとんど中止になって、交流の場がなくなっている。 	日本語学習者 (木曜クラス)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響で、当住宅を退去した住民はいない。リーマンの時のような移動は見られていない。仕事がないという悩みは、リーマン時と共通する。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団地内にコロナ感染者 8 人 (3 家族) が出たが、周りの住民が SNS でやりとりして、感染した世帯をサポートした。 	新渡場住宅町内会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ (モスクでの活動等) コロナ前は、14 歳までの子どもが 40 人、大人が 100 人通っていた。現在、金曜日に 30 人が通っている。 	(株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の休校の対応について、相談もあった。コロナが怖いから、外に出られないという相談もあった。 	多文化共生サポートアスタジオ
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化してきている。 	緑町住宅

3) 労働者の状況

前述のとおり、技能実習生の増加によりベトナム・フィリピン・インドネシアが近年増えている。西尾市内の技能実習受入れ企業の特徴として、2年程前から、ベトナム人からインドネシア人の受入れへシフトしている傾向がみられる。派遣については、日系ブラジル人が依然として多いが、新規の入国はあまりない状況である。

新型コロナウイルス感染症に関連して、外国人労働者は、雇止め、自宅待機、失業保険受給、他地域への転居等の影響が出ていた。

カテゴリー	内容	回答主体
人数の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年 1 名ずつ、ベトナム人が入ってきている。 ・ 今後も、中国人を増やす意向を持っている。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の人数 (23 名) を維持したい。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能実習 (6 名) ベトナム、正規職員 (1 名: 永住者) ベトナム、派遣社員 (2 名: 在留資格は不詳) ベトナム、他 1 名は不明 ・ 来年 2 名の技能実習生を追加予定 	村井鉄工(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増加。4 月から日本国内の大学を卒業するインドネシア出身者 3 名が入社予定。 	(株)サリラヤ
国籍の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 割がブラジル人である。40 歳代が多い。ここ 10 年程で、定住・永住志向が強くなってきている。 ・ その他は、インドネシア、フィリピン、ベトナムである。 ・ 日系ブラジル人の最近の入国はあまりない。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国、ベトナム 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国 10 名、ブラジル 7 名、インドネシア 2 名、ペルー 2 名、フィリピン 1 名、パキスタン 1 名 	朝日理化(株)

	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にベトナム人を受け入れている。 ネパール人、インドネシア人 	村井鉄工(株) (株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> 国籍別の人数は、ベトナム、インドネシア、フィリピン、中国の順に多い。 2年程前から、ベトナムからインドネシアへ移行する流れができてきている。企業のニーズに合わせており、こちらの意向でインドネシア人材の受入れを進めている訳ではない。 当事業開始当初(約10年前)は、中国が多かった。5～6年前からベトナム、2年前からインドネシアが多くなった。 	東海人材支援 事業協同組合
在留資格の動向	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル人は、定住者、永住者、配偶者である。 ベトナム人は、一部エンジニアがいる。 母体の自社工場では、技能実習生を数名受け入れている。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> 技人国(元留学生)2名、技人国(母国大出身者)7名、定住者・永住者5名 定住者・永住者は、全員中国人で、戸建て住宅を購入している。 ベトナム人は、全員母国の工業大学卒業者である。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習(10名) 派遣社員(13名：在留資格は不詳) 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習(6名)、正規職員(1名：永住者)、派遣社員(2名：在留資格は不詳) 	村井鉄工(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 技能、エンジニア 	(株)サリラヤ
	コロナ禍の動向	<ul style="list-style-type: none"> コロナ第一波の前半は、コロナへの恐怖や不安、落ち着いた頃は雇用・経済の問題と変わっていた印象がある。 労働状況については、コロナにより自宅待機や任期満了等となり、失業してしまった人が多い。失業保険がもらえる人と、そうでない人がいる。 親が自宅待機で家にいることが多かった。中には、親が近くの小川で釣った魚を軒先で干していた。
	<ul style="list-style-type: none"> 雇止めがあった。昨年秋頃から持ち直してきた。 現在は、コロナによる雇止めの影響はない。派遣法の関係での雇止めはある。 コロナが少し落ち着いて、元の職場に戻れた人、待機している人、失業保険等を受給する人もいた。他の地域に転居した人もいる。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、夫の仕事が無くなった。 	日本語教室(木曜クラス)
	<ul style="list-style-type: none"> 雇用への影響はない。落ち込みはあるものの、業務が変わりなくあり、忙しい状況にある。休業もしていない。 監理団体で、春から技能実習生の派遣を始めようとしていたが、コロナでできていない。 	安藤木型(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 入国予定だった人材が来日できず人手が足りない。 	朝日理化(株)
	<ul style="list-style-type: none"> 6月に入国予定だったところ、12月に延びてしまったところで人手不足だった。現在は解消。 	村井鉄工(株)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ レストランの売り上げが影響を受けている。食材等販売をオンラインで行うようになった。 ・ 西尾市内のインドネシア人のコロナ感染者は8名である。インドネシア人のネットワークの結びつきが強く、モスクに情報が集約される。 	(株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食材店であるため、特に影響がない。 ・ マスクや消毒など、お店の対策は徹底している。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナにおいて、中華料理店も化粧品も売り上げも落ちてしまい、打撃をうけた。 	中国人帰化者

②外国人市民・各主体の困りごと・課題

1) 子ども～若者の困りごと・課題

子ども・若者の課題として、日本語学習・習得に関する内容が多い。子どもへの日本語教育が画一的であり、個人の理解度等に合わせられていないこと、日本語と教科言語の違いを考慮する必要があること、日本語初期指導教室カラフルまでのアクセスが悪いこと等、日本語学習支援の内容・手法に加え、支援へのアクセスについても課題が残っている。

日本語学習支援と同時に、母語の維持や、進学や就職等のキャリアサポートの充実も求められている。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達検査は、日本語でしかできない。 ・ 臨床心理士も、母語で対応出来る必要がある。 	日本語初期指導 教室カラフル
日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国ルーツの生徒で、日本語がほとんどできない状態で入学する生徒が毎年増えている。彼らの向上心は高いが、言語の壁がそれを阻んでいると思われる。外国ルーツの生徒への日本語能力試験（JLPT）取得を奨励し、学習指導を行っているが、取得者の数が増えない。 ・ 日本語と教科言語の違いがある。 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ DLA (Dialogic Language Assessment) 行うことで、3年間日本にいる子どもでも、日本語を聞いて内容は理解できるものの、話すことができないという子がいるとわかった。 ・ 一色中学校の子が最近カラフルに来ていた。以前は、吉良町、幡豆町から電車で来ていた人もいた。六万石くるりんバスのルートが拡充され、本数も増えたが、カラフルまでの交通アクセスはまだ悪い。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く、話すことでのコミュニケーションは取れるが書く、読むが困難。頭の中で考えられない。置き換える言葉がない。日本語とポルトガル語が繋がらない。 ・ 自分の学生時代と違い、今の子どもたちは学校の中で支援を受けられる環境にあって良い。支援があるのとない 	ブラジル人市民 (保育士)

	<p>のとではその後の人生が大きく違う。</p>	
母語	<ul style="list-style-type: none"> 学校で過ごす時間が長いと、母語を維持することが難しくなっており、親としては心理的に困るのではないか。家庭で、母語で子どもに話しかけても、子どもが日本語で返してくる等、コミュニケーションに支障が出てくる。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> 母語のレベルが日本語のレベルと同等だと言える。ダブルリミテッドに陥る場合が多い。 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが日本に慣れてきて、ポルトガル語が分からなかったり、ブラジルに帰っても風土になじめなかったりすると聞く。 	(株)ホーエー
教育・学校	<ul style="list-style-type: none"> 小学校に入った子どもたちの状況として、最初は旅行気分新鮮に感じる人が多いが、次第に勉強が出来ないという悩みを抱える子が出てくる。日々の勉強についていくのが難しいと聞いている。 中学へ進学できても、内申点が高校進学に関係することを詳しく知らず、全日制に進学できないことを、あとで気づいてショックを受けてしまうケースがある。全日制や、自宅から近い学校に行けるものだと思っている。 全日制に進学できない子が現状多い。その背景には、日本語教育を画一的にしており、個人の理解度等に合わせられていないことがある。 過年齢の子どもは、来日してもすぐに働ける年齢ではなく、親も自分の子どもがその年齢で働きだすことを心配する。かといって、行き場所や友達、馴染める雰囲気がなく、語学学校に入るお金も足りない。市役所に問い合わせ、多文化ルーム KIBOU にたどり着く。 過年齢の子どもは、子どもと大人の間の年齢で揺れ動きやすい時期である。アルバイトを始めたり、恋人ができたりすると多文化ルーム KIBOU に来なくなる。ひとつの目標に向かっていくのが難しい部分がある。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> 入学説明会の資料が良くわからない。必要なものの優先順位が知りたい。 全日制に入れた子が、ドロップアウトしやすい。その点、定時制高校の子の方が、ドロップアウトしづらい。定時制の方が、ひとりひとりが学べる環境を作り、多文化共生が体现されている。 	日本語教室 (木曜クラス)
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の経済事情については、厳しい状況である。家庭のため働きながら通学している人が多い。 日本と外国ルーツの生徒は、互いの違いを前提に生活できており、学校生活上の問題点はないが、互いに理解できることの範囲でしか関わらない傾向にあると考えてよい。高校入学の目的が高卒資格の取得であるからである。 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> 来期に西尾市出身のインドネシア人が入学する。学力があり日本語ができると思われていたが、入学手続きの書類が読めず、手続きが滞ってしまった。さらに親も理解 	インドネシア人相談

	できない。	
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 日本生まれ日本育ちでも予防接種をほとんど受けたことがない子がいる。就学というイベントがあるまで放置されていた可能性がある。市や保健センターのハガキなど無視してしまう。全体の数パーセントではあるが、訪問診療のようなものからも漏れていた人もいる。訪問しても日本語が通じなかったり、たまたま帰国したりして実態把握すらできないことがある。 	多文化ルーム KIBOU
新型コロナウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子どもについては、コロナによる休校等で、社会的なつながりがなくなっている。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> コロナが怖くて学校に子どもを行かせない家庭がある。もし感染した時に、うまく情報を伝えられない懸念がある。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> 就労に影響し、親の収入が減少した。引っ越しをした生徒もいるが、学校をやめることはない状況である。 	一色高等学校 (定時制)
	<ul style="list-style-type: none"> 高校生から仕事が減ったと聞く。 	ブラジル人市民 (保育士)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 友達付き合いの仕方が、国籍によって異なり、溶け込みにくいことがある。楽しく、盛り上がりたいというブラジル人と、静かな日本人といった違いが出ているように感じる。 	日本語初期指導 教室カラフル
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の周りの世代の子(20代)には言葉の問題を感じた子はいない。以前住んできた団地内では、外国人の偏見を感じた。 	ブラジル人市民 (保育士)

2) 成人～高齢者の困りごと・課題

成人の課題として、日本語学習については、仕事や子育ての忙しさから日本語学習の時間を取ることが難しい実態がある。

住宅や地域活動等については、外国人であることを理由に住居を借りられないこと、保証人を見つけることが難しいこと等が依然として発生している。また、日本語のレベルや住んでいる場所・住居形態によっては、地域の情報入手や地域活動への参加が難しくなるという問題がある。町内会の加入や回覧板については言語のハードルが大きい。

子育てについては、家族滞在者においては、時間制限の関係で保育園に預けることが難しいこと、ファミリーサポートセンターが日本語のみ対応で利用が難しいこと等の意見があった。

防災については、危機感をもつ外国人市民もいるが、具体的に何をしたらいいか理解していない傾向にある。

新型コロナウイルス感染症に関連した困りごとは、情報の錯そう・日本語教室の休止・雇用に関するものが挙げられた。コロナに関連した外国人の課題としては、感染予防意識における日本人との違いが指摘されている。

その他として、現在約 65 歳～70 歳である日系インドネシア人 2 世の生活保護と介護の問題が浮上してきている。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報が得にくいことである。 西尾市の広報が配られていないところもある。住居形態によって、情報入手状況に差がある。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> 市からのお知らせや、守りなさいという内容もわからないので、困っている。色々な情報が日本語ばかりでわからないので、多言語にして欲しい。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
行政手続き	<ul style="list-style-type: none"> 仕事、入管、労働基準監督署等の手続きは複雑。市役所で、ワンストップで済むと良い。 	インドネシア人相談
	<ul style="list-style-type: none"> 税金については、年末調整等の相談を受ける。 その場合、来日して1～2年目の人は税金のこちおがわかっていないが、3年目以降はだいたい大丈夫になる。 	VIETFOOD NISHIO
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> 夜勤などで眠い。睡眠時間を削って教室に参加している。 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> 自分は事故にあったら警察に説明しないといけないなどを想定して日本語の勉強を頑張ったが、話せないことに対して危機感を感じない人が多い。 	ブラジル人市民（エスニックシヨップ勤務）
	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会（福祉センター）の日本語教室に行っていた。 日本語を勉強したため、読み書きもできるが、漢字は苦手である。 	ペルー人生活保護受給経験者
	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は難しい。日本語を使う時間がないし、勉強しても身に付かない。子育てに忙しくて行けなかった。子どもを預かってくれるところもないので通えない。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム人は日本語学習が難しい。インドネシア人については、理由は明確にわかっていないが、ベトナム人と比べて日本語習得が早い傾向にある。 	東海人材研修事業協同組合
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもは日本生まれであり、日本語を話せるが、自分が日本の勉強を教えることはできないため、学研教室（習い事）に行っ勉強している。 調理人の在留資格「技能」で来ている人は、入国にあたり言葉への要件がないので日本が話せない。 	中国人帰化者
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> いまだに外国人が住む場所を借りにくい。日本語が出来ないとダメ、外国人はダメと言われたことがある。 住居を借りる際に、保証人が必要である。派遣会社で住居を用意してもらうが、家賃が高くなってしまう。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> 昔ほど、外国人が困っていない。ネット社会となり、情報がある。 ブラジル人定住者について、当初と比べると、ゴミ分別や騒音の問題はない。 技能実習生等、最近入国した人については、まだ上記のトラブルがある。 	(株)ホーエー

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジル人の多くは貯金をまったくしないままローンを組んで家を買ひ、そのタイミングで持ち物を全部買い替える。そのためお金に困ってしまい、ローンも税金も払えない状況に陥ってしまう。 	ブラジル人市民 (エスニックシ ョップ勤務)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話はできるが、難しい単語がわからない。窓口に行くとき敬語を使われるため、何を言っているかわからないという話しになる。 	多文化共生サポ ートアダジオ
住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語がわからないので、友だちに手伝ってもらって購入した。不動産屋を信頼した。契約書は何が書いてあるかわからなかったが、信用するしかなかった。 ・ 住宅購入は、どの位もつか、自分のものになるか、期限付きの所有で35年だけ等のものもあり、気になっている。また、固定資産税が難しい。税金が高いので困る。 ・ 退去も1か月前に言うということも知らなかった。 ・ アパートを自分で借りるのは難しい。 	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県営住宅に親と住んでいた頃は、班長を外国人ができない、もしくは、やらせてもらえなかった。 ・ 町内会費は払う必要は理解しているが、外国人は参加しにくい。日本人の方から、「回覧板は日本語で書いてあるからいらないよね？」と言われ、集金だけ来られたこともある。 ・ 神社でみかんがもらえるチケットだけ入っていたことがあった。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会への加入に対して、言語のハードルがある。 ・ 寮やアパートの人は、町内会に未加入のことがある。 ・ 町内会の加入は、強制のところとそうでないところがある。地域活動を知らない人もいる。 ・ 案内があれば参加したい人もいるのではないか。 ・ 回覧板があっても、日本語が分からない人がいる。子どもは学校に行っていて、日本語の読み書きができるが、親は読めないことがある。 ・ やさしい日本語であっても、日本語は難しい。ひらがな・カタカナですら難しいようである。 	(株)ホーエー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能実習生に、日本人と一緒にボランティア活動をしたという気持ちがある。そういう場が欲しいと聞いたことがある。しかし、どこに行ってもその情報を得ればいいかわからない。 	東海人材研修事 業協同組合
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会に入った理由は、家を買ったので、町内会に入らなければならなかった。町内会に行くのが、恥ずかしいということもある。土日は、遊びたいから、町内会には参加しない。 ・ 日本人との交流は無い。隣のおばあさんは優しいのでよく話す。 ・ 多くのベトナム人は、日本人は冷たい、挨拶してくれないと思っている。差別があると思っているから、町内会にも参加したくないと思っている。 	VIETFOOD NISHIO

	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市内のみのベルー人の SNS グループは無い。 地域の人との交流は何もない。町内会等に呼ばれてもいない。 回覧板も広報も届いたことがない。市役所まで来ないと情報が取れない状況である。 	ベルー人生活保護受給経験者
	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板等で回ってくる内容は何が書いているかわからない。市営住宅の班長になっているが、内容はわかっていない。グーグル翻訳が合っているかもわからない。 日本人の友だちをつくるチャンスがない。日本人の友だちは欲しいが、言葉の壁がある。話したいけど難しい。言葉の壁と、異文化の壁がある。仲良くなりたくても難しい。 異文化の壁について、ベトナムの人は、すぐ仲良くなれる人柄であるが、日本はそうではない印象がある。ベトナム人は、日本人とすぐ仲良くなりたと思っている。円滑に生活ができるように仲良くなりたと思っている。ただし、言葉が一番の壁。伝えたいことが伝えられない。どうしたらよいかわからない。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
労働	<ul style="list-style-type: none"> ムスリム対応以前に、社会保険に入れない、病院の診療費を払わない、病院に行かせないなど労働基準法以前の問題がある。そういった相談を多く受けている。 相談内容は1種類のみでなく複合的。現在受け付けた相談内容から2年前の労災事故が浮き彫りになるということがある。 	インドネシア人相談
	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の契約期間が終わったので、その後どうしようか。夫の収入が減ったため、妻が働きたい、という相談もあった。 	多文化共生サポートアダジオ
子育て	<ul style="list-style-type: none"> 家族と離れて暮らすことが寂しい。 未満児の子どもを保育園に入れたいが、働く場がない。一時的に預かってもらえれば仕事を決めることができるが、子どもがいると身動きが取れない。夫の給料だけでは家計がぎりぎり困っている。早く働きたいがどうすることもできない。 	ベトナム人の子育て中の母親
	<ul style="list-style-type: none"> 入学説明会の資料が良くわからない。必要なものの優先順位が知りたい。 子育てに忙しく、休みがない。 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> 若い人は、結婚をして、子どもが生まれた際に夫だけでは収入が足りないため、妻も仕事をしたいと考えている。ただし、家族滞在の場合、1週間に28時間しか仕事ができない。収入面とともに、その範囲では勤務時間としては短いことから保育園に子どもを預けることができない。課題である。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> 保育園のお便りがひらがなだけの記載で逆にわからない。漢字だと翻訳機が使えるが、ひらがなだとわからない。 健康診断表について、手術をした子どもの書き方がわからない。 発達障害の検査を受けた、説明もうけたが、不安なので説明した欲しい。 	多文化共生サポートアダジオ

	<ul style="list-style-type: none"> 手術をするのに、母国とは違うので、話を聞いて欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがうるさくて、周りから苦情が来てしまうことが窮屈だと聞いている。近所から苦情が来るが、相談するところも無い。 子育て世帯が住みやすい家を指定してもらえるのであればいいのではないか。小さい子どもがいるということ、近隣に伝えるためのコミュニケーションが取れない。 	ペルー人生活保護受給経験者
	<ul style="list-style-type: none"> 長男が2歳の時、子どもを預けるところが無くて困った。ファミリーサポートセンターがあったので、お願いしようと思い会員登録をしたが、長男が日本語のコミュニケーションができないため、預けることができなかった。 	中国人帰化者
	<ul style="list-style-type: none"> 自分は困ることはないが、周りの友達、子どもの日本語教育に困っている。自分の兄の子どもは、現在小学校6年生であるが、2年前の4年生から日本に来たため、通訳の先生も入って、一緒に勉強している。日本に来て3年目であるが、兄も日本語があまり話せないで、子どもに日本語を教えることができず、子どもは自分の努力で、学校に通っている。ただし、通訳の先生が入ることで、日本の友だちに意見ができなくなっている。通訳の先生が入ることで、恥ずかしく、自信がなくなってしまう。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 社会保険に入れない、病院の診療費を払わない、病院に行かせないなど労働基準法以前の問題がある。 インドネシア人に限らず休業補償を出さない会社、雇用保険が収入の増減があるにも関わらず雇用保険が一律などの問題がある。 90年代に最初に来た2世（65歳～70歳）の生活保護、介護の問題が出てきている。 	インドネシア人相談
	<ul style="list-style-type: none"> 病気の場合は、技能実習生は、監理団体が面倒をみているのか相談されない。 一般の人は、どこの病院に行ってもいいか等の相談を受ける。 子どもができた場合の産婦人科等の相談も多い。 	VIETFOOD NISHIO
防災	<ul style="list-style-type: none"> 日本は地震が多いから怖い。いざという時、どこに行ったらよいか分からない。 	日本語教室（木曜クラス）
	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の時、津波が怖くなり、逃げる場所等を市役所に聞きに行く人が増えた。時々、ニュースの情報が分からないと言っている人がある。どうしたらよいか分からず、市役所に電話する人もいる。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> 「神の思し召し」だから仕方ないと捉えている人が多い。 学校において子どもたちに理解してもらい、子どもたちから親に話をしてもらおうのが良い。 	インドネシア人相談
	<ul style="list-style-type: none"> 災害に危機感を持つ人は多い。 海の近くに家を買った人は心配している。 防災訓練への参加はあまり聞いていない。地域によっては、訓練自体やっているのかわからない。そもそも情報 	(株)ホーエー

	<p>がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会に入っていると、防災訓練等の情報が来ることもある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム人は、地震が危険であることは知っているが、母国で地震がないため、強い意識は持っていない。そのため、防災グッズ等を用意した方がいいことは知っているが、用意している人は少ないと思う。 技能実習生は3年しかいないことから、そこまでの意識は持っていないと思う。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に逃げなくてはいけないことは、情報誌等で知っているが、自分がどこに逃げればいいのかは知らない。 難病を持っているため、町内会の人に難病を持っている人がいることを伝えてもいいか本人に確認がくるということであるが、そのような通知をもらったことはない。ひとり暮らしなので、災害時に荷物を持って歩けないため心配である。 	ペルー人生活保護受給経験者
	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線について、日本語がわからない人は、ものすごく緊張して聞いている。どんな内容なのか気になり、自分に聞きにくる。内容がわからないことで怖さを感じている。 家からの避難場所はわかっているが、他の場所にいた時に、どこに逃げればいいのかわからない。 	中国人帰化者
	<ul style="list-style-type: none"> 防災についての意識は、それぞれ思っていることが違う。 大変心配している。どんな訓練をしているのか、どんな準備をしたらよいか知りたい。 地震にあったことがないので、怖さを感じない。どれ位怖いかわからないので、怖さを感じないし、想像できない。人の話しは聞くが、自分があっていないのでわからない。何の準備をしたらよいか、どこに避難したらよいか、わからない。避難場所は、学校ではないかと思っている。 	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者
新型コロナウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> コロナ関連の情報や噂が錯そうしていた。 	多文化ルーム KIBOU
	<ul style="list-style-type: none"> あいさつとしてハグやキスをする習慣がある。こうした部分で、感染予防の意識も、日本人と異なるかもしれない。 	緑町住宅
	<ul style="list-style-type: none"> 文化の関係でマスクをつけない人、ただの風邪と言う人もいる。 コロナ禍では、日本語教室自体が出来ず、日本語の勉強の機会がない。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> 自分のおばさんが感染したが、ブラジル人のコロナ感染予防に対する意識が低い。 	ブラジル人市民 (保育士)
	<ul style="list-style-type: none"> 元々あった問題が新型コロナウイルスの影響によって吹き出したと言える。インドネシア人に限らず休業補償を出さない会社、雇用保険が収入の増減があるにも関わらず雇用保険が一律などの問題がある。 	インドネシア人 相談
	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習生から、就労のことや、コロナ禍の契約等の問題も聞いたりしている。 	多文化共生サポ ートアダジオ

その他	<ul style="list-style-type: none"> 2015～2018年、難民申請が増加し制限された間、悪徳なブローカーを介し、土地を担保にしたり多額の借金をしたりなどして日本に来たインドネシア人がたくさんいる。彼らは観光ビザで来日後、不法滞在者となり、本国に帰りたくても変える場所がない状況。不法滞在者をあてにしたビジネスに取り込まれ、何か月も賃金未払いのまま働き続けている者もいる。 	インドネシア人 相談
	<ul style="list-style-type: none"> ローンが困った。永住者はローンができるが、エンジニアは難しい。 	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者

③外国人市民独自の取組

外国人市民独自の取組としては、情報発信において、外国人市民向けに積極的に情報発信を行うキーパーソンがみられるとともに、モスクや食材店等において、生活や仕事に関する情報交換がされている。

町内会や団地等において、外国人市民と日本人市民が一緒に行うお祭り等も挙がっている。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> アニータ氏が外国人市民に発信している。コロナ発生時にFacebookグループを作成し、総勢400名のプライベートグループになっている。パブリックアカウントにすれば、もっと人がアクセスする可能性がある。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> お客さんとは、ベトナム人同士だから、話しやすいということで、色々話しをする。メールで質問を受けたりもしている。 ベトナム人にもっと情報あった方がよいと考えて、グループが作られた。在東海ベトナム人ネットワークである。リーダーのユン氏とともに、活動を進めている。 その一環でユン氏（グエン）の方でも西尾市のベトナム人のグループをつくった。仕事の情報等をアップロードしている。Facebookでのやり取りである。 愛知県の他の市のメンバーとも連絡を取り合って、ミーティング等を行い活動している。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> 発信する情報は、モスク宛てに「西尾市に住む外国人のための生活情報誌」（月1回発行）を送るほか、西尾市地域つながり課公式Facebookページのチラシを配布する等、モスクが市内インドネシア人への情報提供の要となっている。 	(株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市のウィーチャットがある。大使館でマスクが配るイベントは、ウィーチャットの西尾のグループで知った ウィーチャットで防災の情報を得ることができる。 	中国人帰化者

日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> オンラインで日本語学習をしている。 	ベトナム人の子育て中の母親
	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室へは妻が少しだけ民間の語学教室に通っていた。アニータ氏の英語教室で、日本語を教えてもらっていた。 	ブラジル人高齢者
母語	<ul style="list-style-type: none"> モスクを建設した時、清掃や草刈りなどして美化に努めていた。インドネシア人は相互扶助の精神があり、何かイベントをした後などごみを持ち帰る。地域でも、外国人だからやれないと思われたくないと考えている人が多い。 	インドネシア人相談
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども話すときはベトナム語。ベトナム語を覚えさせたい。日本語はこれからの保育園、学校等で覚えていくから。 子どもに大きくなってもベトナム語を話してほしいから。 子どもに自分の両親とベトナム語で話してほしいから。 子どもにベトナムに触れる環境を与え続けたいから。 	ベトナム人の子育て中の母親
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ブラジルの祭りを日本人とブラジル人一緒にしていた。 時々お節介に思うこともあるが、町内会活動に参加できるのは嬉しい。祭りで獅子舞をやる時に手伝いを申し出たら、法被を着て、乗り物を引っ張る方を担い、外国人だと注目された。準備、獅子舞との練り歩き、公民館でお菓子を配るための仕分け、届けること等、朝から夕方まで参加した。 防災訓練、掃除にも参加している。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> 小島団地の地域の行事に参加したことがある。 小島団地で日本人と外国人が一緒にするお祭りに参加していた。10年前まであり、外国人には有名なお祭りだった。小島団地の建て替えがあって、その時に住民がバラバラになってしまい、お祭りも無くなった。お祭りのまとめ役になっていた人も退去してしまったことも大きい。 	ブラジル人高齢者
防災	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市の津波について、小学校からハザードマップをもらって知っている。会社からも聞いている。 会社においては、技能実習生にもきちんと説明しているし、避難訓練もしている。 働いている人であれば、避難訓練に参加しているのではないか。 自分も会社の避難訓練にも参加しているし、町内会の避難訓練にも参加している。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> 地震と火災の訓練については、毎年開催されたものに参加していた。 防災訓練は、出ない人は罰金3000円で、建て替え後も同じ仕組みであったため参加していた。 	ブラジル人高齢者
	<ul style="list-style-type: none"> 訓練に参加したことがある。防災グッズも用意している。災害がおきたら、訓練した内容にそって、日本人と同じように行動した方がよいと思っている。 会社の避難訓練に参加している。 会社から災害が起きた時の案内をうけている。町内会の防災訓練には参加していない。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の引き取り訓練に参加したことがあるが、地域の防災訓練等に参加したことはない。 ・ 会社で働いていた時は、会社の訓練で防災についての情報を聞いていた。 	中国人帰化者
--	--	--------

④西尾市の取組で活用しているもの・支援・補助・ツール

1) 西尾市の取組で活用しているもの・支援・補助・ツール

市役所の通訳や多言語による広報誌・アプリ等のツールについて、外国人市民の活用・認知度には個人差が見られる。KIBOU の活動は、子育て世代を中心に周知・活用されている。

西尾市国際交流協会は、日本語学習および交流の場として、利用されている。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・ 発信、多言語 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォン通訳（市ベトナム語通訳）の Facebook ・ 日本語の勉強を兼ねて日本語で書かれた子育てに関するホームページを見ている。 	ベトナム人の 子育て中の母 親
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所の通訳者について、他の人が使ったことがあると聞いたことがある。 ・ ベトナムの語の広報・生活情報誌は、他のベトナム人の人にも教えている。 ・ アプリについては、自分は知っているが、他の人は知らないかもしれない。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾市は、ポルトガル語の情報が多く、話す人も多いので、普段は、ポルトガル語で情報を得ている。ポルトガル語にも慣れた。日本語より、ポルトガル語を優先する。日本語は理解できないが、ポルトガル語はスペイン語に言葉が似ているのでわかる。 ・ ベルギー人の西尾市内のみの SNS グループは無い。様々な地域の人が入ったグループはある。アニータが管理しているページは、皆よく見ている。情報を取るのにはインスタグラムが多い。お互いに交流とるのは、Facebook である。 	ベルギー人生活 保護受給経験 者
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナム人通訳者の Facebook、口コミ、ベトナムの友だちの Facebook は皆見ている。 	ベトナム人親 子母語・文化 教室参加者
通訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾市役所や病院の通訳も利用している。市役所では申請する書類等について、通訳・翻訳してもらうことが大変助かった。 	ブラジル人高 齢者

日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> 子どものベトナム語の勉強のため KIBOU に行っている。 国際交流協会の日本語教室に参加して日本語を勉強したので、協会はよく知っている。家も近い。 そのため、日本語を勉強したい人には、協会の日本語教室紹介したりしている。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会（福祉センター）の日本語教室に行っていた。職業訓練の日本語教室にも行ったことがある。 	ベルー人生活 保護受給経験者
母語	<ul style="list-style-type: none"> 多文化ルーム KIBOU の母語教室を利用している。自分は中国語を話せるが、親が子どもに母語を教えられない。子どもは親の話しを聞いてくれない。親が中国語で話しかけても、日本語で返してくる。母語ではなく、外国語としてでもいいので、きちんと中国語を覚えて欲しい。 KIBOU については、中国人の先生がいることを、KIBOU ルームで学んでいた知り合いから聞いた。 	中国人帰化者
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会の交流のイベントにも参加している。スピーチを日本語でやらしてもらった。 	VIETFOOD NISHIO
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 2011年に体調が悪く働けなくなり、西尾市の生活保護を受けた。その際に障害者手帳について西尾市で教えてもらった。それまでは知らなかった。 障害者手帳の案内は病院からは無かった。保健所に行くようにという話しはしてくれた。生活保護の情報については、西尾市の友だちから聞いた。リーマンショックの時に、生活保護を受けた人が多かったため、外国人に制度が知られたようである。 	ベルー人生活 保護受給経験者
その他	<ul style="list-style-type: none"> 困った時、誰かが市役所に行くことを勧める状況が出来る。昔は会社の通訳の言葉を信じるしかなかったが、今は聞きに行く先がわかる。 	吾妻町町内会

2) 西尾市の取組についての評価

西尾市の取組への評価として、情報発信について、外国人市民が認知していないツールも多く、必要な情報等が外国人市民に届いていない状況である。

また、外国人市民自身が企画・運営するフェーズになってきたという意見も出てきており、外国人市民ボランティアの育成・活用方法についても見直す必要が出ている。

子育て世代からは、保育センター、子育て支援センターの評価は高い。

防災無線の内容がわからず不安に思う外国人市民もあり、防災無線と多言語防災アプリとの連動等を求める意見もあった。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市の Facebook について、それぞれの言語で分かれたほうが見やすい。 	ブラジル人市民（保育士）
	<ul style="list-style-type: none"> 情報が行き渡っていない。町内会の案内が日本語ばかり 	吾妻町町内会

	<p>か、町内会に入っていなかったり、お知らせが来なかったりする。外国語で情報が流れるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会の案内用に、決まった翻訳文が用意してあるといいかもしれない。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市が転入者に渡している生活情報は見ていない。転入者は見ているかもしれないが、前から住んでいる人は見ていないため、一度新聞等に挟んで提供して欲しい。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
日本語学習	<ul style="list-style-type: none"> 言葉も小学生の子どもは日本語を理解できなかったが、西尾の子ども達がやさしく教えてくれた。カラフルの先生にも感謝している。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
通訳	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市役所にはブラジル人の通訳が多いので、言葉がわからなくてもよいと思っている人たちを助長しているところもある。通訳がサポートすることで、不利益なことがあった場合、通訳のせいにする人もいる。。 	ブラジル人市民（エスニックショップ勤務）
	<ul style="list-style-type: none"> アニータ氏（スペイン語話者）の名前は聞くが、岩瀬氏（ポルトガル語通訳者）のところに来る。情報を多く持つポルトガル語通訳者の方に行ってしまう。言語ではなくて内容を重視してしまう。 	ペルー人生活保護受給経験者
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの育成・活用の仕方を変える必要を感じている。 日本語が出来る外国人が企画から関わっていった方がよい。最初は日本人しかいなかったが、今は担える外国人も増えてきた。外国人が企画・運営するフェーズになってきた。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> 既存のお祭りに外国人が来られる取組があってもよい。各国の食事などがブースごとにあるなどすると面白い。 	ブラジル人市民（保育士）
	<ul style="list-style-type: none"> コロナでできないが、国際交流協会のフェスティバルは、国際交流協会を利用している人だけになっている。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
子育て	<ul style="list-style-type: none"> 子育てしてみて、小学生の情報については、ベトナム語の翻訳があったので、特に問題なかった。 子どもを産む際も、保健センターから母子手帳をもらって、説明を受けたので大丈夫だった。困った際は保健センター等に相談に行っていた。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターや保健センターの対応が良い。 家の近くに子育て支援センターがある。豊田市では通えるところがなかった。 保健センターは自宅まで訪問してくれる。 福祉センター（つどいの広場）で遊べる。 	ベトナム人の子育て中の母親
教育	<ul style="list-style-type: none"> 日本語を読むのは難しく、学校からの通信もベトナム語になると嬉しい。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者

防災	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会主催の防災訓練はあるが、一般論のみで、地区ごとにどこで逃げればよいかまでは教えられていない。日本人が訓練の説明を行うのではなく、日本語が出来る外国人が実施する防災訓練があるとよい。 	吾妻町町内会
	<ul style="list-style-type: none"> 防災アプリが多言語化されているが、アプリの評価に書いてある内容として、「アプリを使っても防災情報を更新しないと意味が無い。」と書いてあった。防災無線のアナウンスとアプリの内容がリンクされるとよい。 	中国人帰化者
その他	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給中に、職員が回復を待っていて、回復した際には自律できるように、仕事を紹介してくれた。色々な課を巻き込んで、様々な支援につなげてくれたり、仕事の情報をくれたりした。 	ベルー人生活保護受給経験者
	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市は住みやすい。引っ越した人にとっても、他の市に比べて、仕事も多いし、子どもの支援、学校の支援が多いので、住みやすいと思っている。 西尾の人は、本当にやさしい。大阪、東京、静岡、山梨等で住んだが、西尾が一番満足している。皆、市役所の人、日本人の人も色々対応してくれる。温かい気持ちを持っている。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会も、日本語教室も知らない。 	ブラジル人高齢者

⑤多文化共生プラン策定に向けての連携・推進体制

連携・推進体制として、モスクを通じたインドネシア人への情報周知、ベトナムの言葉や文化を学ぶ教室、同じ国の出身者同士の助け合いの場づくり等についての連携・協力の可能性がある。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> 発信する情報は、モスク宛てに「西尾市に住む外国人のための生活情報誌」（月1回発行）を送るほか、西尾市地域つながり課公式 Facebook ページのチラシを配布する等、モスクが市内インドネシア人への情報提供の要となっている。今後もモスクを通じての周知について協力できる。 	(株)サリラヤ
母語・母国の文化	<ul style="list-style-type: none"> ベトナムの言葉や文化を学べる子育て教室があると良い。そのような教室があれば協力できる。 	ベトナム人の子育て中の母親
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ハラルフードや、西尾の抹茶の販売、礼拝スペースの設置等、ムスリム向けのマーケットセンターを開設したい。日本国内はもちろん、訪日ムスリムとの交流が期待され、ビジネスチャンスが生まれる。 	(株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> 日本人親子と交流したい。 	ベトナム人の子育て中の母親
地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> 病気に苦しんでいる人に、支えになる支援はやってみたい。手帳の有無に関係なく、心の支え、頑張ろうという気持ち 	ベルー人生活保護受給経験者

	<p>の支えになりたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾の友だちにも、子育てや経済的につらい、うつになっている、独りぼっちで暮らしている、そういう方々と、皆でイベントをする等の交流の場、誰かを助けるではなく助けあう場をつくりたい。お互いの苦しみをわかりあって共有できる場をつくりたい。 ・ そのためには場所が必要である。そこに行けば、誰かがいるような場所である。 	
--	---	--

⑥多文化共生プラン策定に向けての意見・提案

情報発信においては、インターネット上での動画の活用、多言語化、情報のリーチに関する意見があった。

日本語学習においては、0ベースからの学習として外国人市民の母国語がわかる人の配置の提案があった。また、母語支援を希望する意見もあった。

交流においては、スポーツ交流、料理・BBQ、母国の文化紹介等の提案があった。

子どもの自立に向け、敢えて通訳を配置しない方がよいという意見もあった。

文化や宗教への配慮として、ムスリム用の墓地や礼拝スペースの設置、ベトナムの旧正月をお祝いできるような機会づくり等が挙げられた。

外国人市民の活躍やキャリアプランの見える化や、多文化共生の意識づくりとして、日常生活での騒音等の原因として文化的背景等の違いがあることについて、日本人側に理解を求める声があった。

カテゴリー	内容	回答主体
情報の入手・発信、多言語対応	・ 税金の支払いのことなど、紙で書かれたものよりも映像で見たほうがわかりやすい。入管も市役所もインターネットを活用するとよい。	ブラジル人市民 (エスニックシ ョップ勤務)
	・ 仕事では自分の言葉をわかってくれるので、仕事で日本語が困ることはない。ただし、生活の日本語で困ることはある。生活情報誌とか、市役所の手続きの書類等、ポルトガル語や英語はあるが、ベトナム語が無いので、最初はわからなかった。	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者
	・ 情報がないから、間違えたことをしてしまう。守らないじゃなくて、わかっていないのだと思う。	ベルー人生活保 護受給経験者
日本語学習	・ 日本語教室に通っていた。日本語の0からスタートだったので、難しかった。1年以上日本語教室に通ったけど、やめてしまった。日本語教室には、ベトナム語がわかる人がいた方がいいのではないかと。	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者
母語	・ ずっと日本で住んでも、ベトナムに帰った際に、ベトナム語が話せた方がよいから、ベトナム語の活動があると嬉しい。子どもは家でも話すのは教えるが、字を書くのは、先生から勉強したい。	VIETFOOD NISHIO

地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館内の卓球サークルに通い、日本人とともに活動している。スポーツや料理を通じた交流は有効である。 	(株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> 日本人と外国人との参加しやすいイベントがあれば、参加できるのではないか。参加しやすいのは、土日。内容としては、ベトナムだけでなく、他の国も含めて色々な国の料理を食べられると嬉しいのではないか。 イベントがよいかもしれない。BBQ等があるとよい。きっかけがないと話せない。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> ベトナムの文化をわかって欲しい。交流の場所を作って欲しい。日本とベトナムの文化を交流できる機会をつくりたい。ベトナムのイベントを開催して、日本人も参加してもらうのはどうか。 広く人を集めるために、西尾の市民文化会館等のできるようになればよい。ベトナムの音楽とかダンス等の紹介ができるとよいのではないか。 個人的にやるのは難しいので、市がサポートしてくれると嬉しい。例えば、場所である。お金はベトナム人で集まるので必要ないので、場所等がうれしい。 	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者
教育	<ul style="list-style-type: none"> 普段、子どもが遊ぶ場面でどうしても差別があるようである。通訳の先生が入ることは、親には嬉しいが、子どもの役には立っていないかもしれない。通訳の先生が入ると、どうしても通訳に聞いてしまって、日本語を勉強できなくなる。子どもを育てるには、日本に慣れるために、日本人の友達と一緒に勉強した方がよい。日本の先生も、通訳の先生がいると頼ってしまう。日本語ができない子どもは別のクラスにして、何か月間かで日本語に慣れて、同じクラスに入った方がよい。通訳の先生が入らない方がよい。保護者は必要だが、子どもはいらない。通訳がない方が日本語を勉強する。 	ベトナム人親子 母語・文化教室 参加者
子育て	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センターでベトナム人親子が集まるといい。 	ベトナム人の子 育て中の母親
介護・医療	<ul style="list-style-type: none"> 自分の周りに、日本で介護が必要になっている人はいない。ブラジルにいる親の介護が必要になっていることはあるが、日本にはいない。 日本の介護制度について、義務はわかっているが、権利は知らない。 	ブラジル人高齢 者
年金・保険制度	<ul style="list-style-type: none"> 年金はもらい始めた。月3万5千円程度である。 年金は受給し始めている。月額3万5千円程度である。 年金は、リーマンショック後に払い始めた。それまでは会社が社会保険に加入せず、そのお金を外国人社員に還元していた。社会保険に入らなければいけない条件で募集すると、還元を希望する外国人の方が多かったため、逆に人が集まらなかった。リーマンショックの際、社会保険があった人は最後まで雇われていた。そこで、皆、社会保険に入った方がよいという考え方に変わり、きち 	ブラジル人高齢 者

	<ul style="list-style-type: none"> んと入るようになった。 ・ 社会保険が強制であることは、当時知らなかった。会社員は入らなければいけないという情報も知らなかった。 ・ 中国において加入は簡単だが、保険がおける際は、とても時間がかかる。両親の保険証が作れるのであれば、保険費用を払いたいと思い、問い合わせをしてみたがやはり難しかった。 	中国人帰化者
文化や宗教への配慮・尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、日本国内にムスリム用の墓地が不足している（現在ある墓地は、茨城県、埼玉県、山梨県など東日本に6カ所、西日本では和歌山県に1カ所）。先日、西尾市内に整備できるよう申し入れをした。 ・ 市役所内など、市内各所に礼拝スペースを設けてほしい。イオンなど大型商業施設には礼拝スペースがある。 	(株)サリラヤ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナム人が多くなったことから、韓国のコリアタウンのように、ベトナムの旧正月等もできるような場所をつくりたい。旧正月のお祭りをやりたいけど、うるさいからできない。ベトナムの子どもの日のイベント等もやりたい。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前は、ベトナムの人も日本で働いて帰る意向があったが、今は、ベトナムの人は長く住みたいと思っているので、ベトナムの文化を日本でも経験できるようにしたいと思う。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
外国人市民の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日、一色高校の授業の一環で、もう1人の支援員とともに自分の生い立ちや保育士になるまでの道のりについて語る機会があった。高校生からの反響も良かった。 	ブラジル人市民（保育士）
多文化共生の意識づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化が違う。ベトナム人がうるさいことがある。ベトナム人は意識が高くないから、日本人も理解してほしい。いきなり注意ではなく、日本の文化ではうるさいことはよくないので理解してね、と言って欲しい。 	VIETFOOD NISHIO
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナムは騒いでしまう文化。ベトナム人で話したりするのは、楽しみの1つで、わざとやっているつもりではない。ベトナム人の中で、集まって仲良くなろうとしているので、勘違いされたことは寂しいと思っている。ベトナムにはそういう文化があることをわかって欲しい。 ・ 隣のブラジル人が騒いでいても自分は気にならないが、日本人は気になっているようだ。 	ベトナム人親子母語・文化教室参加者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人の親の在留資格が取りにくく、おそらく同じ悩みを抱えている中国人は多いと思う。安心して働くために親の問題を解決して欲しい。 ・ 両親については、短期滞在で滞在しているが病気の時に、実費払いになってしまうので、多額の医療費が発生してしまう。 	中国人帰化者

(2) 日本語ひろば参加者簡易アンケート

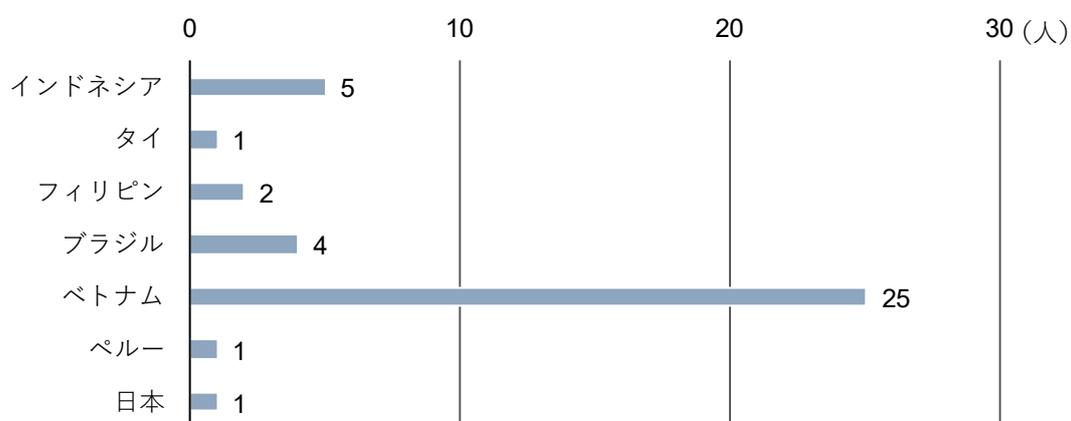
①実施概要

西尾市日本語ひろばの参加者に簡易アンケートを行い、39人から回答を得た。(2021年1月実施)

②回答結果

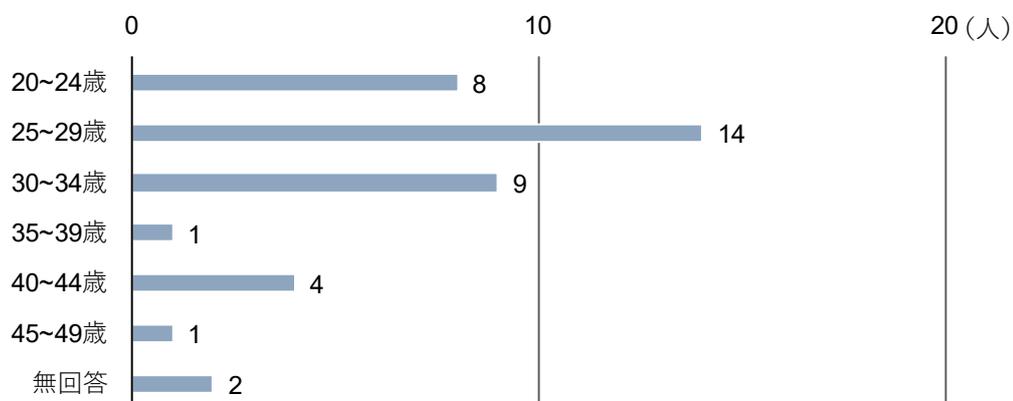
6) 国籍 (n=39)

参加者の国籍は「ベトナム」が25人と最も多く、次いで「インドネシア」が5人となっている。



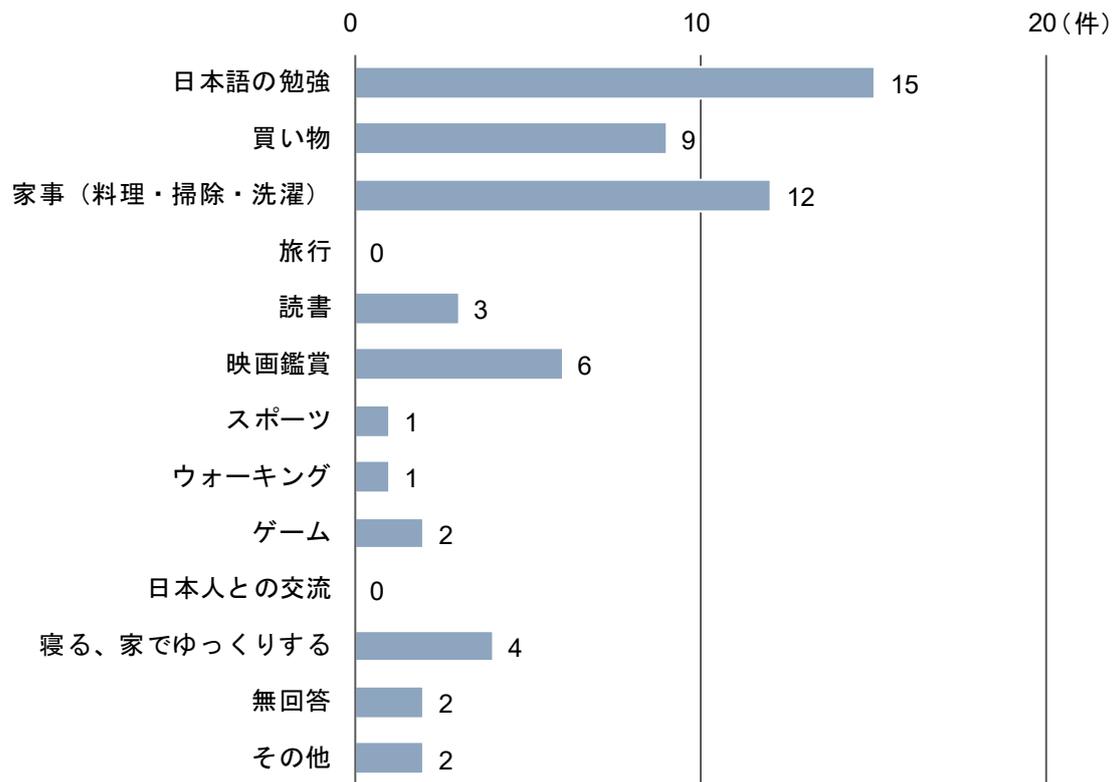
7) 年齢

参加者の年齢は「25～29歳」が最も多く14人、次いで「30～34歳」が9人、「20～24歳」が8人となっている。



8) 休みの日にしていること

休みの日にしていることを聞いたところ、最も多いのは「日本語の勉強」(15件)、次いで「家事(料理・掃除・洗濯)」が12件、「買い物」が9件となっている。

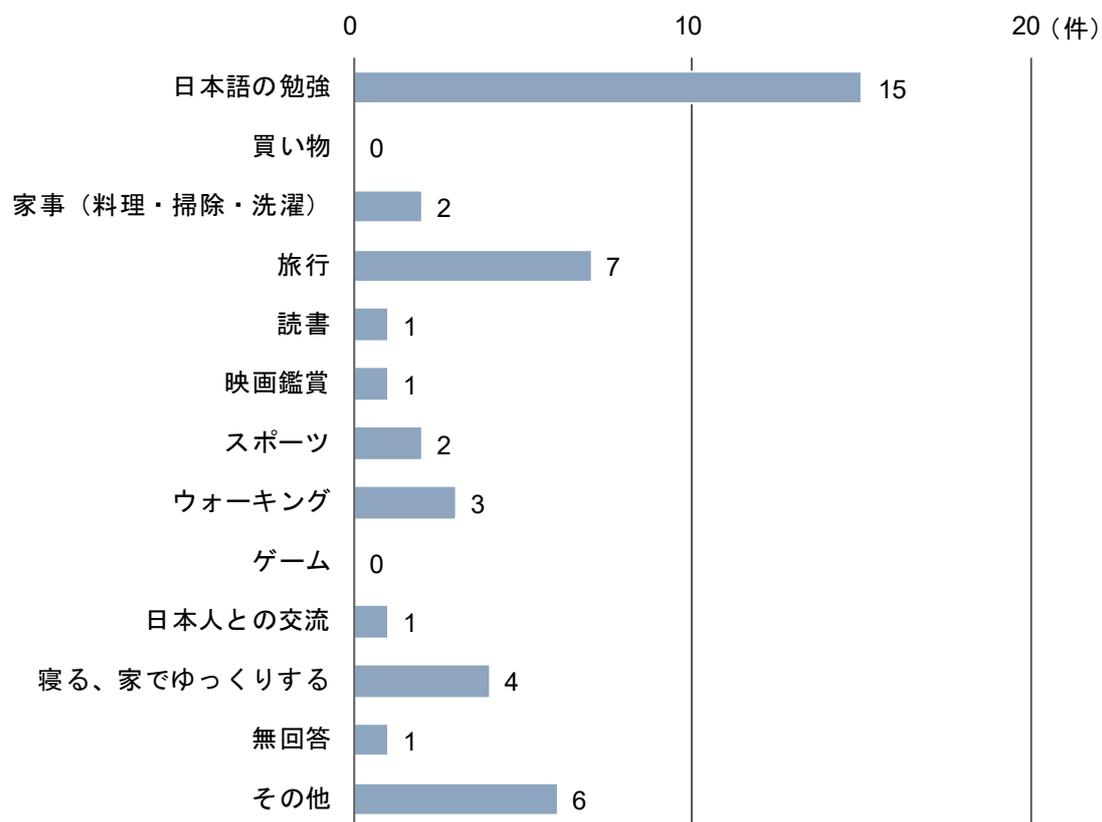


その他の記述

娘を英会話スクールに連れていく／公園に行く

9) 休みの日にしたいこと

休みの日にしたいことを聞いたところ「日本語の勉強」が15件と最も多く、次いで「旅行」が7件となっている。

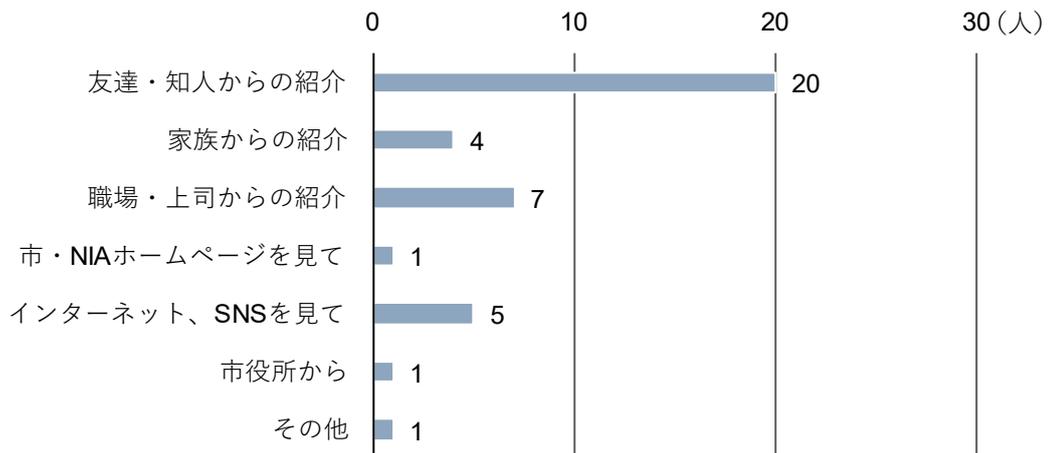


その他の記述

日本料理の勉強、お祭り参加／日本文化を調べる／日本人と話す／日本人と遊びに行きたい／釣り／ダンスがしたい

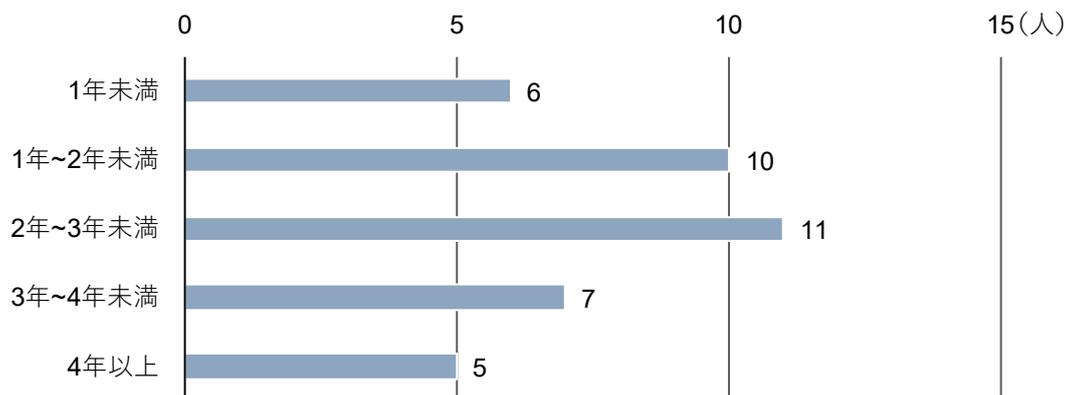
10) 日本語教室を知ったきっかけ

日本語教室を知ったきっかけは「友達・知人からの紹介」が20人と最も多く、次いで「職場・上司からの紹介」が7人、「家族からの紹介」が5人となっている。



11) 日本語を勉強している期間

日本語を勉強している期間は「2年～3年未満」が11人、「1年～2年未満」が10人、「3年～4年未満」が7人となっている。



Ⅲ. 庁内ヒアリング結果

庁内部会の代替として、今年度は、各課における多文化共生に関係する取組みを把握するため庁内各課ヒアリングを実施した。ヒアリングの結果は以下のとおりである。

書類の多言語化については、対応言語の種類や翻訳状況は課によって異なるものの、いずれの課も取り組んでいる。通訳の常駐は一部の課のみであるが、関連部署同士で通訳を利用したり、地域つながり課に要請したりする等、必要に応じて利用している状況である。

関連計画等における多文化共生に関する記述は、現状では極めて少ないが、危機管理課の「地域防災計画」および学校教育課の「西尾市教育大綱（2020～2022）」では、外国人市民への対応や支援の方針等が記載されている。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ■多文化ルーム KIBOU、日本語初期指導教室カラフルの設置 ■学校文書の翻訳 ■ポケット3台の学校への配置 ■支援員・相談員の配置・巡回(学校・カラフル・窓口) ■多文化共生担当教員研修会 ■外国ルーツのある児童に対する進路説明会 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■翻訳委託に係る費用と人材(インドネシア語、タガログ語のニーズが増えているが、現状スタッフ側が各1名しかいない。) ■学校現場において、日本語教育に長けた者の不在 ■学校における多文化共生推進体制(多文化共生担当教員が持ち回りであったり、他の役を兼ねていたりすることで、体制として弱い部分がある。) 	<ul style="list-style-type: none"> ■西尾市教育大綱(2020～2022)において、「新設する日本語初期指導教室カラフルと学校と多文化ルーム KIBOU との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちの就学・進学支援を強化します」と記載している。 ■現在カラフルで試行している DLA (Dialogic Language Assessment: 対話型アセスメント)を各学校で実施したい。いずれは言語能力に合わせたカリキュラムの作成も行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■KIBOU、カラフル、通常学級と移行する際に、うまくフォロー・サポートをつないでいかなければ、言語のギャップを抱えたままとなってしまう。高校進学時になって、言語の問題・壁にぶつかってしまう。 ■一色高校の昼間コースにも、外国にルーツのある生徒の進学が増えてほしいと思っている。 ■母語、母国文化に関連する内容を検討する必要があると認識している。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
収納課	<ul style="list-style-type: none"> ■各種文書の翻訳(7言語) ■ポルトガル語・スペイン語の通訳配置(隣の税務課と兼務) ■ビデオ通訳の導入(タガログ語、英語、ネパール語、インドネシア語)等 	<ul style="list-style-type: none"> ■税制度の説明(国によって税金への価値観が違うため) ■税務署との連携 ■パンフレットが翻訳されていても、内容をわかってもらえない。外国人市民の多くは窓口に来て話し、説明を直接聞きたいという思いがある。 ■税金に関することは、動画でも伝わらない。動画は一方向の発信で、質疑応答ができないためである。 	<ul style="list-style-type: none"> ■通訳2名での対応と、ビデオ通訳の活用で、現状維持予定である。 ■市役所内の様々な課との連携をしたいと思っている。特に、通訳のいない課が大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■西尾市役所は市民と近く、手厚く対応している。 ■多文化共生を進める一方で、外国人自身の自立も必要である。 ■職員の知識を増やす必要がある。通訳に、市役所内の情報が蓄積されてしまっている。
健康課	<ul style="list-style-type: none"> ■1987年から多言語対応開始(適宜、対応言語を追加) ■昨年より、課でのポケットク保有(事務手続き時の使用) ■法定検診受診のすすめのはがき送付、訪問時の配布(未受診者のみだったが、検診対象者全員への案内を開始) ■4ヶ月、1歳半、3歳検診時の入管への情報確認 ■乳幼児を持つ外国人向けリーフレット(地域つながり課作成)の配布 ■地域つながり課のサービス紹介等 	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠届出書が、ポルトガル語のみ ■インドネシア語対応(翻訳依頼先が見つからない) ■窓口へ外国人の方が来ると、窓口作業の時間がかかる。 ■予防接種歴の確認に時間がかかる。 ■日本語が分からない方が検診未受診になる傾向 ■外国人の母親に多言語で情報が届ききっていない。 ■職員の理解不足(特に在留資格関係) 	<ul style="list-style-type: none"> ■現場レベルで、外国人市民への対応の必要性を感じているので、取り組めるところから着手したい。 ■切れ目のない支援をキーワードに、他機関と連携して地道にやっていくしかないと思っている。各種サービスを拡充していくつもりである。 ■双子育児支援に取り組むという話がある。産後ケア、精神ケアの必要性も話題に出ている。 ■コロナのような緊急時、地域つながり課との連携がまだできていないが、連携できるようにしたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■KIBOU、地域つながり課と連携することが多い。 ■言語習得、発達がゆっくりで、心配がある子(未就園児)の相談先が現状わかっていない。発達に関する相談ができる場所があるとよいと個人的に思っている。そのような施設があるかもしれないが、情報を知らない。
家庭児童支援課	<ul style="list-style-type: none"> ■各種案内のポルトガル語、タガログ語版の提供 ■DV、虐待に関する相談対応 ■ポケットクの活用 ■各種関係機関との連携等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ビザの問題(長期支援が必要であっても、ビザの関係で一旦国に帰ってしまうことがある。また、離婚して日本に居続けられるかどうか不安定という課題もある。) ■ポケットクを活用しているが、多くの内容を話したい時に話すことができない。気持ちや、細かなニュアンスを汲みきれない。あとから、話が違ふと言われる等、信頼関係を作りにくい ■職員が外国人のこと(コミュニティ、お国柄等)を知らない。各国のことが分かるような資料がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人対応を強化する意識はある。 ■来年度、地域つながり課の方で、DVチラシを窓口に着く予定はある。相談窓口につながるように準備している。 ■多文化共生に限定したことはないが、虐待に関する全般的な支援を行う「市区町村子ども家庭総合支援拠点」を担う準備を進めている。専門職を増やそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各言語で対応出来るソーシャルワーカーがいるとよい。 ■ポルトガル語通訳は、地域つながり課の通訳(岩瀬委員)に対応して頂いている。家庭支援課の仕事も、国柄の事情も配慮して対応してくれるため助かっている。言葉だけの通訳ではない。 ■日本の外国人に対する支援は手厚いと思うが、困ったら市役所と言えば何でも出てくるという意識を持っている人が多い印象がある。日本人の感覚との異なりを感じる。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
秘書広報 広聴課	<ul style="list-style-type: none"> ■市の広報の電子化・多言語化(対応言語は、英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字)・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・インドネシア語) ■2020年6月より、市公式サイトのリニューアル着手(Google 翻訳の利用、半角全角の統一を行うアクセシビリティ対応を行うため、翻訳機能は向上)等 	<ul style="list-style-type: none"> ■広報誌の配布を町内会に託している。そのため、外国人に届いていない可能性がある。そもそも入っていないか、町内会の人配が配っていないのか迷っていたりする。 ■公式サイト等を自動翻訳にすると精度が落ち、細かな内容が伝わりにくいことが懸念される。これまで、市サイトの翻訳内容に関して問い合わせやトラブルはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■数ヶ月に一度であれば、多文化共生に関するPR記事を後方に入れることは出来そうである。他の課との兼ね合いもある。 ■これまでの市公式サイトでは、必要な情報を抜粋し、まとめて通訳の方が翻訳してページを作っていた。やさしい日本語のページも作成していた。 ■新しいサイトでは、やさしい日本語対応は行わず、現在のやさしい日本語ページを自動翻訳に移行予定である。通訳の負担削減を目指したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■多文化共生の企画は、編集担当者による発案である。毎号、広報サポーターからアンケート結果が返ってくるが、好評であった。外国人の生活や進学等に理解を示したといった意見があった。
税務課	<ul style="list-style-type: none"> ■税情報のチラシ発送(タイトルのみ翻訳) ■ポルトガル・スペイン語の申請用紙 ■2020年の家屋に関する税金(ポルトガル語)パンフレットとチラシの作成 ■収納課の通訳の方に対応いただくことがある。等 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国には税の制度がなかったり、違ったりして、書面の説明では理解が難しい。窓口で、簡単な日本語や通訳での説明で対応している。 ■外国人の方は、県民税を6月に払うタイミングで、帰国してしまうことがある。本来であれば、納税代理人を立てて帰国してもらえるとありがたい。説明がまだうまくいっていない。 ■個人の金額は高くないが、外国人が多いので課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■チラシと文書の改善を行う予定である。 ■市役所の確定申告については、通訳を雇って行いたい。国外扶養、海外送金の書類が複雑である。 ■6月中旬(県民税納付書送付後)だけでも、通訳を増やせばよいと思っている。 ■県民税の申告関係で、他課とも関わる。ステップごとに、他課に係る制度の説明や周知が出来るとよい。 ■確定申告の事前説明(研修)会ができればよいと思っている。 ■小学校で毎年やさしい税教室を行っている。その内容を改良して、今後外国人向けに実施出来ればよいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナの影響もあり、納付が困難という問い合わせがある。徴収猶予は与えているが、就職先が見つからず困っている。昨年働いた分を収めるタイミングであるが、難しいとの相談がある。例年より相談が多い。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ■現在注力しているものは防災アプリ(スマートフォン基礎言語に連動して翻訳) ■防災に関するセミナー(国際交流協会主催で、年1回、総合福祉センターにて実施)、防災教室、緑町住宅の防災イベント(年2回) ■別の課から出前講座の依頼があれば、出向くこともある。依頼があれば出張開催する仕組み自体はある。等 	<ul style="list-style-type: none"> ■自主防災組織が278あるため、特定の組織に偏らない開催の継続や方法について検討している。 ■一色防災ネットワークはあるが、外国人に特化はしていない状況である。 ■外国人セミナーは複数回やったとしても、同じ人が来るだけになる可能性が高い。日本語教室(にほんごひろば)からスライドして参加するので、参加者が集まらないということはない。一般募集にすると、なかなか集まらないと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域防災計画において、外国人に対する啓発が言及されている。 ■今年度、津波ハザードマップの多言語版を作成(英語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語、やさしい日本語)2021年4月1日に日本語は全戸配布予定である。多言語版はHPにて公開する。多言語版の紙資料は配布先がないが、地域つながり課に置く等考えていきたい。 ■コミュニケーション支援ボードを改善できればと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■危機管理課は、年1回の市全体の総合防災訓練、校区レベルの訓練に参加している。いずれも外国人参加者は少ない。校区レベルでの訓練で、ひとりふたりいる程度である。 ■避難所看板については、現在の言語を引き継いでいくしかない状況である。 ■避難所の受付用紙(県の様式)に書く項目が多いが、実際のところ、家族の居場所等必要最低限の記載でよいと、県の研修で習った。
福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ■生活保護担当として、ポルトガル語通訳の配置 ■生活保護や福祉課外のことを聞かれることがあり、適宜、必要な課につないでいる。 ■自立支援相談と生活保護ともに担当等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ポルトガル語以外の通訳が難しい。相談に来た外国人が、片言でも日本語が話せれば、時間をかけて対応できる。 ■窓口で対応できない場合は、ポケットークを地域つながり課から借りてくることが考えられる。 ■文化、宗教面の違いへの理解や対応について、課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■福祉計画はあるが、多文化共生に関する記述はない。 ■「あいち多文化共生推進プラン 2022」内26番「生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業の実施」については、西尾市でも取り組んでいる。外国人の子どもへの言語面での対応に苦慮した。今後の増加状況により、学校とも連携して行っていく必要を感じている。 ■県プラン75番「自立相談支援事業や生活福祉資金貸付の実施・周知」については、社会福祉協議会につないでいる。通訳が状況等を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■生活保護の申請は、外国人市民も増えている。生活保護法は外国人へ適用できないため、準用している。在留資格によっては、準用でも対応することができない。身分系が準用される。 ■外国人自身に日本の各制度、在留資格に対する理解がない。生活保護を受給申請したものの、子どものビザが切れたケースもあった。その子どもに関しては、ビザ再交付後に受給が開始された。入管にも適宜、相談・確認している。
長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ■「介護保険とは」のパンフレットのみ多言語版を用意(ポルトガル語・英語・中国語)等 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人介護は、将来的な課題になるのではないかと認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■現在の福祉計画では、外国人介護に関する記述はないが、今後も随時状況やニーズに応じて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■介護保険制度について、外国人で利用している方が多いという実感はない。日系ブラジル人の方は介護保険を利用しているのではないかと。しかし、かなり数が少なく、日本語支援が必要な人はさらに少ないと思われる。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> ■各種書類の多言語対応(「子ども医療費受給者証の案内・注意事項」と「国民健康保険被保険者証の更新について」の2つは、最近ベトナム語が追加) ■今年度、障害者医療、母子家庭医療の資料を、ポルトガル語・英語・ベトナム語で作成 ■国民健康保険の更新タイミングで制度説明・周知等のチラシを配布 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■当課に通訳は配置しておらず、市民課の通訳に対応頂いている。今後、いてくれると良い。市民課通訳の方は、職員がいたくとも対応できる程、各種制度を熟知しているが、当課専門の通訳がいればより深い話ができるのではないかと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な計画はないが、今後も随時状況やニーズに応じて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■最近ではベトナムが増えた印象であったが、コロナによって聞きなれない国の出身者が増えた。 ■身体、心身障害者手帳を持つ外国人の方もいる。
子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ■児童クラブ、クラブの説明会・申請受付実施(ポルトガル語通訳同行) ■KIBOU から要望もあり、子ども食堂(子育て支援課の管轄補助金を出す任意団体、福祉センターでも食料配布、コロナで計画が実施できず)と連携 ■西尾すこやか祝い金(市独自の制度) ■各種資料の多言語化 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■児童クラブ入会申請書類等の文書はベトナム語対応しているが、通訳に関してはまだ配置していない。 ■窓口対応で困った場合、地域つながり課に通訳をお願いしている。 ■保育課に通訳がいる。ベトナム語は地域つながり課をお願いしているが、ポルトガル語通訳は保育課に依頼している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■放課後等デイサービスは、来年度から福祉課の担当になる可能性がある。 ■市の子ども子育て計画において、「(4)多文化子育て支援・多文化教育の推進」がある。 ■今後、ポルトガル語以外の多言語対応も増えるとよいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■児童クラブは 26 クラブある。現場での通訳・保育を行う者が2名児童館にいる。外国籍の子どもが多いクラブを、ひとり3クラブ程かけもちしている。通訳の1名は今年の4月から、もう1名は3年程前から働いている。 ■ベトナム人の子育てサークルも西尾市内でできてきている状況である。
保育課	<ul style="list-style-type: none"> ■公立・私立6園に対してポケットークを配布 ■保育園への通訳派遣 ■きずなネット(中部電力の配信サポートサービス)の活用 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ポケットークを導入しているが、本当に伝わっているかの確認までは難しい。機械翻訳の精度には疑問はある。 ■制度や書類の内容を理解してもらうことが難しい点が挙げられる。内容がわからない時でも、その場では「わかる、わかる。」と答えられてしまい、あとから窓口に来て通訳の話を聞くケースが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な計画はないが、今後も随時状況やニーズに応じて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ベトナム人は、出産してすぐ働きたい傾向がある。保育所に申し込んでも、仕事が正規でないことから、入所を断られてしまい、なかなか枠内に入れれない。途中入園もしづらい。 ■プレスクール(学校教育課)との連携は保育園が行っていることである。
市民課	<ul style="list-style-type: none"> ■各種申請書の多言語対応(ポルトガル語、英語) ■今年度4月より多言語翻訳タブレット導入。 ■公共施設、病院等を聞かれることが多いので、手作り外国人住民用のマップを用意 ■省庁対応表(FAQ のような表)の作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ■転居後の最初の窓口が当課ということで、概要説明も通訳が実施している状況である。他課にも付いていき、最後まで面倒をみることになっている。その間、他の業務が止まることになる。通訳待ちが出るほど、通訳ニーズがあるわけではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ベトナム人が増えているので、対応を円滑に行いたい。ベトナム語の申請書等を作っていきたい。 ■在留資格に関する勉強をしたい。入管庁との勉強会等も活用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ベトナム人は会社関係の方が引率してくることが多い。監理団体の方が引率で来る場合はスムーズであるが、個人で来る場合は、コミュニケーションを取るのに苦労している。個人で来る場合として、家族滞在の配偶者や技人国等が多い。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
商工振興課	<ul style="list-style-type: none"> ■企業の相談支援、ハローワークと連携した就職支援、労働者相談、消費者相談を所管 ■外国人事業主(主に飲食店)の相談対応 ■西尾みなみ商工会が技能実習の受入れ機関になり、相談に乗っている。特に受入れ企業の生活面での相談等が多く、地域つながり課を紹介したこともある。 ■ハローワークには通訳者がいる。ポルトガル語対応だったと記憶している。 ■若者相談ステーションは、若年者、就職氷河期の世代までが対象で、就職相談員による相談を行っている。 ■ハローワーク西三河の方に、出張相談に来てもらっている。等 	<ul style="list-style-type: none"> ■資金繰りが厳しい事業主等の対応において、多言語での申請書や説明資料が国等でも用意されていない。 ■企業からの相談としては、文化の違いを伝えることが難しいが、どうしたらいいか等である。生活面の相談が中心である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■就職相談は、ハローワーク、若者相談ステーションと連携して、進めている。 ■外国人活躍の見える化として、ものづくり女子特集にダイバーシティ特集として、外国人の内容を盛り込む予定。 ■就職マッチングを目的とした企業説明会で、参加企業には外国人も採用予定という掲示を出してもらおうとする。 ■国の補助金で、多言語の消費生活センターの説明チラシ(外国人向け)を、3月位に作成予定である。 ■分野別計画として、産業労働計画は無い。総合計画、まち・ひと・しごと戦略に計画は掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■商工会はベトナムと中国の送出し機関と契約している。 ■コロナの影響で、休職相談、就職相談等が多くなった。 ■「雇用推進協議会」は、商工会、大学、高等学校等が参加して、総会、情報交換会、事業説明会、ハローワークからの求職情報、キャリア支援等を行っている。
ごみ減量課	<ul style="list-style-type: none"> ■ごみステーション用看板(ラミネート加工)の設置 ■ごみ袋の多言語併記 ■資源・ごみ分別アプリさんあ〜るは、分別が見てわかるように解説している。 ■ごみの分別に関する出張説明(コロナ前は、月に1回程度行っていた。外国人の団体に呼ばれて行ったこともある。)等 	<ul style="list-style-type: none"> ■課題としては、ごみの分別について、文化の違いが背景となって細かいところが伝わらない。 ■アジア系の方は、ごみは土に戻ると考えており、その辺に捨ててしまうことがある。袋に入れて出すという文化が無い場合もある。 ■ごみの分別の簡略化が必要である。合併の弊害で、地域でごみの分別が異なる。分別を誰でもわかりやすくすることも検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■県のプランで、生活オリエンテーションの記載があるが、県営住宅等の外国人住民が多い自治会の入居時のオリエンテーション等において、出張説明をすることは考えられる。他の地区でも、そういう機会があれば、出張を増やしていくことは考えられる。 ■分別スクール「レスキュー530」は、ごみの分別をわかりやすくした出し物があり、小学生等を対象にしている。それを外国人向けに実施するというアイデアも考えられる。動画をあげることも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人住民が住むアパートの大家からの相談が多い。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
建築課	<ul style="list-style-type: none"> ■入居のしおり(ベトナム語、ポルトガル語) ■申込書(ポルトガル語) ■回覧資料の多言語での作成 ■ベトナム人が多い住宅にはベトナム語の看板をつけている。 ■入居時に、市民課でハザードマップとゴミ出しの資料を渡している。等 	<ul style="list-style-type: none"> ■住民同士のトラブルについては、外国人特有のことはない。日本人でも、生活上のルールが守れない方はゴミ出し、騒音等のルールを守っていない。何かあれば、個別対応・説明する。今後も特別扱いをせず対応していく。 ■集会場がある市営住宅が7つ(宮浦、下町、味浜、対米、鎌谷、神明塚、中野郷)ある。昭和終わりに建てられた住宅に集会場がある傾向がある。幡豆についてはカバーできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■集会場を利用(非営利の範囲内)した企画は、協力は出来る。 ■地域つながり課に協力頂いて、書類の翻訳多言語対応はしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■避難者を受け入れる学校側の対応や認識はわからない。室場小学校に避難しても、校区の負担金を払っていないと避難させてもらえないのではないかと聞いているが、外国人に限ったものではない。コミュニティ、外国人支援のNPOはないと認識している。
市民病院 医事課	<ul style="list-style-type: none"> ■ポルトガル語通訳1名配置 ■ポケットクを3台購入(夜間の救急や、ベトナム・インド人に対して使用) ■愛知医療通訳システムの利用 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■愛知医療通訳システムを使用したい場合は予約が必要である。再来院の方であれば対応できるが、急患対応では難しい。月2件程度依頼している。 ■ベトナム人も増えている。ベトナム語の通訳がいれば有難いが、医療用語が上手く訳せる人材でないといけない。 ■医療費の未徴収がある。未払いが増えている。 ■高額医療費制度の説明をしても理解してもらえない。連絡が取れなくなってしまうことが多い。国に帰ったり、日本国内で転々としていたりしている。徴収員は厳しく行っているが、日本語でしか対応は出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■受付は委託先職員で、本庁からは数名しかいない。そのため、やさしい日本語に研修を行うより、通訳を増やす方が現実的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民病院へ来る外国籍の方が増えている。特に、通訳がいるということで、ポルトガル語圏の方が病院に来ている。
消防本部 本署	<ul style="list-style-type: none"> ■2020年より、24時間対応言語同時通訳サービスを導入(119番から3者通話) ■半日かけての火災に関する研修実施 ■火災予防研修用テキストと消火器取り扱いの冊子を配布(当研修に、監理団体が技能実習生を30~50名程、消防本部へ連れてくる。) ■昨年は、県から合同での津波避難訓練開催依頼があり、もともと年1回やっている 	<ul style="list-style-type: none"> ■火災の被害の話になると、専門用語が増えて難しい。 ■現場は外国人対応に少々困っている。 ■多言語問診票とボイストラを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、導入した通訳等を活用していく。 ■外国籍の親は日本語が話せないが、子どもは日本語が話せるようになる。中学以降の子どもを中心に防災教育をし、親が子どもについて防災事業等に参加してくるイメージが良いと思っている。 ■中学校への働きかけも必要だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一色地区の津波防災訓練で、多国籍炊き出しをやるとうとしたことがある。 ■地域の消防団は、ボランティア・立候補制で集めている。日本人でも近年加入者が少ない。

課名	取組	課題	今後の計画・展望	その他、多文化共生に関するご意見
	た防災訓練と合わせて昨年実施した。等		<p>■外国籍の方は働き手の若い方が多く、地域の防災、災害時に貢献できる。しかし、現時点では、地域の消防団に外国人は加入していない。どうアプローチするかについては、まだ具体的な考えはない。</p>	

IV. 多文化共生協議会

(1) 開催日時

以下の日時に、全3回開催した。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、オンラインでの開催も実施した。

	日時	実施方法
第1回	2020年8月26日(水)	Zoomミーティング
第2回	2020年12月4日(金)	対面(西尾市役所4階 41会議室)
第3回	2021年3月3日(水)	対面(西尾市役所2階 22会議室)

(2) 議題

	内容
第1回	○西尾市多文化共生プランの策定方針について ○多文化共生に関する市民意識調査の内容について ○今後のスケジュールについて
第2回	○市民意識調査及び企業実態調査の結果報告について ○ヒアリングの実施について ○今後のスケジュールについて
第3回	○ヒアリング調査の結果報告について ○市民意識調査のクロス集計等について ○来年度のプラン策定に向けて

(3) 議事内容

各回の議事録については、別冊資料編の資料4-1、4-2、4-3に添付している。

V. 各調査のまとめ

各調査で把握した西尾市の多文化共生に関する現状や、多文化共生への意見を以下にまとめる。そのうえで、来年度の多文化共生プラン策定に向けた施策の論点を整理する。

○計画策定にあたり施策の柱となる論点

	外国人市民への調査	日本人市民への調査	各主体への調査	企業への調査	方針・施策の論点
市民活躍・地域参画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政参加意向のある外国人が多い ・ 外国人市民の若い世代が関わる取組（カラフルでの高校生ボランティア等）がある ・ 外国人の町内会長・自治会長がいる（いた） ・ 町内会に加入している外国人市民は約26% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会に加入している日本人市民は9割弱 ・ 多文化共生を進めるために今後やってみたいこととして、近所の外国人等とあいさつをするが4割弱、地域の行事や町内会活動に外国人等を誘うが13%、外国人等との交流イベントに参加するが12% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外にルーツのある子ども・高校生等が活躍する機会づくりにおいて市との連携意向あり ・ 市内に大学がなく、市内在住の若い世代へのアプローチ・巻き込みが困難 ・ 町内会等での先駆的活動があるが、活動の継承が難しい ・ 外国人市民の意見聴取方法や反映が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・町内会と連携、共生できるような仕組みへのニーズ ・ 企業と公営住宅の自治会で覚書締結する等の事例あり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア人材バンクの創設と新たな担い手の発掘・育成 ○外国人市民の活躍の見える化 ○町内会など地域コミュニティへの参画促進、モデルづくり
多文化共生の意識づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流協会の認知度が4割弱 ・ 国際交流協会の交流イベントの開催 ・ 日本人との交流意向は8割弱 ・ 参加しやすい交流事業の実施（食や歌に関するもの）や、外国人による交流事業の企画・運営等の希望あり ・ 地域の日本人等とのトラブルについて、外国人市民の母国文化背景の違いに起因していることに理解を求めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「多文化共生」言葉の認知は6割 ・ 国際交流協会の認知度が3割弱 ・ 外国人市民と交流したい日本人市民は4割、20代・30代は約6割 ・ 交流したい内容は、「文化を知る」が5割程（外国人市民も同様に5割程） ・ 地域の外国人等とのトラブルは76%が特にならない。トラブルがある場合の内容は、騒音、ごみ出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の保護者と子どもの交流イベント、町内会や・自治会・会社ごとでのバーベキュー等のイベントの開催 ・ 日本人・外国人共に活動への参加者が一部に留まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用している外国人において、日本人との交流希望があるが、外国人本人や企業において機会や場所を知らない ・ 技能実習生が参加したいと思える交流内容（楽しさ、日時、場所）への改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○西尾市国際交流協会の活動強化（外国人市民を巻き込んだ企画、プラットフォーム機能の拡充） ○日本人市民と外国人市民の一過性ではなく継続的な交流機会の創出 ○お互いの文化を知る・伝え合う機会の創出
地域における連携・体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同国籍の人との交流の場はSNSが5割弱 ・ 市内で活動する外国人コミュニティ団体は少ない ・ 宗教によりモスクや教会等の宗教施設がコミュニティの場となっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店等の自営業増加（交流の場としても機能） ・ 多文化共生NPO法人がある ・ 職場以外のコミュニティ・つながりが必要と考えられている（介護事業所） ・ 行政主導外国人コミュニティリーダーの育成には留意点あり（有識者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・日本人との交流に関する取り組みを行っていない企業が6割 ・ 企業が市と連携可能な内容は、交流事業等の外国人従業員への周知が約5割 ・ 西尾みなみ商工会が監理団体資格取得（技能実習生の支援・交流等での連携意向あり） ・ 企業の通訳がキーパーソンになっているケースがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人キーパーソンとのネットワーク強化 ○外国人同士のつながり、外国人コミュニティ組織化の支援 ○多様な関係機関等との連携・協働 ○地域や企業等における多文化共生にかかるとの優良事例の共有

	外国人市民への調査	日本人市民への調査	各主体への調査	企業への調査	方針・施策の論点
子育て	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍の保護者の6割が、子どもとの会話で日本語以外の言語を使用 子育てや教育で困っていることがある外国人市民が75% ファミリーサポートセンター等で言葉の壁がある 日本人親子との交流へのニーズ 子どもへの母国文化理解・母語教育の希望 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人市民において外国人親子と関われる機会へのニーズが出始めている 	<ul style="list-style-type: none"> 不就園児や予防接種履歴確認調査を実施 多文化ルーム KIBOU で子どもの母語保持教室の開催、ベトナム人グループによる母語・文化サロンの開催 外国人市民を多く受入れる産婦人科がある 過年齢の子どもへのケアへのニーズ 発達障害の状況把握と対応検討 		<ul style="list-style-type: none"> ○多文化子育て交流機会の創出（サロンや親子教室等） ○母国文化・母語理解への支援（多文化ルーム KIBOU の活動支援） ○保育園、ファミリーサポートセンター、児童クラブ等での対応の検討
教育（義務教育）	<ul style="list-style-type: none"> 多文化ルーム KIBOU、日本語初期指導教室カラフル等、子どもへの先駆的な取り組みがある。 日本語教育指導支援員の配置（高校含） 全日制高校への外国人の子どもの進学率は33%（日本人の子どもは9割） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人市民が市に求めることとして、「外国人等の子どもに対する教育の充実」が36% 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語能力の測定（DLA）をカラフルでの試行がみられる 学校教育の現場における多文化理解が不足している 言語支援が必要な生徒を抱える学校等における情報交換の場の設定（高校含） 		<ul style="list-style-type: none"> ○外国にルーツを持つ子ども達へのさらなる教育支援（多文化ルーム KIBOU、日本語初期指導教室カラフルの活動支援） ○学校教育現場における多文化理解の推進
教育（高校生）	<ul style="list-style-type: none"> 親の子どもの進学に対する希望は、日本の大学・大学院を卒業が6割 外国人市民の6割が子どもの大学への進学を希望 		<ul style="list-style-type: none"> 一色高校での多文化共生コースの設置 キャリア教育の不足 外国籍生徒の就職、進学支援（外国籍生徒を含む卒業生の話を聞く機会、企業開拓・マッチング） 全日制高校の多文化共生推進が必要 		<ul style="list-style-type: none"> ○一色高等学校定時制との連携事業 ○進学・キャリアの見える化・学齢期を過ぎた外国にルーツを持つ青少年への支援 ○多文化共生に関心を持つ日本人青少年の育成・巻き込みの検討
防災	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練への参加経験がある外国人市民が8%弱（再掲） 災害時の情報入手方法は「インターネット」が約7割。一方で、多言語防災アプリの使用が20%弱 防災無線の多言語化へのニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練への参加経験がある日本人市民が7割弱（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> 西尾市災害多言語支援センターの設置 自主防災組織があるが、地域の防災組織に加入する人が少ないのが実態 町内会や地域によって防災訓練の実施状況が異なる。 外国人向け防災セミナー、防災教室等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 企業における通訳者の市の防災ボランティアへの参加等がみられる 会社から防災に関する情報を得たり、会社の防災訓練に参加したりするケースがみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害多言語支援センターの体制整備・実践的な訓練の実施 ○多様なツールを活用した防災に関する知識の普及 ○多文化防災リーダーの育成 ○避難所における多文化に対応するためのツールの充実

	外国人市民への調査	日本人市民への調査	各主体への調査	企業への調査	方針・施策の論点
生活支援 行政サービス	<ul style="list-style-type: none"> 市の外国人向けサービスの認知度は、は外国人相談窓口と通訳は5割。それ以外のサービスは4割弱。 市に求めることとして、「多言語による情報提供の充実」と「外国人の日本語学習支援」が約5割 日本人に求めることとして、「日本の文化や習慣を教えてくれること」が約5割 西尾地域の習慣や風習を知ることへのニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人市民が市に求めることとして、「日本の法律や生活上のルール等の案内」が55% 外国人に求めることは、「日本の生活ルールを覚えること」、「日本の文化や習慣を理解すること」が約6割 路上駐車禁止や立ち入り禁止等の看板や案内標識を増やすことを求める意見が2件あった 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所窓口等における外国人通訳者の充実・活躍が求められている 地域包括支援センター（介護認定調査につなげる窓口）のわかりやすい周知の必要 必要に応じた地域包括支援センターへの通訳派遣の希望 	<ul style="list-style-type: none"> 企業が市に求めることとして、「日本の法律や生活上のルールなどの案内」が65% 本庁以外の支所への通訳定期派遣ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールに対する理解促進や義務の遂行に向けた啓発 ○行政サービスの多文化対応の充実、周知 ○多文化共生に関する職員理解の向上(研修等の充実)
情報伝達・発信	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な情報の入手元は、インターネット・SNSが6割弱 市の取組や発信する情報の存在を知らない人がいる 紙媒体・文字のみではなく、絵や動画等を用いた説明が求められている ポルトガル語対応のノウハウ蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生に関するPR不足 情報発信方法の改善が必要 外国人市民による市への貢献の可視化・周知へのニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 行政用語の置き換えや、文化面の説明を含めた伝わりやすい翻訳が必要 市の通訳者によるFacebookでの発信 モスクや教会が情報提供の要 外国人市民や市役所職員による通訳の依存から自立を促すための情報伝達方法の検討を求める意見があった 	<ul style="list-style-type: none"> 住居形態による情報入手状況の差 市から企業への出張説明会開催ニーズ（市の外国人向けサービス。制度の案内・周知） 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人のキーパーソンを介する情報発信・収集の仕組みづくり ○ICT、動画等を活用した多言語情報の提供 ○やさしい日本語の活用 ○日本語学習支援体制の充実(ボランティアの育成、地域の日本語教室)

○その他、計画策定にあたって整理すべき論点

	外国人市民への調査	日本人市民への調査	各主体への調査	企業への調査	方針・施策の論点
生活 居住	<ul style="list-style-type: none"> 居住する住宅は、賃貸アパート・マンションが約4割 外国人が住居を借りにくい。 ゴミ捨て場等の基本的なルールについて、守らないのではなくて、“知らない” 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の生活で見かける人が8割の中で、近所付き合いがある1割、近所で見かけると挨拶をする4割 	<ul style="list-style-type: none"> 県営住宅において、入居者向けしおりの多言語化等、ルール理解の取組みがある 外国人への住居紹介が丁寧な不動産事業者の情報が口コミで広がっている（西尾にもある） 	<ul style="list-style-type: none"> 企業が行っている外国人従業員への生活上の支援として、住まいの確保は約6割が実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知県居住支援協議会との連携 ○不動産事業者等と連携した外国人入居可能物件の開拓 ○大家等への理解促進
就労	<ul style="list-style-type: none"> 求人情報が多い地域という認識がある 外国人コミュニティでの就労に関する情報のやり取りもある（ベトナム人） 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人と一緒に仕事をするところがある日本人市民は3割 	<ul style="list-style-type: none"> 西尾南商工会が監理団体となっている 監理団体において、就労環境是正等も含めた業界勉強会等の取組みがみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人雇用意向のある企業が8割弱 受入れを希望する在留資格・雇用形態は技能実習が5割弱、出身国・地域の希望はベトナムが4割弱 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人を雇用する企業、監理団体等の組織化(情報周知、就労環境是正) ○ハローワークと連携した就労支援の継続

	外国人市民への調査	日本人市民への調査	各主体への調査	企業への調査	方針・施策の論点
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 不安に感じていることについて、「障害や病気など、健康に関すること」が2割で、日本語コミュニケーション、災害に次いで3番目 市民病院や、その他の病院、クリニックへの通訳配置、通訳がない病院でのオンライン通訳の利用ニーズ 孤独を感じる外国人市民もみられた 		<ul style="list-style-type: none"> 団体ヒアリング等において、外国人市民への介護支援は把握されなかった ブラジル系の介護サービス利用者は今後増えると考えている。中国系も少々。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業が行っている外国人従業員への生活上の支援として、けが・病気・非常時の対応は約半数が実施 	<ul style="list-style-type: none"> 〇あいち医療通訳システムの活用継続 〇ピアサポート、メンタルケアの検討 〇介護支援のニーズの実態把握、対応策の検討
日本語教育・学習	<ul style="list-style-type: none"> 「聞く」、「話す」は、日常会話レベルができる人が半数程度なのに対し、「読む」の日常生活レベルの理解は3割程度 日本語を勉強している人が55%で、そのうち自分で教科書やアプリなどを使って勉強が8割、西尾市国際交流協会の日本語教室の利用が13% 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人に期待することとして、「日本語を覚えること」が4割程 日本人市民が市に求めることとして、「外国人の日本語学習支援」が5割程 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の日本語教室を西尾市国際交流協会が実施、それ以外の日本語教室は把握できていない 支援実施団体においては、ボランティアの確保、学習者の継続、情報や研修の機会の不足が課題 学習支援における企業との連携希望 	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習生に対して、日本語教育が必要との認識が約65% 外国人従業員に求める日本語レベルはN3が6割弱 行っている支援は、地域の日本語教室を紹介が約3割。一方で、25%が日本語教育支援を行っていない。 企業が市に求めることとして、「外国人の日本語学習支援」が5割程 	<ul style="list-style-type: none"> 〇日本語学習支援状況の把握 〇日本語学習支援ボランティアの育成 〇企業と連携した運営のあり方検討
母語支援	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍の保護者の6割程が、子どもとの会話で日本語以外の言語を使用 母語教育、母国文化理解における外国人市民との連携・協力の可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体による母語支援の必要性がわからない、母国での支援ではないか（協議会での意見交換より） 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館において多言語の絵本を設置 母語教室でのスタッフ不足 		<ul style="list-style-type: none"> 〇母語支援に対する丁寧なコンセンサスの形成 〇外国人市民と連携した母語教育、母国文化理解の体制づくり
多言語化対応	<ul style="list-style-type: none"> 英語が理解できる外国人市民は、約6割 フィリピン語：どんな内容でも4割程、日常レベル3割程、合わせて3/4が英語をある程度理解できる スペイン語：類似言語のポルトガル語の情報で代替することも可能 ベトナム語：エンジニア、家族滞在の生活面での日本語の困難さがみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 市に求めることとして、「多言語による情報提供の充実」が4割程 日本人が外国語を理解できる機会へのニーズがある 		<ul style="list-style-type: none"> 技能実習生は監理団体、派遣社員は派遣会社において、通訳における生活支援が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 〇多言語化、通訳配置における優先言語の検討(フィリピン語:英語、スペイン語:ポルトガル語で対応での代替可能性あり)
町内会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に加入している外国人市民は26% 未加入理由は、日本語がわからないから入っていない、仕事などで忙しくて時間がないから入っていない等 回覧板も広報も届いたことがないという意見が聞かれた 回覧板の内容は理解されていない傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会に加入している日本人市民は9割程(30歳未満は5割程) 	<ul style="list-style-type: none"> 集住がみられる県営住宅等において、町内会(自治会)への外国人の参画等において先進的な取り組みがみられる 町内会運営における会長の交代制、会長の高齢化等の課題 県営住宅の集会所の有効活用の検討が必要 他の町内会との交流・連携ニーズあり 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会と企業の連携している事例あり 企業において、寮や事業所のある町内会との連携の可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> 〇町内会・自治会における文章翻訳の継続実施 〇町内会会長への情報伝達の場合などにおける、多文化共生の取組の定期的な周知(先進的な町内会取組、西尾市における文章翻訳、ワンストップ窓口、多言語ツール等の取組)

	外国人市民への調査	日本人市民への調査	各主体への調査	企業への調査	方針・施策の論点
新型コロナウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> （支援団体より）雇用において、自宅待機や任期満了等で収入が減少する人が多くなっている （仲介事業者）雇止めは春頃あったが、秋から持ち直している 	<ul style="list-style-type: none"> マスクを着用しなかったり、ソーシャルディスタンスを保っていなかったりする外国人市民に懸念を感じる人がいた（文化にもとづく価値観の違い） 	<ul style="list-style-type: none"> 支援団体や県営住宅において、リーマンショック時と比べて、外国人市民の減少等は見られない。 コロナ禍において、対面での支援等の実施ができておらず、社会的なつながりが無くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による影響として、雇用への影響が無いが最も多く4割弱。休業の措置が2割弱で、解雇の実施・予定の回答は無かった。 製造業への影響は少ないが、飲食店（外国人市民経営等の飲食店も増加している）への影響が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症流行時におけるリモートでの支援の充実 ○感染症の予防・対策についての情報提供・周知

■ 施策の柱

1. 市民活躍・地域参画の促進

西尾市の強み・資源
<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の先駆的活動がある（緑町住宅） ・市政参加・交流意向のある外国人が多い（外国人市民アンケート） ・外国人の町内会長・自治会長がいる（いた） ・外国籍住民会議を 2014 年から実施 ・若い世代が関わる取組がある

西尾市の弱み・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・先駆的活動の継承が難しい ・外国人市民の地域での活躍が可視化されていない ・外国人市民の町内会加入率は 26%（外国人市民アンケート） ・外国人市民の意見聴取方法、施策の反映が不十分 ・市内に大学がなく、市内在住の若い世代へのアプローチが困難



施策の柱・重点施策（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアバンクの創設と新たな担い手の発掘・育成 ○外国人市民の活躍の見える化 ○町内会など地域コミュニティへの参画促進、モデルづくり

2. 多文化共生の意識づくり

西尾市の強み・資源
<ul style="list-style-type: none"> ・西尾市国際交流協会の交流イベントの開催 ・外国人市民と交流したい日本人市民は 4 割。 20 代、30 代は 6 割。（日本人市民アンケート） ・外国人と交流したい内容として、「文化を知る」と答えた日本人・外国人市民が約 50%（日本人・外国人市民アンケート）

西尾市の弱み・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・西尾市国際交流協会の認知度が低い（日本人・外国人市民アンケート） ・日本人・外国人共に活動への参加者が一部に留まる



施策の柱・重点施策（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ○西尾市国際交流協会の活動強化（外国人市民を巻き込んだ企画、プラットフォーム機能の拡充） ○日本人市民と外国人市民の一過性ではなく継続的な交流機会の創出 ○お互いの文化を知る・知らせる機会の創出

3. 地域における各主体との取組推進

西尾市の強み・資源
<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生の NPO 法人がある ・飲食店等の自営業増加（交流の場になっている） ・西尾みなみ商工会が監理団体として活動開始（技能実習生の支援・交流等での連携意向あり） ・企業は、交流事業等の外国人従業員への周知の連携は可能が 5 割（企業アンケート）

西尾市の弱み・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人コミュニティ組織は少ない（緩やかな繋がりは始まっている） ・外国人向けサービスの外国人市民の認知が低く、情報が届いていない（外国人相談窓口と通訳は 5 割、それ以外は 4 割弱、外国人市民アンケート） ・地域・日本人との交流に関する取り組みを行っていない企業が多い（企業アンケート）



施策の柱・重点施策（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ○外国人キーパーソンとのネットワーク強化 ○外国人同士のつながり、外国人コミュニティ組織化の支援 ○多様な関係機関等との連携・協働 ○地域や企業等における多文化共生にかかる優良事例の共有

キーワード

つくる・つなげる

**誰もが活躍できる
交流・創造の場があるまち**

4. 子育て環境の充実

西尾市の強み・資源

- ・多文化ルーム KIBOU で子どもの母語保持教室を開催
- ・子どもの不就園、予防接種状況の訪問調査の実施
- ・外国人市民を多く受入れている産婦人科等がある
- ・ベトナム人グループによる母語・文化サロンの開催

西尾市の弱み・課題

- ・子育てや教育で困っていることがある外国人市民が75% (外国人市民アンケート)
- ・外国人市民は子どもと日本語以外の言葉を使う割合が多い (外国人市民アンケート)
- ・母語文化・母語理解のニーズに対する受け皿の不足



施策の柱・重点施策 (事務局案)

- 多文化子育て交流機会の創出 (サロンや親子教室等)
- 母国文化・母語理解への支援 (多文化ルーム KIBOU の活動支援)

5. 教育環境の充実

西尾市の強み・資源

- ・多文化ルーム KIBOU、日本語初期指導教室カラフル等、子どもへの先駆的な取り組みがある
- ・日本語教育指導支援員の配置
- ・一色高校での多文化共生コースの設置 (R3 年度)
- ・外国人市民の6割が子どもの大学への進学を希望 (外国人市民アンケート)

西尾市の弱み・課題

- ・学校教育の現場における多文化理解が不足
- ・現状の全日制高校への外国人の子どもの進学率は33% (日本人の子どもは9割)
- ・キャリア教育が足りていない



施策の柱・重点施策 (事務局案)

- 外国にルーツを持つ子ども達へのさらなる教育支援 (多文化ルーム KIBOU、日本語初期指導教室カラフルの活動支援)
- 一色高等学校定時制との連携事業
- 進学・キャリアの見える化・学齢期を過ぎた外国にルーツを持つ青少年への支援

キーワード

はぐくむ・のばす



子どもたちのすこやかな育ちと学びを応援するまち

6. 災害に対する備え、災害時に向けた体制づくり

西尾市の強み・資源

- ・西尾市災害多言語支援センターの設置
- ・西尾市災害多言語支援センター設置訓練の実施
- ・外国人向け防災セミナー、防災教室などを開催
- ・乳幼児健診時における外国人保護者に向けた多言語防災リーフレットの配布
- ・多言語ハザードマップ、多言語防災アプリの作成

西尾市の弱み・課題

- ・南海トラフ地震等での津波・高潮浸水の危険個所がある、河川が複数あり水害による浸水区域が広い
- ・地域の防災訓練への参加は外国人市民8%（日本人市民は7割）（外国人・日本人市民アンケート）
- ・災害時の情報はインターネットで得る人が70%、一方で多言語防災アプリの使用が20%弱（外国人市民アンケート）

施策の柱・重点施策（事務局案）

- 災害多言語支援センターの体制整備・実践的な訓練の実施
- 多様なツールを活用した防災に関する知識の普及
- 多文化防災リーダーの育成
- 避難所における多文化に対応するためのツールの充実

7. 生活基盤の整備

西尾市の強み・資源

- ・市役所窓口等における通訳者の充実・活躍
- ・転入時における多言語生活ガイドブックの配布
- ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の作成
- ・「多文化共生検討会」の設置による市内多文化共生施策の推進

西尾市の弱み・課題

- ・外国人向けサービスの外国人市民の認知は外国人相談窓口と通訳は5割だが、それ以外は4割弱（外国人市民アンケート）
- ・日本人市民及び企業が行政に取組を必要とするものとして、日本の法律や生活上のルールなどの案内と回答（日本人市民・企業アンケート）
（・高齢者の課題を現在把握中）

施策の柱・重点施策（事務局案）

- ルールに対する理解促進や義務の遂行に向けた啓発
- 行政サービスの多文化対応の充実、周知

8. わかりやすい情報伝達とコミュニケーションの推進

西尾市の強み・資源

- ・ポルトガル語対応のノウハウが蓄積されている
- ・ワンストップ型の外国人相談窓口の開設（ポルトガル語、ベトナム語通訳の配置、多言語テレビ電話通訳の活用）
- ・外国人のための生活情報誌、Facebook等の取組み
- ・西尾市国際交流協会ボランティアによる日本語教室の実施

西尾市の弱み・課題

- ・市が手がける取組や発信する情報の存在を知らない人がいる（外国人・日本人アンケート）
- ・生活に必要な情報等は主にインターネットで得ている（外国人アンケート）
- ・市役所窓口の職員が、相手が日本語を少し理解する場合でも通訳者に頼ってしまう。
- ・日本語ボランティアのスキルアップの機会が少ない。

施策の柱・重点施策（事務局案）

- 外国人のキーパーソンを介する情報発信・収集の仕組みづくり
- ICT、動画等を活用した多言語情報の提供
- やさしい日本語の活用
- 日本語学習支援体制の充実（ボランティアの育成、地域の日本語教室）

キーワード

ささえる・つたえる

安全・安心で
快適に暮らせるまち

■目標の検討

①上位計画における理念・目標等

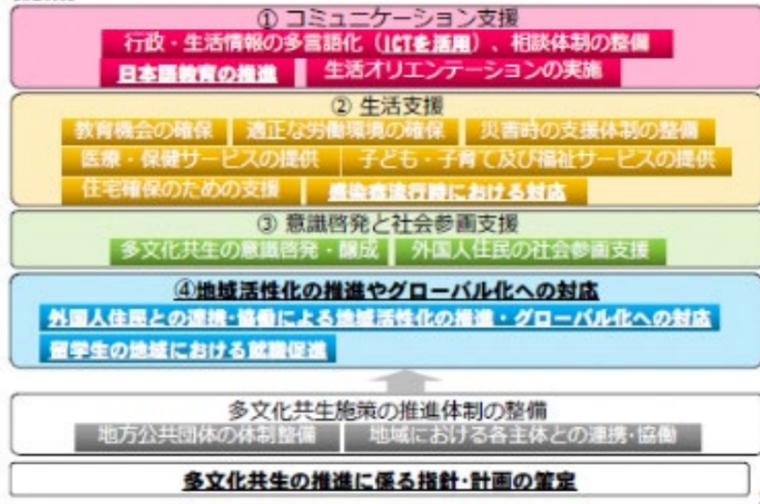
総務省「地域における多文化共生推進プラン」改訂

2020年9月策定

地域において多文化共生施策を推進する意義

- (1) 多様性と包摂性のある社会の実現による「新たな日常」の構築
- (2) 外国人住民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- (3) 地域社会への外国人住民の積極的な参画と多様な担い手の確保
- (4) 受入れ環境の整備による都市部に集中しないかたちでの外国人の受入れの実現

【施策】



愛知県「あいち多文化共生推進プラン 2022」

2018年3月/2018～2022計画期間

基本目標

多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくり

施策目標

○ライフサイクルに応じた継続的な支援

乳幼児期から老年期まで、ライフサイクルに応じた「支援のつながり」を目指します

○互いに支え合う共生関係づくり

外国人同士、外国人と日本人が、互いに支え合う「人と人のつながり」を目指します

○外国人県民とともに暮らす地域への支援

外国人とともに暮らす地域を支援し、外国人と「地域とのつながり」を目指します

西尾市「第7次西尾市総合計画 後期計画」

2018年3月策定 2018～2022計画期間

まちづくりの理念

活力・創造

～地域の個性を生かして新たな魅力を創造する～

安心・便利

～市民の暮らしを守りゆとりある暮らしを育む～

自立・協働

～誰もが活躍できる市民全体のまちづくりを進める～

将来像

自然と文化と人々がとけあい 心豊かに暮らせるまち 西尾

②調査、施策の方針検討から出てきたキーワード

つくる・つなげる
誰もが活躍できる交流・創造の場があるまち

はぐくむ・のばす
子どもたちのすこやかな育ちと学びを応援するまち

ささえる・つたえる
誰もが安全・安心で快適に暮らせるまち

多様性を豊かに みんなで創る にしおの未来（事務局案）